

## アイヌ文献目録 2000～2009 (その2) 〈雑誌・逐次刊行物編〉

アイヌ文献目録編集会 (小川正人・黒井 茂)

## 目次

- 1 はしがき
- 2 凡例
- 3 謝辞
- 4 文献目録

Key Words 文献目録 (Bibliography)、アイヌ関係文献 (Ainu-related literature)

## 1 はしがき

この目録は、2000年1月から2009年12月までの10年間に日本国内で公開された文献(単行本、雑誌等)を対象として、アイヌ民族に関連することがらを主題とするか、または内容において関連する記述・情報を含んでいる文献(単行本、論文、記事等)のうち、雑誌、年報・年鑑等の逐次刊行物(新聞を除く)<sup>(1)</sup>に掲載された論文、記事等を一覧表形式にまとめたものである。

編者たちはこれまで、2003年から2007年までの、一年ごとの文献の目録をまとめ<sup>(2)</sup>、その後、あらためて2000年から2009年までを対象に、単行本及び単行本に収録された論文を対象とした目録をまとめてきた。<sup>(3)</sup>本目録は、直接にはこれに続くもので、これをもって2009年までの逐次刊行物に収録された論文や記事を対象としている。期間を2000年以降としたのは、財団法人アイヌ無形文化伝承保存会による『アイヌ年誌』が1999年までをカバーしていることを踏まえ、そこに接続させることを意図したものである。

前回の単行本に関する目録の「はしがき」に「データの収集・整理中の状態でもとめたため、遺漏が多いことは免れない〔中略〕次回に補遺を掲載し」…と記したが、今回も、主要な雑誌についても未調査・未確認の部分が残り、そのいくつかは今回の掲載を見送らざるを得なかった。これらは次回以降で速やかに補いたい。

目録の編纂に当たっての編者らの意図、アイヌ文化研

究に関する文献目録やインターネット上で提供されている文献データベース類の現状と課題、本文献目録の当面の計画などについては、既に本目録「2003」～「2007」の「はしがき」で述べてきているので、それらを参照されたい。

今回の目録は、これまでと文献の掲載の仕方を大きく変えた。これまでは、全ての文献を発行年月日順に掲載してきた。今回は、雑誌等の逐次刊行物の表題を日本語五十音順に配列し、そのうえで、同一刊行物に掲載された文献を当該刊行物の発行順に配列するかたちとした。このやり方は、松下・君(1978)の雑誌掲載文献の記載の方法に準じたものである。詳細については「凡例」を参照されたい。

上述のとおり、今回も種々の作業が遅滞したままである。ただ、その中で引き続き、この目録の情報の大半は、黒井茂が様々な図書館・資料館に幾度も足を運んで調査し実見したものであること、その作業の膨大さと労苦は、今回も強調して然るべきと思う。今回もまた多くの遺漏や不十分さを抱えている(既に編集・校正の過程で、編者たち自身が痛いほどそれを自覚させられている)が、このような基礎的な作業を粘り強く、かつ意識して体系的に続けることなしには文献の目録はその体を為し得ない。

小川正人：北海道博物館アイヌ民族文化研究センター アイヌ文化研究グループ  
黒井 茂：北方史料研究会

(1)「逐次刊行物」とは、同一標題のもと逐次的に発行される刊行物であり、一般的には予め終期を定めず、或る期間ごとに発行される。雑誌、新聞、年鑑や施設の要覧などがこの例である。従って本来ならば雑誌も逐次刊行物に含めるべきではあるが、一般には「逐次刊行物」という名称に比べて「雑誌」のほうが広く知られていることから、本稿では、雑誌及びその他の逐次刊行物(新聞を除く)、との意でこのようなタイトルとした。

(2) アイヌ文献目録編集会編 2005～2009. アイヌ文献目録 2003～アイヌ文献目録 2007. 北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要 11～15.

(3) アイヌ文献目録編集会編 2013. アイヌ文献目録 2000～2009 その(1) 単行本. 北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要 19: 75-202.

アイヌ文化の継承や復興、アイヌ民族の権利の回復、アイヌの歴史と文化に対する社会的な認識のあり方々々、アイヌ民族とその歴史・文化に関わる様々な議論が交わされ、施策や事業が試行され、イベントが開催され、またそれらに関する情報が飛び交うことは、近年、いっそう増えていることは間違いない。もとより、日本の社会での認知の度合いで見れば、依然として極めて低いことも否めない。それでも、こうして様々な情報が増えているからこそ、そして、人々にとって、そうした情報に自ら接近することができ、それらを主体的に取捨選択できることが重要だと思うからこそ、本目録のような基礎的作業の存在意義はいっそう大きくなっていると思う。

しかしながら、これも前回記したとおり、近年、アイヌ文化に関する様々な学術事業が営まれている一方で、こうした継続的な基礎作業となりえるものは、依然としてあまり多くはない。

本目録が、こうした時代における学習・研究の基盤や足下を固めていくような作業の一面を占めていくことで、かかる現状の打開に繋がればと祈念している。

(小川正人)

## 2 凡例

### (収録の範囲)

- ・目録の本文には、2000年1月から2009年12月までの10年間に公刊された雑誌等の逐次刊行物に収録された論文・記事等であって、アイヌ民族に関わる内容の日本語・アイヌ語文献を収録した。
- ・日本語を主体とする単行本の中に含まれている外国語文献についても、一部収録したものがあ
- ・目録に掲載しておくことが文献検索上便宜的であると考

### (配列)

- ・雑誌等の標題を、日本語五十音順に配列し、それぞれのタイトルの雑誌等に掲載された文献について、掲載された刊行物の発行年月日順に配列した。
- ・雑誌等の標題の配列に当たっては、次のようにした。
  - ・原則として、標題日本語読みの五十音順に配列した。
  - ・標題が数字・ローマ字等によるものについては、

“その日本語読みに従って、日本語五十音のそれぞれのところ

- ・自治体広報誌の表題冒頭に付いている「広報」、週刊誌・月刊誌にしばしば付いている「週刊」「月刊」等の、“これを表題に入れてしまうと、同じ語で始まるタイトルがたくさん並んでしまう”と考えたものについては、多くは、それらを省いたかたちを標題とみなして配列した。(例えば「広報びらとり」は「ひ」のところ
- ・発行年月日は、奥付の記載に準拠している。奥付に日付の記載がないもの、日付を確認できなかったものは、月のみ、年のみ等の記載にしている。

### (記載事項と書式)

- ・雑誌等の標題部分には、標題及び発行者名を記載した。編者名は、一部について記載したが、多くは割愛した。
- ・標題(誌名)の変遷については可能な限りあとづけたが、発行者名の変遷は一部に遺漏があるままになっている。本目録では、アイヌ関係文献を探すためのツールとなることを第一優先とし、個々の雑誌等の書誌については概略的な把握にとどめている、ということである。書誌等の情報については、別途他の公共図書館等の情報を参照されたい。なお、一部の発行者名には、( )書きで発行地を付記した。
- ・掲載された論文・記事等については、最初にそれを掲載している雑誌等の巻・号数を、次に当該論文・記事等の編著者名と表題、掲載ページを記した。また、備考欄には、適宜補足的な情報を記載した。
- ・編著者名、表題などの記載は目次及び本文冒頭の記述に従った。ただし、副題は原則として「:」で区切って表わし、漢字の旧字体は原則として常用のものに改める等の手を加えた部分がある。
- ・記事・論文等の表題に関わる情報のうち、コーナータイトルに相当すると思われるものは[ ]で括って示した。
- ・[ ]内は編者による注記・補足である。

### 3 謝 辞

本年度の目録の作成に当たって、下記の機関・個人から教示または協力を受け、あるいは多くの文献の閲覧をさせていただいた。参照させていただいた様々な目録・データベースを作成し、また継続し運営している機関とその担当の方々にも、改めて謝意を述べたい。

北海道立図書館、札幌市中央図書館、帯広市図書館、北広島市立図書館

公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、アイヌ文化交流センター、北海道立アイヌ総合センター、一般財団法人アイヌ

民族博物館、帯広百年記念館アイヌ民族文化情報センター、北海道立北方民族博物館  
北海道大学附属図書館、東京都立中央図書館、同日比谷図書館、人権ライブラリー、明治大学博物館、宮城県図書館、部落解放・人権図書館  
石原誠、高橋規、(故) 秋野茂樹

#### 引用・参考文献

松下亘・君尹彦編 1978. アイヌ文献目録 和文編. みやま書房.

---

## Catalog of Ainu-related Literature:

### Magazines and Serial Publications 2000–2009

Bibliography-editing Members (Masahito OGAWA and Shigeru KUROI)

---

This catalog is a list of theses and articles found in serial publications (magazines, annual reports, yearbooks, etc.) with Ainu-related subject matter or contents that included related accounts or information, from the literature (single volume books, magazines, etc.) published in Japan from January 2000 to December 2009.

The editors have previously compiled a catalog of literature from each year from 2003 to 2007, and subsequently compiled a catalog of single volume books and theses recorded in single volume books from 2000 to 2009. This catalog is a continuation of these existing catalogs.

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

数字・アルファベット

		<b>88</b>		<b>ワッカ</b>		
2005	4	6	片岡一史(文・写真)	秋辺得平	自然とともにあるために。 9~11	
		<b>BIOCITY(ビオシティ)</b>		<b>ビオシティ</b>		
2008	10	40	小野有五	先住民族から見た自然と環境 : 「先住民族サ ミット・アイヌモシリ2008」報告	128	
		<b>BIRDER</b>		<b>文一総合出版</b>		
2005	12	19	12	227	小野有五	シマフクロウとアイヌ民族 14~20
この号の特集:森と川とシマフクロウ						
				国松俊英	シマフクロウはこう語られた 22~23	
		<b>FFIジャーナル(食品・食品添加物研究誌)</b>		<b>日本食品化学研究振興財団</b>		
2005	2	210	2	佐藤知己	アイヌ民族の言語・文化と伝統料理 177~184	
		<b>FOR YOU</b>		<b>北国紀行人物伝</b>		
2000	5		23		ホリ・プロダクツ(北海道地区しんきん経営者協議会)	
[北の歴史 受けつがれる心] アイヌ民族と共に湧別の原野に生きる 上勇別町 徳広正輝 16~19						
[アイヌ民族の文化と歴史] 上湧別町 狩区をめぐって十勝アイヌと抗争 20						
2008	7		25		[アイヌモシリ文化探訪]アイヌ刺繍 6~7	
2009	7		26		[アイヌモシリ文化探訪]アイヌ語地名 6~7	
		<b>photographer's gallery press</b>		<b>photographer's gallery</b>		
2009	4		8		写真 田本研造 9~220	
				大下智一	田本研造 その生涯と業績 221~233	
				倉石信乃	「北海道写真」の前提 234~241	
				大下智一(編)	田本研造年譜 396~400	
		<b>FRONT</b>		<b>リバーフロント整備センター</b>		
2002	1	14	4	160	斎藤夕子・取材・文、首藤幹夫・写真 [プーふる]112 秋辺得平さん アイヌ民族に伝わる海洋カヌー「イタオマチブ」を復元 44~45	
2004	11	16	2	182	塘路湖の貴重な恵み・ベカンベ 34	
斎藤夕子(取材・文)、大西成利(写真) アト・イさん アイヌ詞曲舞踊団「モシリ」ミュージック・デザイナー 38~39						
2005	11	18	2	206	児島恭子 アイヌ民族の交易の歴史 4~7	
この号の特集:アイヌが辿った水の道 北方交易の豊穡						
					交易品図録 8~9、13、15	
				相田潤(宮畑周平、田澤亮補)	北大探検部の「勇払越え」追体験 : アイヌ民族の交易路を辿る 10~12	
				入松田倫子	昆布ロード譚 : 北の海から琉球、そして清へ 14	
				編集部(構成)	北の宝船 交易船のかたち 16~17	
				アシリ・レラ	川と暮らす : アイヌ民族の祈り 18	
				岡田政晴(文)、中野晴生(写真)	[水と人の交差点]② 瀬川拓郎さん 石狩川のサケと丸木舟からアイヌ文化のルーツを探る 46~47	
		<b>ICU比較文化</b>		<b>国際基督教大学比較文化研究会</b>		
2007	3		39	森田みゆき	アイヌ民族の“展示” : 20世紀初期における博覧会と日本の植民地イメージの構築 119~149	
		<b>IMADR-JC通信</b>		<b>反差別国際運動日本委員会</b>		
2000	3		105	IMADR-JC事務局(文責)	IMADA-JCレポート① マイノリティ女性に対する複合被差別研究会 6	
2001	1		110	前田朗	シンポジウム「わたしは人種差別をしたことがない?」 2~5	
特集:人種差別撤廃条約シンポジウム報告 上村英明「先住民族・アイヌ民族および琉球/沖縄の権利」報告						
2001	9		114	伊藤衆子	第10回ヒューマンライツセミナー 「国連から見た日本の人種差別 ~人種差別撤廃委員会勧告をどう活かすか」 14~15	
上村英明「沖縄・アイヌ民族の視点から」P.14~15						
2001	11		121	北海道ウタリ協会	国連とアイヌ民族の権利 : スターベンハーゲン氏を迎えるにあたって 4~5	
特集:先住民族の権利を考える						

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>数字・アルファベット</b>						
2003	5	124		島崎直美	IN札幌(3/21)	9
IMADA/JC発マイノリティ女性に対する差別撤廃週刊3/8～21):初年度の取り組みから						
				秋田春蔵	国連人権委員会先住民族特別報告者 ロドル フォ・スターベンハーゲンさんが国連人権委員 会にアイヌ民族に関する報告提出	10
先住民族に関する特別報告書 スターベンハーゲンの報告第一追加文書(抜粋)北海道ウタリ協会訳						
2003	7	125		多原良子	マイノリティ問題を提起した経緯	5
特集:マイノリティ女性の視点を政策に!女性差別撤廃委員会審査直前特集 二つの声を届け実現させよう! NGOレポートを提出して						
2003	9	126		秋田春蔵	先住民族の権利とウタリ協会の取り組み	9
反差別国際運動日本委員会・第14回総会報告第2部アピール						
2003	11	127		市川広朗	第12回ヒューマンライツ報告 マイノリティ 女性の視点を政策に!社会にー女性差別撤廃 委員会日本報告審査を通してー	8～9
2.マイノリティ女性の声ー運動の現場から アイヌ民族女性の視点からー 多原良子さん P.9						
2004	1	128		市川広朗	「マイノリティ女性によるマイノリティ女性の ための実態調査にむけて」準備検討会の報告	12
2004	7	131		島崎直美 平良識子	アイヌ民族共有財産裁判への思い 国連・先住民族問題常設フォーラム報告 : 先 住民族女性の権利とアイヌ民族、琉球/沖縄民 族	4～5 6
特集:第二回アジア先住民族女性会議報告						
2005	5	136		多原良子	アイヌ女性による実態調査という運動	6
特集:実態調査を通じたマイノリティ女性による運動づくり						
2005	7	137		加藤忠	先住民族の権利と北海道ウタリ協会の取り組み	13
反差別国際運動日本委員会(IMADA-JC)第16回総会報告 第2部 会員団体からのアピール)						
2005	9	138		萱野茂	人権について	6
2005	11	139			麻生太郎総務大臣(当時)の「一民族」発言の撤回 と謝罪を求めます。	15
『アイヌの女の会』『ヤイユカラの森』の公開講義・質問状を紹介						
2006	5	142		大河原康隆	人種主義・人種差別・外国人嫌悪/排斥を克服し 多民族・多文化社会を実現しよう 院内集会報 告	4～5
特集:人権主義・人種差別を克服し多文化共生社会を実現しようー国連特別報告者の日本公式訪問報告書を受けてー 阿部ユボ 報告要旨 P.4～5						
2006	9	144		阿部ユボ	「先住民族の権利に関する国際連合宣言 : 人 権のための闘いにおける重要な第一歩」	9～10
特集:沖縄、日本、人種主義。阿部ユボ氏によるコメントの掲載あり。						
				加藤忠	先住民族の権利と北海道ウタリ協会の取り組み	14
反差別国際運動日本委員会(IMADA-JC)第17回総会、会員団体からのアピール						
2007	1	146		多原良子	2006マイノリティ女性のエンパワメント・ フォーラムを開催して	2～3
				島崎直美	アイヌ女性の実態調査を終えて	3～4
				徳田昭子	マイノリティ女性の会議を終えて	4
				川上裕子	アンケート調査にたずさわって	5～6
				山崎鈴子	自らが調査の主体へ : エンパワメントされ たマイノリティ女性によるマイノリティ女性の ための実態調査	5～6
				梁愛舜	私たちのアイデンティティ	7
				梁優子	2006マイノリティ女性のエンパワメント・ フォーラムに参加して シスターフードとマイ ノリティ女性のエンパワメント	8
特集:マイノリティ女性のエンパワメント						
2007	9	150		編集部	現代世界と日本における人種主義・人種差別の 撤廃にむけてー人種差別撤廃NGOネット ワーク立ち上げ記念集会でのスピーチ抜粋	9～11
マイノリティ当事者から 阿部ユボさん P.10						
2007	11	151		加藤忠	宣言に基づき、アイヌ民族に残された課題の法 的解決を 「先住民族の権利に関する国際連合 宣言」採択についての談話	9

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

数字・アルファベット

				原由利子	立ち上がりつながるマイノリティ女性 : アイヌ女性・部落女性・在日朝鮮人女性によるアンケート調査と提言	10~11
2008	1		152	IMADR-JC事務局	立ち上がりつながる女性たち : 第1回マイノリティ女性フォーラムin札幌	10~12
2008	9		155	佐藤幸雄	「先住民族の権利に関する国際連合宣言」採択の意味と課題	2~3
				上村英明	アイヌ民族と先住民族の権利 -国会決議と国際人権基準	4~5
				島崎直美	「先住民族サミット」アイヌモシリ2008から託されたもの	6~7
特集:先住民族アイヌの権利確立						
2009	5		158	阿部ユボ 荒井摂子(構成)	先住民族も温暖化に加担している	17
「気候変動に関する先住民族世界サミット」参加コメント						
2009	8		159	島崎直美	実感した当事者参加の意義 : アイヌ民族女性の状況を訴える	6
特集:女性差別撤廃委員会第6回日本報告書審査とマイノリティ女性						
					反差別国際運動日本委員会(IMADR-JC)第20回総会報告	16~17
第2部 各団体からのアピール アイヌ民族の先住民族としての権利確立にむけて 阿部ユボ P.17						
2009	11		160	IMADR-JC事務局(まとめ)	先住民族アイヌの権利確立に向けて : 第18回ヒューマンライツセミナー報告	16~17
「いま、民族名復活が意味するもの」加藤忠 P.16、「関東のアイヌ民族の運動について」長谷川修 P.16~17 「アイヌ民族政策の進展に関する課題と展望 -『先住民族の権利に関する国連宣言』を抛り所にして」上村英明 P.17						
<b>MOKU</b>				<b>MOKU出版</b>		
2005	12	13	12	165	千歳栄(文)、イマイヨシハル(写真)	風と光の中で 最終回/北海道と大雪山 136~142
<b>MUSEUM</b>				<b>東京国立博物館</b>		
2000	6		566	佐々木利和 朽津信明	平沢屏山の新出二作品をめぐって (参考報告)平沢屏山作『オムシャ図』と『熊送り図』の彩色について	17~21 22~25
<b>NETT</b>				<b>北海道東北地域経済総合研究所</b>		
2008	1		60	工藤雅樹	北海道 その原風景とアイヌ文化への道	34~37
2009	4		65	工藤雅樹	本州の「アイヌ語地名」	38~41
発行月日記載なし。「Spring」とあり。						
<b>TOURING MAPPLE magazine(ツーリングマッフルマガジン)</b>				<b>昭文社</b>		
2008	7		3	田中恭子(文・写真)	はるかなる恵みの大地 : アイヌ文化を訪ねて日高の二風谷へ	34~37
<b>UP</b>				<b>東京大学出版会</b>		
2008	7	37	7	429	五味文彦	史料を読み、歩く 7 北の国をめざした和人とアイヌとの交流 1~5
<b>WB Waseda Bungaku Free Paper</b>				<b>早稲田文学会/早稲田文学編集室</b>		
2006	5		4	向井豊昭	(創作)劇団桜天幕	1~3
「北蝦夷地惣乙名キムラカアエノ」に関わる内容あり						

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

あ

Arctic Circle(アークティック・サークル)		北方文化振興協会			
2000	3	34	相沢韶男	美術学生とアイヌの造形	4～7
2000	7	35	梶淳	学校教育と民族文化⑧ 高等学校「日本史」での北方史の扱い -北海道外での実践-	8～9
2000	10	36	松村博文 村崎恭子 (1)	古人骨からみた日本人の成り立ち 樺太アイヌ語の行方 [Arctic Square Books]『特集・北方諸民族文化のなかのアイヌ文化 生業をめぐって(アジア遊学17)』	4～7 15～17 18
2001	1	37	平野正美	学校教育と民族文化⑩ アイヌ文化の学習の広がりと深まりに期待して -東京・和光小学校からの報告-	8～9
2001	3	38	大島直行	特集・日本列島の人類史④ 北の縄文陣は交流に何を求めたのか	4～7
2001	7	39	本間愛之	学校教育と民族文化⑬ いま、三十五年のアイヌ文化を継ぐ 実践の試み-旭川竜谷高等学校郷土部の活動から-	8～9
			(角)	[なしべる]	19
2001	10	40	(T)	[Arctic Square Books]『北から見直す日本史 -上之国勝山館跡と夷王山墳墓群からみえるもの』網野義彦・石井進稿	4～7
2002	3	42	小口雅史 勝山明彦 (Y)	北の防御性集落の時代 : エミシからエゾへ 学校教育と民族文化⑯アイヌ文様を彫る [Arctic Square Books]『アイヌ文化誌ノート』	4～7 8～9 18
2002	7	43	伊藤健次	[アングル 北方発]音楽が伝わる時・トンコリとオキ	10～11
			白鳥誠一郎	コレクションの系譜① 芹沢銈介の蒐集とアイヌ関連資料 静岡市立芹沢銈介美術館	16～17
2002	10	44	伊藤健次	[アングル 北方発]海をゆく旅・トライバルジャーニー	10～11
			中谷哲二	コレクションの系譜② 世界の生活文化と考古美術の博物館 天理大学附属天理参考館のアイヌ民族文化資料	12～13
2002	12	45	出利葉浩司 伊藤健次 三上洋子	アイヌの狩猟文化研究における視点 [アングル 北方発]キムンカムイ コレクションの系譜③ 過去と現在の邂逅の場「稽古館」青森市歴史民俗展示館「稽古館」収蔵アイヌ民族資料	4～9 10～11 12～13
2003	3	46	伊藤健次	[アングル 北方発]マタギの言葉	10～11
姉崎等を紹介。					
			小井川和夫	コレクションの系譜④ 東北歴史博物館 杉山寿栄男旧蔵のアイヌ関係資料	12～13
2003	7	47	亀井哲也	コレクションの系譜⑤ 楽しみながら学ぶ“体感”博物館 野外民族博物館リトルワールドのグリーンランド、アラスカ民族資料	12～13
2003	10	48	中條英樹	コレクションの系譜⑥ 土佐林コレクションについて 早稲田大学津八郎記念博物館所蔵のアイヌ資料	12～13
			R	[北図鑑]ヒシ	19
2003	12	49	山本命	コレクションの系譜⑦ 松浦武四郎とアイヌ民族 松浦武四郎記念館のアイヌ民族資料	12～13
			R	[北図鑑]イラクサ	19
2004	3	50	田島佳也	近世期における蝦夷地の漁業	4～9

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>あ</b>						
				岡本敏行	コレクションの系譜⑧ 清野謙次コレクションについて : 大阪府立近つ飛鳥博物館所蔵の北方民族資料	12~13
2004	7	51	(1)		[Arctic Square Books]『アイヌ絵誌の研究』佐々木利和/『アイヌ絵巻探訪 歴史ドラマの謎を解く』五十嵐聡美	18
2004	7		(R)		[北図鑑]オオウバユリ	19
2004	10	52		杉山享司	コレクションの系譜⑩ 日本民芸館とアイヌ工芸	12~13
2004	10		(R)		[北図鑑]ガマ	19
2004	12	53		若林邦彦	コレクションの系譜⑪ 関西でふれられる擦文・アイヌ文化資料 : 同志社大学歴史資料館所蔵の北海道関連の歴史・民族資料	12~13
2005	3	54		小西雅徳	コレクションの系譜⑫ 板橋区郷土資料館と石田収蔵資料	12~13
2005	3		R		[北図鑑]ヤブマメ	19
2005	6	55		坂詰秀一	コレクションの系譜⑬ 立正大学博物館と久保樺太資料	12~13
2005	9	56		齋藤玲子	揺籠から墓場までの植物利用 : アイヌの事例を中心に	4~9
特集:多様な植物との関係2						
				西田素康	コレクションの系譜⑭ 鳥居記念博物館と北方民族資料	12~13
				R	[Arctic Square Books]『街道の日本史 アイヌの道』佐々木利和・古原敏弘・児島恭子編	18
				R	[北図鑑]キハダ	19
				中田	(編集後記)	19
2005	12	57		星雅俊	コレクションの系譜⑮ 毛利総七郎コレクション	12~13
				R	[北図鑑]テンキグサ(ハマニンニク)	19
2006	6	59	T		[BOOKS]『アイヌ・エコシステムの考古学 異文化交流と自然利用からみたアイヌ社会成立史』瀬川拓郎著	18
2006	9	60	R		[北図鑑]エゾノウワミズザクラ	20
2006	12	61	R		[北図鑑]ナナカマド	20
2007	3	62		隅田登紀子	コレクションの系譜 ⑯ 杉野学園衣裳博物館と杉野芳子のまなざし	12~13
「アイヌ衣装との出会い」あり。						
				R	[北図鑑]フキ	20
2007	6	63		谷本一之	北風の歌の旅 熊送り解禁	3
				西村直城	コレクションの系譜 21 黄檗夕陽文庫のアイヌ工芸品	12~13
				R	[北図鑑]ハマナス	20
2007	9	64		文公輝	コレクションの系譜22 チセが包みこむ作品群 : 大阪人権博物館	12~13
				高清水康博	地層学とアイヌ口碑伝説から過去の大津波を探る	14~17
				T	[BOOKS]『アイヌのクマ送りの世界』木村英明・本田優子編	18
				R	[北図鑑]トリカブト属	20
2007	12	65	A		[BOOKS]『アイヌ文化への招待 女性と口承文芸』萩中美枝著	18
				R	[北図鑑]ツルウメモドキ	20
2008	3	66	(Y)		[Arctic Square Books]『蒼いお尻のぼくとときみ。カナダ極北のイヌイット 内なる心の旅』磯貝日月著 『首都圏に生きるアイヌ民族 「対話」の地平から』関口由彦著	18
				(R)	[北の図鑑]カタクリ	18
2008	6	67		梅林智美	コレクションの系譜(25) 米子市立山陰歴史館 一足立正コレクション	12~13

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>あ</b>						
			(R)		[Arctic Square Books]『東アジア内海世界の交流史 ―周縁地域における社会制度の形成―』 加藤雄三・大西秀之・佐々木史郎	18
2008	9	68	(R)	谷本一之	[北の図鑑]ハナウド属	20
			(R)	井筒勝信	北の図像学	3
			(R)		「アイヌ語旭川方言研究」というフィールドワーク	14～17
2008	12	69	(R)		[北図鑑]マムシグサ	20
2009	3	70	(R)	佐々木長生	[北図鑑]ハンノキ属	20
			(R)		コレクションの系譜(28) 福島県立博物館のアイヌ関係寄託収蔵品	12～13
2009	6	71	(R)	阿子島香	[北の図鑑]エゾエンゴクサ	20
			(R)		コレクションの系譜(29) 東北大学の伊東信雄サハリン関係資料 ―東北大学院文学研究科考古学陳列館―	12～13
2009	9	72	®	尾高暁子	[北の図鑑]ヤナギラン	20
			(R)		コレクションの系譜(30) 東京芸術大学音楽学部小泉文雄記念資料室所蔵の北方民族関係コレクション	12～13
2009	12	73	(R)	猪熊樹人	[北の図鑑]ナギナタコウジュ	20
					根室市の遺跡について	
<b>あいだ</b>						<b>『あいだ』の会</b>
2003	10	94		犬塚康博	「フォーラム」を睥睨する「神殿」：「アイヌからのメッセージ」展の吉田憲司フォーラム論批判	2～15
2004	1	97		吉田憲司	「フォーラム」を睥睨するのは誰か：犬塚康博氏による「『アイヌからのメッセージ』展の吉田憲司フォーラム論批判」をたず	2～19
<b>愛知学院大学文学部紀要</b>						<b>愛知学院大学文学会</b>
2001	3	30		鏡味明克	アイヌ語地名の日本語化の型	129～137
2009	3	38		鏡味明克	コクサイ名称科学会議の先住民族部会とアイヌ語地名の痕跡研究	27～35

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

あ(アイヌ～)

アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告			アイヌ文化振興・研究推進機構		
2002	2	1 北原次郎太	樺太アイヌ文化調査報告書2		1～82
2001年3月に発行した報告書を収録したもの。					
		十勝開拓とアイヌの歴史研究会	十勝開拓とアイヌ歴史の検証		83～137
		計良光範	外来宗教とアイヌ社会稿1		139～201
2001年2月に発行した報告書を収録したもの。					
		貝澤守	貝澤はぎのユカラと伝承		203～224
		アイヌの女の会	アイヌのフチから学ぶ		225～276
		上武和臣	室蘭のアイヌの生活		277～299
2001年2月に発行した報告書を収録したもの。					
		貝澤文俊	〈鍋沢ノート〉大正のクツネシリカ		301～340
		知里真希	テンキ草で作る アイヌブリ・バスケット		341～378
2003	2	2 アイヌ文化研究会	民族政策の先進地事例からアイヌ文化の総合的振興のあり方の調査研究		1～50
2002年3月に発行した報告書を収録したもの。					
		計良光範	外来宗教とアイヌ社会稿2		51～106
2002年2月に発行した報告書を収録したもの。					
		十勝開拓とアイヌ歴史研究会	十勝開拓とアイヌ歴史検証報告書		107～199
		貝澤文俊	〈鍋沢ノート〉大正のクツネシリカ		201～332
		アイヌ文化環境デザイン研究会	アイヌ伝統文化再生のための環境デザインに関する調査研究 : 日高・二風谷コタンをフィールドとして		333～418
		石狩川中流域文化研究会	ソラチウクルの生活文化誌		419～484
2002年2月に発行した報告書を収録したもの。					
		知里真希	イラクサと木の皮 採取から糸作りまで		485～502
2002年2月に発行した報告書を収録したもの。					
		知里真希	アイヌブリ・バスケット		503～529
2004	2	3 計良光範	外来宗教とアイヌ社会稿3		1～74
		十勝開拓とアイヌ歴史研究会	十勝地方の食文化研究		75～126
		津田命子	アイヌの組紐 : アイヌの民具に見られる組紐の組成と種類について		127～160
		アイヌ文化を学び継承する助成の会	アイヌの衣服文化を探る : オモンペとその縫製技術の研究		161～183
		貝澤文俊	(鍋沢ノート)大正のクツネシリカ 翻訳&研究報告書		185～553
「北海学園大学藤村久和教授による「鍋沢ノート」監修・解読文」を付す。					
		平石清隆	沙流地方のウエベケレ : 上田としの伝承		555～742
2005	2	4 たきかわ歴史地図研究会	歴史地図に見る 石狩川筋のアイヌ語地名		3～57
2004年2月に発行した報告書を収録したもの。					
		瀬川拓郎	アイヌのサケ加工と製品の移出に関する基礎的研究		59～95
		太田忠雄	上川地方における衣服文様について		97～120
		白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室(編)、蓮池悦子(監修)	金成マツ筆録ノート文字解読字典		121～141
		アイヌ文化研究会	アイヌ文化の総合的振興の調査研究Ⅲ		143～288
2004年2月に発行した報告書を収録したもの。					
		Ch.M.タクサミ	サハリンとアムール下流域のアイヌ民族の標本資料に関する調査と研究		289～353
		広野洋	山本多助が伝承したアイヌ文化を中心とした北海道東部のアイヌ文化研究		355～407
		社団法人北海道ウタリ協会	アイヌの先住に関する主要史・資料の調査研究報告		409～542
		竹内渉	野村義一研究報告書		543～704
2004年2月に発行した報告書を収録したもの。					
		高野啓子	エムシアッの文様の調査 アイヌ女性の手仕事1		705～738
2004年2月に発行した報告書を収録したもの。					

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>あ(アイヌ～)</b>						
2006	1	5		中村和之(研究代表者)	蝦夷錦・青玉の化学分析	3~17
2005年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				佐藤孝雄	恵庭山中におけるシラッチセの民俗考古学的調査(概報)	19~43
2005年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室(編)、蓮池悦子(監修)	金成マツ筆録ユーカラ既刊20編の研究と分析(1)	45~161
2005年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				たきかわ歴史地図研究会	古地図にみる西蝦夷地のアイヌ語地名	163~255
2005年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				北海道ウタリ協会	アイヌ民族の「先住民族」認知への小論 : 主要史・資料収集に基づいて	257~295
				旭川アイヌ語教室	旭川アイヌ語辞書(基礎データ)	297~469
				貝澤美和子	イテセ(ゴザ編み) : シキナ活用の調査研究	471~504
2005年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所	前近代アイヌ民族における交通路の研究(胆振・日高 1)	505~605
2005年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				アイヌ無形文化伝承保存会	トゥイタク(散文説話)の翻訳と類話及び語り手に関する調査研究報告書(その1)	607~680
2005年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				結城庄司研究会	結城庄太郎研究報告書	681~743
2005年2月に発行した報告書を収録したもの。						
2007	1	6		知里真志保を語る会(編)	室蘭沿岸の地名研究(室蘭・登別のアイヌ語地名研究 インカラアン口 眺めましょう)	3~67
2006年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				関口良彦	首都圏におけるアイヌ民族の文化・社会運動 : 日常性の観点から	69~230
2006年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				アスキュー・ディヴィット	法・帝国主義・アイヌ : 「旧土人保護法」と皇民化運動	237~291
				アイヌ民族博物館(編)	トンコリを中心とした西平ウメの伝承及びトンコリの総合的研究報告書	293~388
2006年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				竹内渉(結城庄司研究会)(編)	北海道アイヌ(ウタリ)協会史 研究1報告書	389~504
2006年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室	金成マツ筆録ユーカラ 既刊20編の研究と分析(2)	505~559
2006年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				アイヌ無形文化伝承保存会(編)	トゥイタク(散文説話)の翻訳と類話及び語り手に関する調査研究報告書(その2)	561~621
				千葉伸彦	アイヌ民族芸能の研究 : 特にトンコリと歌舞について	623~729
(1)西平ウメのトンコリの採譜資料(1967年小泉文夫録音資料から)/(2)資料及び歌舞の現状についての調査						
2008	1	7		千葉伸彦(編著)	小泉文夫録音 西平ウメ演奏・解説によるトンコリ演奏法	1~184
2007年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				中野栄夫(編)	浦河地方のアイヌ文化とその継承 : 遠山サキさんの歩んだ道	185~218
2007年2月に発行した報告書(東京アイヌ協会発行、日本異文化研究会協力)を収録したもの。						
				貝澤美和子	平取町内に伝わる薬用植物	219~252
2007年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				山口裕文(研究代表者)	アイヌのひえ酒に関する考古民族植物学研究	253~302
2007年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				林家文書解読ボランティアの会(会長 駒木根恵三)	余市アイヌの歴史的研究 : 林家文書及び考古資料の分析を中心にして	303~338
2007年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				結城庄司研究会(編)	北海道アイヌ(ウタリ)協会史 研究2ノート	339~454

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>あ(アイヌ～)</b>						
2009	3	8	上巻	伊藤勝久	北海道の義務教育初等教育学校におけるアイヌ民族伝統文化理解教育の現状	1～103
2008年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				佐伯智弘	アイヌ語講師の経験から、アイヌ文化・言語・アイデンティティの本来の価値を問う	105～141
				清水香	アイヌ文化の献酒用具について : 捧酒箸を中心に	143～168
				千葉伸彦	1. 白老と阿寒における現代の歌唱についての調査報告 2. 木村チカマハのトンコリ演奏法	169～437
2008年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				布施和洋	アイヌ・エコリズムによる考古学情報の公開と普及	439～512
2008年2月に発行した報告書を収録したもの。						
2009	3	8	下巻	ジェフ・ゲーマン	アイヌ文化指導者・教育者養成に関する研究 : フチ・エカシ世代からの次世代へのメッセージ	1～65
				資料篇		
				東京アイヌ協会	七十年の時を超えて : 戦時下を生きるアイヌたち	67～217
2008年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				小川早苗	アイヌ民族紋様の基本刺繍の研究 : アイヌメノコが伝承するイカラカラ	219～271
2008年2月に発行した報告書を収録したもの。						
				アイヌ文化研究会(代表 笹村一郎)	「東北道アイヌ古謡録音テープ」の内容調査研究	273～377
「例言・凡例」に「本報告は齊藤米太郎氏と齊藤明氏が調査の際に録音した音声資料テープについて、その内容を確認し、編集したもの」と記す。						
				知里真志保を語る会	樺太庁豊原女学校での知里真志保	379～447
2008年2月に発行した報告書(小坂博宣編、知里真志保を語る会発行)を収録したもの。						
				白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室(代表 大須賀るえ子)	金成マツ筆録ユーカーラ既刊20編の研究と分析(3)	449～549
2008年2月に発行した報告書を収録したもの。「はじめに」に、「今年度は続編として、既刊20編のうちの数編の物語の中身についてその特徴、登場人物の系譜、などについて勉強しました」と記す。						
				竹内渉	森久吉研究報告書 「森久吉研究ノート」	551～629
2008年2月に発行した報告書を収録したもの。						
<b>アイヌ語地名研究</b>				<b>アイヌ語地名研究会(発行)、北海道出版企画センター(発売)</b>		
2000	12	3		池田実	地名になった犬の墓・セタノカ	1～2
				秋山秀俊	戦いの地名トミタヒラ	3～4
				榊原正文	アイヌ語地名3題	5～10
				伊藤せいち	雄武町内幌内川のアイヌ語地名	11～28
				榊原正文	静内町のアイヌ語地名1 : 海岸線 布辻川～真沼津川	29～54
				平隆一	浦白町のアイヌ語地名 : 新十津川の待根山とピンネシリ	55～74
				清水清次郎	試論・アイヌ語の祖語は東日本縄文語である(共通的縄文語は磨消縄文土器文化期に成立か)	75～93
				高木崇世芝	享保3年の国絵図系蝦夷図に見る地名	94～104
				切替英雄	頻出アイヌ語地名の形態論的構造	105～142
2001	12	4		扇谷昌康	アイヌ語地名マカウシ覚書	1～7
				高橋基	「旭川」の地名起源考 : (その1)	8～50
				伊藤せいち	紋別市内藻別川のアイヌ語地名	51～69
				池田実	陸地にある群来場・ヘロキカチウシ	70～71
				地蔵慶護	認知されたユウフのソウ	72～73
				清水清次郎	アイヌ語「湾、入江」の意の「ウシ、モイ」が語源と考えられる本州方面の地名研究	74～97
				渡辺隆	消えてしまったアイヌ語の山名	98～118
				高木崇世芝	幕府調査隊作製の蝦夷図に見える地名	119～126
2002	12	5		平隆一	数値地図を使用しての無意根山形態検討	1～3

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名	発行者			
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

あ(アイヌ～)

				平隆一	新十津川町における樺戸川の検討	4
				扇谷昌康	北海道におけるニナラ (ninar)地名 : 特に沙流地方を中心とした	5～28
				池田実	マクンベツとマコマナイを歩く	29～42
				伊藤せいち	湧別町内のアイヌ語地名	43～53
				地蔵慶護	恵庭市ラルマナイ川の滝群	54～58
				渡辺隆	明治の地図に記された北海道の山名	59～78
				清水清次郎	地名から判断されるアイヌ語シト起源地名の分布	79～112
				真尾秀幸	写真と地図で見る東北のモヤ山	113～123
				鳴海日出志	アイヌ語とインドヨーロッパ祖語 : 地名語を中心として	124～131
				高木崇世芝	享保12年『松前西東在郷并蝦夷地所附』に見える地名	132～142
				高橋基	「旭川」の地名起源考 : (その2)	143～169
				中川裕	言語学がアイヌ語地名研究に寄与できること	170～173
				須藤隆仙	函館のアイヌ語地名に関する疑問	174～178
2003	12		6	秋葉實	北大北方資料室蔵の仮題北海道河川図 : 文化14年間宮林蔵図と判断	1～6
				平隆一	松浦武四郎描画記録における空知のアイヌ語山名	7～24
				池田実	漁労と地名 : 「胆振の山立て」から	25～44
				井口利夫	厚岸の「モイワ」について	45～60
				清水清次郎	地形から判断されるアイヌ語起源の地名考	61～76
				伊藤せいち	興部町のアイヌ語地名	77～100
				高木崇世芝	寛政3年『絵図面方角道規地名控』に見える地名	101～108
				渡辺隆	蝦夷地名解のルーツを辿る その3	109～144
				高橋基	「旭川」の地名起源考 : (その3)	145～190
2005	1		7	扇谷昌康	豊頃町の旅来と遠別町の歌越の語源 : 北海道のタップコ地名を追って	1～24
				井口利夫	山田秀三からの宿題 : 室蘭のアイヌ語地名3題	25～48
				池田実	有珠沿岸の地名	49～72
				平隆一	空知におけるuray地名	73～90
				三好勲	樹木名の付くアイヌ語地名「キキン」 : 木禽原野、津別町恩根・本岐	91～114
				伊藤せいち	利尻町のアイヌ語地名	115～134
				清水清次郎	本州の「舞台」地名の語源はアイヌ語プト : 関東地方の舞台地名とその立体地形	135～158
				高木崇世芝	『蝦夷巡覧記』に見える地名	159～170
				渡辺隆	蝦夷地名解のルーツを辿る その2	171～194
				伊藤せいち	[談話室]実在形と推定形	199
2005	12		8	尾崎功	知床半島のアイヌ語地名 : 知床・世界自然遺産登録記念	1～20
				戸辺千春	十勝湖沼群海岸夏、松浦武四郎に習い歩む	21～34
				井口利夫	試論・「モイワ」考 : 全道の地形図に「モイワ」を採す	35～54
				平隆一	空知におけるtapkop地名	55～74
末尾に「参考A 栗山町イタイベツ川の「シユマアンチ」」「参考B 美唄の地名「我路」がアイヌ語「カル(凹凸ある)」由来説の検討」あり。						
				榊原正文	アイヌ語地名三題	75～82
				池田実	胆振の旧道を訪ねる 1	83～104
				伊藤せいち	貫気別川筋のアイヌ語地名	105～117
				横平弘	難読アイヌ語地名を考える : 「弟子屈」と「手師学」を事例として	119～121
				清水清次郎	本州の「舞台」地名の語源はアイヌ語プトか(その2) : 中部地方の舞台地名とその立体地形	123～142
				高木崇世芝	『東蝦夷地屏風』と『東蝦夷地名考』	143～152
				佐藤知己	アイヌ語地名と言語学	153～180

第9回アイヌ語地名研究会(2005年6月9日)における講演に基づくもの。

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>あ(アイヌ～)</b>						
2006	12	9	平隆一	鳴海日出志	[談話室] 言語漫談	181～182
				松浦武四郎文献における空知の「アイヌ古道」：第1報 石狩川右岸 前編	1～20	
				榊原正文	胆振管内海岸域のアイヌ語地名について	21～44
				戸部千春	松浦武四郎弘化二年初航の十勝海岸を歩む	45～58
				池田実	胆振の旧道を訪ねる 2	59～80
				清水清次郎	本州のアイヌ語(起源の)地名研究 : コッ・オウコッ・オコッペ・地名	81～100
				地藏慶護	本州のアイヌ語地名	101～111
				宮崎耕太	樺太・能登呂村のアイヌ語地名	113～125
				三好勲	アイヌ語地名の魅力・その分類(その1) : 海岸・山・川・湿地のアイヌ語地名	127～152
				井口利夫	19世紀の室蘭図に見るアイヌ語地名	153～174
村崎恭子	日本の中のアイヌ語地名 : 北海道をモデルに本州以西を探る	175～193				
2006年6月11日旭川での地名研究大会における講演記録。						
2007	12	10	井口利夫	鳴海日出志	[談話室] 言語漫談 : 「父」の比較言語	195～196
				伊能間宮蝦夷図の石狩一勇弘横断線の地名(1)	1～20	
				秋山秀敏	十勝のアイヌ語地名 1 帯広市	21～33
				宮崎耕太	稚内半島のアイヌ語地名	35～46
				榊原正文	洞爺湖周辺のアイヌ語地名	47～66
				平隆一	松浦武四郎文献における空知の「アイヌ古道」(2)	67～86
				横平弘	難読地名「生田原」と「砂原」	87～90
				三好勲	アイヌ語地名の魅力・その分類(その2) : 交通・地形形状・形容語のアイヌ語地名	91～105
				清水清次郎	和歌山県・高知県のアイヌ語系地名 : クシ・クシル・ルクシ(ルークシー)	107～124
				本田克代、吉田千萬	クナシリ島の地名 : 安政四年佐倉藩士による記録	125～138
2008	12	11	小野有五	高木崇世芝	『西蝦夷地行程』に見える地名	139～144
				渡辺隆	北海道山川番付	145～148
				伊藤せいち	北海道における日本語地名事例	149～162
				鳴海日出志	アイヌ語と日本語の起源 : 若干の地名語から	163～166
				アイヌ語地名の平等な併記に向けて : アイヌ語地名研究の目的と意義	1～10	
				榊原正文	白老川本流域のアイヌ語地名	11～30
				宮崎耕太	稚内 声間(幕別)川流域のアイヌ語地名	31～42
				井口利夫	伊能間宮蝦夷図の石狩勇弘横断ルートの地名(2)	43～64
				吉田千萬、本田克代	続クナシリ島の地名	65～84
				平隆一	松浦武四郎文献における空知の「アイヌ古道」(3)	85～104
2009	12	12	高木崇世芝	渡辺隆	松浦武四郎文献の特色と山の呼称	105～116
				伊藤せいち	南サハリンにおけるsian(本流)とmoan(支流)	117～124
				三好勲	アイヌ語地名の魅力・その分類(3) : 動物・鳥・草・樹木の名のついたアイヌ語地名	125～136
				清水清次郎	熊本県のアイヌ語系地名「田子山」について	137～158
				横平弘	難読現地名「梅花都」と旧地名「潮路」「咄別」	159～164
				鳴海日出志	アイヌ語と日本語の起源……一つの試み	165～173
				伊藤せいち	[談話室] 山の名 ヌプリとシリ	175
				天保国絵図「松前嶋図」に見える地名	1～10	
				井口利夫	伊能間宮蝦夷図の石狩勇弘横断ルートの地名(3)	11～36
				平隆一	松浦武四郎文献における空知の「アイヌ古道」(4)	37～56
榊原正文	小樽内、銭函、樽前 : タオロの概念について	57～76				

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>あ(アイヌ～)</b>						
				宮崎耕太	稚内 増幌川流域のアイヌ語地名	77～82
				横平弘	現有地名「留寿都」と難読旧地名「御卒別」	83～88
				高橋慎	チライのつく地名	89～98
				伊藤せいち	色丹島のアイヌ語地名	99～112
				渡辺隆	幕末・明治の山名探索 資料編(国後・択捉・北海道)	113～130
				清水清次郎	南九州の古代「隼人(ハヤト)語」の必志(ピシ)の語源は和語か、それともアイヌ語系の言葉か?	131～150
				高橋基	旭川の「神楽岡」のアイヌ語地名について (上)	151～172
				伊藤せいち	[談話室] 魚無し川で魚を釣り	173
				高木崇世芝	[談話室] 古地図雑感	174～175
				渡辺隆	[談話室] ソーランはアイヌ語??	175～176
<b>アイヌ文化</b>				<b>アイヌ無形文化伝承保存会</b>		
2000	3		24	沖野慎二	アイヌ民族の楽器 レラスイエフ・バラライキを中心に(講義録)	3～28
					(資料) アイヌ民俗文化財専門職員等研修会・実施内容一覧(平成5年度～平成11年度)	29～34
				中村和之(研究代表者)	山本多助「トバットミ」について	35～46
2000	3		24		事務局から	47～48
2001	3		25	高橋規	『アイヌ民俗文化財調査報告書(アイヌ民俗調査)』全18冊の内容別・伝承者別リストについて	3～46
2001	3		25		事務局から	47～49
2002	1		26	若林和夫	アイヌ文化におけるオオウバユリ処理について : オオウバユリの処理における澱粉とオントウレブアカムの関係	3～16
				浪川健治	《講演録》東北のアイヌ : 近世の北奥社会の様子	17～46
					事務局から	47～49
2003	1		27	鹿戸ヨシ(語り)、高橋規(訳注)	新冠の川を遡上しなくなったサケの話	3～18
特集: アイヌ民族の食料にまつわる口承文芸						
				淵瀬あぎの(語り)、高橋規(訳注)	穂が小さいアワを大切にした夫婦の話	19～36
				澤井トメノ(語り)、高橋規(訳注)	神の御告げで飢饉から逃れた集落の話	37～47
					事務局から	48～50
2004	1		28	川上淳	《講演録》根室地方を中心とするアイヌ民族史資料とその活用	3～28
				高橋規	チセヤイエアシリカラ (家の建て替え)と、それに伴うカムイノミ(神への祈りの儀式)について	29～46
					事務局から	47～49
2005	1		29		葛野辰次郎翁「神々への祈り」(第一～六回)の復刻にあたって	3～4
				葛野辰次郎(伝承者)、藤村久和(解題・訳注)	神々への祈り(第一回～第六回)	5～69
『アイヌ文化』7、9、11、12、13、14号掲載の復刻。						
					事務局から	
2006	3		30	藤村久和	アイヌ民俗文化財調査の方向性	3～23
				藤村久和	民俗技術について	24～50
					事務局から	51～53
2007	3		31	秋野茂樹	アイヌの「送り儀礼」に関する文献資料2(補遺)	3～21
『アイヌ民族博物館研究報告』第6号(1998年)に掲載した論文の補遺。						
				若林和夫	「アイヌ文化のオオウバユリ処理について」再考	23～44
『アイヌ文化』第26号掲載論文に続くもの。						
					追悼 萱野茂理事	45～54
萱野茂の「北海道功労賞」受賞祝賀会における野村義一会長による挨拶などを掲載。						
					事務局から	55～57
2008	3		32		『アイヌ民俗文化財専門職員等研修会講義資料』(平成5年度～19年度)総目録	3～17

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名	発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

あ(アイヌ～)

					『アイヌ文化』(創刊～31号)総目次	18～31
					『アイヌ文化』(創刊～31号)著者別索引	32～33
					事務局から	34～36
<b>アイヌ民族博物館研究報告</b>				<b>アイヌ民族博物館</b>		
2001	6	7	姉帯正樹、村木美幸、安田千夏、南収	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第6報) 白老ウペウ考		1～82
			本田優子	川上まつ子アイヌ語文例集		9～76
			安田千夏	児玉コレクション「キケウシパスイ」について		77～102
2004	3	8	姉帯正樹	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第7報) 白老の食用野性植物考 2		1～22
			姉帯正樹、村木美幸、本田優子、安田千夏	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第8報) ウペウおよびイワニンジン		23～33
			姉帯正樹、本田優子、村木美幸	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第9報) キナライタの“白いも”		35～41
			姉帯正樹、菱川敦之、細川敬三、本田優子、村木美幸、小川広	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第10報) プイの食材としての可能性について		43～47
			姉帯正樹、本田優子、村木美幸	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第11報) トウレブからのデンプン採取と加工処理		49～55
			姉帯正樹、高谷芳明、安田成衣子、土居雅津代、村木美幸、本田優子	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第12報) シケレベキナの形態学的、化学的および薬理学的研究		57～66
			姉帯正樹、南収、本田優子、村木美幸	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第13報) ツルニンジンおよびバアソブの試作栽培と栄養成分分析		67～73
			小川正人	『室蘭毎日新聞』掲載アイヌ関係記事:目録と紹介(1)		75～120
2006	3	9	姉帯正樹、山口敦子、山本愛子	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第14報) ツルニンジンおよびバアソブ塊根の調理法の差異と食味・栄養成分について		1～6
			姉帯正樹、南収	アイヌ民族の伝承有用植物に関する調査研究(第15報) イケマの試作栽培および若芽の栄養成分分析		7～12
			小川正人	『室蘭毎日新聞』掲載アイヌ関係記事:目録と紹介(1)		13～55
<b>アイヌ民族博物館だより</b>				<b>アイヌ民族博物館</b>		
2000	3	44	浅野みどり	衣服の複製について		3～4
			表紙「ルウンペ(木綿衣)」もこの記事に関連するもの。			
			村木美幸	新収蔵資料紹介		5
			安田益穂	屋根に立てる「何か」について		6
				博物館短信		7～8
2000	7	45	秋野茂樹	特別展「スコルト・サーミの世界」を開催して : サーミに関するメモとともに		2～3
			村木美幸	[アイヌ有用植物コーナー]レポート4		4～5
			「ヤブマメ」を取り上げる。			
			野本正博	特別展「馬場・児玉コレクションにみる 北の民・アイヌの世界」より チセの展示製作		6～7
2000	11	46	安田益穂	平成12年度第3回アイヌ文化教室 黒川セツさんのアオバトの神謡		2～4
			秋野茂樹	台湾原住民パイワン族との交流		5～6
				博物館短信		7～8
2001	9	47・48	野本正博	平成13年夏休み企画		1
				復活したサケ儀礼		2～5
				学芸員実習の受入について		6～8
				博物館短信		9～12
2002	9	49・50	中村齊	館長就任にあたって		2
			安田益穂	葛野辰次郎エカシを悼む		3
			安田益穂	コタンノミ(春秋の村祭り)の復活		4～6

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>あ(アイヌ～)</b>						
				野本正博	将来に向けての捕鯨 : 第4回世界捕鯨者協議 会総会報告	7～8
2004	9	51		野本正博 中村齋	博物館短信 フィンランド特別展 : アイヌ祈りの世界 イオル構想とアイヌ民族博物館	9～12 2～3 4
2005	3	52		山丸郁夫 野本正博	行事報告(2002.10～2004.8) 白老民俗芸能保存会・国立劇場公演 特別展「アイヌ 祈りの世界」開催 : サーミ 博物館からタンペレ市博物館	5～7 2 3
2006	12	53		中村齋 北原次郎太 北原次郎太 安田千夏 安田千夏	博物館短信 トロムセの邂逅 : 苫小牧駒澤大学学生の研究旅 行随行 へまた・てまな 企画展「西平ウメとトンコリ」開催・その後 上田トシさんを偲んで 博物館短信	4～5 2 3～4 5～6 7～8 8～12
				<b>アイヌ民族文化研究センターだより</b>	<b>北海道立アイヌ民族文化研究センター</b>	
2000	3	12		古原敏弘 大谷洋一 小川正人	サンクトペテルブルグのアイヌ資料調査 [フィールドからデスクから]ウエベケレ イエ!イエ!(昔話を言って!言って!) [問い合わせあれこれ]「アイヌ人形」について教 えてください	4 3 4
2000	9	13		谷本一之、古原敏弘 澤井春美 大谷洋一	極東のパラートシ・バログ資料調査 [問い合わせあれこれ]アイヌ語の辞典について アイヌ語一口メモ ピリカ	1～2 2～3 4
2001	3	14		甲地利恵 小川正人	ムックリの音 [共同研究から]教育雑誌のアイヌ関係記事調査 [著作紹介]山田秀三	1～2 3 4～5
2001	9	15		小川正人 大谷洋一 甲地利恵	[フィールドからデスクから]現代の「アイヌ書 誌」をめざして [問い合わせあれこれ]アイヌ語で1月から12月 の言い方はありますか [共同研究から]小泉文夫記念資料室のアイヌ音 楽資料の調査・整理・公開	1～2 2 3
2002	3	16		澤井春美 甲地利恵	[著作紹介]知里真志保 [共同研究から]『本別町生活文化誌』の編さんに 参加して [問い合わせあれこれ]アイヌの伝統的な踊りや 歌を、実際に見たり聴いたりすることはできま すか?	4～5 1～2 2
2002	9	17		古原敏弘 小川正人	[著作紹介]金田一京助 [共同研究から]ロシアのアイヌ調査 [問い合わせあれこれ]アイヌの人口の移りかわ りを知ることはいくらですか?	3 1～2 3
2003	3	18		本田優子 小川正人 甲地利恵	[著作紹介]久保寺逸彦 [フィールドからデスクから]アットウシの歴史 を考える [研究課題紹介]「学校と地域の歴史を通した近 代アイヌ史の調査研究」について [こんなときは]アイヌ音楽について調べる	4～5 1～2 2～3 4～5
2003	9	19		佐藤知己 古原敏弘、小川正人	[フィールドからデスクから]入門書紹介 : 知里真志保『アイヌ語入門』 [研究課題紹介]「ピリカ会」関係資料の調査研 究について	1～2 2～3
2004	3	20		大谷洋一 古原敏弘 小川正人	[こんなときは]ヒグマが登場する物語を知りたい 「久保寺逸彦文庫」の写真資料 [こんなときは]人物の足跡や関係する資料につ いて知りたい	4～5 1～2 2～3

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>あ(アイヌ～)</b>						
				大谷洋一	カムイの声を聴くということ	4～5
2004	9				企画展 アイヌ語地名を歩く : 山田秀三の地名研究から	1
		21		小川正人	アイヌ史関係新聞記事の調査研究 : 胆振・日高地方	3～4
2005	3	22		小川正人	[こんなときは]アイヌ関係の昔の法令を調べたい	4
				甲地利恵	[研究課題紹介]旭川に伝承されるアイヌの座り歌・踊り歌についての調査研究	5
2005	9	23		小川正人	「アイヌ文献目録 2003」について	3
2006	3	24		古原敏弘	公開している資料について (1) 音声・映像資料	4～5
					[共同研究から]「北海道内の主要アイヌ資料の再検討」について	3
2006	9	25		澤井春美	[公開資料の紹介]文書・写真資料/平成18年度から公開する資料について	4～5
					[研究課題紹介]十勝地方のアイヌ語の調査研究(基礎語彙)について	2
					『ボン カンピソシ』の写真から]1 サハリンの木綿衣	3
					[公開資料の紹介]平成18年度に新たに公開した資料	4～5
2007	3	26			[山田秀三文庫の資料から]浦河町の「チノミシリ」	1
					『ボン カンピソシ』の写真から]2 復活した登別の儀式	2
				甲地利恵	[フィールドからデスクから]「ピリカピリカ」はアイヌの歌?	3
					平成19年度から公開する資料について	4～5
2007	9	27			[山田秀三文庫の資料から]伊達市の「ワッカオイ」	1
					『ボン カンピソシ』の写真から]3 噴火湾の木綿衣	2
				甲地利恵	[フィールドからデスクから]「サヨンの歌」とアイヌ語と	3
					[公開している資料から]山田秀三文庫音声資料「沙流川下流域の地名調査」	4～5
<b>アイヌ</b>				<b>人権教育啓発推進センター</b>		
2008	7	206			アイヌの人々は先住民族 国会決議採択	5
2008	9	208		常本輝樹	「アイヌ民族国会決議」採択に思う	9～10
2008	12	211			アイヌ文化フェスティバル開催	5
2009	4	215			アイヌ文化とふれあい人権を考えるつどい	12～14
2009	9	220			アイヌ政策・有識者懇談会が報告書を提出	8
					「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」報告書のポイント	9～12
2009	10	221		OKI, 横田洋三、アイヌ編集員(司会)	対談	1～5
<b>月刊アイワード [Monthly I WORD]</b>				<b>アイワード</b>		
2001	8	242	(奥)		(紹介-ほっかいどうの本)アイヌ・モシリの風チカップ美恵子著 日本放送協会発行	6～7
2002	1	247	(阿)		(紹介-ほっかいどうの本)カムイ義経 平取町義経を語る会・編 平取町観光協会 発行	6～7
2002	6	252			北の記念碑、さきがけを訪ねて 18 知里幸恵文学碑 アイヌ神謡をアイヌ自身で初めて翻訳	6～7
2002	7	253	(三)		(紹介-ほっかいどうの本)「アイヌ・モシリ」山本多助作品集 語彙集付 浦田遊編 釧路アイヌ語の会発行	7
2002	10	256			(紹介-ほっかいどうの本)アイヌ神謡集 炉辺叢書 復刻版 知里幸恵編 知里真志保を語る会発行	6～7
2002	11	269			(紹介-ほっかいどうの本)知里幸恵「アイヌ神謡集」への道 北海道文学館編 『知里幸恵「アイヌ神謡集」への道』刊行委員会発行	7

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>あ(あえ～)</b>							
<b>アエラ</b>					<b>朝日新聞社</b>		
2001	3	14	12	690	天野一哉(文と写真)	東京で生きるアイヌ 文化の伝承図る拠点を開設	
2005	7	18	38	939		[表紙の人]俳優 宇梶剛士/『素敵』を演じたのは初めてなんですよ	11
表紙写真とも。							
<b>青</b>					<b>「青」の会</b>		
2000	4			2	鳴海日出志	アイヌ祖語とインド・ヨーロッパ祖語(2)ー共通語源を探るー	114
2000	11			3	鳴海日出志	アイヌ祖語とインド・ヨーロッパ祖語(3)ー共通語源を探るー	151
2001	7			4	鳴海日出志	アイヌ祖語・インドヨーロッパ祖語・日本語(4)ー共通語幹を探るー	127
2001	7			4	川島健二 鳴海日出志	畏き人・柳田国男との対話 アイヌ祖語とインド・ヨーロッパ祖語(4)ー共通語源を探るー	102～106 127
2002	7			5	鳴海日出志	アイヌ祖語とインド・ヨーロッパ祖語(5)ー共通語源を探るー	26～28
2002	7			5	鳴海日出志	アイヌ祖語・印欧祖語・日本語(5)ー共通語幹を探るー	26～28
<b>青森県史研究</b>					<b>青森県</b>		
2000	11			5	小口雅史	エミシからエゾへ : 北の防御性集落の時代再論	1～23
2002	2			6	中村和之(講演要旨)	一三～一六世紀における中国王朝のアムールラド支配とアイヌ	167～168
2002	12			7	熊谷公男(講演要旨)	古代史上の津軽の蝦夷	140
2003	12			8	成田敏	青森県下北地方の曲物細工	95～100
2003	12			8	関根達人、柴正敏	蝦夷錦の品質と年代ー赤地牡丹文蝦夷錦の噴石を中心にー	119～101
<b>青森県立郷土館だより</b>					<b>青森県立郷土館</b>		
2004	7	35	2	130	木村高	[ようこそギャラリートークへ]北からの波及文化	
2005	9	36	3	134		(講演要旨)佐々木利和「笹森儀助 北へのまなざし」	2
<b>赤れんが</b>					<b>北海道立文書館</b>		
2004	1			38	熊崎農夫博	[わが町の古文書]〈厚岸町〉太田紋助史料について	4
2004	10			39	谷本晃久 小林真人	濃やかな近世アイヌ社会像を知るために 山丹交易	8 9
2006	11			42	伊藤聡	[古文書あれこれ]善兵衛・不屈者につき手討に致し候 : アイヌをめぐる番人と役人の綱引き	4～5
<b>広報あかん</b>					<b>阿寒町</b>		
2002	11			380		第4回国際口琴大会で弟子さん・山本さん演奏 伝説に触れる、神秘的な第53回まりも祭り	14 14～15
2003	1			382		変わる学校VI Special version 伝統ある技術と文化が、ふるさとを愛する心と誇りを育む	7
2005	3			408		ユーカラ劇 天駆ける英雄の物語	7
<b>秋田史学</b>					<b>秋田大学史学会</b>		
2001	3			47	今泉隆雄	古代東北辺境の支配構造	1～18
<b>秋田地名研究年報</b>					<b>秋田地名研究会</b>		
2000	6			16	新谷正隆	縄文時代の秋田の地名語彙	28～37
2001	6			17	松野満	東由利の地名を考える	41～45
2002	6			18	柳沢兌衛 深田新一郎	鹿角の古地名「毛馬内」(稿)(その一) 見内のことなど アイヌ語地名から思う	11～17 34～37
2003	7			19	柳沢兌衛 深田新一郎	鹿角の古地名「毛馬内」(稿)(その二) 畑と北上川と原野 アテルイ大勝の周辺思考	12～16 17～20
2004	9			20	新谷正隆	西木村のアイヌ語地名	19～27

第8号(1992年)掲載の旧稿に加筆したものを。

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>あ(あえ～)</b>						
2005	9	21		新谷正隆	阿仁町のアイヌ語地名	20～28
2005	9	20		新谷正隆	西木村のアイヌ語地名	
『秋田地名研究年報』8号(1992年)掲載の論考に加筆したもの。						
2006	12	22		新谷正隆 大場久太郎	(旧)森吉町のアイヌ語地名 わすれられた民俗語彙 : 地名に残る微かな 痕跡	12～19 20～32
2008	12	24		木村清幸 渡部耕輝 渡部耕輝	浅内はアイヌ語地名か : 地域の古代史から 検証する 古代の能代を探る(1) 先住民はだれか 古代の能代を探る(2) アイヌは先住民ではな い	1～8 9～17 18～23
<b>秋田の地名</b>				<b>秋田地名研究会</b>		
2004	5	38		新谷正隆	北秋田郡比内町のアイヌ語系地名	2～3
<b>浅井学園大学短期大学部研究紀要</b>				<b>浅井学園大学短期大学部</b>		
2007	3	45		泉山幸代	北方民族の服飾からイメージしたドレスⅡ : アイヌの衣服文様から	113～114
<b>旭川研究&lt;今と昔&gt;</b>				<b>旭川市</b>		
2000	3	16		大塚一美	熊送り最初の歌舞"オフタテシク"考	41～51
2000	7	17		瀬川拓郎	上川アイヌの地域集団とその性格(二) -地域 集団と親族関係-	1～22
2000	7	19		大塚一美 原田一典 大塚一美	知里幸恵と金田一京助 -「この砂赤い赤い(ル ビ:タン オタ フレ フレ)をめぐって-	1～10 72
					[余言余話]熊送りの熊と飼育の主婦	72
					近文に伝わっていた涕泣歌(ルビ:シノッチャ) をめぐって	73～84
2002	1	19		大塚一美	知里幸恵と金田一京助 -「この砂赤い赤い(ル ビ:タン オタ フレ フレ)をめぐって-	1～10
2003	2	20		原田一典 谷本晃久	[余言余話]百年前のアイヌ伝統文化上川保存案 [余言余話]「農学校教授某氏」とは誰か? : 新渡戸稲造と近文給与予定地	47 68
<b>旭川市博物館研究報告</b>				<b>旭川市博物館</b>		
2000	3	6		青柳信克	[企画展レビュー]"燃る""編む""織る"アイヌ女 性の手仕事と自然利用	6
2001	3	7		瀬川拓郎 魚井一由、廣田徹	上川盆地におけるサケの生態と漁法 アイヌ語地名由来考 : 札幌・函館・松前・旭川	1～15 17～21
2002	3	8		旭川市博物館・東海大学文学 部考古学研究室 瀬川拓郎 青柳信克 魚井一由、廣田徹	上川アイヌの地域集団とチャシ : 旭川市立 岩山チャシ遺跡発掘調査報告 富のヒエラルヒーとしてのサケ産卵床 Information about Japanese Ainu Collections	1～12 13～23 25～34
2003	3	9		魚井一由、廣田徹	門野トサ姫のメノコユーカー	35～40
2004	3	10		魚井一由、廣田徹	イフンケとメノコユーカー	1～8
2005	3	11		魚井一由	アイヌ語数詞体系に関する考察 : ドプロトゥ ヴォールスキーのアイヌ語辞典を基盤にして	1～20
2006	3	12		魚井一由	知里幸恵編アイヌ神謡集の中の『蛙が自ら歌っ た謡』への一私考	1～8
2007	3	13		魚井一由	旭川採集アイヌ語名詞集	1～12
					旭川採集アイヌ語名詞集	1～11
<b>こうほう旭川市民</b>				<b>旭川市生活交流部広聴広報課</b>		
2000	7	691			ふるさと・旭川2000年記念事業 アイヌ伝統文 化事業	6
2001	7	703		(北門中学校郷土史研究部)	こども紹介 ぼくとわたしがレポーター①楽し かったトンコリ作り。今年は丸木舟作りに挑戦だ。	6
2002	3	711			まちに息づく・アイヌ伝承	4～7
2002	4	712			[みんなのコーナー]	13
2003	2	722			声も心も美しい幸恵さん	6

特集「生誕100年を迎える知里幸恵」内のコラム。

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>あ(あえ～)</b>						
					北門中学校の取組み	7
特集「生誕100年を迎える知里幸恵」内のコラム。						
2003	3		723		[みんなのコーナー]	11
前号の特集に関する記事あり。						
		<b>月刊アサヒグラフ パーソン</b>		<b>朝日新聞社</b>		
2002	12		20	村井重俊(聞き手)、豊間根功智(写真)	アイヌ文化を見続けるデザイナー 貝澤珠美さん	87～90
		<b>朝日クロニクル 週刊20世紀 1992 平成4年</b>		<b>朝日新聞社</b>		
2000	10		89		アイヌの長老逝く	18
		<b>あさひばし こうほう旭川市民</b>		<b>旭川市生活交流部広聴広報課</b>		
2007	10		778		「コロボックル コタン」って何？	5
特集「まちの不思議を探ってみよう」西神楽						
2008	10		790		生まれ変わった博物館がおもしろい!	2～5
2009	2		794		[この指、とーまれ!]43 紙粘土で作ろう! おしゃれなお守りタマサイ	9
		<b>アジア文化史研究</b>		<b>東北学院大学大学院文学研究科</b>		
2001	3		1	長澤政之	場所請負人とアイヌ民族 : 幕末期、藤野喜兵衛の子モロ場所の検討を通じて	35～38
修士論文要旨						
2002	3		2	長澤政之 東俊佑	場所請負制下のアイヌの狩猟 : 子モロアイヌの狩猟の歴史的展開過程の分析を通じて	1～30 (縦組)
					近世後期カラフト探検と北東アジア情報 : 宮林蔵の探検とその関係史料の再評価に向けて	1～18 (横組)
2003	3		3	東俊佑	サハリン島をさす呼称 : 「カラフト」の語源に関する覚書	19～37
2004	3		4	長澤政之 武田亜弓	場所請負制崩壊期、子モロ場所の漁業生産と和 人労働者の動向	1～27
修士論文要旨						
				瀬戸洋一	近代アイヌ民族の「復権」運動 : 十勝アイヌ 旭明社の創立とその歴史的背景	64～65
修士論文要旨						
2006	3		6	黒岩聡奈	明治初期における博覧会から見たアイヌの生活	39～66
2007	3		7	渡會歩	現在のアイヌ民族をめぐる諸問題とその歴史的 背景 : 主に1954年以降を中心に	53～91
2008	3		8	本間はるか	幕末における北東アジア諸民族の交流について : 主に「サンタン人」とカラフトアイヌを 中心に	11～46
				本間はるか	近世後期における北東アジア諸民族の交流について : 主に「サンタン」人とカラフトアイヌ を中心に	52～53
修士論文要旨						
		<b>アジア遊学</b>		<b>勉誠出版</b>		
2008	2		107	熊木俊明	中世のサハリン	98～107
		<b>紫陽花</b>		<b>女流書作家集団</b>		
2008	8		61	中本ムツ子	ムツ子のはなし -アイヌの話-	2～3
		<b>明日へ</b>		<b>東京人権啓発企業連絡会広報委員会</b>		
2004	11		31		[人権資料館探訪]アイヌ文化交流センター	20～21
		<b>あしなか</b>		<b>山村民俗の会</b>		
2005	8		271	杉崎満寿雄	菅江真澄が見た北の山村・その1 : 糧を得る 風景	40～45
「稗を搗くアイヌ」あり。						
		<b>明日を拓く</b>		<b>東日本部落解放研究所</b>		
2009	3	35	5	80 吉田勉	「先住民族の現在」が問いかけるもの : 特集 「先住民族の現在-今をどう語るか」にあたって	4～10
特集:先住民族の現在 今をどう語るか						

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

あ(あえ～)

				編集委員会、友常勉	用語について	15～16
				友常勉(聞き手)	アイヌ民族として生まれて : 多原香里さん	17～31
				千本秀樹(聞き手)	アイヌ民族がきちとした歩みをはじめられるかどうか : 長谷川修さんに聞く	32～57
<b>アソシエ</b>				<b>御茶の水書房</b>		
2006	6		17	川元祥一	ナショナリズムの弁証法 : 列島文化(アイヌ・沖縄・和人)構築へ	
<b>新しい歴史学のために</b>				<b>京都民科歴史部会</b>		
2000	11		240	坂江渉	岩崎奈緒子氏「近世蝦夷地の漁場利用 -幕末のニシベツ川をめぐって-」	31～32
2004	10		255	児島正弥	近世初期のエゾ認識 : 北方地理認識からのアプローチ	1～13
小特集:北方史研究						
				秦野裕介	津軽安東氏における「長髓百代後胤」観の形成について	14～27
2005	6		257	平出真宣	児島正弥「近世初期のエゾ認識 -北方地理認識からのアプローチ」	26
<b>あっけし</b>				<b>厚岸町</b>		
2002	1		655	高嶋弘志	厚岸歴史秘話 9 太田紋助と屯田兵	16
<b>アフルパル通信</b>				<b>書肆吉成</b>		
2007	4		i	吉増剛造	Poil=ポワル=毛 アフルパル	2～5
				吉成秀夫	アフルパルの縁に立つ	6～9
				柴田智之	「あの世への入り口」という場所に出かけた。	10～11
				黒川紘行	地面に耳をあてる	12～13
				筒井貴子	イザベラ・バードの描く北海道	14
2008	11		6	露口啓二	トークイベント抄録 アフルパルex.01	12～15
<b>あらしやま通信</b>				<b>旭川市博物館</b>		
2002	7		40	鹿田川見	恋におちた雷の神さま	1
				瀬川拓郎	嵐山とアイヌ文化の成り立ち(15)	2
				青柳信克	コルハム(ふきの葉)	2
<b>あらやま</b>				<b>相川公司</b>		
2005	6		25	相川公司	創作アイヌ民話 カムイの子どもたち・総集編	2～99
初出は『あらやま』2～17号。末尾に「初出一覧」掲載あり。						
				相川公司	アイヌを滅びの民族とした児童文学は滅びてもいい : みたび『コタンの口笛』(作・石森延男)徹底批判	100～111
<b>Aru:k(あるく)</b>				<b>札幌大学埋蔵文化財展示室</b>		
2007	10		2	三谷智広	動物骨にみられる人為的痕跡の観察 : 近世アイヌ文化期にみる動物利用	53～61
<b>アルドゥ ウィルタ協会会報</b>				<b>ウィルタ協会</b>		
2004	4		25	田中了	小池喜孝さんのこと	1～6
特集:追悼小池喜孝氏						
				弦巻宏史	小池先生を偲ぶ : 民衆史運動から学んだこと	6～8
				佐藤毅	人生の師	8～11
2005	3		26			
ウィルタ協会二〇〇四年総会を開催しました/資料紹介 葛西猛千代著「ギリヤーク人 オロチョン人見聞記」(青柳文吉)						
2005	5		27			
サハリン少数民族遺族会代表 小泉総理に戦後補償等四項目を要請/樺太アイヌの人骨13体 札幌大解剖学教室で新たに判明/資料紹介 葛西猛千代著「ギリヤーク人 オロチョン人見聞記」(青柳文吉)						

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

い

<b>イーストサイド</b>				<b>バルク・カンパニー</b>		
2000	4		1	米倉麻子	「アイヌモシリに暮らす」 出会い	40～41
2000	10		2	米倉麻子	「アイヌモシリに暮らす」 こころ優しき人	36～37
2001	11		4	遠藤友二	本の小径	60～61
2004	5		9	齊藤敬子	まちむら探訪記 第3回 音威子府「北海道命名の村」	25～27
2004	10		10	齊藤	[北海道の本の紹介]会いたいけれど遭いたくないヒグマの手引書 クマに会ったらどうするか 姉崎等・片山龍峯著	43
				齊藤敬子	[話のクリップ]コトバを知ろうとする意識	44
				山本敬介	二風谷の和人がつくるアイヌ民具の「高野民芸」	76～78
2005	4		11	齊藤敬子	アイヌの自習時間 1時間目 さまよえるアイヌ文学	74～75
2006	5		13	山本純郎	長靴の森Vol.3 銀のしずく 降る降る まわり	32～33
				郷右近好古	アイヌ古道を探す 1 : コタンとコタンを結ぶ最短ルート	67
2007	10		16	郷右近好古	アイヌ古道を探す 3 : ワイズユースとイオル的構想 その2	67
<b>家の光</b>				<b>家の光協会</b>		
2000	12	76	12	境朗子・文、甘利眞一・撮影	アイヌの娘の旅 長谷川由希さん	75～79
<b>いしかり暦</b>				<b>石狩市郷土研究会</b>		
2001	3		14	石川秀子	いしかり点描・蝦夷錦	16～18
2005	3		18		石狩町沿革史 石狩町役場編纂 明治四十二年五月	28～41
2007	3		20	村山家文書を読む会	村山家文書解読 「石狩場所蝦夷人撫育筋書上」	1～9
<b>月刊イズム</b>				<b>情報企画</b>		
2006	9	17	9	194	アイヌの食が注目されている 北海道再生を観光で考える	18～19
2009	8	20	8	1	秋山記念生命科学振興財団ネットワーク形成事業 「新しい公共」の担い手づくり Vol.8 世界先住民族ネットワークAINU各国の先住民族と連帯	14～15
<b>itahcara(イタハチャラ)</b>				<b>『itahcara』創刊号編集事務局</b>		
2004	7		3	北原次郎太	アイヌ興行団に関する一資料 : 附・『歴史写真』記事目録	1～18
				田村将人	[史料紹介]樺太庁の「樺太土人保護事業資金支出要項」について	19～21
				中島千鶴	明治時代作成のアイヌの倉模型について	22～27
				太田カムソッカイ	雨川ウレのトゥイタク	28～32
				楠本克子(和訳、解題)	資料報告 上田とし氏のウウェベケレ ウパシチロンヌフの兄弟の話	33～42
				高橋靖以	アイヌ語十勝方言の動詞emesu「上る」について	43～44
				田村雅史、北原次郎太	文献におけるアイヌ語のカタカナ表記	45～50
2004	12		4	篠原智花	トンコリの演奏にみられる前世代の演奏者との共通点について	1～10
				楠本克子	[コラム]施設紹介 札幌市アイヌ交流センター サッポロピリカコタン	10
				丹菊逸治	ニヴフ語東方言(サハリン方言)の使役と受身について	11～17
				高橋靖以	アイヌ語カラフト東海岸北部方言の親族名称に関する一考察	18～19
				山崎幸治	[コラム]マライニ教授の視線	19
				楠本克子(和訳、解題)	資料報告 上田とし氏のウウェベケレ 狼の襲撃から危うく難を逃れた女の話	20～23
				北原次郎太	[コラム]最近の調査から(1) マンロー館の資料	23

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>い</b>							
					田村雅史	連動詞と名詞抱合に使われる再帰接頭辞si- と yay-	24~28
					北原次郎太	[コラム]最近の調査から(2) 宗谷のトンコリ	28
<b>遺伝</b>				<b>エヌ・ディー・エス</b>			
2007	3	61	2	41	斎藤成也	遺伝子データから日本列島人の成立を考える	34~38
特集:日本人の起源 : 日本列島住民の成立と変遷							
					篠田謙一	ミトコンドリアDNAが解明する日本人の起源	39~43
					百々幸雄	縄文人とアイヌは人種の孤島か?	50~54
					米田稯	北海道に暮らした人びとの食生活 : 北海道の縄縄文化と本州の弥生文化	55~60
<b>伊能忠敬研究</b>				<b>伊能忠敬研究会</b>			
2005	8			41	佐久間達夫	伊能忠敬がメモしたアイヌ語	66
<b>月刊いぶり</b>				<b>いぶり政経研究所</b>			
2004	2			1		コタンの風景1 アイヌ文化の今 ユーカラを伝え続ける知里家の女性たち	34
2004	3			2		コタンの風景2 アイヌ文化の今 白老アイヌ民族博物館チセ(家)改築工事	50~51
						ユーカラを口ずさんで…1 大きな龍の耳と耳の間にいた	51
2004	4			3		コタンの風景3 アイヌ文化の今 衣服におりこまれたアイヌ民族の心	52~53
						ユーカラを口ずさんで…2	53
2004	5			4		コタンの風景4 アイヌ文化の今 トンコリの音	48~49
						ユーカラを口ずさんで…4(ママ)	49
2004	6			5		ユーカラを口ずさんで…5	51
						コタンの風景5 アイヌ文化の今 チセノミ・新築祝い	50~51
2004	8			7		「アイヌに関する教育の充実を求めて」 白老町教委アイヌ民族博物館と教職員たちの熱い夏!!	82~85
2004	11			10		アイヌ民族のスケール感あらわに : 文献から読み解く真実のアイヌ民族の姿 道都大学経営学部教授 田端宏さん	30~32
<b>岩手県立博物館研究報告</b>				<b>岩手県文化振興事業団</b>			
2002	3			19	女鹿潤哉	「えみし」成立過程についての研究 : 『「えみし」『えぞ』とその系統』展示にむけての一視点	9~53
2003	3			20	女鹿潤哉	東北北半域の地域性と「えみし」社会	97~122
2006	3			23	女鹿潤哉	下北アイヌ社会の成立過程についての研究	115~158
<b>岩手考古学</b>				<b>岩手考古学会</b>			
2000	3			12	女鹿潤哉	5世紀後半の倭国エミシ認識と在地集団「えみし」	23~40
2001	5			13	女鹿潤哉	東北北半域における弥生時代終末期と古墳時代前期	23~40
<b>年報いわみざわ</b>				<b>北海道教育大学岩見沢校</b>			
2005	2			26	百瀬響、谷中章浩	熊害報道における対アイヌ観 : 開拓使期の函館新聞を例に	45~56
2006	2			27	百瀬響、谷中章浩	1879年の独逸皇族による北海道巡覧とアイヌ : 『函館新聞』による報道を中心に	29~40
<b>インテルノス</b>				<b>三原あい(発行責任者)</b>			
2004	7			59	菊組有志一同	知里真志保先生の思い出	27~43
<b>インパクション</b>				<b>インパクト出版会</b>			
2002	5			130	大脇徳芳	アイヌ民族共有財産裁判の経過と課題	185~188
2002	7			131	越田清和	世界大で共生と正義を捉え直すために : 『<共生>への触発-脱植民地化・多文化・倫理をめぐって』(花崎皋平著)	169~173
2004	1			139	小林純子	他者との関係性を見つめ直す : 『アイヌが生きる河』(北川大著)	210~211

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
い						
2004	3	140		秋辺得平（インタビュー） 越田清和	失った一〇〇年を問う アイヌ民族共有財産裁判の意義	30～37
				計良光範	アイヌ民族にとって先住民の十年とは何だったのか	38～41
				貝原浩・えと文	佐藤タツエさん悼	179
2004	7	142		越田清和	アイヌ民族共有裁判、札幌高裁判決	166,168～171
2004	12	144		越田清和	パートナーシップとは何か : 『グローバル時代の先住民族—「先住民族の一〇年」とは何だったのか』(上村英明監修 藤田美恵子・中野憲志編)	174,176～177
2008	1	161		小林純子	「先住民族の権利に関する国連宣言」採択 その意義	1～3
2008	10	165		太田昌国	「60年代」再考 —精神のリレーのために 第3回 植民地主義と先住民族 : 堀田善衛の仕事を媒介に	130～144
2008	10	165		越田清和	やさしいことばで描く回復すべき世界 : 『北の彩時記 アイヌの世界へ』(計良光範著)	150～152
2009	2	167		秋辺得平	いまアイヌ民族は何をすべきか : 自己認識と行動	12～16
特集:先住民族アイヌ						
				阿部ユボ	今すぐにでもできることはある アイヌ民族の要求と先住権	17～21
				島崎直美	権利回復とは自分が声をあげること	22～25
				能登千織	アイヌとして生きること、アイヌ文化を受け継ぐこと	26～31
				長谷川修	必要なのは未来を見据えた議論	32～39
				結城幸司	われらが明日を創る 与えてもらう運動から発信型の運動へ	40～45
				越田清和	土地は商品ではない : 先住民族としてのアイヌ民族のたたかい	46～57
					資料・先住民族の権利に関する国際連合宣言(目次)	58～59
					資料・アイヌ民族の権利回復をめぐる動き	59～60
				上村英明	日本政府と日本社会が負うべき義務 : アイヌ民族と先住民族の権利	62～73
				武者小路公秀	先住民族の権利 : 反植民地主義の視点から	74～85
				喜久里康子	琉球・沖縄民族と先住権	86～91
2009	10	171		越田清和	「多文化・多民族共生」と先住民族アイヌ 「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」報告書をめぐって	5～8

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

う

ウイングSapporo			ウイング出版		
2007	5	39 多原香里(聞き手:田中早草)	<インタビュー>アイヌ民族の女性として	弱者	10~13
			の思いを国政に届けたい		
広報うらほろ			浦幌町役場		
2006	12	656	[まちのわだい]アイヌ文化伝承工芸品展	心を	9
			こめた作品を展示		
2007	3	659	博物館探訪 行器(ほかい)		32
2007	8	664	博物館探訪 首飾りと耳飾り		28
浦幌町立博物館紀要			浦幌町律博物館		
2001	2	1 後藤秀彦	伝承及び古文書などに見るチャシと河川の関係		35~41
			について		
2002	3	2 後藤秀彦	近世文書に見るトカチ・ヒロウ・ヲホツナイ		3~24
2003	3	3 後藤秀彦	トカチの登場とトカチ場所の成立		7~15
2006	3	6 戸部千春	浦幌町の海岸を、伊能忠敬や松浦武四郎を追想		29~44
			して歩む		
2009	3	9 後藤秀彦	藩政期におけるトカチ(十勝)とヲホツナイ(大津)		9~16
			: 絵図などから見た両河口集落の一断面図		
季刊 運動<経験>			軌跡社(発行) 社会評論社(発売)		
2008	12	27 越田清和	先住民族の権利は非軍事化を求める	: 先住	82~86
			権サポート基金にご協力を		

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

え

		<b>栄養学雑誌</b>			<b>日本栄養改善学会</b>		
2004	10	62	5		塩崎美保、石井智美	アイヌ民族が伝承するオオウバユリとその栄養成分	303～306
		<b>週刊エコノミスト</b>			<b>毎日新聞社</b>		
2006	11	84	60	3860	稲留正英、佐藤正生、濱村眞哉、柳沼倫彦	地域再生の仕掛け人 観光カリスマ100人/現地ルポ 各地で輝く観光振興の「達人」たち 1/北海道・阿寒湖温泉/アイヌ文化で「再生請負人」	18～19
2008	9	86	48	3984	常本照樹	[学者が斬る]シリーズ375 共生社会とアイヌの権利回復	54～57
		<b>えちぜんわかさ</b>			<b>福井民俗の会</b>		
2003	8			18	高岡由香	新冠町におけるアイヌの儀礼 : イチャルパについて	24～31
		<b>恵庭市郷土資料館年報</b>			<b>恵庭市郷土資料館</b>		
2006	9			12	佐々木稔、森秀之	アイヌ文化期の蝦夷刀三口の鍛造法	16～25
2007	6			13		[検証報告]林田・漁太地区における番屋・船着場の範囲特定	
		<b>恵庭市民文芸</b>			<b>恵庭市民文芸の会</b>		
2008	11			34	国府田稔	〔創作〕十勝カムイの末裔	99～115
2009	11			35	村上利雄	雷電・積丹と義経伝説	105～119
		<b>えべつの歴史</b>			<b>江別市総務部(市史・行政資料担当)</b>		
2007	3			9	中村齋 須藤陸	アイヌ民族の大地・イベチマタ 江別におけるキリスト教布教のあゆみ	19～22 56～76
		<b>江別大学</b>			<b>江別文学の会</b>		
2002	1			62	二宮陸雄	〔創作〕流霧	106～126

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>お</b>							
<b>黄檗文華</b>				<b>黄檗山萬福寺文華殿(京都府)</b>			
2004	3	123			堀田清、江口正尊	アイヌ民族文化における黄柏について	シ 386~383
					北美智子	野山の植物を食材に	キハダの実(シケレペ)について 382~372
<b>大阪大学 日本学報</b>				<b>大阪大学大学院文学研究科日本学研究室</b>			
2004	3	23			中村生雄	<古代>の表象	喜田貞吉の古代史研究と東北 1~15 (縦組)
2005	3	24			鈴木景	「濃淡」の内意	喜田貞吉の民族論における「日本民族の成立」 107~124 (横組)
					石川浩士	「アイヌ語復興運動」を考える	『チサンケソソコ』の復刊によせて 125~136 (横組)
<b>大阪府立近つ飛鳥博物館館報</b>				<b>大阪府立近つ飛鳥博物館</b>			
2005	3	9			黒須亜希子	アイヌの木製容器について	清野謙次コレクションより 11~24
<b>大阪歴史博物館研究紀要</b>				<b>大阪文化財協会</b>			
2006	10	5			中野朋子	錦絵に描かれたアットウシ	大坂へもたらされたアイヌ風俗 1~21
<b>大津十勝川研究</b>				<b>大津・十勝川学会</b>			
2004	3	2			阿部富貴男	渋江長伯著『東游奇勝』について	46~41 (縦組み)
2005	3	3			岩崎文夫、阿部富喜男	[史料紹介]白浜忠吉著『とくさの思ひ出』	60~55 (縦組み)
「旧土人アイヌと和人の関係」あり。							
2006	3	4			小助川勝義 阿部富喜男	蝦夷文化考古館と大津	掛軸の謎を追って 8~21
						[史料紹介]安政五戊午年八月二十八日 御組頭、奥村季五郎様御廻浦之節当詰合所江差上候トカチ御場所書上留	60~45 (縦組)
<b>オール読物</b>				<b>文藝春秋</b>			
2001	12	56	12		宇江佐真理	(創作)夷酋列像	378~421
2003	6	58	6		宇江佐真理	(創作)シクシピリカ	62~98
歴史小説で描く日本人:最上徳内(画:深井国)							
<b>おくやまのしょう</b>				<b>中条町郷土研究会(新潟県)</b>			
2002	3	27			木村恬文	古代からの鈴	金田一京助様 74~81
2006	3	31			片野徳蔵	地名考 「胎内川」はアイヌ語でない	36~42
<b>おけと文連</b>				<b>置戸町文化連盟</b>			
2003	3	32			中井正	アイヌのヨシ	4~7
<b>Oshimanography(オシマノグラフィ)</b>				<b>自然史研究ネットワーク2000「みなみ北海道」</b>			
2006	11	13			長坂晶子	[書評] アイヌ・エコシステムの考古学	瀬川 拓郎著 37~38
<b>小樽市博物館紀要</b>				<b>小樽市博物館</b>			
2001	12	15			土屋周三・廣谷行厚	小樽市博物館紀要第7号1-18頁(1994年3月31日発行)に掲載された『小樽市の「地名」調査概報-1(アイヌ語に由来する地名)』の著者等に関する訂正	1~2
2004	3				石川直章	動物意匠をもつ土器	北海道岩内郡共和町・岩内町出土土器実測図の報告 47~53
2006	3	19			野崎宏子 石川直章	蝦夷言葉集の翻刻	45~64
						アイヌ風俗画画稿の研究	林家旧蔵のアイヌ風俗画画稿の分析 65~74
<b>男の食彩</b>				<b>日本放送出版協会</b>			
2000	3	9	12		編集部・取材、文 写真	小林雅裕・食の歴史散歩	57 アイヌのチボロシト 66~69
<b>おとなのいい旅北海道</b>				<b>リクルート北海道じゃらん</b>			
2005	4				2005年春 ~初夏号	伊藤哲也(取材・文)	アイヌ語地名をたどる 第1回 函館(旧ウスケシ) 90

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>お</b>						
2005	7		2005年 夏号	伊藤哲也(取材・文)	アイヌ語地名をたどる 第2回 知床(シレトコ)	98
2005	10		2005年 秋号	伊藤哲也(取材・文)	アイヌ語地名をたどる 第3回 標津(シベツ)	110
2006	1		05-06 年冬号	小西由希(取材・文)、田淵立幸(写真) 伊藤哲也(取材・文)	アイヌ伝統食材による創作会席&フレンチ アイヌ語地名をたどる 第4回 硫黄山 トゥッサヌプリ	20~25 104
<b>雄波郷</b>				<b>にかほ市教育委員会、にかほ市郷土史研究会</b>		
2007	3	1		佐藤忠悦	随想 鳥海山麓のアイヌ語地名考	38~41
<b>広報おびひろ</b>				<b>帯広市企画部広報課</b>		
2000	1		909	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 77 伝染病退治のまじない	18
2000	3		910	帯広市教育委員会文化課(写真・文)	[ふるさと見聞録]おびひろの文化財 イトウウボボ保存会	22
2000	5		912	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 78 タンバク(たばこ)	16
2000	6		913	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 79 イクパスイ(酒棒籠)	24
2000	7		914		子どもたちと一緒に成長していきたい とかちエテケカンバの会 光峰由桂さん	17
2000	8		915	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 80 ヤ(ヨモギ)	22
2000	11		918	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 81 ム(クリ)	22
2000	12		919	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 82 オカミ	20
2001	3		922	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 83 塩	20
2001	5		924	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 84 ラス	16
2001	6		925	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 85 マサイ(胸飾り)	20
2001	8		927		8月9日は国際先住民の日です	10~11
				内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 86 かり	24
2001	11		930	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 87 カンベ(ヒシ)	22
2001	12		931	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 88 ラ(荷縄)	22
2002	3		934	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 89 ムニ(カシワ)	22
2002	5		936	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 90 タルベ(文様入りござ)	20
2002	6		937	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 91 ルム(ネズミ)	16
2002	8		939	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 92 バ(カワシンジュガイ)	20
2002	11		942	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 93 ケレベニ(キハダ)	22
2002	12		943	内田祐一(写真・文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 94 ヨチ(虹)	22
2003	3		946	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活95 アイヌ文様	18
2003	5		948	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活96 ク(弓)	20
2003	6		949	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活97 イトゥンナフ(アリ)	20
2003	8		951	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活98 アイヌの人たちと川	20
2003	11		954	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活99 海での漁や採集	20
2003	12		955	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活100 イタオマチフ(板綴り舟)	22
2004	4		959	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活101 エハ(ヤブマメ)	24
2004	6		961	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活102 風のおまじない	24

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>お</b>						
2004	8		963	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活103 海にすむカムイ(神)	16
2004	11		966	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活104 ミミズク	20
2004	12		967	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活105 イラクサの利用	20
2005	3		970	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活106 食事の道具	16
2005	6		973	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活107 チョウ	18
2005	8		975	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活108 イオル	18
2005	12		979	内田祐一(写真・文)	アイヌの人々の生活109 葉っぱのアイヌ語名	20
2006	3		982	内田祐一(文、写真)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活110 チセ(家)のなかのカムイ(神)	24
2006	6		985	内田祐一(文、写真)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活111 クモ	20
2006	8		987	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活112 お酒	24
2006	11		990	帯広市教育委員会図書館(写真・文)	[ふるさと見聞録]帯広市の開拓碑 宮崎濁卑の碑	16
2006	12		991	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 へびのお話	113 20
2007	3		994	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 こおる	114 18
2007	6		997	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 ハチ	115 24
2007	8		999	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 ミントチ	116 18
2007	11		1002	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 カエル	117 20
2008	3		1006	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 ウコニアッ(ゲーム)	118 20
2008	6		1009	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 「ギョウジャンニク」の名前を持つ草	119 18
2008	8		1011	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 松浦武四郎がみた十勝アイヌのくらし その1	120 12
2008	11		1014	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 松浦武四郎がみた十勝アイヌのくらし その2	121 10
2009	3		1018	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 食料の保存	122 10
2009	6		1021	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 チキサニ(ハルニシ)	123 20
2009	8		1023	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 死者の魂	124 12
2009	11		1026	内田祐一(写真、文)	[ふるさと見聞録]アイヌの人々の生活 アイヌ絵と平沢屏山	125 14
<b>帯広百年記念館紀要</b>				<b>帯広百年記念館</b>		
2001	3		19	小川正人、山田伸一(編)	十勝毎日新聞(1920-1939年)掲載アイヌ関係記事:目録と紹介(1)	1~42
2002	3		20	小川正人、山田伸一(編)	十勝毎日新聞(1920-1939年)掲載アイヌ関係記事:目録と紹介(2)	1~26
				小西雅徳、内田裕一	板橋区郷土資料館所蔵の石田収蔵資料に含まれていた吉田巖関連資料について	57~62
2004	3		22	廣瀬龍太	晩成社の渡辺カネとアイヌの人びと : 昭和9年の小学校講演を中心に	1~13
2006	3		24	秋野茂樹	シカの送り儀礼 : 再考	1~10
2007	3		25	中村和之	李志恒『漂舟録』にみえる「石将浦」について	1~8
<b>オホーツク・フィールド</b>				<b>西蝦夷地研究会オホーツク海沿岸支部</b>		
2002	4		1	因幡勝雄	史料 黒曜石	2~9
<b>オホーツク文化資料館通信</b>				<b>オホーツク文化資料館</b>		
2000	1		34	伊藤せいち	小泉保、縄文語の発見1998、書評	149~152
2000	3		35	伊藤せいち	音威子府村のマクンペッコシコマニについて	153~154
				伊藤せいち	榊原正文、私のアイヌ語地名地調査、2000(H12)、書評	155
				伊藤せいち	地名の学問とは	156
2000	5		36	伊藤せいち	武四郎の見た北見市中の島	157~158

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>お</b>						
				伊藤せいち	浦臼町百年史、2000(H12).3.31のアイヌ語地名解について	159～160
2000	7		37	伊藤せいち	気楽にご発言ください	161～164
2000	11		38	伊藤せいち	こよみ 2000 その1	165～168
2000	12		39	伊藤せいち	こよみ 2000 その2	169～171
2001	1		40	伊藤せいち	湧別川ー白滝村のアイヌ語地名作業中	173～174
2001	6		42	伊藤せいち	松浦武四郎常呂川踏査経路検討資料	178～179
2001	7		43	伊藤せいち	アイヌ語研究講演会開催	181～182
2001	9		44	伊藤せいち	「田中館委員用報告書地図類見本」の地名記載例	185～188
2001	11		45	伊藤せいち	北海道遺産に「アイヌ語地名」も	189
2001	12		46	伊藤せいち	湧別川流域のふたつのチャシコックについて	193
				IS	旭川市アイヌ語地名表記推進懇話会発足	194
2002	4		47	伊藤せいち	アイヌ語ににせた商品名	199
				伊藤せいち	アイヌ語地名表記 nikor	200
2002	12		48	伊藤せいち	アイヌ語の地名表記、日本語の地名表記	201
				伊藤せいち	金田一京助氏の「再建される本州アイヌ語彙」の検討と課題	204～208
2004	1		53	伊藤せいち	アイヌ語地名辞典作成のためのメモ 1	229～231
2004	2		54	伊藤せいち	アイヌ語地名辞典作成のためのメモ 2	233～236
2004	3		55	伊藤せいち	アイヌ語地名辞典作成のためのメモ 3	237～240
2004	4		56	伊藤せいち	アイヌ語地名辞典作成のためのメモ 4	241～244
2004	4		57	伊藤せいち	arawe アラウェ 浮きかす	245
				伊藤せいち	アイヌ語地名辞典作成のためのメモ 5	246～248
2004	5		58	伊藤せいち	『東蝦夷物産誌』における地名	249～252
2004	7		59	伊藤せいち	営林署図の「平牛」	253～255
2004	12		60	伊藤せいち	日本語とかかわりの深いアイヌ語地名語彙	257～260
<b>オホーツク文庫 レラ</b>				<b>オホーツク文化資料館</b>		
2006	10		5	伊藤せいち	網走周辺のアイヌ語地名	47～54
ページ番号は通番						
2007	3		6	伊藤せいち	sumoro-ni トガスグリ(グズベリのなかま)	55～56
ページ番号は通番						
2007	6		7	伊藤せいち	共和町アイヌ語地名の記録	59～70
ページ番号は通番						
2008	5		12	伊藤せいち	北海道のtop「竹」はどんなタケ?	113～116
ページ番号は通番						
2008	6		13	伊藤せいち	サハリン西海岸のアイヌ語地名について	117～120
ページ番号は通番						
2008	7		14	伊藤せいち	地名マサラマ、雑感	121～123
ページ番号は通番						
<b>オホーツクミュージアムえさし通信</b>				<b>オホーツクミュージアムえさし</b>		
2003	7		43		枝幸小学校で岡島チャシ探検	[2]
<b>Omnivdens (オムニヴィデンス)</b>				<b>東北大学総合学術博物館</b>		
2007	10		25		東北大学の至宝 : 資料が語る1世紀 考古学資料② 沼津貝塚出土品と縄文人骨・アイヌ甲	2～5
「樺太アイヌに伝世した皮小札の胴丸式挂甲(p.5)あり。						
<b>月刊オルタ</b>				<b>アジア太平洋資料センター</b>		
2001	6		293	越田清和	[オルタの本棚]「国民」「国家」中心の歴史を解体する 『先住民族の『近代史』:植民地主義を超えるために』上村英明 平凡社選書	36
<b>音楽教育実践ジャーナル</b>				<b>日本音楽教育学会</b>		
2006	8	4	1	目黒雅子	私の実践(1)小学校 「アイヌ民族の音楽文化学習」と「会津とフィリピンのわらべうた」の授業実践から	48～52
<b>音楽現代</b>				<b>芸術現代社</b>		
2006	4	36	4	420 八木幸三	伊福部昭と北海道	104～105
特別企画:追悼・伊福部昭						

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

か

カイ				ノーザンクロス			
2008	10	1	1	1		天塩川点描【前編】音威子府村～天塩町 静寂の森・喧騒の河	20～25
2009	7	2	3	4	井上由美(文)、露口啓二(写真)	聞き書き 北海道の物語④横山むつみ	70～75
会誌(札幌地理サークル)				札幌地理サークル			
2002	5			35	三好勲、横平弘	アイヌ語地名「タッコブ」	1～7
2003	5			36	三好勲、横平弘	身近な地名のアイヌ語地名分類(その1) ー海・山・川・湿地のアイヌ語地名ー	1～12
2004	5			37	三好勲、横平弘	身近な地名のアイヌ語地名分類(その2) ー交通・地形形状・形容詞語・泊のアイヌ語地名ー	1～10
2005	5			38	三好勲、横平弘	身近な地名のアイヌ語地名分類(その3) ー動物・鳥・草・樹木の名のついたアイヌ語地名ー	1～9
2006	5			39	三好勲、横平弘	身近な地名のアイヌ語地名分類(その4 完) ー生活・居住・狩猟・カムイ・温泉・色・方位の付いたアイヌ語地名ー	1～13
2007	5				横平弘	紋別市藻龍川流域のタッコブ地形	14～19
2007	5			40	三好勲	アイヌ語地名「抜海」探訪 ー負石から名付いた抜海の地名	25～26
2008	5			41	三好勲	アイヌの道	6～22
貝塚				物質文化研究会			
2002	11			58	瀬川拓郎	テシ・ウライとは何か : アイヌの漁撈施設の実態とその社会的意義	1～10
2007	12			63	新井隆一	北海道式古墳と七・八世紀の太平洋沿岸交通	37～50
2009	12			65	中田裕香	石附喜三男と「北海道式古墳」	1～22
開発こうほう				北海道開発協会			
2006	3			513	真砂徳子	ただ今、道産子修行中! まさごのりこ北海道魅力発見録 その1 北海道・地名の由来	12～13
2006	4			514	国土交通省北海道局総務課アイヌ施策室	アイヌの伝統的生活空間“イオル”の再生	6～9
開発論集				北海学園大学開発研究所			
2007	3			79	岩崎まさみ	ダム建設と沙流川流域の人々の生活	61～78
会報(藤女子大学国語国文学会)				藤女子大学国語国文学会			
2002	6			74	丸山隆司	もうひとつの<アイヌ文学>	4～5
2008	1			81	田端宏	村並になった箱館六ヶ場所 : 「書上 尾札部村」	1～13
					川上淳	榎森進著『アイヌ民族の歴史』	34～35
2009	1			25	瀬川拓郎	講演Ⅱ『アイヌ考古学の通説を疑う』	4～5
解放教育				明治図書出版			
2005	6	35	6	451	桂眞理子	「イランカラプテ」 : アイヌ民族問題に取り組み始めて	62～66
2006	11	36	11	468	結城志穂、早坂賀道、早坂ユカ、相澤啓、早坂雅賀、太田裕実、森(司会)	[座談会]アイヌアートプロジェクトのいま	7～43
特集:アイヌアートの未来							
						人権教材にみるアイヌ	44～62
かみさまの くつ(あいかわきみつぐ)/きつねのチャランケ/アイヌの人々の暮らしに学ぶ/自由の大地、アイヌモシリに生きてきた人々(竹内渉)							
				『解放教育』編集部		資料と解説	
						63～75	
「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」ほか							
解放社会学研究				日本解放社会学会			
2000	3			14	東村岳史	「状況としての『アイヌ』」の思想と意義 : 『アヌタリアイヌ』による<アイヌ>表象の問い直し	39～75
2001	3			15	東村岳史	「文化財」としての「アイヌ古式舞踊」	98～118
2002	3			16	ましこ ひでのり	日本人構築のための学術研究:戦後日本オリエンタリスト点描	72～109
					東村岳史	戦後におけるアイヌの「熊祭り」 : 1940年代後半～1960年代後半の新聞記事分析を中心に	110～139

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>か</b>						
2004	4		18	東村岳史	『現代のアイヌ』における「現代」の位相 1960年代のルポルタージュ作品に描かれたアイヌ社会と和人社	102～128
<b>解放新聞広島県版</b>				<b>解放新聞社広島支局</b>		
2005	1		1752		差別撤廃の闘いを共有 : 打本顕真さん ヤ イユーカラの森と交流	1
2005	2		1753	菊田征洋	第32回アイヌ交流団に参加して	2
2005	3		1757	山口誠治	解放の道のりを学ぶ : 第32回アイヌ交流団に参加して	4
<b>科学技術社会論研究</b>				<b>科学技術社会論学会</b>		
2006	6		4	植木哲也	アイヌ研究と知の権力	142～151
<b>学士会会報</b>				<b>学士会</b>		
2007	3		863	本田優子	二冊のアイヌ語辞典	55～59
<b>学習院史学</b>				<b>学習院大学史学会</b>		
2001	3		39	谷本晃久	近世蝦夷地「場所」共同体をめぐって	4～18
シンポジウム「歴史におけるマイノリティ : 異文化を組み込んだ社会」の報告。田村愛理「コメント イスラム史の立場から」(p.45～47)、谷本晃久、小林岳二ほか「討論」(p.51～65)あり。						
2006	3		44	鐘江宏之	城柵の北の平安時代 : 平安中期の北東北地方と出土文字資料	79～90
<b>学習院大学史料館紀要</b>				<b>学習院大学史料館</b>		
2005	3		13	岡田茂弘	図書館蔵の明治天皇巡幸等写真について	1～82
写真目録及び主要写真掲載あり。						
<b>かたみの袋</b>				<b>北海道札幌篠路高等学校「かたみの袋」係</b>		
2000	1		8	小田島晴	シャクシャインの戦 第五章 シャクシャインの最期	53～68
				栢谷隆男	「鹿のおはなし」その七	37～52
					アイヌの鹿笛を吹く	39～41
<b>家庭科</b>				<b>全国家庭科教育協会</b>		
2005	7	55	2	593 岡田路明	アイヌ文化の食生活	10～13
<b>ガバナンス</b>				<b>ぎょうせい</b>		
2008	7		87	芥川仁(文・写真)	森の恵み・森の声16 三百年前の知恵と技術を受け継ぐアイヌ伝統の布 : アトウシ織名人 萱野れい子さん	145～147
<b>樺連情報</b>				<b>全国樺太連盟</b>		
2003	4		636	矢野	樺太記念館コーナー -アイヌの木彫り熊-	2
2004	6		650	住吉光重	私の多蘭泊	3
2009	5		709	山口真	生誕百年記念シンポジウム「知里真志保 人と学問」に参加して : 知里アイヌ学の「母床」は樺太時代にあった	3
<b>上湧別町ふるさと館JRY研究年報</b>				<b>上湧別ふるさと館JRY</b>		
2004	3		3	中村齋	イオル構想の実現は日本国民の義務	1～14
<b>カムイミントラ</b>				<b>りんゆう観光</b>		
2001	9		106		[本] アイヌ・モシリの風 著者チカッ美恵子 発行NHK出版	14～15
2002	1		108	松木新	言語道断	4
2002	9		112		国際山岳年&国際エコツーリズム年記念 山岳エコツーリズムフェスティバル	6～12
<b>からいどすこーぶ</b>				<b>歴史学同好会(札幌市)</b>		
2006	1		8	窪田剛	北海道の城郭 : 城館・陣屋・チャシ	40～52
<b>川の本</b>				<b>河川環境管理財団</b>		
2001	99		50		カムイコタン物語(石狩川・アイヌ伝説再話)	(2～4)
					カムイコタンと石狩川	(4)
<b>環</b>				<b>藤原書店</b>		
2001	7		6	菊池勇夫	北方史からみた「日本」	163～173
				関和彦	倭の「周辺」とアイヌ世界	174～181
2008	10		35	結城幸司	先住民民族サミット アイヌモシリ2008のこと	36～49

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

か

<b>環オホーツク</b>				<b>北の文化シンポジウム実行委員会</b>			
2004	3	11	中村和之 岡田育子 北原次郎太 東俊佑		蝦夷錦と北方の交易 アイヌ文化伝承と地域の理解 木幣の分類について 近世後期カラフト探検と北東アジア情報 : 間宮林蔵観の変遷を中心に		15~27 35~38 39~54 55~64
			佐々木利和		講評		65~67
2005	3	12	鹿田川見		上川アイヌの文化 : 長老クチンクレ		61~67
豊原熙司による講評(p.83~85)などあり。							
2008	3	15	田口洋美 武田修 高橋理 山崎幸治		マタギと北方の狩猟民 常呂川河口遺跡発掘調査16年の成果 アイヌの送り儀礼について 海外アイヌコレクションから見えること		1~24 25~36 47~58 59~70
2009	3	16	秋野茂樹 百瀬響 乾哲也		場所請負制とアイヌの熊の霊送り儀礼 アイヌの祖霊祭祀と文化変容について 厚真の中近世アイヌ文化期の発掘調査		1~15 17~29 69~84
<b>考える人</b>				<b>新潮社</b>			
2006	8	17	黒川創		知里真志保		45
2006年夏号。特集:戦後日本の「考える人」100人100冊。							
<b>環北太平洋の言語</b>				<b>北海道大学院文学研究科</b>			
2005	3	12	池上二良		アイヌ語のitankiとツングース語のitaŋgi		125~128
2006	3	13	高橋靖以		アイヌ語十勝方言の進行相を表す型式 kor an について		75~82
2007	3	14	切替英雄 高橋靖以 ブガエワ・アンナ		アイヌの地理的認識 上(かみ)と下(しも) アイヌ語十勝方言テキスト 「ヤナギの神」と 「ヨダカ」 アイヌ語鶴川方言テキスト 新井田セイノさん の神謡		35~56 57~64 65~85
<b>環境社会学研究</b>				<b>環境社会学研究</b>			
2005	99	11	細川弘明		異文化が問う正当と伝統 : 先住民族の自然 観を手がかりに環境正義の地平を広げるための 試論		52~69
2006	10	12	小野有五		シレットコ世界自然遺産へのアイヌ民族の参画と 研究者の役割 -先住民族ガヴァナンスからみ た世界遺産-		41~55
特集・小特集:世界遺産							
<b>観光会議ほっかいどう</b>				<b>じゃらん観光ビジネス研究プロジェクト</b>			
2005	10	15	森雅人		北海道遺産シリーズ2 サケの文化		22
2005	12	16	佐藤理香		食文化を発信! アイヌ伝統食材による創作会 席 札幌グランドホテル和食料理長 今平博志 さん		23
<b>関西外国語大学人権教育思想研究</b>				<b>関西外国語大学</b>			
2007	3	10	植田都		多文化共生社会における教育のあり方を探る その3 アイヌ民族について		2~40
<b>環太平洋・アイヌ文化研究</b>				<b>苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所</b>			
2004	3	4	岡田路明		苫小牧の地名とアイヌ語(III)		1~17
2006	3	5	秋野茂樹 岡田路明 村井泰廣 若林和夫		江戸期におけるアイヌの霊送り儀礼 : 和人 が記した記録からその様相を見る 苫小牧の地名とアイヌ語(IV) 紀行文:北央先住民族サーミ海外交流 フッチコラチへのインタビュー : 現在のア イヌ文化と当事者 2004・2005年度の活動		1~26 49~67 97~126 127~140 145~146

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

き

気圧配置				気圧配置編集室(福岡市)		
2001	6	15	古賀博文	日本語で書かれたアイヌ民族の詩文学・補稿		4~28
初出は『岩礁』104号				日本語で書かれたアイヌ民族の詩文学		29~43
初出は『岩礁』104号						
2002	12	17	古賀博文	カムイの詩歌 日本語で書かれたアイヌ民族の詩文学 III	6~27	
				日本語で書かれたアイヌ語の歴史年表	29~35	
				「日本語で書かれたアイヌ民族の詩歌文学史」概観	36~44	
				九州に残るアイヌ語	45~51	
2004	5	18	古賀博文	カムイの詩歌 日本語で書かれたアイヌ民族の詩歌文学IV	24~31	
K I Z U N A (きずな)				兵庫県人権啓発協会		
2007	3	[2007年3月号]	萱野志朗	アイヌ民族の人権		10
2009	2	[2009年2月号]	本田優子	アイヌとしての人生を選択するために		6
2009	8	[2009年8月号]		いま、アイヌを生きる 酒井美直さん		7
北国研究集録				名寄市北国博物館		
2000	3	4	柴田敏郎、吉田清人、鈴木力、本間尚治郎	「第1回薬用植物に関するワークショップーアイヌ民族の有用植物とその利用法について」記録集		1~28
主要目次:佐竹元吉「伝統医薬をめぐる諸問題ー世界の流れと日本ー」/木下良裕「アイヌの疾病とその治療法」/板東英雄「トリカブトの成分ー化学構造、生理作用、修治による変化」/山岸喬「アイヌ民族の薬物の特徴(薬用植物を中心に)」/鈴木力「名寄地域における植物に関わるアイヌ地名と衣、住への植物利用法」/総合討論における追加発言(水島未記、佐竹元吉) /見学会について/野外植物観察会について/ほか						
2002	3	6	高木崇世芝(編) 柴田敏郎、成毛哲也、鈴木邦輝、三浦忠一、本間尚治郎	近藤重蔵関係文献目録(未定稿)	29~48	
関係目次:石田正彦「アイヌ民族似利用されている有用植物ルタバガについて」				「第3回薬用植物に関するワークショップー北方先住民の有用植物とその利用法についてーその2ー」記録集	1~38	
2004	3	8	名寄市北国博物館(編)	地域文献目録	21~30	
名寄市北国博物館所蔵地域関係文献の目録。				名寄市北国博物館(編)	〈史料紹介〉天塩紀行	40~31 (縦組み)
資料の初出は『北海道毎日新聞』1888年8月24~9月13日付(5回連載)。本文のほか「解説」を付す。						
2008	3	11	鈴木邦輝	19世紀の天塩川筋のコタン	33~38	
北のいぶき				北海道開発協会		
2000	1	56	伊藤敏幸	アイヌと沖縄の子どもたちの文化交流	15	
2000	4	57	木原仁美	アイヌ文化交流センターの御案内	17	
2000	6	58	阿部範幸	アイヌ文化活動アドバイザー派遣事業の紹介	26	
2000	10	59	渡辺徹	アイヌ文化振興財団の今秋の行事	12	
2001	1	60	鷺見好則	アイヌ文化を体験できる北海道内の施設	13	
2001	5	61	鷺見好則	道内で行われるカムイノミ	11	
北の資料				北海道立図書館		
2004	3	113		プランゲ文庫雑誌目録 北海道関係分地域別リスト		
2005	12	116		北海道立図書館プランゲ文庫新聞目録		
2007	3	117		北海道立図書館所蔵林家文書 追加目録		
北の青嵐				北の青嵐		
2004	3	134	駒木佐助	安政2年以降の蝦夷地警備史料について : 室蘭南部出張陣屋史料に関連して	1~6	
2004	4	135	太田善繁	探検家からみたトカチ・ヒロウの歴史	2~9	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>き</b>						
2004	5	136	秋葉実		場所請負人によるアイヌの強制使役 : 15歳から50歳までの男女を場所人別の二割	1~3
			関秀志		幕末の開拓地(8)	4~7
2004	8	139	後藤秀彦		近世文書に見るトカチ・ヒロウ・ヲホツナイ	12~18
2004	9	140	谷本晃久		イコリカヤニの蒔絵の行器	1~5
2004	10	141	中村和之		山本多助「トバットミ」の紹介	4~7
			堺比呂志		菅江真澄の墓に、詣でて	8~18
2005	3	146	松本尚志		アイヌ民族と北海道「開拓」	10~16
			伊藤せいち		日本語とかかわりの深いアイヌ語地名語彙	17~20
2006	4	152	谷本晃久		彼女はなぜ髪を切ったのか? : 安政3年、択捉島アイヌ女性の「散髪」一件をめぐる	1~8
2008	3	167	川上淳		ラシヨワ島アイヌオロキセ(アレクセイ)	1~7
2008	4	171	川緒定明		大白山焼崩日記 : 文政噴火の日記を読む…(抄)	1~8
2008	8	172	川緒定明		虻田有珠のアイヌ物語(抄)	1~8
2009	2	178	高木崇世芝		蝦夷地・北海道の風景を描いた絵図	1~4
2009	6	182	たきかわ歴史地図研究会		古地図に見る西蝦夷地と石狩川川筋(抄) -古地図略-	1~16
2009	8	186	中村一枝		ミス・ルーシ・ペインの帰国の背景をめぐる	1~6
<b>北のとびら</b>				<b>北海道文化財団</b>		
2003	6	56			[今月の表紙]知里幸恵生誕100年記念公演『銀のしずく』	2
2006	9	71	福浦寛		「アイヌ通送人 吉良平治郎」-アイヌネノアン アイヌ- 公演を終えて	10
2007	3	73	斉藤リエ(文)、星野麻美(写真)		心を揺さぶる表現者たち	1~2
「北海道舞台塾」での「アイヌ通送人 吉良平治郎」を取り上げる。						
2008	9	79	森田茂紀		[地域からのお便り]旭川市 本当の人間として生きる~合唱劇「カネト」旭川公演を終えて~	11
2009	9	81			[地域からのお便り]白老町民劇「高橋房次物語~銀杏のそよぎ」公演を終えて	10
<b>北の野火</b>				<b>北海道子どもの本連絡会</b>		
2007	7	21	相川公司		[自作を語る]「アイヌ関係児童文学」の飛躍へ : 『アイヌの少年イキツカ』と『カムイコタン祭りに』	91~92
<b>北の発言</b>				<b>西部邁事務所</b>		
2004	10	9	里見脩		荒ぶる魂の地に寄せて[10]アイヌ墳墓盗掘事件 -気概とは-	26~28
2005	12	16	高澤秀次		北の文学誌[15]武田泰淳『ひかりごけ』から『森と湖のまつり』へ	58~61
2006	6	19	高澤秀次		北の文学誌[18]中上健次から久間十義へ-「カナカムイの翼」とその「異聞」	60~63
2006	8	20	高澤秀次		北の文学誌[19]池澤夏樹『静かな大地』を読む	52~54
2007	4	24	高澤秀次		北の文学誌[23]芥川賞作家・三浦清宏の新作-『海洞-アフルパロの物語』を読む	70~73
2008	10	33	的場光昭		今どき北海道に流行るもの[32]アイヌ先住民族国会決議(その1)北海道旧土人保護法	35~37
2008	12	34	的場光昭		今どき北海道に流行るもの[33]アイヌ先住民族国会決議(その2)土人考	45~47
2009	2	35	的場光昭		今どき北海道に流行るもの[34]アイヌ先住民族国会決議(その3)開拓使仮学校	47~49
2009	4	36	的場光昭		今どき北海道に流行るもの[35]アイヌ先住民族国会決議(その4)千島アイヌ強制移住事件	29~31
2009	6	37	的場光昭		今どき北海道に流行るもの[36]アイヌ先住民族国会決議(その5)樺太アイヌ強制移住事件	33~35
2009	8	38	的場光昭		今どき北海道に流行るもの[37]アイヌ先住民族国会決議(その6)コシャマインの乱	25~27
2009	10	39	的場光昭		今どき北海道に流行るもの[38]アイヌ先住民族国会決議(その7)知里幸恵を語り継ぐ	35~37

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>き</b>						
2009	12		40	的場光昭	今どき北海道に流行るもの[39]アイヌ先住民族 国会決議(その8)有識者懇談会が用いた先住 民族の定義	35～37
				<b>切手</b>	<b>財団法人郵便文化振興協会</b>	
2003	1		2604		ふるさと切手の発行	1～2
「北海道遺産」切手の発行について。発行する2種のうち1種が「アイヌ文様」。総務省報道資料の要約、とあり。						
				<b>キャンパス スコープ(Campus Scope)</b>	<b>(キャンパス・スコープ事務所)</b>	
2009	4		23	田中亜佳音、坪田織江、吉田明斗	アイヌ文化学び体験[町立二風谷アイヌ文化博 物館]	6
				<b>教育音楽 中学・高校版</b>	<b>音楽之友社</b>	
2000	10	44	10	栢谷隆男	笛を求めて～音楽の源流を探る旅[第10回]鹿を 呼ぶ笛②イパツケニ～アイヌの命の笛(北海道 日高郡平取町二風谷)	76～77
2000	11	44	11	栢谷隆男	笛を求めて～音楽の源流を探る旅[第11回]ポボ ノゲ クルミの皮の法螺貝(岩手県二戸郡浄法 寺町)	76～77
				<b>教育研究</b>	<b>国際基督教大学</b>	
2007	3		49	マーハ、ジョン・C、槻館尚武、 瀧下史、杉山陽美	日本の多文化教育における地名学習の受容に関 する一考察：関東地方のアイヌ語地名を例とし て	99～106
英文。日本語要旨あり。						
				<b>教育史・比較教育論考</b>	<b>北海道大学教育学部教育史・比較教育研究グループ</b>	
2009	3		19	小川正人 小川正人(編)	竹ヶ原幸朗さんのこと 竹ヶ原幸朗文献目録 [学位論文内容の要旨]近代アイヌ教育政策史研 究	22～32 33～43 56～57
「博士論文内容要旨・審査要旨(1994～2008年度)」の一部。1995年3月学位授与。						
				<b>教育福祉研究</b>	<b>北海道大学大学院教育学研究科教育福祉論分野</b>	
2007	3		13	中村康利	アイヌ民族の「見えない貧困」：アイヌ民族研究 のパラダイム変換の試み	39～48
				<b>郷土</b>	<b>日本教育大学協会第二常置委員会</b>	
2005	3		23	谷本晃久	意匠と普遍：彫刻家・砂澤ビッキの目指した 地平から何を学ぶか	67～79
				<b>郷土研究</b>	<b>北海道高等学校文化連盟上川支部郷土研究部</b>	
2002	3		39	旭川竜谷高等学校郷土研究部	上川アイヌの研究 その35 男の踏舞 - Tap-kar=タップカラー	-
				<b>郷土誌あさひかわ</b>	<b>砂川市教育委員会</b>	
2004	3		37	佐藤金蔵	「武四郎――連のこと」終る	22～25
				<b>郷土誌あさひかわ</b>	<b>郷土誌「あさひかわ」</b>	
2001	7	42	7	427 砂澤ビッキ	(表紙原画) 樹気ー砂澤ビッキ展 故郷の旭川で開催 ビッキの若い時代 ビッキさんなら、どうする。 樹気ー砂澤ビッキ 思い出のアルバム 思い出のビッキの表紙	18～19 20～22 24～25 26～29 86
2001	8	42	8	428 馬場昭	おじたりあんノート117 “戦後の彫刻家ナン バーワン!!”	24
2001	9	42	9	429	ビッキ生誕70年音威子府に集う	46～53
2002	4	43	4	436 馬場昭	おじたりあんノート125 “樹愛渡世漫遊アイヌ!!”	58
2002	11	43	1	443	第37回全道高等学校郷土研究発表大会 最優 秀賞＝旭川龍谷高「上川アイヌの研究」	24～26

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>き</b>							
2004	1	45	1	456	馬場昭	おじたりあんノート144 “幸恵の道・銀のしずくの道!!”	35
2004	12	45	12	467		〈音威子府村〉「エコ・ミュージアムおさしまアトリエ3モア」砂澤ビッキのスタジオ再生	46~48
P46カラーグラビア							
彫刻家砂澤ビッキ没後15年「砂澤ビッキ展」							
目次タイトルは「没後15年「砂澤ビッキ展」終る」							
					五十嵐広三	ビッキの若い時代	50~52
「20世紀回顧 郷土誌あさひかわ掲載文再録」19。初出は『郷土誌あさひかわ』427号(2001年)							
2005	6	46	6	473	馬場昭	おじたりあんノート161 “タンポポ・うまい!!”	47
2005	9	46	9	476		[ほん]チカップ・美恵子編著-道新発行「森と大地の言い伝え」	24
[カラーページ]川村カ子トアイヌ記念館 新チセのお祝い儀式							
2006	4	47	4	482	渡辺三子	三子問わず語りの記⑨「戦後60年忌」特集②	40~43
川村カ子ト、荒井源次郎を取り上げる。							
2006	6	47	6	484	渡辺三子	三子問わず語りの記⑩砂澤ビッキのこと	38~40
2006	8	47	8	486	渡辺三子	三子問わず語りの記⑪続「戦後60年忌」	34~36
砂澤ビッキ、三好文夫らを取り上げる。							
2006	11	47	10・11	488	渡辺三子	彫刻家・砂澤ビッキ氏の慰霊碑を北大研究林に建立	27~28
2007	4	48	4	493		砂澤ビッキ彫刻展 : おさしまに遺したもの	32~33
2007	8	48	8	497	馬場昭	おじたりあんノート186 “アイヌ語の「君が代」!!”	34
2007	10	48	9・10	498	本間敬三(撮影)	できたぞ! 僕らの丸木舟	56
旭川竜谷高校郷土部による丸木舟制作を報じる。							
2008	2	49	2	503	馬場昭	おじたりあんノート191 “7月20日、文化会館で!”	11
2008	11	49	11	507	馬場昭	おじたりあんノート196 “<遺稿>畏兄 間見 谷喜昭さん!!”	31
<b>キリスト教学</b>				<b>立教大学キリスト教学会</b>			
2005	12			47	西原廉太	[書評]山口陽一ほか著『アイヌ伝道等をめぐって 日本宣教師の光と影』	259~262
<b>キリスト教文化研究所研究年報</b>				<b>宮城学院女子大学キリスト教文化研究所</b>			
2007	3			40	菊池勇夫	寛政アイヌ蜂起の初期情報 : ツキノエの反乱	33~63
2008	3			41	菊池勇夫	「味方」アイヌの御目見 : 「夷酋列像」成立の背景	133~140
						寛政アイヌ蜂起の「口書」にみる権力・利害関係	203~228
<b>記録</b>				<b>アストラ</b>			
2005	1			290	坂勇人	ウォッカのしみわたる街に 第6回 無視されるアイヌの権利と愛すべきロシア人船員	6~7
<b>季刊銀花</b>				<b>文化出版局</b>			
2002	6			130	チカップ美恵子	ウポポの輪に揺れるタマサイ	34~37
2007	3			149		刺すほどに物語が立ち上がる : 宇梶静江の古布絵	32~35
<b>週刊金曜日</b>				<b>金曜日</b>			
2001	4	9	15	367 (360)		シリーズ個に生きる③ 小川早苗 「アイヌブリ」で生きる誇りと喜び	34~39
2001	6	9	24	376 (369)	田中伸尚	アイヌ民族から問われる「人権感覚と他者意識」上 ガラスの檻	50~53
2001	7	9	25	377 (370)	田中伸尚	アイヌ民族から問われる「人権感覚と他者意識」中 チャランケ	58~61
2001	7	9	26	378 (371)	上村英明	鈴木宗男・平沼赳夫両議員の相次ぐ「暴言」 レイズムとしてのアイヌ民族否定	28~29
						アイヌ民族から問われる「人権感覚と他者意識」下 コンパッション	44~47

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
き							
2001	8	9	29	381 (374)	T・ラズロ	「アイヌ新法を作った」と公言する鈴木宗雄議員 "差別発言"の背景	24～25
					石田雄	【書評】『先住民族の「近代史」－植民地主義 を超えるために』上村英明／著 先住民族の現 実から植民地主義の理論的究明へ	40～41
					川淵和彦	【書評】 自薦『東南アジアに見るアイヌ文化の 伏流』アイヌ人権の確立のために	41
2001	9	9	34	386 (379)	平田剛士	北海道ウタリ協会が「アイヌ共有財産訴訟」支援 を決めた明快な理由	28～29
2001	10	9	38	390 (383)	長谷川由希	先住民族はどのように動いたか	54
2002	2	10	5	406 (398)	平田剛士	アイヌ共有財産裁判 地裁が判決を突然延期し た理由	24
					宇井真紀子	【書評】 自薦『アイヌときどき日本人』 等身大 のアイヌ民族の姿	41
2002	3	10	10	411 (403)	平田剛士	アイヌ民族共有財産裁判 門前払い 判決に怒 声	4
2002	4	10	13	414 (406)	上村英明	【書評】 『二風谷ダムを問う』 中村康利／著 先住民族への差別と日本社会の理不尽な構造、 浮き彫りに	52～53
2002	5	10	17	418 (410)	水城晶	本のひろば⑩	42
2002	5	10	19	420 (412)	平田剛士	続日本全国ネイチャーネイチャー 第7回 北 海道渡島半島 「猛獣」との共存を目指す試行錯 誤	30～33
2002	11	10	43	444 (435)	長利清之	【音楽】 『INCARNATIO』 角松敏生 マレビ トの如く	40
2002	11	10	45	446 (437)	根深誠	【書評】 「クマが師匠」の猟師の話 『クマに あったらどうするか』 語り手・姉崎等 聞き書 き・片山龍峰	36～37
2002	12	10	50	451 (441)	田中伸尚	アイヌ民族の人格権侵害に積極的な対応が望ま れる司法	27
2004	3	12	11	510 (500)	平田剛士	アイヌ民族共有財産裁判控訴審が結審	4～5
2004	6	12	21	520 (510)	平田剛士	アイヌ民族共有財産訴訟が最高裁へ	4～5
2004	12	12	50	549	本多勝一	貧困なる精神 233 アイヌ民族 川上勇治氏 の死	58
2005	3	13	10	560 (547)	本多勝一	貧困なる精神 239 神成利男の偉業『金枝篇』 全訳の刊行	21
2005	8	13	34	584 (570)	成澤宗男・編集部	【『金曜日』で逢いましょう】 宇梶静江さん	30
2005	9	13	38	588 (574)		【案内板】アイヌ文化に触れ、体験する集い 平 取アイヌ文化保存会の民族舞踊と体験学習	50
2005	11	13	47	597 (583)	田中伸尚	アイヌ民族への人格権侵害事件の真相 復刻版 出版裁判の控訴審結審	24～27
2005	12	13	50	600 (586)	平田剛士	【金曜アンテナ】最高裁はアイヌ民族の声を聞 け！	4
2006	5	14	18	619 (605)	本多勝一	【風速計】「アイヌ民族」の死	7
					多原香里 き	聞き手：星崎いつ	
2006	8	14	32	633 (619)	高波淳	【わたしと憲法】 シリーズ34 北海道を多文 化共生の場に 東京で強制就学のアイヌ民族を供養	29 6
					藤田正	【音楽館】 ニッポン音楽とは異なる神秘 『DUB AINU DELUXE』 OKI	48
2006	9	14	34	635 (621)		【案内版】アイヌ文様刺繍作品展と体験の集い	46
2006	12	14	48	649 (635)	本多勝一	貧困なる精神 308 安倍晋三の「愛国」とチャ プリンの反愛国	
2007	5	15	18	668 (654)	北川大	85年前、平治郎に何があったのか？ 『アイヌ 遞送人吉良平治郎』	50～51

雑誌等の編者名				雑誌等の誌名		発行者	
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
き							
2008	6	16	24	722 (708)	本多勝一	貧困なる精神 369 『君が代』に起立拒否する 教師とアイヌ民族	59
2008	7	16	25	723 (709)	水野孝昭	[非マスコミ紙誌から]『先住民族の10年News』 第145号 2008年6月14日	48
2008	10	16	37	735 (721)	平田剛士	[読書]多数派社会が生んだ「学術権力」 『学問 の暴力 -アイヌ墓地はなぜあばかれたか』植 木哲也・著	43
2009	6	17	24	770 (756)	根岸恵子	「アイヌ民族の日」実現に向けて 札幌でイベン ト開催	7~8
2009	7	17	29	775 (761)	平田剛士	「アイヌ=先住民族」国会決議から1年	50~51
2009	9	17	33	779 (765)	平田剛士	[読書]先住民族に偏在する「貧困」 『アイヌ民 族、半生を語る -貧困と不平等の解決を願っ て』中村康利著	44
2009	9	17	34	780 (766)	平田剛士	アイヌ墓地"発掘研究"の真相示せ 北大に公開 質問書	8
2009	9	17	36	782 (768)		(案内版)アイヌ古式舞踊公演、ムカシ玩具公演 「神々の謡 知里幸恵が自らうたった謡」	44
2009	10	17	41	787 (773)	本多勝一	貧困なる精神 413 何度でも言う、千島全島 はロシアの侵略だ	45
2009	11	17	42	788 (774)	本多勝一	アイヌ民族の現在	28~29
2009	12	17	46	792 (778)	平田剛士	[読書]先住民族からの談判状 『百年のチャラ ンケ アイヌ民族共有財産裁判の記録』	39

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

く

クオリティィ					太陽		
2001	1	36	1	410	山口昌男・談	『道民立大学』をつくれ、もう大学の使命は終わった	380~385
2001	10	36	10	419	秋田春蔵	「鈴木宗男代議士の同化発言は断じて許さない」：本誌独占掲載・秋田ウタリ協会理事長の手記	192~193
2002	8	37	8	429		[わたしのランチタイム]貝澤珠美さん	248
2002	11	37	11	432	村田忠良・小野有五	精神科医と地球環境科学者が語る「生きとし生けるものへの心」	174~179
2008	1	43	1	494	合田一道	武四郎の道を行く 第二十回	148~151
2008	2	43	2	495	合田一道	武四郎の道を行く 第二十一回	114~117
2008	3	43	3	496	合田一道	武四郎の道を行く 第二十二回	114~117
2008	4	43	4	497	合田一道	武四郎の道を行く 第二十三回	114~117
2008	5	43	5	498	蒲生弘太郎	北海道 沸いた…あの日 vol.26 巨大トーテムポール立つ：昔威子府駅前に、砂澤ビッキの執念実る	118~120
					合田一道	武四郎の道を行く 最終回	122~125
2008	6	43	6	499	合田一道	えっ!?ここにこんなものが① 松浦武四郎の「提烟草入」	122~123
2008	10	43	10	503		苫小牧の鈴木ヨチさん アイヌ文化賞を受賞	109
出典『苫小牧民報』2008年8月6日付。							
2008	11	43	11	504	田巻恒利	北海道の難読地名の面白さ	80~81
2008	12	43	12	505		厚真町で発見の丸木舟 15世紀に製作した?	109
出典『苫小牧民報』2008年10月7日付。							
2009	2	44	2	507		白老ポロトコタンでサケの伝統食作り	93
出典『苫小牧民報』2008年12月2日付。							
						アイヌの地位向上一途に 北海道ウタリ協会元理事長 野村義一さん	159
2009	3	44	3	508	合田一道	えっ!?ここにこんなものが⑩ 黒田清隆の「對鷹學校」の書	114~115
2009	6	44	6	511		サケの薫製売り出す 白老のアイヌ民族博物館	108
出典『室蘭民報』2009年4月11日付。							
2009	8	44	8	513		ポロトコタンにカフェ アイヌの食文化発信	109
出典『苫小牧民報』2009年6月13日付。							
2009	9	44	9	514		北海道アイヌ協会加藤忠理事長に聞く アイヌ政策新時代へ 民族復権へ「第一歩」	156~157
2009	11	44	11	516	橘逸朗	北に死す 第8回	116~119
2009	12	44	12	517		白老・ポロトコタンで ガマの葉の天日干し	109
出典『苫小牧民報』2009年10月2日付。							
草の根福祉					社会福祉研究センター		
2005	10			37	遠藤宏、遠藤美津恵	アイヌ社会の文化と死生観：序報	73~87
2006	10			38	遠藤宏、遠藤美津恵	アイヌ社会の文化と死生観(その2)：チャーマニズムとの関連から	135~171
2007	10			39	遠藤宏、遠藤美津恵	アイヌ社会の文化と死生観(その3)：熊の霊送り等の儀礼を通して	67~91
					遠藤宏、遠藤美津恵	アイヌ社会の文化と死生観(その4)：人の葬送儀礼を通して	93~114
2008	10			40	遠藤宏、遠藤美津恵	知里真志保覚書(1)：その人生と周辺の人々をめぐって	145~161
					遠藤宏、遠藤美津恵	知里真志保覚書(2)：その人生と周辺の人々をめぐって(2)	163~179
釧路公立大学紀要 人文・自然科学研究					釧路公立大学		
2004	3			16	ミハイル・ヴィソコフ、松井憲明(訳)	サハリンと千島列島：編年史、1961-65年	101~126
2005	3			17	高嶋弘志	[資料紹介]有珠善光寺文書「梅誉上人代草日鑑」の復元	1~29(縦組)

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>く</b>						
2006	3	18	高嶋弘志	有珠善光寺文書「天保十三年日記」の復元		1~17(縦組)
2007	3	19	高嶋弘志	有珠善光寺文書「慶応元年日記」の復元		1~19(縦組)
<b>釧路春秋</b>				<b>釧路文学団体協議会</b>		
2002	5	48	永田秀郎	「永久保日記を読む会」の楽しみについて		159~161
2009	11	63	明神勲	永田先生と永久保秀二郎研究		30~31
<b>釧路市立博物館館報</b>				<b>釧路市立博物館</b>		
2005	3	388	豊原熙司	釧路川水系の遺跡14 中流域のチャシ その3		3~8
2005	8	390	豊原熙司	釧路川水系の遺跡15 中流域の送り場(標茶町)その1		3~7
2005	11	391	豊原熙司	釧路川水系の遺跡16 : 中流域の送り場(標茶町)その2		3~7
2006	3	392	豊原熙司	釧路川水系の遺跡 17 中流域の送り場(標茶町) その3		3~7
2006	5	393	豊原熙司	釧路川水系の遺跡 18 中流域の送り場(標茶町) その4		3~6
2006	8	394	豊原熙司	釧路川水系の遺跡 19 中流域の送り場(標茶町) その5		3~6
2007	6	397	豊原熙司	釧路川水系の遺跡 21 中流域の送り場とチャシの補足(標茶町)		3~7
<b>くしろ地名考</b>				<b>釧路地方の地名を考える会</b>		
2007	2	26	坂下	音別地名を訪ねて		1~2
			前山尚子	音別地名を訪ねて		2
			前山尚子	アイヌ語地名研究をめぐって:「知里真志保『アイヌ語入門』を読むために」の講演を聞いて(その2)		2~3
2007	4	27	総括班	アイヌ語地名講座報告		1
			山本	アイヌ語地名講座の開催 元横浜国立大学教授 村崎恭子氏		2~3
2007	10	29	柏木宣勝	村崎恭子先生の講演から		1~2
			大川純彦	太宰幸子先生の講演を聞いて		2
			小松重和	シンポジウムから 参加者と意見交換		3
<b>釧路論集</b>				<b>北海道教育大学釧路校</b>		
2001	11	33	永田秀郎・明神勲	大学におけるアイヌ民族に関する講義の試みと考察		181~199(横組)
<b>久摺</b>				<b>釧路アイヌ文化懇話会</b>		
2000	2	8	佐藤宥紹	近世記録に見るアイヌ民族記事		6~15
			畠山歌子	アイヌの衣服 鳥皮衣		16~29
			松本成美	フデさんの手紙		30~42
			高玲子	伊賀フデ女史の長男・久幸氏に聞く		43~47
			チカップ美恵子	風のように 鳥のように いのちをつむぐー母と娘のうたー		48~54
			中村一枝	永久保秀二郎「アイヌ語雑録」の衣食住及び道具の語彙検討		55~82
			鎌田正信	道東のアイヌ語地名を尋ねて(三)		83~91
			千葉誠治	地名をアイヌ民族を知る糸口に		92~98
			浦田遊	月のアイヌ語名称考		99~114
			北道邦彦	日本語音韻の変遷とアイヌ語カタカナ表記		115~120
			中村英子	人間らしい人間を求めて アイヌ語教室から(その二)		121~125
			地主義雄	馬と私		126
			浅野恵子	釧路アイヌ文化懇話会研修旅行に参加して		128~134
			高橋喜勢子	ガラクタ屋敷の日程表		151~164
			倉賀野範子	ドイツコレクション アイヌ工芸品展		169~171

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名	発行者					
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ		
雑誌目次・文献目次								
く								
2001	11	9		加藤 實	アイヌ民族の占める位置	172~181		
				松本成美	釧路アイヌ伝説	182~202		
				松本成美	床タミさんをしのんで	203~206		
				松本成美	アイヌ民族の過去と未来	6~27		
				天城英明	アイヌ民族、日本人のルーツを尋ねて : パイカル湖周辺、探訪の旅	28~43		
				中村一枝	永久保秀二郎「アイヌ語雑録」の地文・地名の語彙検討	44~88		
				鎌田正信	道東のアイヌ語地名を尋ねて(四)	89~97		
				山本悦也	念仏上人子引歌について	98~107		
				大嶽正道	古代天皇国家とアイヌ	108~122		
				松田佐吉	アイヌ文化と樹木	123~133		
				奥田幸子	遼星北斗の願い「平取に浴場一つ欲しいもの」をかなえた人物、木呂子敏彦氏	134~138		
				桶作高子	北方民族の文化とアイヌ文化(四)	139~148		
				斎藤忍	アイヌ文化の中のチャシ : チャシを通してその成立起源を考察する	149~152		
				地主義雄	イナウについて	158		
				増野光教	アイヌ語教室	159		
				菊池カヨ	アイヌ刺繍	160		
				差間正樹	アイヌの思い	161~162		
				松本成美	古賀博文氏からのお便り -「久摺」第八集の書評	174~175		
			2003	12		高橋喜勢子	平成猫事情(三)	177~196
						浦田遊	粛清に消えたアイヌ語研究者 ニコライ・ネフスキー	197~221
	松本成美	伊賀久幸氏の死を悼み			222~228			
	ジョン・パチェラー・著、鈴木史朗・訳	北海道の穴居民とアイヌ語地名に関する考察(一)			230~239			
	増野光教	白糠のアイヌ語の伝承			7~18			
	豊岡イズズ	夫 豊岡キイチの遺稿集より			19~27			
	松本成美	八重清次郎小伝			28~37			
	桶作高子	近代に生きるアイヌの世界観と芸術			38~50			
	浦田遊	釧路地方アイヌ人物誌(一)			51~71			
	山本悦也	『東蝦夷夜話』のラムシャのアイヌ語について			72~77			
	横山むつみ	知里幸恵の百年(生誕百年釧路のつどい講演記録)			80~93			
	高木喜久恵	講演を聞いて 知里幸恵に思う			94~95			
	富樫利一	知里幸恵の遺稿「おもひのまま(六月二十九日)」を考察する			100~104			
	五十嵐聡美	描かれた蝦夷錦は何を語るのか : 小玉貞良筆<アイヌ盛装図>			105~114			
	鎌田正信	道東のアイヌ語地名を尋ねて(五)			116~125			
	中村一枝	永久保秀二郎「アイヌ語雑録」の天文・自然現象などの語彙検討			126~156			
	大庭英保	阿寒町先住民族の遺跡について			157~166			
	浅野恵子	クスリサコロベ : 釧路の物語り			167~199			
	大嶽正道	イオマンテ			200~209			
	奥田幸子	伏古の伏根弘三			210~224			
	桶作高子	蝦夷通詞「豊島三右衛門」のこと	225~238					
	松本成美	オッパイ山祭り参加記	239~250					
	畠山歌子	海外のアイヌコレクション : 特別展とシンポジウム	251~258					
	斎藤忍	アイヌ民族楽器ームックリ・トンコリ展ーを見て	259~262					

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
				雑誌目次・文献目次		
く						
				松田佐吉	道東地域の遺跡めぐり	263～270
				高橋喜勢子	平成猫事情(四)	273～292
				加藤実	アイヌ民族のよき風習を学ぶために	293～302
				滝口百合子	釧路新聞連載『掘る』：政満の彫刻	303～307
				差間正樹	私の内なるアイヌ	308～311
				千葉誠治	小・中の教科書記述から見えるアイヌ民族	312～318
				ジョン・パチェラー(鈴木史朗訳)	北海道の穴居民とアイヌ語地名に関する考察(二)	352～319
2005	8	11		古谷達也	「伊能大図」と久摺	6～16
				伊藤せいち	山本多助氏のアイヌ語	17～31
				大場英保	クナシリ・メナシの戦いを考える	39～43
				高木喜久恵	祖先からの伝言	44～66
				増野光教	アイヌの精神文化	67～71
				前山尚子	アイヌ料理を作って食べよう	72～74
				秋辺日出男	昔の青年の主張	75～91
				小林攻一	邪馬台国との出会い	92～93
				中村一枝	永久保秀二郎集録「アイヌ語雑録」の語彙検討	94～116
				磯部恵津子	アイヌに生まれて	117～118
				福浦寛	トコロ紀行	119～126
				浅野恵子	トミカラアイノ余話	127～150
				松本成美	アイヌ語地名覚え書(一) 動植物・人体・信仰	151～155
					故 浦田広胖氏追悼特集	159～174
2008	9	12		松本成美	「アイヌ先住民族」国会決議の意義	6～11
				差間正樹	先住民族、アイヌ協会、やはりある差別	12
				磯部恵津子	白糠アイヌ文化年	13
				滝地良子	白糠町アイヌ文化年と先住民族決議について	14
				鈴木紀美代、豊岡イスズ、滝口百合子、中川祐子	先住民族国会決議を受けて 一会員からのメッセージ	15
				北海道大学アイヌ・先住民研究センター・翻訳	[資料]先住民族の権利に関する国際連合宣言	16～24
				中村一枝	永久保秀二郎集録「アイヌ語雑録」の語彙検討ー短文・助詞など、拾遺の語及び伝承類ー	25～74
				畠山歌子	釧路市立博物館のアイヌ衣服	75～97
				伊藤せいち	アイヌの保存食トバについて	98～99
				浅野恵子	コロポックルの行方	100～110
				松本成美	「南北の塔」の語るものー沖縄と北海道を結ぶー	111～138
				小林攻一	『アイヌモシリ』私考	139～140
				千葉誠治	アイヌ民族理解のために	141～148
				大川哲子	関寛齋とアイヌの人々：その探求のいとぐちとして	149～155
				佐藤寿子	百年前の啄木が見たアイヌ観 ー神様になったアイヌー	156～162
				前山尚子	『紛争の心理学』を通して見えるアイヌ民族と和人の関係 ー互いのより良い理解を目指してー	163～166
				奥田幸子・合沢寛	「加賀家文書」の中のアイヌ語：根室アイヌ仁助(ニシケ)の口述を読む	168～185
				桶作高子	鎮魂：松田前副会長のこと	186～191
				<b>久米島自然文化センターだより</b>		
				<b>久米島自然文センター(沖縄県)</b>		
2004	3		7	アイヌ伝統工芸展/アイヌ民族芸能交流会		2
				<b>グラフ旭川</b>		
				<b>グラフ旭川</b>		
2000	10	262		寺島一男	北の自然・人 第175回 大雪山名称あれこれ	42～43
				秋岡康晴	私の国語教室(その八十七)全国研北海道大会(三)	54

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	
雑誌目次・文献目次							
く							
2004	1		301	岡雅彦	アイヌの文化2	カムイ・ユーカラを訪ねて	65
内容:『ミソサザイの神に語った話』 : トシリポツという鳥の話							
2004	2		302	岡雅彦	アイヌの文化3	カムイ・ユーカラを訪ねて	49
内容:『国づくりの神々』の話(1)							
2004	3		303	岡雅彦	アイヌの文化4	カムイ・ユーカラを訪ねて	51
内容:『国づくりの神々』の話(2)							
2004	4		304	岡雅彦	アイヌの文化5	カムイ・ユーカラを訪ねて	61
内容:『国づくりの神々』(3)							
2004	5		305	岡雅彦	アイヌの文化6	カムイ・ユーカラを訪ねて	59
内容:アイヌ・ラックル(1)							
2004	6		306	岡雅彦	アイヌの文化7	カムイ・ユーカラを訪ねて	53
内容:アイヌ・ラックル(2)							
2004	7		307	岡雅彦	アイヌの文化8	カムイ・ユーカラを訪ねて	61
内容:アイヌ・ラックル(3)							
2004	8		308	岡雅彦	アイヌの文化9	カムイ・ユーカラを訪ねて	53
内容:アイヌ・ラックル(4)							
2004	9		309	岡雅彦	アイヌの文化10	カムイ・ユーカラを訪ねて	51
内容:アイヌ・ラックル(5)							
2004	10		310	岡雅彦	アイヌの文化11	カムイ・ユーカラを訪ねて	61
内容:アイヌ・ラックル(6)							
2004	11		311	岡雅彦	アイヌの文化12	カムイ・ユーカラを訪ねて	59
内容:アイヌ・ラックル(7)							
2004	12		312	岡雅彦	アイヌの文化13	カムイ・ユーカラを訪ねて	55
内容:マリリンコ姫の物語(1)							
2005	1		313	岡雅彦	アイヌの文化14	カムイ・ユーカラを訪ねて	73
マリリンコ姫の物語(2)							
2005	2		314	岡雅彦	アイヌの文化15	カムイ・ユーカラを訪ねて	55
マリリンコ姫の物語(3)							
2005	3		315	岡雅彦	アイヌの文化16	カムイ・ユーカラを訪ねて	55
怪鳥フリーが語った話(1)							
				土井美千代	[今月の推薦本]カムイコタン祭りに(相川公司・		65
					著、鈴木隆一・絵、新風社)		
2005	4		316	岡雅彦	アイヌの文化17	カムイ・ユーカラを訪ねて	63
怪鳥フリーが語った話(2)							
2005	5		317	岡雅彦	アイヌの文化18	カムイ・ユーカラを訪ねて	71
小さなカワウソが語った話(1)							
2005	6		318	岡雅彦	アイヌの文化19	カムイ・ユーカラを訪ねて	51
小さなカワウソが語った話(2)							
2005	7		319	岡雅彦	アイヌの文化20	カムイ・ユーカラを訪ねて	63
強情クマ神の話(1)							
2005	8		320	岡雅彦	アイヌの文化21	カムイ・ユーカラを訪ねて	65
強情なクマ神の話(2)							
2005	9		321	岡雅彦	アイヌの文化22	カムイ・ユーカラを訪ねて	59
強情なクマ神の話(3)							
2005	10		322	岡雅彦	アイヌの文化23	カムイ・ユーカラを訪ねて	61
強情なクマ神の話(4)							
2005	11		323	岡雅彦	アイヌの文化24	カムイ・ユーカラを訪ねて	59
鼻長ネズミが語った話							
2005	12		324	岡雅彦	アイヌの文化25	カムイ・ユーカラを訪ねて	57
ウサギのエカシ(お爺さん)が語った話(1)							

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者	
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

く

2006	1		325	岡雅彦	アイヌの文化26 カムイ・ユーカラを訪ねて ウサギのエカシ(お爺さん)が語った話(2)	73
2006	3		327	岡雅彦	アイヌの文化27 山本多助の姿(1)	51
2006	4		328	岡雅彦	アイヌの文化28 山本多助の姿(2)	65
2006	5		329	岡雅彦	アイヌの文化29 山本多助の姿(3)	59
2006	6		330	岡雅彦	アイヌの文化30 山本多助の姿(4) イタクカ シカムイ(言葉の霊)	55
2006	7		331	岡雅彦	アイヌの文化31 山本多助の姿(5) イタクカ シカムイ(言葉の霊)	63
2006	8		332	岡雅彦	アイヌの文化32 山本多助の姿(6) イタクカ シカムイ(言葉の霊)	57
2006	9		333	岡雅彦	アイヌの文化33 山本多助の姿(7) イタクカ シカムイ(言葉の霊)	57
2006	10		334	岡雅彦	アイヌの文化34 山本多助の姿(8) イタクカ シカムイ(言葉の霊)	51
2006	11		335	岡雅彦	アイヌの文化35 山本多助の姿(9) イタクカ シカムイ(言葉の霊)	55
2006	12		336	岡雅彦	アイヌの文化36 アイヌ民族(1)	55
2007	1		337	岡雅彦	アイヌの文化 37 カムイ・ユーカラを訪ねて	69
2007	2		338	岡雅彦	アイヌの文化 38 カムイ・ユーカラを訪ねて	49
2007	3		339	岡雅彦	アイヌの文化 39 カムイ・ユーカラを訪ねて	51
2007	4		340	岡雅彦	アイヌの文化 40 カムイ・ユーカラ	73
2007	5		341	岡雅彦	アイヌの文化 41 カムイ・ユーカラを訪ねて	71
2007	6		342	岡雅彦	アイヌの文化 42 カムイ・ユーカラを訪ねて	57
2007	7		343	岡雅彦	アイヌの文化 43 カムイ・ユーカラを訪ねて	67
2007	8		344	岡雅彦	アイヌの文化 44 カムイ・ユーカラを訪ねて	61
2007	9		345	岡雅彦	アイヌの文化 45 カムイ・ユーカラを訪ねて	61

このシリーズは今回で完。

<b>グリーンレター</b>			<b>美幌農業館・博物館</b>			
2002	3		93	竜一生	アイヌの幽霊	(6~7)
2005	3		114	伊豆田龍一	陸別の「カネラン」と美幌の菊池一族	1~2
<b>くるまいし館だより</b>			<b>根室市歴史と自然の資料館</b>			
2005	6		20	堀内紀子	カーペンター夫妻の話	24~27
『根室市博物館開設準備室だより』の改題、継続誌。アイヌ伝道の途次、アイヌからマキリをもらったことに関する記述あり。						
2006	5		21	猪熊樹人	長崎県に所在する近世根室、蝦夷地関係資料調査概要	19~22
松浦史料博物館所蔵資料などについて報告あり						
2007	6		22	猪熊樹人	平成18年度の寄贈資料について	24~25
記事中で「アイヌ民具」を紹介。この民具が2007年5月に市指定有形文化財となる。表紙に関連写真、説明文あり。巻末「編輯後記」にも関係記事あり。						
<b>グローブ</b>			<b>世界人権問題研究センター</b>			
2003	7		34	上田正昭	アテルイと田村麻呂	2~3
<b>クロワッサン</b>			<b>マガジンハウス</b>			
2001	8	25	16	571	日常生活の中の差別⑩石を投げつけられた子ども時代。同じ人間なのになぜ差別されるのか?熊谷たみ子さん ジャズボーカリスト	115
2001	9	25	17	572	差別?感じなかったわね。悪口雑言?そんなこと日常茶飯事でしたよ。佐藤タツエさん	76
<b>群像</b>			<b>講談社</b>			
2000	9	55	9	堂垣園江	【書評】影を操る陰の手品師 久間十義……【オコピン】	292~293

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

け

<b>芸術工学研究</b>				<b>九州大学大学院芸術工学研究院</b>		
2005	99		3 板橋義三		アイヌ語の人称接辞体系の形成について	1~19
<b>けーし風</b>				<b>新沖縄フォーラム刊行会議</b>		
2000	6	27	竹内渉		[北の風・南の風]北海道ウタリ生活実態調査を読む	12~13
2000	9	28	竹内渉		[北の風・南の風]「国際先住民の日」記念事業	10~11
2000	12	29	竹内渉		[北の風・南の風]キムンウタリイチャルバ	10~11
2001	3	30	竹内渉		[北の風・南の風]奄美でのアイヌ文化交流	10~11
2001	6	31	竹内渉		[北の風・南の風]私論「結城庄司アイヌ」	14~15
初出「アイヌ宣言 私論・結城庄司アイヌ」(『別冊宝島 アイヌの本』宝島社、1993年6月)に加筆修正。						
2001	12	33	竹内渉		[北の風・南の風]あなたは「なに民族」	60~61
初出『同朋新聞』2001年12月1日付け「人間が人間であるために」欄に加筆修正。						
2002	6	35	竹内渉		[北の風・南の風]葛野エカシ追悼文	52~53
2002	9	36	竹内渉		[北の風・南の風]アイヌ民族博物館存続の危機!	54~55
			長谷川由希		[北の風・南の風]国連での学び	56~57
2002	12	37	竹内渉		[北の風・南の風]知里幸恵生誕百年	60~61
2004	3	42	島袋陽子		調教師にならない沖縄人	26~27
特集「いま、差別の諸相を考える」(「人類館事件」関連特集)						
			竹内渉		[北の風・南の風]アイヌ文化コース開設と若き伝承者	60~61
苫小牧駒澤大学短期大学の紹介						
2004	6	43	竹内渉		[北の風・南の風]五月の桜	70~71
2004	9	44	竹内渉		[北の風・南の風]アイヌとハワイアンの文化交流	56~57
2004	12	45	竹内渉		[北の風・南の風]『野村義一と北海道ウタリ協会』	58~59
2005	3	46	竹内渉		[北の風南の風]雪深い北国からあれこれ	86~87
2005	12	49	竹内渉		[北の風南の風]キムンウタリ(南北)の塔イチャルバ(供養祭)	62~63
2006	3	50	竹内渉		[北の風・南の風]アイヌ(ウタリ)協会創立六〇周年	54~55
2006	6	51	竹内渉		[北の風・南の風]追悼 萱野茂アイヌ	20~21
2006	12	53	竹内渉		[北の風・南の風]アイヌ文化交流 愛楽園	70~71
2007	3	54	竹内渉		[北の風・南の風]伊吹文科相発言に「学ぶ」	62~63
2007	9	56	竹内渉		[北の風・南の風]『アイヌ民族の歴史』待望の通史刊行	42~43
初出は『部落解放』2007年10月号						
2007	12	57	竹内渉		[北の風・南の風]二〇〇七しらぬかアイヌ文化年 ~ウレシバ・シラリカ~	66~67
<b>ケース研究</b>				<b>家庭事件研究会</b>		
2000	11	265	田中和吉		アイヌ・ネノアン・アイヌ	160~163
<b>月刊百科</b>				<b>平凡社</b>		
2004	11	505			熊谷達也、最新小説『荒蝦夷』を語る 北が舞台の権謀術数渦巻く歴史絵巻	2~7
<b>兼葭堂だより</b>				<b>木村兼葭堂顕彰会</b>		
2005	11	5	大塚和義		木村兼葭堂と蝦夷地の情報ネットワーク	1~2
<b>げんき</b>				<b>白老町</b>		
2000	1	473			[街角トピックス]アイヌ伝統料理の味はいかが?	12
2000	4	476			[街角トピックス]歴史たどる「木彫りグマ展」開催	8
			富樫		教育行政執行方針 アイヌ文化の振興	13
2000	11	483			[街角トピックス]文化伝承の祭り・チェブ祭	7

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	
雑誌目次・文献目次							
け							
2001	10		494		[まちかどトピックス]アイヌ文化の伝承・チェブ祭	11	
2002	8		504		白老だからできる体験 体験観光でしろおい再発見	2~4	
					アイヌ民族の伝統的生活空間「イオル再生」/白老町が「中核イオル」の整備適地に選ばれました	8~9	
					[まちかどトピックス]先祖を偲び「シヌラッパ」	10	
2002	9		505	中村齋	アイヌ千一夜物語 「アイヌを知ること」	5	
2002	10		506	中村齋	アイヌ千一夜物語 2 「アイヌ」の意味は、人間	11	
2002	11		507	中村齋	アイヌ千一夜物語 3 「縄文人はアイヌではない」	7	
2002	12		508	中村齋	アイヌ千一夜物語 4 「アイヌの祖先」は	11	
2003	1		509	中村齋	アイヌ千一夜物語 5 アイヌ民族博物館の始まり	10	
2003	2		510	(萩野 女性)	[ひとこと言わせて]楽しみです、アイヌ千一夜物語	7	
				中村齋	アイヌ千一夜物語 6 クマを狩る	6	
2003	3		511		[まちかどトピックス]アイヌ文化を紹介	7	
第2回「ポロトコタン冬のくらし展」を紹介							
				中村齋	アイヌ千一夜物語7 クマを送る	8	
					[pick up旬]壮観! 干しザケづくり	後表紙	
2003	4		512	中村齋	アイヌ千一夜物語8 ポロシルンカムイになった少年	10	
2003	6		514		白老中核イオル整備構想	2~3	
				中村齋	アイヌ千一夜物語10 地名の消滅は文化の消滅	10	
2003	7		515	中村齋	アイヌ千一夜物語11 昔コタンがあった場所	14	
2003	8		516	中村齋	アイヌ千一夜物語12 北海道開拓とアイヌ1	10	
2003	9		517		[まちかどトピックス]シリカプ送り儀礼を再現	8	
				中村齋	アイヌ千一夜物語13 北海道開拓とアイヌ2	10	
2003	10		518		[まちかどトピックス]アイヌ文化伝承のまつり	10	
「第15回しろおいチェブ祭」の記事。							
				中村齋	アイヌ千一夜物語14 サケを捕る	12	
2003	11		519	中村齋	アイヌ千一夜物語15 木彫りの熊	7	
2003	12		520	中村齋	アイヌ千一夜物語16 冬を迎える知恵	11	
					[まちかどトピックス]「鶴の舞」記念押印サービス実施中	12	
2004	1		521	中村齋	アイヌ千一夜物語17 コタン・コロ・クル	10	
2004	2		522	中村齋	アイヌ千一夜物語18 若きアイヌの詩人 森竹竹市	5	
2004	3		523	中村齋	アイヌ千一夜物語19 アムール河でアイヌの子孫に	8	
2004	4		524	中村齋	アイヌ千一夜物語20 アットゥシ	20	
2004	5		525	中村齋	アイヌ千一夜物語21 ピリカの唄	8	
2004	6		526	中村齋	アイヌ千一夜物語22 子どもの遊び	8	
2004	7		527		ポロトコタンのチセ(絵/緑丘小6年・天野つぐみさん)	1	
表紙絵。							
				中村齋	アイヌ千一夜物語23 海岸のクジラ	8	
2004	8		528		ポロトコタンの夜 8月19日まで開催/アイヌ民族の「歌・踊り・祈り・食」をテーマに	2	
					[ひと げんき]イオル構想実現に向け全力尽くす/社団法人北海道ウタリ協会第6代理事長に就任した加藤忠さん		
				中村齋	アイヌ千一夜物語24 イオル構想って?	6	

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者	
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>け</b>						
2004	9		529	中村齋	アイヌ千一夜物語25 十二人の長老図	10
2004	10		530	中村齋	アイヌ千一夜物語26 白老会所	14
2004	10				[元気まち・ウォッチング]サケの恵みに感謝 チェブ祭	28
2004	11		531	中村齋	アイヌ千一夜物語27 コタンがコタンでなく なる時	5
2004	12		532		シンポジウム 食材王国しらおい 誇りある故 郷(ふるさと)づくり スローフード運動を考え る ふるさとの食文化を発見	3～5
				中村齋	アイヌ千一夜物語28 オハウ	12
					[元気まち・ウォッチング]シリカブ送りを再現	24
2005	1		533	中村齋	アイヌ千一夜物語 29 いれずみ	12
2005	2		534		『アイヌ千一夜物語』を執筆 中村齋さん : イオル構想の実現はまちの活性化にもつながる	6
				中村齋	アイヌ千一夜物語 30(最終回) 「ポロトをア イヌ民族の拠点に」	7
2005	3		535		[元気まち・ウォッチング]森竹竹市の生い立ち を紹介	18
2005	4		536		平成17年度教育行政執行方針(要旨) /アイヌ 文化の学習	13
2005	8		540		ポロトコタンの夜の祭主を務める (財)アイヌ 民族博物館伝承係長 山丸郁夫さん 夜の幻想 的なポロトコタンをご覧ください	12
<b>広報げんき</b>				<b>白老町経営企画課</b>		
2006	12		556		イオル再生へ 植栽など着々/アイヌ伝統文化 伝承へ18年度は約5千万円	1
発行年月日記載なし。発行月は本号が12月号であることによる。						
2007	1		557		アイヌ文化フェスティバル 白老町で初の開催	16
2007	2		558		アイヌ民族博物館で 4400本のサケを寒干し	16
2007	4		560		伝統文化継承者に認定 アイヌ文化伝承に貢献 した女性5人	1
					イオル再生事業	6
「平成19年度町政執行方針(要旨)」の一部。						
2007	5		561		白老町伝統文化継承者① 野本ハナエさん	4
この号から町内会連合会が編集を担当。						
					伝統の味を忠実に再現しました サッチェブ 鮭寒干し	5
					高橋房次物語『銀杏のそよぎ』公演決まる	19
2007	6		562		白老町指定無形民俗文化財 伝統文化継承者② 野本ヨシエさん	6
					ポロト湖で舟下し儀式・チブサンケ	26
2007	7		563		白老町指定無形民俗文化財 伝統文化継承者③ 近藤ノリ子さん	5
2007	8		564		白老町指定無形民俗文化財 伝統文化継承者④ 野本リヨさん	6
2007	9		565		白老 観光新時代を迎えて	2～3
「ポロトコタンの夜」関係記事						
					白老町指定無形民俗文化財 伝統文化継承者⑤ 林イツ子さん	6
2007	10		566		シリカブ送り儀礼とイタオマチブ製作	1～3
特集記事。						
2007	11		567		白老町伝統文化継承者が国のアイヌ文化奨励賞 を受賞 古式舞踊、伝統料理、チタラペ、アット ウシ	23
					白老町アイヌ施策基本方針を報告	23

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者	
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

け

広報元気			白老町経営企画課			
2008	1		569		「銀杏のそよぎ」公演 まちの文化創造事業高橋房次物語	21
2008	2		570		イオル再生事業 アイヌ民族博物館で体験交流に係る指導者育成	23
2008	3		571		フォーラムで、ヨイクの歌唱、マオリの演舞 : フィンランド・サーミ博物館館長とニュージールランド・マオリ民族代表者を迎え	2~3
					イザベラ・バードの道を辿る	21
					[カメラルポ]アイヌ文様刺しゅうを学ぶ	22
2008	4		572		[アイヌ文化フェスティバル 白老]	1
				鮎谷町長	平成20年度町政執行方針(要旨)イオル再生事業	6
				白崎教育長	平成20年度教育行政執行方針(要旨)アイヌ文化学習	18
					アイヌ文化普及とイオルの推進 : アイヌ文化フェスティバル	38
					アフルパロ洞穴を守って	38
					[カメラルポ]社台生活館でアイヌ伝統料理教室	39
2008	5		573		洞爺湖サミット・プレスツアー アイヌ民族博物館を視察	24
2008	6		574		[カメラルポ]5月10日 アヨロでアイヌ語地名を学ぶ	27
2008	7		575		百三十年前の白老 イザベラ・バードの道を辿る 社台・野生の「牧」、駅通本陣跡・森野温泉	2
					[話題を追う] しらおいイオル事務所「チキサニ」開所、アイヌ文化伝承を情報発信	22
2008	8		576		北海道洞爺湖サミット開催 町内外で歓迎事業、しらおいの魅力を世界へ	2~3
2008	10		578		[シリカブ(カジキ類)の送り儀礼]	1
					イオル再生事業の新たな展開に期待 アイヌ民族を先住民族とする国会決議から	2~3
2008	11		579		[白老チェブ祭で供されたチマチェブ(秋アジの申し焼き)]	1
2009	1		581		高橋房次物語「銀杏のそよぎ」ついに完結穂一感動のフィナーレ	19
2009	2		582		[サチェブ作りの寒干し]	1
					白老町伝統文化継承者に認定 アイヌ文化伝承に貢献した女性4人 製炭技術と木彫り熊制作の男性一人	2
					野村義一さん死去 白老町自治功労者 94歳 アイヌの地位向上に努力	3
2009	3		583		[話題を追う]アチャポの会がカンジキづくり指導	21
					[話題を追う]ポロト湖畔でチセコッエノミ(地鎮祭)	21
					[話題を追う]アフルパロの地域貢献で感謝状	
2009	4		584		白老は新たな食材の宝庫か!アイヌ伝統料理と韓国料理のコラボで新たな薬膳料理を	2
				鮎谷町長	平成21年度町政執行方針(要旨)イオル再生事業	9
				白崎教育長	平成21年度教育行政執行方針(要旨)アイヌ文化学習	20
					[話題を追う]アイヌ文化フェスティバルinしらおい	37
					[話題を追う]森竹竹市研究会が遺稿集『評論編』刊行五冊目 カムイオイナ(聖典)の一部も	37
研究紀要			北海道高等学校教育研究会事務局			
2007	3		44	阿部保志	アイヌ民族の歴史に関する実践報告 : 高校教育におけるその意義と課題の考察	1~8

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

け

<b>研究報告</b>				<b>苫小牧市博物館</b>		
2001	3		11	武田正哉	象潟須田家所蔵コウフツ関係文書	29~48
<b>研究論集</b>				<b>北海道大学大学院文学研究科</b>		
2004	12		4	高橋靖以	(博士論文要旨)アイヌ語十勝方言の助詞	264~265
<b>言語研究</b>				<b>日本言語学会</b>		
2006	3		129	切替英雄	[フォーラム]アイヌ語の1を示す数詞	227~242
<b>原始林</b>				<b>原始林社</b>		
2002	7	57	7	669 布沢幸	「レラコラチの歌」-森竹竹市の人となり-	40~42
2002	8	57	8	670 布沢幸	「レラコラチの歌」-森竹竹市の人となり(二)-	23~25
2002	9	57	9	671 布沢幸	「レラコラチの歌」-森竹竹市の人となり(三)-	24~26
2002	10	57	10	672 布沢幸	「レラコラチの歌」-森竹竹市の人となり(四)-	22~23
2007	10	62	11	733 床みどり	私とムックリ	53
<b>現代思想</b>				<b>青土社</b>		
2008	7	36	8	川田順造	日本を問い直す 第六回 原住民または先住民をめぐって	50~56
<b>週刊現代日本史</b>				<b>講談社</b>		
2002	9	2	34	67	刺繍や木彫に受け継がれる「アイヌ文様」の美意識	39
<b>現代農業 別冊</b>				<b>農山漁村文化協会</b>		
2005	9			萩中美枝、藤村久和、村木美幸	狩猟と採集の民 アイヌの食	139~145
同社刊『聞き書 アイヌの食事』から「はしがき」(萩中美枝)、「陸海獣の食べ方」(藤村久和)、「熊の霊送りと料理」(村木美幸)を転載したものの。						
<b>現代の理論</b>				<b>言論NPO・現代の理論</b>		
2005	4		3	宇佐照江、酒井美直(聞き手:山田奈津子、五十嵐聡江、今井勇)	座談会 若きアイヌの現在と未来 : 新しいアイデンティティの創出を	193~208
2006	4		7	尾本恵市	日本人の起源論をめぐって : 分子人類学からの視点	24~38
2008	1		14	千本秀樹	人類館事件と差別の序列 : 第五回内国勸業博覧会における人間展示	56~67
<b>建築雑誌</b>				<b>日本建築学会</b>		
2005	2		120集(1528)	高屋麻理子、鈴木晶子	北海道におけるアイヌ文化期の住居形式の変容 : 竪穴住居から平地住居への変容過程	76
2004年度日本建築学会大会(北海道)建築歴史・意匠部門 研究懇談会						

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

こ

<b>コア・エシックス</b>				<b>立命館大学大学院先端総合学研究所</b>		
2005	3	1	佐藤 ロスベアグ ナナ	知里真志保のフィールドメモ	1942年の夏	83~93
<b>工学研究</b>				<b>北海学園大学大学院工学研究科</b>		
2007	99	7	桃内佳雄、安曇恭徳	アイヌ語・日本語機械翻訳のための場所表現に		35~42
<b>季刊 考古学</b>				<b>雄山閣</b>		
2000	8	72	佐藤一夫	近・現代遺跡調査の現状／北海道		37~40
特集:近・現代の考古学。P.39に「生産遺跡と先住民遺跡」あり。						
2002	8	80	谷口康浩	縄文時代の領域		29~33
沙流アイヌにおけるイウォルの場合:P.30~31						
2004	5	87	山浦清	(書評)天野哲也 クマ祭りの起源		101
2005	2	87	前川要	(書評)野村崇・宇田川洋編 擦文・アイヌ文化		111
新北海道の古代3						
2008	8	104	内山達也	[論文展望]内山達也 アイヌの方位観—神窓方		105
位と埋葬頭位に関する一試論(平取を中心として)— 物質文化研究4号						
2009	5	107	山田孝子	アイヌ文化の世界観 —カムイの観念にみる領		27~29
有性と相補的互酬性—						
<b>考古学研究</b>				<b>考古学研究会</b>		
2005	9	56	2 206 臼杵勲	北方社会と交易 : オホーツク文化を中心に		42~52
考古学研究会第51回総会研究報告						
2006	9	53	2 210 瀬川拓郎	異文化・商品・共生 : 交易と古代北海道狩猟		40~53
採集社会の転換						
考古学研究会第52回総会研究報告						
<b>月刊考古学ジャーナル</b>				<b>ニューサイエンス社</b>		
2004	10	521	赤石慎三	アイヌの貝製品		15~18
特集:北海道の貝製品						
<b>考古学集刊</b>				<b>明治大学文学部考古学研究室</b>		
2009	5	5	平田健	日本考古学絵葉書百景(二) : 絵葉書作成に		99~109
携わった考古学者						
「1. 坪井正五郎とピリカ会」(99~101ページ)。						
<b>考古学論集</b>				<b>歴文堂書房</b>		
2005	10	6	三宅正裕	イヌを使ったサケ・マス漁 : 木戸竹石筆『北		141~154
海道土人獲鮭図懐』から見たもの						
<b>公衆衛生</b>				<b>医学書院</b>		
2009	12	73	12 結城幸司	(インタビュー)アイヌ文化の表現者として今思		60~63
うこと : 自らの「アイデンティティ」を取り						
戻す生き方を						
<b>口承文芸研究</b>				<b>日本口承文芸学会</b>		
2006	3	29	坂田美奈子	アイヌの物語における社会矛盾の解決		58~69
2008	3	31	遠藤志保	アイヌ英雄叙事詩の戦闘場面 : 男の語りと		72~80
女の語り						
<b>高知女子大学紀要 文化学部編</b>				<b>高知女子大学</b>		
2007	3	56	橋尾直和	琉球語の比較言語文化論 : 新グスク考と新ニラ		13~22
イ・カナイ考						
<b>高知女子大学文化論叢</b>				<b>高知女子大学文化学部</b>		
2005	3	7	橋尾直和	琉球語・アイヌ語・日本語諸方言とオーストロネ		39~51
シア語の若干の比較						
<b>交流</b>				<b>交流協会 貿易経済部</b>		
2009	12	825	謝世忠	互いを思い、互いを知る —台湾原住民とアイ		39~41
ヌ民族の「第四世界」での出会い						
<b>季刊 ゴーシュ</b>				<b>季刊ゴーシュ編集委員会</b>		
2006	6	6	中村聖司	追悼 伊福部昭		6~7

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>こ</b>							
<b>國學院雑誌</b>				<b>國學院大学</b>			
2008	7	109	7	1215	清水香	アイヌ文化の捧酒箸について : 樹種選択を中心に	51～76
<b>國學院短期大学学報</b>				<b>國學院短期大学</b>			
2001	9			43		チセ(アイヌの家)の復元なる : アイヌ文化の伝承の拠点に	1
<b>國學院大学学報</b>				<b>國學院大学</b>			
2008	5			558	和田利政	K-Story- 國學院の歴史 研究者像シリーズ ⑬ アイヌ語・アイヌ文化研究の権威	6 金田一京助
<b>國學院大学 博物館学紀要</b>				<b>國學院大学博物館学研究室</b>			
2005	3			29	小西雅徳	拓殖博覧会における人種展示と東京人類学会の役割について	1～11
2009	3			33	有田大悟	北海道における「陣屋」の保存と展示	135～142
<b>国学院短期大学学報</b>				<b>国学院短期大学</b>			
2001	9			43		チセ(アイヌの家)の復元なる アイヌ文化の拠点に	1
<b>国語と国文学</b>				<b>至文堂</b>			
2002	11	79	11		諸星美智直	近世蝦夷地における和人社会の言語状況	180～189
<b>国際開発研究フォーラム</b>				<b>名古屋大学大学院国際開発研究科</b>			
2007	3			34	東村岳史	呼称から考える「アイヌ民族」と「日本人」の関係 : 名付けることと名乗ること	87～101
<b>国際経済研究</b>				<b>国際経済研究センター</b>			
2005	11			281	高瀬浄	呪われる現代世界と問われる文明 : ケルト文化とアイヌ社会の古層によせて	1～12
<b>国際公共政策研究</b>				<b>大阪大学大学院国際公共政策研究科</b>			
2004	3	8	2		松井一博	ラムサール条約が人権条約に与える影響 : 先住民の文化の保全を中心に	67～83
2005	3	9	2		松井一博	森林認証制度における先住民の権利	283～301
2005	9	10	1		松井一博	ラムサール条約における参加型環境管理	139～159
2006	9	11			松井一博	アイヌ民族の権利と国際環境政策の展開 : 先住民の文化権の保障から	235～254
<b>国際広報メディアジャーナル</b>				<b>北海道大学大学院国際広報メディア研究科</b>			
2006	5			4	八幡耕一、多原良子	持続可能な地域社会の構築と先住民の社会的主体化 : アイヌ民族と北海道の協働に向けた国際広報メディア学的序説	185～205
<b>「国際交流」通信</b>				<b>北海道教育大学岩見沢校国際交流委員会</b>			
2007	3			15	前田和司	地域に根ざした環境教育のための国際ワークショップ	8～10
<b>国際人権</b>				<b>国際人権法学会</b>			
2003	10			14	秀嶋ゆかり	アイヌ史資料集事件(アイヌ人格権訴訟)	122～123
2005	10			16	大塚泰寿	[資料]国際人権法主要文献目録	152～167
					西片聡哉	[資料]日本における国際人権訴訟主要判例一覧(3)	168～172
<b>国際人権ひろば</b>				<b>アジア太平洋資料センター</b>			
2004	7			56	田中洋一	アイヌ民族はいま -文化振興法から7年経って	12～13
2008	9			81	貝澤耕一 前川実	今こそ先住民の権利保障を アイヌ文化活動家の貝澤耕一さんを迎えて ESD&多文化教育セミナーを開催	16～17 22
<b>国際短期大学紀要</b>				<b>国際短期大学</b>			
2006	3			20	鈴木俊二	借用語の理論(3) 日本列島の歴史言語学	41～96
<b>国際人間学フォーラム</b>				<b>中部大学大学院国際人間学研究科</b>			
2007	3			3	増澤智史	玉虫佐太夫著『入北記』におけるアイヌ観	171～182
<b>国史学</b>				<b>国史学会</b>			
2004	2			182	蓑島栄紀	「えぞ」成立問題の周辺	109～110

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

こ

2005	4			186	稲澤つぐみ	アイヌに残る義経伝説	167~168
2009	4			198	酒寄雅志	北関東の古代社会と渡来人・蝦夷	151~178

**国文学 解釈と鑑賞 至文堂**

2000	7	65	7		成田修一	アイヌ語 この百年 : 金田一京助・久保寺逸彦・知里真志保を中心として	72~85
------	---	----	---	--	------	-------------------------------------	-------

2003	9	68	9		栗原敦	『樺太鉄道』	52~57
------	---	----	---	--	-----	--------	-------

特集:宮沢賢治 光と影

2005	1	70	1		中川裕	アイヌ語にくわった日本語	96~104
------	---	----	---	--	-----	--------------	--------

特集:日本語に入ったことば、日本語から出たことば

2007	4	74	4		神谷忠孝	桑原武夫『北海道旅行』	21~24
------	---	----	---	--	------	-------------	-------

特集:旅と文学

					近藤典彦	金田一京助『太古の国の遍路から』	25~27
--	--	--	--	--	------	------------------	-------

**国文学 解釈と教材の研究 學燈社**

2001	8	46	10		佐藤晃	蝦夷幻想 : 義経渡海伝承の変容から	52~57
------	---	----	----	--	-----	--------------------	-------

2002	11	47	13		末國善己	高橋克彦『火怨』 : 蝦夷/アテルイ	62~66
------	----	----	----	--	------	--------------------	-------

特集:(時代小説)のアルケオロジー : 反=時代とは何か

					工藤正廣	北海道開拓史 : 池澤夏樹『静かな大地』と原田康子『海霧』	132~138
--	--	--	--	--	------	-------------------------------	---------

**国立民族学博物館研究報告 国立民族学博物館**

2000	8	25	1		河野本道	アイヌ系住民の都市における動向 : 北海道二大都市における場合の輻合・拡散現象	113~144
------	---	----	---	--	------	-----------------------------------------	---------

2001	8	26	1		佐々木史郎	近現代のアムール川下流域と樺太における民族分類の変遷	1~78
------	---	----	---	--	-------	----------------------------	------

2005	2	29	3		関口由彦	「滅び行く人種」言説に抗する「同化」 : 1920~30年代のアイヌ言論人の抵抗	467~494
------	---	----	---	--	------	------------------------------------------	---------

ページ番号は29巻1号からの通番。

**国立歴史民俗博物館研究報告 国立歴史民俗博物館**

2000	3			84	小口雅史	渡嶋再考	5~37
------	---	--	--	----	------	------	------

特集 古代における北方交流史の研究

					渡部育子	七・八世紀の庄内と秋田	39~59
--	--	--	--	--	------	-------------	-------

					熊谷公男	養老四年の蝦夷の反乱と多賀城の創建	61~90
--	--	--	--	--	------	-------------------	-------

					武廣亮平	八世紀の「蝦夷」認識とその変遷	91~115
--	--	--	--	--	------	-----------------	--------

					熊田亮介	九世紀における東北の地域間交流	117~133
--	--	--	--	--	------	-----------------	---------

					特定研究「北部日本における文化交流」古代文献班(編)	北方交流資料集	164~402
--	--	--	--	--	----------------------------	---------	---------

					熊田亮介	北方古代史関係論文目録(稿) 1977-1998	445~470
--	--	--	--	--	------	--------------------------	---------

2000	3			85			
------	---	--	--	----	--	--	--

本書は浜中2遺跡発掘調査報告書(特定研究「アイヌ文化の成立過程について」の成果の一部)

2003	3			107	佐藤孝雄	虹別シュワン熊送り場跡の動物遺体:コタンの熊送り場に関する動物考古学的研究	119~165
------	---	--	--	-----	------	---------------------------------------	---------

特定研究 アイヌ文化の成立過程について 2

					永嶋正春	北海道内出土古代~近世の鉄製品の非破壊調査	167~176
--	--	--	--	--	------	-----------------------	---------

					齋藤努、高塚秀治	北海道出土鉄製刀剣類の自然科学的分析結果	177~188
--	--	--	--	--	----------	----------------------	---------

					戸村健児、興水達司、西本豊弘	中性子放射化分析による礼文島浜中2遺跡出土黒曜石の産地推定	189~197
--	--	--	--	--	----------------	-------------------------------	---------

					松村博文	渡来系弥生人の拡散と続縄文時代人	199~215
--	--	--	--	--	------	------------------	---------

					宇田川洋	アイヌ文化の形成過程をめぐる一試論:威信財もしくはikor的存在を考える	217~249
--	--	--	--	--	------	--------------------------------------	---------

					小谷凱宣	明治時代のアイヌ・コレクション収集集再考:国外アイヌ・コレクションの調査結果から	251~265
--	--	--	--	--	------	------------------------------------------	---------

2008	3			140	菊池勇夫	アイヌの御目見(ウイマム)儀礼 : 小玉貞良『松前屏風』を導入として	23~41
------	---	--	--	-----	------	------------------------------------	-------

[共同研究]歴史展示における「異文化」表象の基礎的研究

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>こ</b>						
2009	3		150	内田順子	平成17年度国立歴史民俗博物館民俗研究映像「AINU Past and Present—マンローのフィルムから見えてくるもの」： 映画フィルムの資料批判的研究に関連する研究ノート	179～192
<b>語源研究</b>				<b>日本語語源研究会</b>		
2004	3		42	永田良茂	縄文地名の証明方法と場所特定の地名用語例（「…の所」を示すアイヌ語と地名、日本語語源の関係）	22～31
第43回研究発表資料						
2005	3		43	永田良茂	縄文地名の数詞地名例： アイヌ・縄文語の立場から	22～29
				板橋義三	アイヌ祖語における音韻的特徴： 母音の長さか、ピッチアクセントか？（上） 樺太アイヌ語の母音の長短と北海道アイヌ語のピッチアクセントの史的関係からのアプローチ	77～97
2006	3		44	永田良茂	川地名に関する人体語例： アイヌ・縄文語の立場から	26～35
				板橋義三	アイヌ祖語における音韻的特徴 母音の最短か、ピッチアクセントか？（下）： 樺太アイヌ語の母音の長短と北海道アイヌ語のピッチアクセントとの史的関係からのアプローチ	88～100
2007	3		45	永田良茂	語源学講座(7) 「アイヌ」という言葉の成り立ち	108～116
				古田金彦	アイヌ語と日本語、基礎語彙から： 南島諸語との関連	52～65
				鳴海日出志	日本語とアイヌ語の起源： 「母」の比較言語の例	66～73
				鈴木健	私説 エミシ、エゾ、アイヌ	74～85
				野北舜介	「崖」方言に対応する地名とそのアイヌ語解	86～97
<b>古代文学</b>				<b>古代文学会（発行）、武蔵野書院（発売）</b>		
2007	3		46	丸山隆司	〈古代学〉の言説空間： アイヌ・ヤマト・ウチナー	52～61
<b>ことばと文化</b>				<b>慶応義塾大学志木高等学校</b>		
2009	3		13	成田秀敏	アイヌとの出会い・アイヌ語との出会い	132～136
<b>季刊 子どもと昔話</b>				<b>古今社</b>		
2003	7		16	小澤俊夫	[特集]「炎の馬」の文法	12～23
<b>辛夷</b>				<b>辛夷社</b>		
2000	5	55	5	594 野田紘子	アイヌ民族の歌人(七)	73～76
2000	11	55	11	600 野田紘子	アイヌ民族の歌人(八)	91～94
2001	8	56	8	609 野田紘子	アイヌ民族の歌人： バチラー八重子と小説家鳩沢左美夫	72～75
2001	12	56	12	613 野田紘子	知里幸恵を尋ねて	78～81
2002	7	57	7	620 野田紘子	知里幸恵を尋ねて	8～13
2004	4	59	4	641 吉田真弓	ふみ子の選んだ言葉(25)	8～12
歌三首。						
				時田則雄	ポロシリ庵雑記(2)	40～43
2004	5	59	5	642 時田則雄	ポロシリ庵雑記(3)	40～43
2004	6	59	6	643 時田則雄	遼星北斗の歌	1
				時田則雄	ポロシリ庵雑記(4)	42～45
2004	7	59	7	644 時田則雄	ポロシリ庵雑記(5)	50～53
2004	10	59	10	647 時田則雄	アイヌ民謡を聞きながら	1
安東ウメ子のCD『IHUNKE』に触れる。						
2009	2	64	2	699 時田則雄	今後の人生	3
2009	7	64	6	704 照井君子	第25回野原水嶺賞受賞作品 「天上の風(ルビ: カント レラ)	11～13
				佐藤哲彦	選考を終わって[五位 天上の風]	20
				田辺愛子	選考を終えて[一位 天上の風]	21
				福本東希子	選考を終えて[一位 天上の風]	22

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>こ</b>							
					山川有古	深き思考を[一位 天上の風]	23
<b>コブタン</b>				<b>コブタン文学会</b>			
2005	8	25			須貝光夫(筆録)	札幌東高等学校歴史学研究同好会生徒と鳩沢佐美夫の対談	2~47
					木名瀬高嗣	[資料紹介]鳩沢佐美夫、もうひとつの「折鶴」	48~59
					丸山隆司	「証しの空文」：鳩沢佐美夫論にむけて1	60~68
					森義昭	詩二篇	69~72
					森義昭	鳩沢佐美夫と『日高文芸』のこと	73~81
2005	12	26			須田茂	遠星北斗と鳩沢佐美夫	2~7
					須貝光夫	鳩沢佐美夫がかかわった三つの同人誌(上) 鳩沢佐美夫と日高文学	8~32
2006	7	27			須貝光夫	語りたし わが民族のために：札幌東高等学校歴史学研究同好会生徒と鳩沢佐美夫の対談・そのIII	2~45
					木名瀬高嗣	(資料紹介)鳩沢佐美夫『証しの証文』の改稿断片二葉	46~52
					須田茂	鳩沢佐美夫への新たな視点	53~65
					須貝光夫	鳩沢佐美夫がかかわった三つの同人誌(中) 書きたし、わが民族のために：鳩沢佐美夫と山音文学	66~106
					盛義昭	『日高文芸』機関紙「葦通信」のこと：鳩沢佐美夫を中心に	107~113
2007	4	29			盛義昭	(詩)ヌプルサル	12~13
					須貝光夫	鳩沢佐美夫がかかわった三つの同人誌(下) 書きたし、わが民族のために：鳩沢佐美夫と日高文芸	34~123
2007	11	30			須田茂	近代アイヌ文学とキリスト教	10~21
					盛義昭	(詩)レラ アシ	22~23
					須貝光夫	三十号記念号発刊に寄せて 私がかかわった六つの同人誌	89~99
2008	11	31			須田茂	足跡をたずねて	2~12
					須貝光夫	葬送の記 -哀悼・鳩沢佐美夫	13~46
					須貝光夫	鳩沢佐美夫遺稿 第三集 -「ピラトルの春」発刊に寄せて-	47~48
					須貝光夫	「若きアイヌの魂」に掲載された私宛書簡(第一回)	49~67
2009	5	32			須田茂	鳩沢佐美夫ノート「灯」について	2~13
					須貝光夫	哀悼・鳩沢佐美夫の母美喜	14~21
					須貝光夫	葬送の記(第二部) -哀悼・鳩沢佐美夫	22~53
					須貝光夫	「若きアイヌの魂」に転載された私宛書簡(第二回)	54~121
<b>語文と教育</b>				<b>鳴門教育大学国語教育学会</b>			
2005	8	19			小野米一	アイヌに関する国語教書教材	1~21
					橋尾直和	小野米一先生のご業績について	22~23
						土佐方言・アイヌ語・琉球語とオーストロネシア語との比較：アイヌ語「hese」との比較を中心に	24~32
<b>駒沢考古</b>				<b>駒澤大学考古学研究室</b>			
2009	5	34			右代啓視	北方の要害遺跡について：アイヌ文化期のチャシ研究の方向	29~38
<b>駒沢通信</b>				<b>苫小牧駒澤大学広報委員会</b>			
2007	3	22				環太平洋・アイヌ文化研究所(APC)報告	3
<b>古文書通信</b>				<b>NHK学園</b>			
2008	11	79			谷本晃久	古文書に見る蝦夷地のアイヌ社会 -江戸時代のオホーツクを探る-	2~9

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ		

雑誌目次・文献目次

さ

<b>財界さっぽろ</b>								
2000	10	38	10	木原直彦	オニピン 久間十義著 講談社刊 アイヌ伝承を散りばめた連作小説	122		
2001	3	39	3		萱野茂実弟が"訴訟沙汰"無免許運転の平取町議に今度は手形詐欺疑惑	29		
2001	12	39	12	鈴木	ウタリ協会"内紛劇の舞台裏"	170～172		
2002	5	40	1		サクスの坂田明 アイヌ詞曲舞踊団と競演	139		
2007	3	45	3		参院選候補・多原香里の"知られざる素顔"アイヌ民族、夫はスイス人…	279		
2007	7	45	7	酒中	台風の目・多原香里 自民大逆風!危うし伊達忠一	234～235		
				聞き手・前田	候補者に聞く われ、かく戦う 多原香里 女性や弱者の目線に立った政治を実現	240		
2008	7	46	7	酒井・聞き手	今津寛に聞く 超党派で「アイヌ民族は先住民」を国会決議	196～197		
				酒井・聞き手	加藤忠 北海道ウタリ協会理事長「民族を認め合う機は熟した」	198～199		
2009	2	47	2	酒井	[墓碑銘]野村義一さん 元北海道ウタリ協会理事長	152		
2009	9	47	9		[今月のおすすめ]アイヌ民族、半生を語る 中村康利著 クルーズ	113		
2009	10	47	10		アキパで「北海道NOW」北海道倶楽部が新機軸のイベント	163～164		
<b>再現日本史 江戸Ⅲ⑥ 1825～1828 講談社</b>								
2002	9	2	35	68	「オムシャ」復元	20～23		
2002	12	2	49	82	榎森進	「コシャマインの戦い」と中世アイヌ民族の「交易」	34～36	
<b>西條史談 西條史談会(愛媛県西条市)</b>								
2005	9			65	尾崎繁美	アイヌ語地名研究の先覚者 西條藩士・永田方正	13～21	
<b>最前線 朝日新聞社</b>								
2004	12		1		藤代冥砂	アイヌ文化	90～93	
<b>ざいん 未明舎(室蘭市)</b>								
2006	8			10	浅野清	金田一京助と知里幸恵と宮沢賢治	76～81	
					浅野清	宮沢賢治の北海道紀行(その一)	106～137	
					浅野清	日・仏の世界的作家との出会い : アイヌ民族の文学に関心を抱く津島佑子氏とル・クレジオ氏	186～191	
初出は『室蘭民報』2006年4月9日付朝刊。大幅加筆あり。								
2009	8			13	浅野清	近代・現代文学の中のアイヌの人たち(一)	136～152	
<b>佐倉市史研究 佐倉市</b>								
2004	3		17		浜口裕介	須藤秀之助『唐太紀行』 : 佐倉藩士のカラフト調査記録を読む	18～30	
<b>札幌医科大学医学部人文自然科学紀要 札幌医科大学</b>								
2002	12			43	山口和彦	アイヌ語旭川方言民俗語彙事典編纂のための試み	19～52	
<b>札幌学院大学学芸員課程 年報 札幌学院大学学芸員課程</b>								
2006	3			19	2005年度文化実習B実習生	静内町におけるアイヌ文化聞き取り調査 : 2005年度文化実習B調査報告	49～60	
<b>季刊 札幌人 札幌グラフコミュニケーションズ</b>								
2004	12			4	高平順夫	サッポロ地名のうつり変わり	55～58	
<b>「新札幌市史」機関誌 札幌の歴史 札幌市、札幌市教育委員会</b>								
2005	8			49	古村えり子	[市史を読む]3 第5巻通史5(下) : 「社会・生活」を中心に	71～74	
「マイノリティの社会運動」の項あり。								
2007	2			52	薩川益明	烈々布と丘珠 札幌市東区のアイヌ語二地名について	61～88	
2007	8			53	海保洋子	近世イシカリ場所疱瘡流行史ノート : 文化十四年を中心に	22～33	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

さ

茶道の研究				三徳庵			
2007	11	52	11	長崎巖	色と模様の裂地の世界 (47)	記録されたアイヌの服装	30~35
SAPIO				小学館			
2008	11	20	23	454	小林よしのり	ゴーマニズム宣言 第35章 アイヌは先住民族なのか?	59~66
2008	12	20	26	457	小林よしのり	ゴーマニズム宣言 第37章 言論殺鎖魔の謀略	59~66
2009	9	21	16	473	小林よしのり	ゴーマニズム宣言 自称アイヌは実は日本人である	55~64
広報さまに				様似町			
2000	1			574		[カメラアングル]最優秀賞と優秀賞を飾る	14
財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構による第3回アイヌ語弁論大会の様態を報じる。							
2000	2			575	森勇二	歴史探訪 様似の碑 9 カムイチャシ記念碑	9
2000	4			577	谷崎敏文	平成12年度施政方針 ウタリ福祉について	7
2001	1			586		[カメラアングル]台湾原住民族・ブヌン族と交流を深め合う	18
北海道ウタリ協会様似支部事業。							
2001	4			589	橋爪正利	平成13年度施策方針 アイヌの人たちの福祉	7
2001	7			593	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 1 鶉苦川	14
2001	8			594	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 2 冬似川	12
2001	9			595	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 3 ワッカクナイ川	18
2001	10			596	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 4 クオナイ川	10
2001	11			597		[カメラアングル まちのホットな話題]「アイヌ文化奨励賞」受賞 様似民族文化保存会 10/27	12
					森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 5 海辺川 その1	18
2002	1			599	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 6 キリシタナイ川	14
2002	2			600	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 7 様似川	14
2002	3			601	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 8 門別川	10
2002	4			602	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 9 シイチカップ川	30
2002	5			603	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 10 ポロサヌシベツ川	20
2002	6			604	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 11 ボンサヌシベツ川	8
2002	7			605	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 12 冬島川	14
2002	8			606	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 13 ライクンナイ川	8
2002	9			607	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 14 オソスケウス川	20
2002	10			608	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 15 コトニ川	20
2002	11			609	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 16 山中川	14
2002	12			610	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 17 「ワッカサンベツ」と「チコシキル」	14
2003	1			611	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 18 幌満川	8
2003	2			612	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 19 ニカンベツ川	10
2003	3			613	森勇二	歴史探訪 様似の川の名前 20 ルサキ川	8
2003	4			614	橋爪正利	平成15年度施策方針 アイヌの人たちの福祉	6
2004	4			626	橋爪正利	平成16年度施策方針 アイヌの人たちの福祉	6
2005	4			638	橋爪正利	平成17年度施策方針 アイヌの人たちの福祉	6

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>さ</b>						
2006	12		658		[まちかどウォッチング]アイヌ民族文化祭 アイヌ民族の伝統的文化を継承	ア 11
2008	9		679		[まちかどウォッチング]父と母に見たアイヌの心を語る 歴史再発見・日高の風	7
<b>サライ</b>				<b>小学館</b>		
2004	1	16	1 351	今津良一(取材・文)	[サライ・インタビュー]伊福部昭 作曲家・89歳	14~18
<b>SARANIP(サラニップ)</b>				<b>市立函館博物館</b>		
2008	3		47	佐藤理夫	平成19年度特別企画展報告Ⅱ 「アイヌからのメッセージ -現在から明日へ」	3
2009	3		48	大矢京右 大矢京右	クリルアイヌの十字架 平成20年度企画展報告 アイヌ語地名を歩く -山田秀三の地名研究から-2008・渡島/津軽海峡	1 3
<b>沙流川歴史館だより</b>				<b>沙流川歴史館</b>		
2004	1		12		(表紙写真解説:オシヌプリに関する伝説を紹介) 平取町歴史の散歩道(ブライアントを紹介) 平取町のチャシ&遺物 No.9 ユオイチャシ跡	1 2 4
2004	4		13		平取町歴史の散歩道(マンローを紹介) 平取町のチャシ&遺物 No.10 ポロモイチャシ跡	2 4
2004	7		14		平取町歴史の散歩道(遠星北斗を紹介) 平取町のチャシ&遺物 No.11 ニオイチャシ跡	2 4
2004	10		15		(表紙写真解説:沙流川流域史調査団による撮影写真を紹介) 「沙流川周辺の生きものたち」と「アイヌの生活」No.1 平取町の遺跡&遺物 No.12 二風谷遺跡	1 2 4
2005	1		16		(表紙写真解説:沙流川流域史調査団による撮影写真を紹介) 「沙流川周辺の生きものたち」と「アイヌの生活」2 平取町の遺跡&遺物 No.13 イルエカシ遺跡	1 2 5
2005	4		17		わかりやすい平取町百年史①	5
2005	7		18		沙流川流域のいきものたち No.4 シナノキ	2
2005	10		19		沙流川流域のいきものたち No.5 キタキツネ	2
<b>サンクンガーデン</b>				<b>北海道立文学館</b>		
2000	3		9	山口昌男	ユカラとの出逢い : 書物をめぐる断章	2
2002	3		13		特別企画展 大自然に抱擁されて……~知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ~	4
2002	11		14	杉野目康子	金田一先生の涙 展示会での「出会い」 : 特別企画展「大自然に抱擁されて…」展示室より	3 3
道立文学館知里幸恵展関係。						
2004	3		16		特別企画展 写真家掛川源一郎の20世紀 企画展 アイヌ語地名を歩く : 山田秀三の地名研究から	2 3
<b>サンデー毎日</b>				<b>毎日新聞社</b>		
2004	4	83	20	斎藤貴男	国に収奪された歴史を描く 堀内光一『アイヌモシリ奪還』	137

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ		

雑誌目次・文献目次

し

			<b>The JR Hokkaido</b>			<b>北海道ジェイ・アール・エージェンシー</b>		
2006	7		221	本田優子	[札幌大学 Think with Ambition]No.4 アイヌ民族の「歴史」を軸に考える	31		
			<b>史苑</b>			<b>立教大学史学会</b>		
2005	11	66	1	175	及川将基	(樺太アイヌのエスニシティとその「発見」)	124~125	
2005年度立教大学史学会大会・総会報告要旨。この後の「討論会」(128~131ページ)にも関係記述あり。								
			<b>史学雑誌</b>			<b>山川出版社</b>		
2005	12	114	12		熊木俊朗	アイヌ史における文献史学と考古学の役割	2071~2072	
史学会第103回大会考古学部会(「蝦夷地と琉球 考古学的・文献史的比較研究の可能性を探る」)報告								
			<b>史観</b>			<b>早稲田大学史学会</b>		
2006	9		155	檜皮瑞樹	幕末期樺太におけるアイヌ支配の揺らぎと再編成 : トコンベ出奔事件をめぐって	18~35		
			<b>思言 東京外国語大学記述言語学論集</b>			<b>東京外国語大学記述言語学研究室(風間伸次郎)</b>		
2007	11		3	山田洋平	アイヌ語北海道諸方言における神謡の人称	219~226		
			<b>志古津 『新千歳市史』編さんだより</b>			<b>千歳市</b>		
2007	11		7	大谷敏三	志古津から千歳	38		
			<b>市史研究あおもり</b>			<b>青森市</b>		
2002	3		5	鐘江宏之	八・九世紀における陸奥・出羽国域と北方管轄についての覚書 -津軽地方の位置づけを中心に-	18~32		
			<b>市史せんだい</b>			<b>仙台市博物館</b>		
2002	7		12	難波信雄	仙台藩の蝦夷地領有とその経営について	77~91		
			<b>詩人会議</b>			<b>詩人会議</b>		
2004	6	42	6	501	知里むつみ	私達の先祖は天性の詩人だった	26~35	
小特集:アイヌ新揚州神謡集								
					知里幸恵	アイヌ神謡集(「鼻の神の自ら歌った謡」「狐が自ら歌った謡」)を掲載)	36~42	
					赤木三郎(構成)	アイヌ古謡ウポポよりの断片構成の試み : かみのひとのさとの歌 岡田京子氏とともに	43~47	
2004	10	42	10	505	小野有五	シマフクロウの森で : 知里幸恵のメッセージを聴く	22~31	
小特集:アイヌ新揚州神謡集								
			<b>広報しずない</b>			<b>静内町</b>		
2000	1		626	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る ピバ	20		
2000	2		627	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る カスフ・ベラ	20		
2000	3		628	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る ムイ	16		
2000	4		629	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る キサラウシパッチ	20		
2000	5		630	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る サラニフ	20		
2000	6		631	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る イコロ	20		
2000	7		632	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る シントコ	20		
2000	8		633	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る プタウンパッチ	16		
2000	9		634	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る トウキ・タカイサラ	24		
2000	10		635	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る ニス・イウタニ	20		
2000	11		636	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る マトゥンキ(割り鉢)	16		
2000	12		637	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る エムシ	24		
2001	1		638	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る ニンカリ	20		
2001	2		639	アイヌ民俗資料館	アイヌ民具は語る タマサイ	20		
2001	3		640	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 クナウ(フクジュソウ)	20		
2001	4		641	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ブクサ(ギョウジャニンニク)	16		
2001	5		642	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 シケレベキナ(ヒメザゼンソウ)	20		
2001	6		643	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 キキンニ(エゾノウワミズザクラ)	16		

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
し						
2001	7		644		郷土文化財—先人たちの足跡 知る 守る 伝える	1～5
				アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 マウ(ハマナス)	20
2001	8		645	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ラスパニ(ノリウツギ)	16
2001	9		646	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 スルヶ(トリカブト)	20
2001	10		647	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 クッチ(サルナシ)	16
2001	11		648	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ラウラウ (コウテイテンナンショウ)	20
2001	12		649	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ハイブンカル (ツルウメモドキ)	20
2002	1		650	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 シッシッ(トクサ)	20
					「アイヌ文化のタベ」で文化を理解	13
2002	2		651	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 シケレベ(キハダ)	24
2002	2		651		貴重なアイヌ民具を展示	16
2002	3		652	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 オマウクシニ(キタコブシ)	20
2002	4		653	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 マカヨ・コルコニ(アキタブキ)	20
2002	5		654	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ブクサキナ(ニリンソウ)	16
					アイヌ文化の伝承者に木杯	8
					サークル紹介 イカラカラの会	10
2002	6		655	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ウトカンニ(ミズキ)	20
2002	7		656	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ビットク(オオハナウド)	20
2002	8		657	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ソコンニ(エゾニワトコ)	16
2002	9		658		伝統復活!「イタオマチマ」	13
				アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 シンケッ(エゾヤマハギ)	20
2002	10		659	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ヤム(クリ)	16
2002	11		660	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 キキンニ(ナナカマド)	20
					『アイヌ民族文化祭』アイヌ語劇発表	13
2002	12		661	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 フッ(トドマツ)	後表紙
2003	1		662	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 トウンニ(カシワ)	後表紙
2003	2		663	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ケネ(ケヤマハンノキ)	後表紙
2003	3		664	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ブイ(エゾノリュウキンカ)	後表紙
2003	4		665	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 トマ(エゾエンゴサク)	後表紙
2003	5		666	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ソルマ(クサソテツ)	後表紙
2003	6		667	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ベペロ(ユキザサ)	後表紙
2003	7		668	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ランコ(カツラ)	後表紙
2003	8		669	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 コサ(カラハナソウ)	後表紙
2003	9		670	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 シキナ(ガマ)	後表紙
2003	10		671	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 エント(ナギナタコウジュ)	後表紙
2003	11		672	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 アユシニ(タラノキ)	後表紙
2003	12		673	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ラルマニ(イチイ)	後表紙
2004	1		674	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 レタッ・タッ(シラカバ)	後表紙
2004	2		675	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ピンニ(ヤチダモ)	後表紙
2004	3		676	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 エシケリムリム(カタクリ)	後表紙
2004	4		677	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ワッカクトゥ(ヨブスマソウ)	後表紙
2004	5		678	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 アユシニ(ハリギリ)	後表紙
2004	6		679	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 アンラコル(クロユリ)	後表紙
2004	7		680	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ハシカブ(クロミノウグイスカグラ)	後表紙
2004	8		681	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 アッニ(オヒョウ)	後表紙

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>し</b>						
2004	9		682	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 チキサニ(ハルニレ)	後表紙
2004	10		683		アイヌの歴史を忘れずに	15
第58回シャクシャイン法要債に関する記事。						
				アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 ハッ(ヤマブドウ)	後表紙
2004	11		684	アイヌ民俗資料館	アイヌ植物採録 トウレブ(オオウバユリ)	後表紙
2004	12		685	アイヌ民俗資料館	[まちの話題]アイヌの伝統家屋「チセ」を復元	11
				アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 しずない	後表紙
2005	1		686	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : しべちやり	後表紙
2005	2		687	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : ほいなしり	後表紙
2005	3		688	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : とおべつ	後表紙
2005	4		689	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : しんめつ	後表紙
2005	5		690	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : たっこぶ	後表紙
2005	6		691	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : 布辻川	後表紙
2005	7		692	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : るべしべ	後表紙
2005	8		693	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : ちのみ	後表紙
2005	9		694	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : けぼう	後表紙
2005	10		695	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : うせない	後表紙
2005	11		696	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : ふかに	後表紙
2005	12		697	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 : さめ	後表紙
2006	1		698	アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 とうぶつ	後表紙
2006	2		699		ガンバリ人間静内発 菅原勝吉さん(38) 田原	17
2006	3		700		地名の語源探訪 サマッキイワ	後表紙
<b>私設 北海道開拓使の会 かわらばん  私設北海道開拓使の会</b>						
2009	7		87		天才アイヌ語学者 知里真志保の生涯を振り返る : 生誕百年を迎えて	6
<b>自然誌の研究 中川町エコミュージアムセンター</b>						
2005	3		7	右代啓視、鈴木琢也、松田敏孝、矢島弘章	中川町共和チャシの地形測量調査報告	123~132
<b>自然と文化 (財)日本ナショナルトラスト</b>						
2000	10		64	島享	玉鳥とフクロウの祭祀 東北アジア狩猟漁労文化と初期国家の祭祀	66~77
<b>史叢 日本大学史学会</b>						
2006	3		74	武廣亮平	古代・中世前期のアザラシ皮と北方交易	65~86
2007	9		77	武廣亮平	古代陸奥の国の「奥郡」とその性格 : 「奥邑、奥県」、「奥地」との比較検討を通して	35~45
<b>思想 岩波書店</b>						
2009	1		1017	香西豊子	アイヌはなぜ「山に逃げた」か? - 幕末蝦夷地における「我が国最初の強制種痘」の奥行き -	78~101
<b>ジパング倶楽部 交通新聞社</b>						
2005	1	21	8	241 横山太郎	名曲の舞台を訪ねて 連載4 マリモの唄 北海道阿寒郡阿寒町	64~65
<b>史敏 史敏刊行会(大阪大学大学院文学研究科日本史研究室 気付)</b>						
2006	4		3	馬部隆弘	蝦夷の首長アテルイと枚方市 : 官民一体となった史蹟の捏造	72~90
<b>史文 天理大学文学部歴史文化学科歴史学専攻</b>						
2006	3		8	岡田千代美	アイヌ民族と北方世界 : 17~19世紀北海道周縁地域の変化	36~59
<b>標津川 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部治水課</b>						
2006	12		9	本田克代(文)、清水克美(挿絵)	地域の伝説 「海鳴りの彼方に」	5~6
2007	12		11		シベツのチャシ エリモンクル伝説	7~8
出典:本田克代「エリモンクル伝説」『ふるさと根室の豆本シリーズ3 伝説・海鳴りの彼方に』(北ぐに出版社、1991年12月)						

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>し</b>						
<b>しま</b>				<b>日本離島センター</b>		
2002	2	47	3	188 菅田正昭	シマ・スマ・シヨムとその周辺の言葉たち : 日本語・アイヌ語・韓国語のシマを意味する語	124～127
<b>市民文芸</b>				<b>帯広市民図書館</b>		
2005	10			45 田口耕平	福永武彦論 封印と暗号 : 隠された帯広体	142～153
第4章「封印された作品「海からの声」 アナグラムとしてのアイヌ語」などあり。						
2006	11			46 田口耕平	池澤夏樹『キップをなくして』論	158～171
<b>社会学評論</b>				<b>日本社会学会</b>		
2006	3			224 伊藤奈雄	社会運動の参加／不参加をめぐる意味構築 : アイヌ民族による権利獲得運動を例にして	797～814
<b>社会学部論集</b>				<b>仏教大学社会学部</b>		
2007	9			45 崔銀姫	「他者」としてのアイヌ : ドキュメンタリーにおけるアイヌの表象にかかわる小考察	19～36
<b>月刊社会教育</b>				<b>国土社</b>		
2005	6	49	6	596 野元弘幸	多文化・多民族共生の原理と教育の課題 : 「多文化共生」を超える視点と原理を求めて	5～14
特集:多民族社会を生きる						
				萱野志朗	子どもの権利条約とアイヌ民族のアイヌ語学習	21～27
2005	7	49	7	597 堀込真理	アイヌ文化の風止まず	58～59
<b>社会教育研究</b>				<b>北海道大学大学院教育学研究科社会教育研究室</b>		
2004	2			22 淀野 順子	アイヌ文化に着目した自然環境再生活動の展開過程 : チコロナイの事例を通じて	61～82
<b>社会系教科教育学研究</b>				<b>社会系教科教育学会</b>		
2007	11			19 吉田正生	中学校社会科歴史教科書におけるアイヌ民族記述(近世史)の誕生 : 多文化主義的・多元的記述を構想するための基礎的作業としての教科書分析	1～8
				廣瀬泰司	構築主義に基づく社会科歴史学習の授業開発	55～64
<b>社会言語学</b>				<b>「社会言語学」刊行会</b>		
2004	9			4 東村岳史	「千島アイヌ語絶滅の報告」の背景と文脈 : ある「危機言語」をめぐる調査者－被調査者関係	1～10
2005	10			5 東村岳史	「危機言語」調査をめぐる「危機」認識と表象 : 「千島アイヌ語絶滅の報告」に関する考察補遺	1～12
<b>社会文化史学</b>				<b>社会文化史学会</b>		
2005	3			47 新藤透	『新羅之記録』の中世アイヌ蜂起関係記事の検討	51～64
<b>月刊社会民主</b>				<b>社会民主党全国連合機関誌宣伝局</b>		
2001	6			553 津田命子	アイヌ民族文化・女たちの技を継承	50～55
2005	6			601 堀内光一	映画『北の零年』とアイヌ民族	14～17
2006	3			610 堀内光一	自民党政治家の「単一民族」発言を問う	40～45
<b>広報しゃり</b>				<b>斜里町</b>		
2001	7				ふしぎ博物館 62 ウトロチャシコツ岬周辺の遺跡群	16
<b>斜里町立知床博物館研究報告</b>				<b>斜里町立知床博物館</b>		
2007	3			28 豊原照司、酒井通子	斜里町クシュンコタン遺跡	13～30
<b>しゃりばり</b>				<b>北海道開発問題研究調査会</b>		
2001	11			238 野々宮愛子	アイヌ交易最前線 史実 ……津軽海峡は労働と文化の回廊	28～31

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>し</b>							
2004	3			266		写2004北海道 Vol.73 札幌市アイヌ文化交 流センター「サッポロピリカコタン」	1~4
2004	11			274	橋本努	「自由」で「不自由」な社会を読み解く9 二風谷 ダム問題を考える	56~57
2004	12			275	橋本努	「自由」で「不自由」な社会を読み解く 10 ア イヌ共有財産問題を考える	60~61
2006	6			293	本多貢	北海道の地名アラカルト③ 雌♀と雄♂	62~64
2006	7			294	本多貢	北海道の地名アラカルト④ 黒川異聞	66~69
2006	10			297	本多貢	北海道の地名アラカルト⑦ 吉里吉里人はアイ ヌ	66~69
<b>週刊朝日</b>				<b>朝日新聞社</b>			
2005	1	110	2	4666	鮫島浩(構成)	[夫婦の情景]249 萱野茂 萱野れい子	56~58
<b>週刊新潮</b>				<b>新潮社</b>			
2004	11	49	42		深笛義也	黒い報告書 「成功の証」を捨てアイヌの楽器に 夢を託した女(創作)	117~120
2005	9	50	35			鈴木宗男 当選確率61% 切り札は「アイヌ美 女」	138~139
特集記事「小泉台風当落天気予報」の一部							
<b>週刊ポスト</b>				<b>小学館</b>			
2005	9	37	36	1822		[9.11衆院選 私の大好き]アイヌ弁当/多原香 里	14
<b>出版ダイジェスト</b>				<b>出版粋会</b>			
2008	3			2114	赤澤久喜	和人(シャモ)のグローバルスタンダードを問う 『写真で綴る 萱野茂の生涯』萱野れい子著、須 藤巧編	4
<b>ジュリスト</b>				<b>有斐閣</b>			
2005	12			1302	吉田邦彦	アイヌ民族の民法問題 : 所有権の問題を中 心として(上)	62~71
2005	12			1303	吉田邦彦	アイヌ民族の民法問題 : 所有権の問題を中 心として(下)	48~62
<b>旬刊時事ジャーナル</b>				<b>時事ジャーナル</b>			
2001	4			947		アイヌ語ミニFM局 四月八日から放送 平取	30
2001	4			948		アイヌ民族の「鋏形」 栗山町教委が複製、栗山	27
2001	7			1002		ビッキの魂を音威子府の風に聴く 音威子府	32
<b>春秋ほっかいどう</b>				<b>中央公益札幌</b>			
2000	2			2000年 早春号	貫井進	試論 「縄文人」へのアプローチ(第14回)「縄文 人はアイヌ語を話していた」-縄文海進期成立 のアイヌ語地名説明 その7	45~48
2000	5			2000年 薫風号	梅木浩志	反骨の陸奥(下)	16~21
p.16「高野長英とアイヌ語」							
2000	11			2000年 秋麗号	貫井進	試論 「縄文人」へのアプローチ(第15回)「縄文 人はアイヌ語を話していた」-縄文海進期成立 のアイヌ語地名説明 その8	42~47
2001	2			2001年 早春号	貫井進	試論 「縄文人」へのアプローチ(第16回)「縄文 人はアイヌ語を話していた」-縄文海進期成立 のアイヌ語地名説明 その9	14~19
2001	5			2001年 薫風号	貫井進	試論 「縄文人」へのアプローチ(第17回)「縄文 人はアイヌ語を話していた」-縄文海進期成立 のアイヌ語地名説明 その10	22~26
2001	8			2001年 盛夏号	貫井進	試論 「縄文人」へのアプローチ(第18回)「縄文 人はアイヌ語を話していた」-縄文海進期成立 のアイヌ語地名説明 その11	38~43
2001	11			2001年 秋麗号	ちん・こっけい 貫井進	出会い -ビッキの「氣」	16~18
						試論 「縄文人」へのアプローチ(第19回)「縄文 人はアイヌ語を話していた」-縄文海進期成立 のアイヌ語地名説明 その12	30~33

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	
雑誌目次・文献目次							
<b>し</b>							
2002	2		2002年 早春号	貫井進	試論・縄文人へのアプローチ(第20回)「縄文人はアイヌ語を話していた」-アイヌ語地名から推論する	23～25	
					彼岸の客(第20回)アイヌの復権を説く 著作 10以上の山川力さん	39～41	
2005	8		2005盛 夏号	中館寛隆	[道内出版]佐々木利和・古原敏弘・児島恭子編『アイヌの道』	55	
2008	2		2008年 早春号	中館寛隆	<ほんの紹介>『アイヌの歴史-海と宝のノマド』	41	
2008	11		2008年 秋麗号	中館寛隆	<ほんの紹介>「北の彩時記 アイヌの世界へ」計	47	
2009	11		2009年 秋麗号	エゾシカ問題取材班	増え続けるエゾシカと被害(上) -アイヌの知恵生かし捕獲を-	52～53	
<b>情況 第三期</b>				<b>情況出版</b>			
2004	12	5	11	46	木名瀬高嗣	<アイヌ・文化研究>あるいは「サバルタン性」の人類学のためのメモランダム(上)	211～221
2005	1	6	1	48	木名瀬高嗣	<アイヌ・文化研究>あるいは「サバルタン性」の人類学のためのメモランダム(下)	218～237
<b>上州路</b>				<b>あさを社</b>			
2006	1	33	1	380	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第10話	40～44
2006	2	33	2	381	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第11話	42～46
2006	3	33	3	382	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第12話	40～44
2006	4	33	4	383	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第13話	42～48
2006	5	33	5	384	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第14話 第五章 タミの旅 立ち 1	44～47
2006	6	33	6	385	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第14話 第五章 タミの旅 立ち 2	44～49
2006	7	33	7	386	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第15話 第五章 タミの旅 立ち 3	24～30
2006	8	33	8	387	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第16話 第五章 タミの旅 立ち 4	46～49
2006	9	33	9	388	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第17話 第六章 死闘の果 て 1	44～48
2006	10	33	10	389	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第18話 第六章 死闘の果 て 2	42～46
2006	11	33	11	390	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第19話 第六章 死闘の果 て 3	40～44
2006	12	33	12	391	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第20話 第七章 巫女の狂 乱 1	54～57
2007	1	34	1	392	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第21話 第七章 巫女の狂 乱 2	38～43
2007	2	34	2	393	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第22話 第七章 巫女の狂 乱 3	38～44
2007	3	34	3	394	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第23話 第八章 鉄のヤジ リ 1	40～43
2007	4	34	4	395	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第24話 第八章 鉄のヤジ リ 2	38～42
2007	5	34	5	396	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第25話 第八章 鉄のヤジ リ 3	34～39
2007	6	34	6	397	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第26話 第八章 鉄のヤジ リ 4	38～45
2007	7	34	7	398	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第27話 第九章 アイヌ族 の狼煙 1	36～42
2007	8	34	8	399	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第28話 第九章 アイヌ族 の狼煙 2	34～40
2007	9	34	9	400	新井克昌	[創作]北の卑弥呼 第29話 第九章 アイヌ族 の狼煙 3	64～70
<b>小説新潮</b>				<b>新潮社</b>			
2009	2	63	2	777	子母澤 寛	(創作) 厚田日記	286～304

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名			発行者	
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ	

雑誌目次・文献目次

し

<b>小説すばる</b>			<b>集英社</b>				
2008	12	22	12	熊谷達也	(創作)銀狼王 第一回	76~97	
<b>小説トリッパー</b>			<b>朝日新聞社</b>				
2007	9	112	49	4841 池澤夏樹、梨木香歩	『静かな大地』を読み直す	30~43	
<b>上智史学</b>			<b>上智大学史学会</b>				
2002	11			47 窪田大介	承和年間の夷孚の入京と騒乱について	215~216	
<b>情報処理学会研究報告</b>			<b>情報処理学会</b>				
2004	7			73 桃内佳雄	アイヌ語名詞句の日本語への漸進的直訳について	79~86	
<b>植民地文化研究</b>			<b>植民地文化研究会</b>				
2005	7			4 知里むつみ	『アイヌ神謡集』からアイヌ社会を見る	18~21	
<b>情報文化学研究</b>							
2005	10			4 八幡耕一	オルタナティブ・メディアの情報文化的考察 : アイヌ民族関連ラジオ放送の実態調査を事例として	7~13	
<b>縄文ジャーナル</b>			<b>たちばな出版</b>				
2005	7			2005夏 梅原猛(談)	[巻頭インタビュー]梅原猛 縄文文化・縄文の心を語る	1~7	
アイヌ人の世界観/浦川タレさんの話/アイヌの世界観は縄文の世界観							
<b>食の科学</b>			<b>光琳</b>				
2006	2			337 坂本正行	北海道アイヌにおける「火の神」	28~37	
<b>女性史研究ほっかいどう</b>			<b>札幌女性史研究会</b>				
2005	8			2 鷺沢セツ 中村一枝	20世紀から21世紀へ『遥かなる彼方』物語 ミス・ブライアントの平取におけるアイヌ民族への伝道(2) 1911~1922年 : CMS史料を通して	108~132 160~174	
<b>書評年鑑</b>			<b>日外アソシエーツ(発売:紀伊國屋書店)</b>				
2004	12			田川浩之	知里真志保『知里真志保書誌』(知里真志保書誌刊行会)	503	
<b>白老郷土文芸</b>			<b>白老町文化団体連絡協議会</b>				
2000	11			20 高田寅雄	消滅寸前アイヌ語伝説地	180~192	
2008	11			28 布沢幸	アフルパロ[短歌5首]	50	
<b>白老町広報げんき</b>			<b>白老町企画政策課</b>				
2009	5			585	[話題を追う]白老イオル再生事業 チセノミが行われました	26	
					[話題を追う]大須賀るえ子さんアイヌ聖典を解説・謡いも 地域文化大学3年目を開講	26	
2009	6			586	[話題を追う]白老モシリ設立 イオル再生事業の受け皿に	24	
					[話題を追う]アイヌ協会白老支部 ウヨロ川河口のごみ拾い	24	
2009	8			588	[話題を追う]アイヌ伝統料理を味わいつつ ユーカラの旋律と謡を聴く	25	
2009	9			589	アリキキアンロ(みんなでがんばろう)白老再生プロジェクト	2~3	
2009	10			590	瀋陽国際旅遊祭参加 6万人のスタジアムを進行 故宮博物院大政殿前でイオマンテリムセ古式舞踊披露	4~5	
					白老観光協会職員 水野練平さん アイヌ工芸作品コンテスト優秀賞	6	
					アイヌ文化フェスティバルinしらおい	7	
					アイヌ民族博物館で特別展・特別講演会など次々と開催	7	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>し</b>						
2009	11		591		アイヌ文化フェスティバルinしらいおい アイヌ古式舞踊がユネスコ世界無形文化遺産に登録	2~3
					[話題を追う]アイヌのサケ漁を体験 川のイオル体験交流事業	22
2009	12		592		ポロト民芸会館が閉館 36年の歴史に幕	10
<b>白老ペン</b>				<b>白老ペンクラブ</b>		
2000	4		21	高田寅雄	消滅するかアムンルパロ	53~61
2002	4		23	前田博之	森竹竹市にせまる	10~11
				布沢幸	「レラコラチの歌」森竹竹市の人となり	29~40
				澗瀧洋子	「コタン」のうた人	
2005	6		25	岡田路明	伝承による「白老の始まり」について	53~54
2006	12		26	相吉京子	休養林の窓から	16~19
「アイヌ語との出会い」18~19ページにあり。						
2008	4		27	布沢幸	『しらいおい文芸』の頃	14~17
2009	3		28	伊東稔	回想	1~9
				布沢幸	しらいおい文芸の頃	55~63
<b>しらかば</b>				<b>市立小樽図書館</b>		
2004	4		201	福岡イト子	アイヌの口承文芸1 なぜフキノトウ(マカヨ)になったの?	1
砂沢クラの口承文芸(『日本の昔話1 アイヌの昔話』日本放送出版協会、1972年)から紹介。						
2004	5		202	福岡イト子	アイヌの口承文芸2 早く食べないと腐ってしまふよお~/3 根は残しておいて	1~2
『知里真志保著作集2 説話・神謡編II』及び石山キツエの伝承(『アイヌ民俗文化財報告書 アイヌ民俗調査II(旭川地方)』)から紹介。						
2004	6		203	福岡イト子	アイヌの口承文芸4 固い肉を引っ込めて、柔らかい肉を出して	1~2
『杉村キナラブック口伝 アイヌ神話全集1 神謡編1』から紹介。						
2004	7		204	福岡イト子	アイヌの口承文芸5 銀の滴降る降るまわりに	1~2
知里幸恵『アイヌ神謡集』から紹介。						
2004	8		205	福岡イト子	アイヌの口承文芸6 雷神、ハルニレ姫にうっとり	1~2
金成マツの伝承(金田一京助『アイヌの神典』)から紹介。						
2004	9		206	福岡イト子	アイヌの口承文芸7 暴れん坊の風の神が、ツルウメモドキになっちゃったあ	1~2
更科源蔵「ツルウメモドキになった風の神(『アイヌ民話集』)から紹介。						
2004	10		207	福岡イト子	アイヌの口承文芸8 白樺の木のおばさん 宿を借りたいのです	1~2
杉村キナラブック後述「宿なし熊」(『キナラブック・ユーカラ集』)から紹介。						
2004	11		208	福岡イト子	アイヌの口承文芸9 さわったものは跳ねとばし♪ さわったものはねじり伏せ	1~2
「トリカブトの神謡」(『アイヌ伝統音楽』)から紹介。						
2004	12		209	福岡イト子	アイヌの口承文芸10 サケを出してえー、シカを出してえー	1~2
知里幸恵『アイヌ神謡集』から紹介。						
2005	1		210	福岡イト子(文)、海藤久仁子(絵)	アイヌの口承文芸11 あれっ、急げ者の息子が お日さまの中に!!	1~3
「我が子を月に召される母親の物語」(『アイヌ無形民俗文化財記録刊行シリーズ1 アイヌ民話』北海道教育委員会、1988年、杉村キナラブック語り)の口語訳。						
2005	2		211	福岡イト子(文)、海藤久仁子(絵)	アイヌの口承文芸12 カムイユカラ 神謡を読む	1~2
2005	3		212	福岡イト子、海藤久仁子	アイヌの口承文芸13	1
「アイヌの口承文芸」を終えて(福岡イト子)、「感動の物語も、ついに最終回」(海藤久仁子)						
						「アイヌの口承文芸」総目録 2004.4~2005.3 2
<b>史流</b>				<b>北海道教育大学史学会</b>		
2004	3		41	谷本晃久、木田歩、山崎幸治 馬場正裕	「蝦夷志料」引用書目誌考 蝦夷三官寺の研究	1~35 41~60

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

し

				<b>知床博物館研究報告</b>		<b>斜里町立知床博物館</b>	
2005	3		26	佐藤孝雄	斜里町以久科北海岸遺跡のヒグマ頭骨		71~76
2008	3		29	戸部千春	羅臼町のアイヌ民族マキリ鞘		59~70
				<b>新郷土たかす</b>		<b>新郷土たかす編集委員会</b>	
2003	3		41	朝倉敏文(文)、伊藤長治(絵)	シヤマイクルと悪神の激闘	神居コタン	110~111
				特集 石狩川慕情(一) コタンの伝説(p.109~)の一部。以下同じ。			
				出典は更科源蔵『北海道の伝説』			
				出典は近江正一『郷土の地名と伝説』			
				朝倉敏文(文と写真)		石狩川のかっぱ	近文 112~113
2004	3		42	朝倉敏文(文)、伊藤長治(切絵)	近文アイヌを教え	打ち砕け大倉喜八郎の野望	113~117
2008	3		46		石狩川慕情(二)	コタンの伝説 上川地方編	179~188
						石狩川慕情	近文アイヌの謎 189~190
						クーチンコロ頭彰碑 鷹栖町嵐山「伝承のコタン」内	80
						松井梅太郎頭彰碑 鷹栖町嵐山 北野野草園内	81
				<b>じんけん</b>		<b>滋賀県人権センター</b>	
2006	2		298	(ま) 長谷川修 村西慶久、柏木滋	アイヌ民族の歴史と文化		1
2007	1		309	長谷川修	先住民族アイヌが今、抱えていること		10~16
2009	2		334	田辺九二彦	萌えいずる我ら ~アイヌ学習とじんけんだより		17~31
2009	11		343	島崎直美	アイヌレベルズ(AINU REBELS)		21~23
2009	11		343	島崎直美	地球市民しが 第56回 教室にトンコリが響くとき -アイヌ講師・居壁太さんとの授業-		45~50
2009	11		343	島崎直美	先住民族としてのアイヌ民族を取りまく状況		4~5
				<b>人権21 調査と研究</b>		<b>岡山部落問題研究所</b>	
2003	6		164	生田周二	人権をめぐる教育・学習(第3回)アイヌ民族をめぐる教育と課題(1)		72~79
2003	8		165	生田周二	人権をめぐる教育・学習(第4回)アイヌ民族をめぐる教育と課題(2)		50~57
2003	10		166	生田周二	人権をめぐる教育・学習(第5回)アイヌ民族をめぐる教育と課題(3)		39~48
2003	12		167	生田周二	人権をめぐる教育・学習(第6回)アイヌ民族をめぐる教育と課題		49~57
				<b>人権新聞</b>		<b>自由人権協会</b>	
2002	7		337	秀嶋ゆかり	アイヌ民族差別に関する裁判 集裁判(上)	-アイヌ史資料	4
2002	9		338	秀嶋ゆかり	アイヌ民族差別に関する裁判 集裁判(下)	-アイヌ史資料	4
2005	3		353		アイヌ人格権訴訟		1
				支援事件報告			
				<b>人権センターニュース</b>		<b>神奈川人権センター</b>	
2000	9		99	渡辺静夫、小出博美、扇原功	第10回北海道ウタリ現地調査に参加して		1~2
2001	9		111	吉田拓郎、竹田邦明、松崎良子、高橋正弘	第11回北海道ウタリ現地調査に参加して		1~4
2002	7		121・122	合併号	第12回北海道ウタリ現地調査終了		1~4
2003	7		133		第13回北海道ウタリ現地調査報告		1~5
2003	12		138	武田利邦	近代日本史の闇を照らすアイヌ民族差別から学ぶ		10

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>し</b>						
2004	7		145・146 合併号		アイヌ民族の歴史と文化を訪ねて : 第14回 北海道ウタリ現地調査報告	1～6
2005	7		157・158 合併号		現地との交流深まる : 第15回北海道ウタリ 現地調査報告	1～5
2006	5		167		第16回北海道ウタリ現地交流・調査の実施	3
2006	7		169・170 合併号		「日本(人)とは」を問う : 第16回ウタリ現地 調査報告	1～5
2008	4		190	首都圏に居住するアイヌ・「ア イヌウタリ連絡会」	首都圏に居住する先住民族アイヌからの呼びか けとお願い	13
2008	9		195		アムネスティ世界人権宣言60周年記念コン サート : 鬼太鼓座×OKI 和太鼓とアイヌ民 族 チャランケ祭2008	12 13
					好評発売中!! 人権ビデオ第11巻「チャランケ」	13
2009	3		201		第17回北海道ウタリ現地調査のご案内	13
2009	7		205・206 合併号		アイヌ民族の尊厳と権利回復へ向けて : 第 17回ウタリ(アイヌ)現地調査報告	1～6
<b>人権タイムス</b>				<b>NPO法人月刊人権タイムス</b>		
2008	10		259		(コミック)アイヌの人たちの文化を知るう	12～13
<b>人権と部落問題</b>				<b>部落問題研究所</b>		
2005	5		731	大脇徳芳	地裁・高裁での取り組みと判決の特徴、今後の課 題	12～19
				滝沢正	北海道知事公告は虚偽である : 共有財産の 調査は十分に行われていない	20～27
				小川隆吉	原告団の証言	28～30
				鹿田川見	原告団の証言	30～32
					資料(アイヌ民族共有財産裁判関係)	33～39
				小笠原信之	[わが作品を語る]『アイヌ共有財産裁判』	66～67
2005	5		731	滝沢正、大脇徳芳	アイヌ民族の「共有財産裁判」って何だろう	6～11
2005	8		734	手島武雅	インディアン信託財産裁判 : 概要とアイヌ 民族共有財産裁判への意味合い	36～45
2007	2		755	田中聡	差別と向き合うマンガたち(35) どこにでも あり、どこにもない日本の村 : 『カムイ伝』の 風景	72～73
2007	12		767	尾川昌法	「先住民の権利宣言」 : 国連総会が採択	1
2009	1		782	編集部	<先住民の権利宣言>の特集にあたって	14
			782	北原きよ子	アイヌ民族は日本の先住民族	24～32
2009	7		789	山田理恵	アイヌ民族取材して	43～52
2009	9		792		<資料>平成18年北海道アイヌ生活実態調査報 告書	94～113
2009	11		794	小牧薫	「現在を見つめ、平和な未来を」を大会テーマに 歴史教育者協議会第61回北海道大会開かれる	58～59
2009	12		795	秦重雄	隠された秘かなるメッセージ 鶴田知也『児童・ コシヤメイン記』	66～67
<b>人権問題</b>				<b>兵庫人権問題研究所</b>		
2004	8		332	原島則夫	明治時代におけるアイヌの運動に学ぶ	
2004	12		336	杉尾敏明	アイヌの風 in交野	
2005	2		338	加藤西郷	アイヌ民族復権の探求	18～21
<b>人権問題研究所紀要</b>				<b>近畿大学人権問題研究所</b>		
2007	3		21	熊本理沙	《反差別の論理と倫理》に関する研究ノート 花崎皋平の諸著作への断片的考察一	83～91

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

し

		<b>年報 新入文学</b>		<b>北海学園大学大学院文学研究科</b>			
2005	12			2	岩崎グッドマンまさみ、石井智美、岩野英知、貝澤美和子、井上博紀	沙流川流域のアイヌ民族の食文化に関する応用研究(上)	118~179
2006	12			3	岩崎グッドマンまさみ、貝澤太一、石井智美、貝澤美和子	沙流川流域のアイヌ民族の食文化に関する応用研究(下)	112~161
		<b>新潮</b>		<b>新潮社</b>			
2000	1	97	1		山口昌男、津島佑子	21世紀への対話 1 流れる言葉、交わる言語	300~322
		<b>新潮45</b>		<b>新潮社</b>			
2001	5	20	5	229	佐藤愛子	私の遺言 第三回	232~242
2001	6	20	6	230	佐藤愛子	私の遺言 第四回	208~218
2001	7	20	7	231	佐藤愛子	私の遺言 第五回	106~117
2001	11	20	11	235	佐藤愛子	私の遺言 第八回	260~269
2001	12	20	12	236	佐藤愛子	私の遺言 第九回	262~271
2008	11	27	11	319	柳田邦男	日本人の教養 第60回 傲慢ヤマトよ、アイヌに学べ	234~242
		<b>新地理</b>		<b>日本地理教育学会</b>			
2004	3	51	4		伊勢寛	戦後のわが国におけるアイヌに関する地理学的研究の展開	1~12
		<b>広報新ひだか</b>		<b>新ひだか町</b>			
2008	4			25	酒井芳秀	平成20年度町政執行方針 アイヌ文化の保存・伝承	4
2009	4			37	酒井芳秀	平成21年度町政執行方針 アイヌ文化について	4
2009	7			40		「帰ってきたアイヌ民具たち」開催中 シャクシャイン没後340年記念特別展	2
		<b>新ひだか文芸</b>		<b>新ひだか文芸刊行委員会</b>			
2008	12			3	竹内清	英傑シャクシャインを偲ぶ -その実像を求めて-	52~53
		<b>新聞研究</b>		<b>日本新聞協会</b>			
2007	8			673	半澤豊彦	[わが支局 わが日々]アイヌ文化を世界に	66
著者肩書きは室蘭民報社白老支局長。							
		<b>人文論集</b>		<b>北海学園大学</b>			
2001	11			20	D.O.朝克	アイヌ語とエヴェンキ語の伝統的共有名詞について	81~110
2002	3			21	岩崎まさみ	アイヌ民族クジラ利用文化の足跡をたどる	111~146
		<b>ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (JAPANESE SERIES) (人類学雑誌)</b>		<b>Anthropological Society of Nippon(日本人類学会)</b>			
2003	99	111	1		余郷嘉明、鄭懐顛ほか	アイヌから検出されたJCウイルスDNAの系統解析 : アイヌの起源と多様性の解明へ向けて	19~34
2005	6	113	1		滝川渉	四肢骨の計測的特徴から見た東日本縄文人と北海道アイヌ	43~61
		<b>年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化</b>		<b>神奈川大学21世紀COEプログラム</b>			
2004	3			1	菊池勇夫	荷を負うアイヌの姿 : 菅江真澄の絵から	13~19
2006	3			3	菊池勇夫	『模地数里』に描かれた松前 : 長春丸・女商人・馬	78~96
p.86~90 「働く女たち : アツシ・れんじやく」あり。							
2007	3			4	菊池勇夫	「絵引」をする菅江真澄	107~114

す

		<b>水道</b>		<b>全国簡易水道協議会</b>			
2000	4	45	4		八木美雄	チャシとアイヌ	37~43
		<b>菅江真澄研究</b>		<b>菅江真澄研究会</b>			
2008	8			65	武沢和義	菅江真澄が蝦夷地で見た鳥(二)	43~45

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>す</b>						
<b>椋山女学園大学研究論集 社会科学篇</b>				<b>椋山女学園大学</b>		
2005	3		36	上田伝明	アイヌ民族の現状と課題(1)	1～11
2006	3		37	上田伝明	アイヌ民族の現状と課題(2)	1～11
<b>鈴谷</b>				<b>樺太豊原会</b>		
2001	10		19	平井秋子	アイヌとハーモニカ	2～3
<b>スタジオ・ボイス</b>				<b>インフィス</b>		
2002	7		319	野間易通	反逆のアイヌ : オキのトンコリが示す“交易”の成果	102
<b>月刊スティグマ</b>				<b>千葉県人権啓発センター</b>		
2005	10		116	256	アイヌ文化交流の場が誕生 - 君津市 -	5～8
					北米先住民族からの使者	9～14
				市川正廣(写真)	その日、カムイミントラに集った人たち	15
				佐藤真起	カムイミントラ・開かれた大地	16～26
					カムイミントラの案内	28～29
					人権Q&A用語解説 「アイヌって、誰」	42
2005	11		117	257	アイヌ文化を誇りに生きる - 千葉県内在住のアイヌ女性の語り -	4～27
2006	10		126	266	アイヌ文化の交流場を訪ねて	4～5
				宮木裕一	一周年のカムイミントラ	6～13
					カムイミントラへの道案内 ～自然に囲まれたアイヌの聖地へ～	14
				宇梶静江	アイヌの人々の現在 - 関東圏のアイヌについて	15～21
					解説・アイヌの人々の人権を理解するために	22～24
					宇梶静江さんの古布絵本	25
					書籍紹介『アイヌの治造』快男児を育んだアイヌ文化の根付いた生活	26
2009	2		152	292	カムイミントラの取り組み 「アイヌに生まれ、アイヌに生きる」 宇梶静江さん	42～43
<b>スラヴ研究</b>				<b>北海道大学スラブ研究センター</b>		
2004	5		51	コラー・スサンネ	安永年間のロシア人蝦夷地渡来の歴史的背景	391～413
<b>スロウ</b>				<b>クナウマガジン</b>		
2004	11			2	トゥイタキ「オタスウンクル」	94
2007	7		12	萬年とみ子(取材・文)	神様が下ろしてくれた鮭	50～57
<b>せ</b>						
<b>生活学論叢</b>				<b>日本生活学会</b>		
2008	9		13	鈴木良幸	「食事作法」の原像と「犠牲」 : アイヌの「送り」儀礼を通して	96～109
<b>政経評論</b>				<b>北方文化出版</b>		
2001	9	23	5	岡村良吉	アイヌのくに 北海道歴史考	8～10
「三 コタンの人々」「四 コシャマインの蜂起」あり。						
2001	11	23	6	岡村良吉	アイヌのくに 北海道歴史考	8～10
「六 アイヌ勘定」あり。						
2002	1	24	1	岡村良吉	アイヌのくに 北海道歴史考	26～29
「九 北海道アイヌ」「十 シャクシャインの蜂起」あり。						
2002	3	24	2	岡村良吉	アイヌのくに 北海道歴史考	10～12
「十一 クナシリ・メナシ騒動」「十二 夷酋列像」あり。						
<b>正論</b>				<b>産経新聞社(発行) 扶桑社(発売)</b>		
2008	1		430	石井英夫	世はこともなし? 第31回 アテルイの血筋	164～166
2008	8		437	西村眞悟	アイヌ先住民族決議の背後にある 日本悪しかれ史観の嘘	80～88
2008	10		439	的場光昭	ムネオ氏にモノ申す 北海道開拓民の魂を売る なかれ	226～233

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	
雑誌目次・文献目次							
<b>せ</b>							
2008	12		441	的場光昭	〈検証〉中山発言の真実Ⅱ 「単一民族」否定論の押し付けに意義あり	230～237	
2009	1		442	鎌田告人	「アイヌ被害者」論では語れぬ北海道開拓史の真実	142～149	
2009	9		450	的場光昭	天皇謝罪を求めたアイヌ先住権運動の暴走	104～111	
<b>セーヴェル</b>			<b>ハルビン・ウラジオストックを語る会</b>				
2004	12		20	青柳千子	19世紀初頭の千島住民 : ゴロウニンの航海日誌より	61～68	
2005	6		21	青柳千子	千島列島へのロシア人南下と千島アイヌ1	38～41	
2005	12		22	青柳千子	千島列島へのロシア人南下と千島アイヌ2	31～39	
<b>世界</b>			<b>岩波書店</b>				
2001	3		685	ワジュラビーナ・ヌリヤリマ 萱野茂	私たちは、鳥と話す、木と語る	194～202	
2001	9		692	田中伸尚	憲法を獲得する人びと 第6回 多原良子さん	39～47	
2002	11		707	小笠原信之	アイヌ文化法施行から五年 新たな危機に直面するアイヌ	284～291	
2009	6		792	古木杜恵	「敵」を捏造する言説・差別を流通させるメディア	189～196	
<b>説話・伝承学</b>			<b>説話・伝承学会</b>				
2006	3		14	高島葉子	アイヌとケルトの異類婚姻譚 : カムイと人の婚姻と妖精と人の婚姻	159～177	
<b>繊維製品消費科学</b>			<b>日本繊維製品消費科学会</b>				
2004	12	45	12	481	津田命子	アイヌ衣服と文様の変遷	25～30
<b>前衛</b>			<b>日本共産党中央委員会</b>				
2009	10		848	原島則夫	アイヌ民族の生活と権利を守るために : 政府の有識者懇談会「報告書」の内容と今後の課題	139～142	
<b>先史考古学研究</b>			<b>阿佐ヶ谷先史考古学研究会</b>				
2001	11		8	西川博孝	有桙強とその系譜	45～64	
<b>専修大学北海道短期大学紀要</b>			<b>専修大学北海道短期大学</b>				
2004	12		37	魚井一由、廣田徹	『M.M.ドブラトヴォールスキー著アイヌ語・ロシア語辞典』に関する一私考(4) Byekyere pikata ~Gushi その語彙・例文と石狩川流域を中心としたアイヌ語との比較	137～168	
2005	12		38	魚井一由、廣田徹	『M.M.ドブラトヴォールスキー著アイヌ語・ロシア語辞典』に関する一私考(5) da ~itanki その語彙・例文と石狩川流域を中心としたアイヌ語との比較	159～196	
2006	12		39	魚井一由、廣田徹	『M.M.ドブラトヴォールスキー著アイヌ語・ロシア語辞典』に関する一私考(6) : その語彙・例文と石狩川流域を中心としたアイヌ語との比較	61～95	
<b>先住民族の10年 News</b>			<b>先住民族の10年市民連絡会</b>				
2004	2		101	東村岳史 藤井美樹	第4回先住民関係NGO・NPO全国交流会 「大地と共鳴する人々」二風谷へ	2～3 13～15	
				多原順也	市民連絡会2003年活動評価および2004年活動計画	18	
				多原順也	おぼろのひとりごと(10)	20	
2004	3		102	石黒文紀 成田英敏 松岡靖 伊藤文美 小林純子	アイヌ民族に関する学校教育の問題点と課題 漫画エッセー センター試験にもアイヌ語を! シンポジウム報告「国際先住民の現在 軌跡と展望」 エスニックコンサート2003 「人類館・100年の時空を生きる 学術人類館」 [今月の本]『アイヌが生きる河』北川大著	2～4 5 14～15 16 17	
『インパクション』139号(2004年1月)掲載の記事を割愛、訂正して転載。							
2004	4		103	平良識子	琉球・沖縄民族とアイヌ民族の子どもの権利	2～3	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
せ						
				成田英敏	[今月の本]『沙流地方のウウエペケレ 上田としの伝承』平石清隆著・発行	12
				多原順也	おぼろのひとりごと(11)	16
2004	5		104	計良光範	ヤイユーカラの森の鹿狩り	2～3
				平野正美	学校教育とアイヌ文化	10～12
				越田清和	[今月の本]『金の風に乗って』戸塚美波子著	16
2004	6		105	越田清和	速報 アイヌ共有財産裁判高裁判決	2
				成田英敏	漫画エッセー ネバー・クライ・ウルフ	3
				長岡伸一(文)、宇井真紀子(写真)	アイヌ料理店「レラ・チセ」開店10周年	4～7
2004	7		106	大脇徳芳	アイヌ民族共有財産裁判、最高裁判決とその後 の闘いについて	2～3
p.4にも関係記事掲載あり。						
				長谷川由希	先住民族と博物館 : オーストラリア・ピクト リア博物館協会の事例	5～7
				中村康利	道新で「コタン歳時記」連載	13
2004	9		107	狩野雄一	集会報告 アイヌ民族共有財産裁判は最高裁へ	6～7
2004	10		108		[グループ紹介]その28 ケウトム ビリカの会	11
				計良光範	[今月の本]グローバル時代の先住民族	12
				長岡伸一	[今月の本]南極に立った樺太アイヌ 白瀬南極 探検隊秘話	13
2004	11		109	長谷川由希	ILOフェローシップ・プログラムに参加して(1)	5～7
				成田英敏	漫画エッセー 名前の話	12
2004	12		110	手島武雅	先住民族の遺産に関する横田・サーミ文書	11～13
				石見博昭	「アイヌ民族共有財産裁判」最高裁へ向けての東 京行動	2～5
				黒田秀之	差別図書をめぐる「アイヌ人格権裁判」が問いか けるもの(上)	8～10
				長谷川由希	ILOフェローシップ・プログラムに参加して(2)	14～15
2005	2		111	上村英明	「第2次先住民族の国際10年」のはじまりにあ たって	2
				平野恵嗣	第10会期先住民族権利宣言作業部会報告	3～5
				黒田秀之	差別図書をめぐる「アイヌ人格権裁判」が問いか けるもの(中)	6～7
				長谷川由希	ILOフェローシップ・プログラムに参加して(3)	8～9
2005	3		112	黒田秀之	差別図書をめぐる「アイヌ人格権裁判」が問いか けるもの(下)	5～7
				ケウトムビリカの会	チセ建設事業始まる 川村カトアイヌ記念館	8
2005	4		113	成田英敏	漫画エッセー6 知床は「地の果て」か?	12
2005	5		114	竹内渉	なまらだ! 「ユーカラ劇」札幌公演を鑑賞して	8～9
				編集部	これからのアイヌ民族の教育を考える : さっぽろ自由学校「遊」連続講座2004より	13～15
2005	6		115		あのひとにきく(20) アイヌプリの結婚式を 終えて 酒井美直さん、ロニー・エバソンさん	8～11
				芳野直子	アイヌプリの結婚式に思う いまだある差別の 中で	11～12
				新井かおりんだ	よりリアリティをもって、自然に	12
2005	7		116	鶴澤加那子	グリーンランド・イヌイットとアイヌ民族の交流	4～6
2005	10		118	佐藤真起	関東におけるアイヌの生活文化伝承の地「カム イミントラ」	4～7
				越田清和	新しいチセができました 川村カトアイヌ記 念館	13
2005	11		119	川上竜也	北海道の最東端での慰霊祭 ノッカマップ・イ チャルバ参加記	4～5
				黒田秀之	アイヌ民族の写真が無断掲載された中学教科書 をめぐって	8～11

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
せ							
					編集部	いつまでつづく「単一民族」発言 北海道ウタリ協会が抗議文を送付	12~13
2005	12			120	上村英明	単一民族国民国家発言・2005をどう考えるべきか	2~3
					上森奈穂美	アイヌ民族と歩む「共生の学び」をつくりだすために	6~7
2006	2			121	狩野雄一、上野昌之、宇井眞紀子	「ひらけ！最高裁 アイヌ民族共有財産裁判」東京行動(上)	8~10
表紙写真も記事関連。							
					長岡伸一	巷のアイヌ語 第6回 「エムシ」	11
					小野有五	教育のための世界先住民族会議@アオテアロアに参加して	12~13
2006	3			122	清水裕二	グループ紹介その31 アイヌ・ラマツ実行委員会	14
					手島武雅	「ひらけ！最高裁 アイヌ民族共有財産裁判」東京行動(下)	2~4
					石井貴博	「先住民族権利宣言」をめぐる最近の動向	5
						「皆さんは、アイヌを知っていますか？」：中学校英語スピーチコンテストより	12~13
2006	4			123	小林純子	グループ紹介その32 先住民族の権利ネットワーク	15
					成田英敏	アイヌ民族共有財産、最高裁「棄却」に思う	2~4
					港敦子	「銀の滴講読会」の15年に思う	6
					阿部ユポ	知里幸恵『アイヌ神謡集』を韓国語に翻訳する試み	7~9
						第11会期国連人権委員会「先住民族権利宣言作業部会」参加報告	10~13
2006	5			124	長岡伸一	巷のアイヌ語 第7回 「ラボラ」(はばたく)	15
					小林純子	アイヌ民族初の国会議員、萱野茂さん逝去	3
					中村平	「先住民族研究・支援活動」のありかたを考える	14~15
2006年3月25・26日に開催されたワークショップ「先住民族研究・支援活動における責任と義務 先住民族の権利と国際機構の視点から考える」の感想。							
2006	6			125		萱野茂さんをしのんで その1	11
					黒田秀之	差別図書をめぐる「アイヌ人格権裁判」札幌高裁棄却	12~14
2006	7			126	木村真希子	第5会期国連先住民族問題に関する常設フォーラム参加報告	6~7
					松岡靖	[今月の本]『戦後期アイヌ民族-和人関係史序説 : 1940年代後半から1960年代後半まで』東村岳史著	13
						萱野茂さんをしのんで その2	14~17
母語話者を復活させた偉大な功労者(田村すゞ子)/アイヌ(上村英明)/おじさんへ(貝澤耕一)							
2006	9			127	小松田初美	勇気を受け継ぐ マヤ先住民族女性を招いて : アナ・ベレスさんスピーキングツアー in 札幌	2~5
					アナ・ベレス	日本スピーキングツアーを終えて	5~6
2006	10			128	森原秀樹	「人種差別撤廃NGOネットワーク」結成 : 国連・ディエン報告書と国内での取り組み	2~4
						人種主義等に関するディエン報告書に対する日本政府のコメント(一部抜粋)	4~5
「沖縄の人びと」及び「アイヌ民族に対する先住民族としての権利の保障」に関するディエン報告書と日本政府のコメントを紹介。							
					長谷川由希	カナダ・イヌイト訪問記 : ヌナヴィクとモントリオールへ	6~8
					長岡伸一	東京アイヌモシリ散歩 第2回 南極映画と樺太犬	9
					鶴澤加那子	サーミ民族最大の祭り、リデウ・リデウ・フェスティバル	10~11

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>せ</b>						
2006	11	129		上村英明	国連改革と先住民族の権利 : 改革は意味あるものだが、予断を許さない	2～4
				石見博昭	「北海道近代における朝鮮人の定住化とアイヌ民族」講演より	5～7
				成田英敏	漫画エッセー9 星を眺めて	12
				貝澤耕一	セミナー報告 ダム建設予定地の環境影響調査を終えて ダム開発とアイヌ民族	14～16
2006	12	130		酒井美直	「AINU REBELS」:楽しくかっこよくアイヌとして生きたい	2～3
				長岡伸一	巷のアイヌ語 第8回 「ハスカップ」	8
				小林純子	差別図書をめぐる「アイヌ人格権裁判」最高裁・東京行動	14
2007	2	131		長谷川由希、ヤユツ・ナバイ	国際人権をめぐる台湾原住民族の活動 : 若い世代の新しい動きを中心に	8～9
				長岡伸一	[巷のアイヌ語]第9回 タンタカ	10
2007	3	132		小林純子	国連・ディエン報告書と人種差別撤廃NGOネットワーク	2～5
「ディエン報告書に関する日本政府口上書に対するNGOコメント」(北海道ウタリ協会、レラの会、市民外交センター作成)あり。						
				上野昌之	[今月の本]『《東京・イチャルパ》への道 明治初期における開拓使のアイヌ教育をめぐる』	11
2007	4	133		島崎直美	初めてのアイヌ女性の実態調査に取り組んで	2～3
				長岡伸一	[巷のアイヌ語]第10回 YUBARI	8
				チカッ美恵子、平野正美(構成:編集部)	伊吹文部科学大臣の歴史認識と人権感覚を問う	12～13
2007	5	134		渡辺圭	現代のユーカラ劇をつくろう!: さっぽろ自由学校「遊」講座を受講して	6～7
				中野巴絵	ペウレ・アイヌ あの人この人(1) 転機となった海外研修	8～9
2007	6	135		黒田秀之	北海道大学アイヌ・先住民研究センター 4月開設	8～9
				K・S	ペウレ・アイヌ あの人この人(2) 「アイヌ民族」であること…	10
				深山直子	先住民族問題における研究と実践の関わり その議論より	14～15
				長岡伸一	[巷のアイヌ語]第11回 ピヤラ(窓)	16
2007	7	136		小林純子	「アイヌ文化振興法制定から10年」東京でシンポジウム開催	2～4
				鶴澤加那子、長谷川由希	第6会期国連先住民族問題に関する常設フォーラム報告	5～7
				長岡伸一	第13回「時事アイヌ語」の復習	20
2007	9	137		小笠原小夜、酒井美直	ハワイから伝統航海カヌー「ホクレア号」横浜港到着	5～7
				三橋奈々	第6会期先住民族問題常設フォーラム 北海道ウタリ協会報告から	8～9
				島崎匡也	ペウレ・アイヌ あの人この人(3) 人との関係をいいものにしていきたい	10
2007	10	138		編集部(構成)	特集・「先住民族の権利に関する国連宣言」その1	2～4
加藤忠、田中了、当間嗣清、上村英明の文章を掲載。						
				狩野雄一	フィールドワーク 「アイヌと歩む…東京アイヌ史」	19
2007	11	139		編集部(構成)	特集・「先住民族の権利に関する国連宣言」その2	2～5
「海外先住民の反応」を掲載。						
				計良光範	「宣言」採択とアイヌ民族	5～7
『Yay Yukar Park』第58号掲載記事を一部抜粋し加筆・訂正したもの。						
				能登千織	ペウレ・アイヌ あの人この人 今を生きるアイヌ	14～15
2007	12	140		編集部(構成)	特集・「先住民族の権利に関する国連宣言」その3	2～5
「採択に棄権した国、反対した国からの反応」掲載。						

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>せ</b>							
					小松田初美	グアテマラ・ツアー アナ・ペレスさんの故郷を訪ねて	12~15
					親川裕子	第1回マイノリティ女性フォーラムに参加して	16~17
<b>月刊染織α</b>				<b>染織と生活社</b>			
2000	1			226	編集部	テキスタイル&ミュージアム 37 浦河町立郷土博物館馬事資料館	78
2000	4			226	編集部	アットゥシ織りの魅力 遠山サキさんのしごと	18~22
2005	10			295	浜田裕木子、国立民族学博物館MCDプロジェクト	[染織文献データBOX]93 アイヌ・北方民族の染織と衣服(1)	64
2005	11			296	浜田裕木子、国立民族学博物館MCDプロジェクト	[染織文献データBOX]94 アイヌ・北方民族の染織と衣服(2)	64
<b>センターレポート</b>				<b>北海道建築指導センター</b>			
2009	1			167	小林孝二	アイヌ建築再考	16~19
<b>仙台陣屋かわら版</b>				<b>仙台藩白老元陣屋資料館</b>			
2003	4			4.1版		森竹竹市遺稿集『銀鈴』増刷	1
他にも関係記事あり							
<b>仙台藩白老元陣屋資料館報</b>				<b>仙台藩白老元陣屋資料館</b>			
2001	3			6・7合併号	本田孜	白老の木彫りグマ	27~32
					布沢幸	短歌[熊彫り5首]	32
2004	3			10	本田孜	「自然からの恵み しらおい・食の文化を考える」から	36~42
『苫小牧民報』2003年3月29~4月1日連載記事に加筆・修正した本文のほか、試食メニュー、資料目録など掲載。							
2005	3			11	本田孜	しらおいの淡水魚 ポロト湖水系を中心に	36~41
「アイヌと川漁」あり。							
					岡田路明	アイヌ文化と川魚	42~43
2006	3			12	伊東稔	仙台市・白老町歴史姉妹都市展「アイヌの詩人森竹竹市 民族の表現者」から	55~64
<b>前夜</b>				<b>岩手県立大学総合政策学会</b>			
2004	10	第1期	1		池田逸子	今日の音楽を聴く 第一回 伊福部昭という巨人	188~193
2006	1	第1期	6		島崎直美	アイヌ文化を引き継ぐことと女性解放	154~156
<b>そ</b>							
<b>総合政策</b>				<b>岩手県立大学総合政策学会</b>			
2004	9	6	1		黒岩幸子	千島列島における第一のトボスの盛衰について：「北方領土」と千島	27~62
<b>ソシオロジカ</b>				<b>創価大学社会学会</b>			
2005	3	29	1・2	49		松本和良教授略歴ならびに業績一覧	44~49
佐々木交賢・松本和良両教授退任記念論集							
					大黒正伸	サンキュ、プロフェッサー・スマイル	51~52
<b>空知地方史研究</b>				<b>空知地方史研究協議会</b>			
2000	6			34	杉山四郎	松浦武四郎碑に刻まれたアイヌ人名	22~28
					ト部信臣	空知アイヌの足跡を追って	29~31
2002	6			36	杉山四郎	「アイヌ語河川名」と書かれた看板(その2)	11~17
2004	6			38	杉山四郎	武四郎碑に刻まれたアイヌ民族	7~10
2007	6			41	岡田齋	アイヌ渡船物語：長谷藤蔵・出合沢コタン周辺	32~37
					杉山四郎	武四郎碑のまとめと栗山町の“準”碑	38~39
2009	3			42	河野敏昭	空知アイヌと平田角平氏	38~42

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

た

<b>広報たいき</b>				<b>大樹町</b>			
2001	11		403	太田善繁	[今月のスナップ](第10回カムイコタン祭り)	11	
2005	3		443	太田善繁	碑めぐり309 歴舟川117 口碑伝説①	17	
2005	4		444	太田善繁	碑めぐり310 歴舟川118 口碑伝説②	19	
2005	5		445	太田善繁	碑めぐり311 歴舟川119 口碑伝説③ 十勝の川と石狩の川	17	
2005	6		446	太田善繁	碑めぐり312 歴舟川120 口碑伝説④ 日方の川の伝説	15	
2005	7		447	太田善繁	碑めぐり313 歴舟川121 口碑伝説⑤ トカチとヒダカ鹿、火をつくった神	19	
<b>大航海</b>				<b>新書館</b>			
2003	4		46	工藤進	声の日本語、文字の日本語	151～159	
<b>大東法学</b>				<b>大東文化大学法政学会</b>			
2006	10	16	1	48	苑原俊明	先住民族の文化遺産の国際的保護 : 国連の動向とアイヌ民族	37～60
<b>台湾原住民史研究</b>				<b>風響社</b>			
2006	3		10	山田仁史	南と北の小人伝承	3-37	
<b>たたら研究</b>				<b>たたら研究会</b>			
2007	3		46	鈴木信 小野哲也 佐々木稔	擦文～アイヌ文化期の鉄器・素材生産 鉄器にみる北海道アイヌ文化期の生活様相 アイヌ文化期の原料鉄と鍛造技術	1～17 18～29 37～42	
<b>広報伊達</b>				<b>伊達市役所企画財政部企画課</b>			
2000	2		498	大島直行	伊達のいにしえ人 近世アイヌ人の素顔① つのチャン	三 18	
2000	3		499	大島直行	伊達のいにしえ人 近世アイヌ人の素顔② ジラ捕りの名手	ク 22	
2000	4		500	大島直行	伊達のいにしえ人 近世アイヌ人の素顔③ と貝塚	畑 22	
2000	5		501	大島直行	伊達のいにしえ人 近世アイヌ人の素顔④ にしえ人の素顔	い 14	
2001	1		509		感動、アイヌ文化祭 小野祐照さん	12	
2001	9		517		神々に感謝を捧げるカムイノミ 中西新治郎さん	12	
2004	2		546	大島直行	北黄金貝塚の謎⑨ 北黄金貝塚の縄文人って誰だ?	後表紙	
2004	3		547	酒井卓晃	パチラー八重子歌碑が完成しました	5	
<b>旅</b>				<b>JTB</b>			
2003	9		920	赤坂憲雄	北東北のマタギの村から	71～74	
「山言葉のなかのアイヌ語」(p.71～73)あり。							
<b>旅の文化研究所研究報告</b>				<b>旅の文化研究所</b>			
2001	12		10	齋藤玲子・宇仁義和	更科源蔵を辿る旅 -北海道観光における類型化されたアイヌ文化の探究-	1～14	
<b>ダベッサー</b>				<b>ダベッサー</b>			
2004	5		227		[カメラアングル]観光客に神々の物語 アイヌコタン	阿寒湖 4～5	
<b>譚</b>				<b>二水会</b>			
2001	7		7	前川春秋	『アイヌの学校』	76	
2002	7		10	高澤光雄	アイヌ語の山名	80	
ち							
<b>地域学</b>				<b>弘前学院大学(発行)、北方新社(発売)</b>			
2002	9		1	萱野茂	アイヌ文化と東北(講演要旨)	1～22	
<b>地域研究所年報</b>				<b>旭川大学地域研究所</b>			
2007	12		30	齋藤真宏	多様性をつむぐ営み : ある中学校教師の授業実践と他文化共生教育	51～76	

「A先生の授業」として「直接的交流によるアイヌ民族学習」あり。

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
ち							
		阿部隆夫、近江真由美		続・カナダと日本の先住民政策比較		77～99	
		<b>地域同和</b>		<b>滋賀県解放県民センター</b>			
2001	5		241	武田一夫	人権思いつくまま 第2回	北海道で思うこと	33～38
		<b>地域と経済</b>		<b>札幌大学経済学部附属地域経済研究所</b>			
2007	3		4	濱口裕介	『近世蝦夷人物誌』と幕末のアイヌ風俗改変政策		89～97
		<b>地域と人権</b>		<b>全国地域人権運動総連合</b>			
2006	8		271		<討論>全国人権連第2回定期大会 本部推薦	幹事・北原きよ子さん	19～20
2007	7		282	北原きよ子	アイヌ文化振興法から10年 真に民族法といえるものを求める		27～32
		<b>地学雑誌</b>		<b>東京地学協会</b>			
2004	6	113	3	994	遠藤匡俊	19世紀のアイヌ社会における和名化の展開過程	421～424
		<b>地質研究所ニュース</b>		<b>北海道立地質研究所</b>			
2005	9	21	2	78	高清水康博	地層の中から見つかった過去の津波の痕跡と、アイヌの津波伝説	3
		<b>地質ニュース</b>		<b>実業公報社</b>			
2001	7		563	隅田実	日本列島における、地形用語としての谷と沢の分布 : 古代民族の文化圏との接点を探る		36～45
		<b>地図中心</b>		<b>日本地図センター</b>			
2004	7		382	釧路地方の地名を考える会	伊能忠敬の足跡を追って 東蝦夷地名解		26～27
2005	9		396	高木崇世芝	知床を紹介したいいろいろな地図		
特集:世界自然遺産知床							
2005	9		396	涌坂周一	松浦武四郎の見た知床半島		
		<b>地図ニュース</b>		<b>日本地図センター</b>			
2002	12		363	坂井尚登	日本の城(17) モシリヤチャシ : 釧路・アイヌの人々が築いた城		19～22
		<b>広報ちとせ</b>		<b>千歳市・企画部広報公聴課</b>			
2000	11		848		千歳市民文化賞 故小田イトさん(享年92歳)		11
2001	1		850		旬の人 小田智子さん		18
		<b>千歳市民文芸</b>		<b>千歳市民文芸の会</b>			
2000	12		28	林元一	ヤイライケレの会		50～53
2006	12		34	杜戸潮	[創作]宙火		195～200
		<b>千葉史学</b>		<b>千葉歴史学会</b>			
2006	11		49	荻原真子	[巻頭随想]アイヌの盛装と太刀		1～4
		<b>千葉大学社会文化科学研究</b>		<b>千葉大学大学院社会文化科学研究科</b>			
2003	2		7	丹菊逸治	アイヌとニヴフのシャマン伝承		1～8
				北原次郎太	トンコリの戦後史 : 1945年～1977年を中心に		9～18
		<b>千葉大学人文研究</b>		<b>千葉大学文学部</b>			
2008	3		37	中川裕	荻原真子先生を送る		1～5(縦組)
				吉田睦・編	荻原真子先生 研究業績目録		8～18(縦組)
		<b>地方史研究</b>		<b>地方史研究協議会</b>			
2004	10	54	5	谷本晃久	書評 榎森進編『アイヌの歴史と文化2』		90～92
2008	10	58	5	永田一	古代の「東国」と「蝦夷」についての一考察		85～86
		<b>地名</b>		<b>宮城県地名研究会</b>			
2000	6		14	笠原剛	「狼」地名の不思議Ⅱ		33～38
2004	11		20	太宰幸子	津軽半島にみる狩村の存在(Ⅰ)		16～37
2005	5		21	西成辰雄	「アイヌ前史」を読む : その担い手たちを探る		12～14
				勝又秀夫	「蝦夷」の語源と地名 : エミシからエゾへ		33～50

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	
雑誌目次・文献目次							
<b>ち</b>							
2005	11		22	西成辰雄	縄文語のことなど	12～14	
				松橋由雄	地名「廿一」について	15～25	
				笹原剛	菜切谷の地名	59～73	
2006	5		23	三文字孝司	夫内・音無はアイヌ語地名か	19～29	
				板橋由雄	神呪「千魚又次郎八百長歳」	62～71	
2007	5		25	奥昭夫	地名雑感	3～14	
				菅原伸一	「蝦夷」語源考(1)	48～60	
<b>地名探究</b>				<b>京都地名研究会</b>			
2003	3		創刊号	吉田金彦	地名から探る水の都、平安京 : 秘められた蝦夷語の影	11～17	
				糸井通浩	地名「間人」について : 「はし」という語を中心に	57～62	
2007	3		5	佐々木高明	東北地方のアイヌ地名と北からの文化	3～14	
<b>地名談話室</b>				<b>日本地名研究所</b>			
2005	12		20	太宰幸子	アイヌ語地名「オサナイ」の確認	2	
				山本修平	釧路地方のアイヌ語地名について	8	
<b>中央公論</b>				<b>中央公論新社</b>			
2006	4	121	4	1463	宇井眞紀子	[グラビア]アイヌブリの結婚式	38～40
<b>季刊地理学</b>				<b>東北地理学会</b>			
2006	2	57	4	遠藤匡俊	1930年代の大興安嶺南東部におけるオロチョンの命名規則 : アイヌとオロチョンの文化に関する比較研究にむけて	222～231	
<b>地理学評論</b>				<b>日本地理学会(発売:古今書院)</b>			
2004	1	77	1	遠藤匡俊	1800年代初期のアイヌの社会構造と命名規則の空間的適用範囲	19～39	
2004	5	77	6	青木茂治	〈書評〉アイヌ語地名研究会編 : アイヌ語地名研究5	460～462	
2006	6	79	7	青木茂治	〔書評〕北海道立アイヌ民族文化研究センター編:アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー	399～401	
2006	10	79	11	遠藤匡俊	集団の空間的流動性からみたアイヌ集落の持続的な血縁関係 : 1856～1869(安政3～明治2)年の東蝦夷地三石場所を例に	547～565	
<b>知里森舎通信</b>				<b>知里森舎</b>			
2001	12		1	横山むつみ	はじめに	1	
					知里森舎の規約抜粋	1	
					知里森舎のあゆみ	2～3	
				横山むつみ	人のページ「前川敏雄さんのこと」	4～5	
					季節のページ「mata(マタ)冬」	6	
				横山むつみ	地名のページ「ヌブルベツ」	7	
2002	3		2		はじめに	1	
					予定・決定の事項	2～3	
				笹波史子	人のページ「私のひいおばあちゃん、こきんさんのこと」	4～5	
				横山むつみ	季節のページ「paykar(パイカラ)春」	6	
				横山むつみ	地名のページ「アフルパルとカムイミントラ」	7	
					千と三百年の物語(神隠)	8～10	
2002	7		3		予定・決定事項	2～3	
				横山むつみ	人のページ「金成マツ」	4～5	
				横山むつみ	季節のページ「夏(サク)」	6	
					地名のページ「フンベ山」	7	
				相川公司	投稿のページ 幸恵に希望を見た人	8～9	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ち

2002	10	4	知里むつみ	赤トンボ飛ぶ歌		1
				今年度のイベントが終了しました!		2
				知里幸恵記念館建設募金委員会がスタート		3
				復刻本『知里幸恵ノート』を刊行しました		3
			横山むつみ	人のページ 小野有五さん		4~5
			横山むつみ	季節のページ チュク(秋)		6~7
			横山むつみ	プルプルケ		8~9
			相川公司	購読会員のページ 銀のしずくが降った日		10
2008	2	24	大須賀るえ子	金成マツのユーカラの世界(4)		2~5
			浅野清	私の『アイヌ神謡集』学習ノート		5~10
2008	5	25	北道邦彦	『アイヌ語地名で旅する北海道』		2~3
			谷口邦男	佐々木長左衛門と武隈徳三郎		3~7
			菅原みえ子	<詩>あまつぶ		7
			浅野清	私の『アイヌ神謡集』学習ノート(二)		8~11
2008	8	26	大須賀るえ子	金成マツのユーカラの世界(5)		2~4
			浅野清	私の『アイヌ神謡集』学習ノート(二)		5~7
2009	3	27	横山むつみ	はじめに		1~2
			谷口邦男	「近文の一夜」についての検証		4~6
			横山むつみ	松浦武四郎記念館行記		7
			浅野清	私の『アイヌ神謡集』学習ノート(三)		8~11

つ

伝え		日本口承文芸学会 会報		日本口承文芸学会	
2008	2	42	志賀雪湖	萩中美枝先生の基調報告を聞いて	2
			石井正己	シンポジウム	2~3
翼の王国		ANA「翼の王国」編集部		ANA「翼の王国」編集部	
2004	2	416		ユーカラ劇・アイヌ英雄叙事詩/「天駆ける英雄の物語」公演	122
				日米交流150周年記念事業/ミュージック・フロム・ジャパン/2004年音楽祭	123
2008	6	468	井上英樹(文)、DYSK(写真)	ウポボ賛歌	46~55
中にOKIの文章(p.52~53)あり。					
飛礫		つぶて書房(発売:れんが書房新社)		つぶて書房(発売:れんが書房新社)	
2004	1	41	北川しま子	インカルシュベ・ヌプリのカムイノミ	108~111
			太田マルクオッカイ満	アイヌ文学への招待3 フキノトウは食べたか?	112~115
2004	4	42	白川ただし(写真と文)	ウイльта民族『慰霊碑』の除幕式	99~101
2004	10	43	太田武二	エスニックコンサート一〇周年を終えて	119~126
2005	7	47	長谷川修	アイヌ民族のための「場所=土地」を東京に	36~40
2005	10	48	白川せつ子	「アイヌ文化振興法」体制賛美の教科書に抗議する : 扶桑社など三社に謝罪と写真取り下げ要求	111~118
2006	1	49	黒田秀之	民族の名誉と人権の回復を : 河野差別図書裁判報告	114~117
			山本多助(採録)、山本一昭(編集)	アイヌ民族の伝説 第7話 カワウソとキツネ	
2006	4	50	『飛礫』編集委員会	扶桑社謝罪す! 教科書アイヌ民族差別事件特集にあたって	4~5

特集:扶桑社謝罪す! 教科書アイヌ民族差別事件

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

つ

				川村シンリッエオリパックアイヌ	写真無断使用、扶桑社謝罪する : 旭川市副読本作成のとりくみをふまえて	6～13
2006年	2月5日			大阪での「アイヌ民族と連帯し扶桑社教科書を批判する集会」での講演をもとにしたもの		
				黒田秀之	扶桑社は謝罪したけれど… : 検定教科書(公民)糾弾のとりくみ	14～19
					資料(アイヌ民族と連帯し、扶桑社教科書を批判する集会(大阪)へのメッセージ/扶桑社関連文書(抗議ならびに要請・回答文/和解書)	20～24
				川村久恵	共に生きる未来のために アイヌの教育について考える	25～27
				結城庄司	アイヌモシリ「北方領土」論	28～39
出典:『差別とたたかう文化 10』(明治図書、1981年7月)						
				黒田伊彦	教科書におけるアイヌ民族 : 日本人(和人)の認識を問う	40～52
				石黒文紀	学校教育におけるアイヌ民族	53～64
				日比野裕司	アイヌ民族についての北海道の教育の現状	65～67
				舟木暢夫、坂口大介	アイヌ民族を学校に招いて	68～73
				2006年2月5日大阪での「アイヌ民族と連帯し扶桑社教科書を批判する集会」での講演をもとにしたもの		
				清水早子	ザワフ風吹く島に基地はいらない!	90～92
				山本多助(採録)、山本一昭(編集)	アイヌ民族の伝説 第8話 カワウソに見込まれた娘	134
2006	6	51		仲吉喜行	南北の塔と弟子豊治さん	
				結城庄司	弟子豊治氏に聞く	
				安仁屋政昭	沖縄戦を語りつぐ : アイヌ民族と真栄平部落住民の交流	40～47
2006	7	51		仲吉善行	南北の塔と弟子豊治さん	25～26
				結城庄司(聞き手)	弟子豊治さんに聞く	27～39
				安仁屋政昭	沖縄戦を語りつぐ アイヌ兵士と真栄平住民の交流	40～47
				島崎直美	沖縄と私	48～52
				白川ただし	河野本道の差別図書を弾劾する裁判:札幌高裁の不当・差別判決を弾劾する!	112～113
2006	10	52		山本多助(採録)、山本一昭(編集)	アイヌ民族の伝説 第9話 喋れなくなった犬	137
2007	1	53		野村洋子	河野本道によるアイヌ民族図書弾劾!最高裁闘争勝利・東京行動	112～113
				山本多助(採録)、山本一昭(編集)	アイヌ民族の伝説 第10話 孤児を育てたネズミ	156
2007	4	54		『飛礫』編集委員会(写真・文)	[フォトレポート]アイヌモシリへの出撃拠点/札幌から千歳まで雪の自衛隊基地をたどる	100～101
				まよなかしんや	「北方領土の日」反対!沖縄レポート : 北から南から「日本」を変えよう	110～112
				小林けん	いま、最前線 反戦 ステザムはアイヌモシリから出てゆけ	112～115
				白川ただし	全国植樹祭(苫小牧)に反対する! : 天皇制国家のアイヌモシリ侵略支配を弾劾し、アイヌ民族連帯をかかげて闘いを準備しよう	115～118
				山本多助(採録)、山本一昭(編集)	アイヌ民族の伝説 : 第11話 アザラシの神と女	149
2007	7	55		山本多助(採録)、山本一昭(編集)	アイヌ民族の伝説 : 第12話 鹿に化けた娘	147
2007	10	56		山本多助(採録)、山本一昭(編集)	アイヌ民族の伝説 : 第13話 けちんぼオオカミ	127
2008	7	59		山本多助・採録 山本一昭・編集	アイヌ民族の伝説 第十六話 セキレイにされた悪いキツツキ	142～143
2008	10	60		しらかわせつこ	北大民族差別人骨事件の徹底究明を!北大の責任逃れを許さない!チャランケ打ち破り阻止!	80～83

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名			発行者	
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ	

つ

釣道楽 TSURI DO LUCK			碧風舎			
			村田 燎	洞爺湖サミット反対!札幌-洞爺湖 現地開催を戦いぬく 反帝国主義国際連帯を鮮明にG8の世界支配との対決へ	88~92	
			川村シンリツ・エオリバック・アイヌ	洞爺湖現地闘争 アイヌモシリと沖縄から	96~97	
			まよなか しんや	洞爺湖現地闘争 アイヌモシリと沖縄から	97	
			山本多助・採録 山本一昭・編集	アイヌ民族の伝説 第十七話 鶴の葉	132	
2008	6	1	1	1 榊原正文	蝦夷島地名紀行 Vol.1 洞爺湖のサミットは!	139~148
2008	9	1	2	2 榊原正文	蝦夷島地名紀行 Vol.2 母なる大河	139~145
2008	12	1	3	3 榊原正文	蝦夷島地名紀行 Vol.3 真っ直ぐ流れる「後戻りする川」	147~153
2009	3	2	1	4 榊原正文	蝦夷島地名紀行 Vol.4 支笏湖へ行ってみましよう	147~153
2009	6	2	2	5 榊原正文	蝦夷島地名紀行 Vol.5 積丹半島巡り旅(1)	141~147
2009	9	2	3	6 榊原正文	蝦夷島地名紀行 Vol.6 積丹半島巡り旅(2)	139~145
2009	12	2	4	7 榊原正文	蝦夷島地名紀行 Vol.7 尻別川を巡る旅 1	147~153

て

であい			オフィスプロシード			
2008	7		556	「資料」アイヌ民族を先住民とすることを決める決議」ほか	12~13	
2008	8		557 長谷川修	【人権文化を拓く】先住民族アイヌ	14~15	
2009	12		573 竹内渉	【人権文化を拓く】アイヌ協会に名称変更	14~15	
通信協会雑誌			通信協会			
2001	7		1082 森川宗弘	誌蹟つむぎ65 アイヌ雑記	52~55	
同誌1960年11月号が掲載した赤城三兵「アイヌ雑記」の抄録紹介。						
DAYS JAPAN			デイズジャパン			
2008	1	5	2	47 酒井美直(文)、宇井眞紀子(写真)	特集・アイヌの誇り	10~17
2008	7	5	8	53 小笠原信之(文)、広河隆一(ライター)、PANA通信社、宇井眞紀子(写真)	特集・アイヌ 失われた歴史をどう償うのか	14~21
テエタより			北海道埋蔵文化財センター			
2006	3		16	追悼 藤本英夫氏、高橋正勝氏を悼む		
広報てしかが			弟子屈町			
2000	1		544	先祖を慰める儀式 12/15	15	
2000	5		548	アイヌ文化に触れてみよう	14	
2001	1		557	先祖を慰める儀式	16	
2001	12		568	摩周湖ファイル Vol.4 定かではない語源	15	
2002	3		571	摩周湖ファイル Vol.6 大アメマス伝説	13	
2003	1		581	「古式にのっとり厳粛に先祖供養」12月10~11日	11	
2003	12		592	「古式にのっとり厳粛に先祖供養」11月30日		
2004	12		604	「古式にのっとり先祖供養」11月13~14日	14	
2005	5		609	原野紀行 第1回 『童話 北の国の物語』原稿ノート	15	
2005	10		614	原野紀行 第6回 一刀彫り	5	
2005	11		615	原野紀行 第7回 コタン生物記	7	
2007	1		629	原野紀行 第21回 コタンの学校	7	
2007	10		638 てしかが郷土研究会(加藤)	むかしむかし(204) てしかが歴史写真館(78) 『湯の島蝦蟇伝説』	20	
2008	7		647	原野紀行 第39回 森と湖のまつり - 武田 泰淳/著-	19	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	
雑誌目次・文献目次							
<b>て</b>							
2008	8		648	原野紀行	第40回 駅名の起源	21	
2008	9		649	原野紀行	第41回 幕末の探検家 松浦武四郎	17	
2008	10		650	原野紀行	第42回 アイヌ語地名解 北海道地名の起源	19	
2008	11		651	原野紀行	第43 『小さい熊祭』と版画の年賀状	17	
2008	12		652	てしかが郷土研究会(松橋)	むかしむかし(218) てしかが歴史写真館(92) 屈斜路コタンの言い伝え	26	
2009	1		653	原野紀行	第45回 『コタン生物記 I、II、III』	19	
2009	2		654	むかしむかし(220) てしかが歴史写真館(94) 東西蝦夷山川地理取調図 十三		30	
2009	3		655	原野紀行	第47回 『アイヌ伝統音楽』	17	
2009	6		658	原野紀行	第50回 『北の国の物語』	17	
2009	12		664	てしかが郷土研究会(松橋)	プイラクニ・チャシ	30	
<b>帝塚山大学人文科学部紀要</b>				<b>帝塚山大学</b>			
2006	3		20	水上勲	「鬼一法眼」式話型と義経伝説 : アイヌの義経伝説と御伽草子『御曹司島渡』を中心に	23~42	
<b>鉄道林</b>				<b>北海道鉄道文芸会</b>			
2000	9		40	山田広	教授・樽椅子・小樽人 一故・小笠原克さんを偲んで	30~37	
2001	11		41	田村宏	[創作]ビッキの行くえ	38~49	
<b>伝統文化</b>				<b>伝統文化活性化国民協会</b>			
2006	3		18	佐々木高明、小島美子、赤坂憲雄ほか	パネルディスカッション	5~38	
「伝統文化活性化シンポジウム 伝統文化の東西南北」の一部。「東北日本の文化」あり。							
<b>2006年度 展望</b>				<b>徳島県同和対策推進協議会</b>			
2006	4				[扉のことば]語り継ぎたいこと	1	
					[グラビア特集]アイヌの人々 今を生きて	2~14	
					[取材特集]アイヌ民族に関する博物館等を訪ねて	81~104	
<b>と</b>							
<b>東奥文化</b>				<b>青森県文化財保護協会</b>			
2002	3		73	佐々木馨	アイヌと「日本」 : 民族と宗教の北方史	10~23	
平成13年度地方史研究会発表 特別講演。							
<b>TOKYO人権</b>				<b>東京都人権啓発センター</b>			
2000	3		4		先住民族、アイヌとして生きる 長谷川修さん	2~4	
2001	6		10		アイヌ文化継承のために 長谷川由紀さん		
2005	3		5	長谷川修	先住民族、アイヌとして生きる(インタビュー)	2~4	
2006	9		31	宇梶静江(語り)	アイヌ文化に輝きを : 民族に誇りが息づく「古布絵」	1~4	
2008	9		39		アイヌ文化の新しい波 パフォーマンスグループ AINU REBELS(アイヌレブルス)	6~7	
<b>道新TODAY</b>				<b>北海道新聞社</b>			
2000	4	28	4	339	中村康利	アイヌ民族の若者に将来の夢を聞く 誇りを胸に21世紀を生きる	154~157
2001	4	29	4	355		白老・アイヌ民族博物館問題 不正経理発覚で波紋広げる	72~73
2001	6	29	7	358		伝統の音楽と踊りを長期公演	23
2001	8	29	9	360	広瀬昭宏	シネマ幻影 名画の舞台を訪ねて ⑩ 民族の存亡をめぐるアイヌ民族の青年の闘い「森と湖のまつり」(標茶町)	90~91
2002	4	30	4	369		アト°イ 俺は魂をデザインする アト°イ(豊岡征則)著	121

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
と							
2002	5	30	5	370		アイヌの哲学が新世紀の扉を開く	22
2002	6	30	7	372	チカップ美恵子	「虹の交響」を縫い込める	144
2003	3	31	3	382		知里幸恵の生誕100年 登別などで多彩に記念イベント	69~70
					広瀬昭宏	シネマ幻影 名画の舞台を訪ねて (39) 津軽武士と現代女性の恋と冒険「満月 MR. MOONDIGHT」(浦臼町)	96~98
<b>道都大学紀要 共通教育部</b>				<b>道都大学図書紀要編集委員会</b>			
2007	3				創刊 小川昭一郎	史料翻刻12 奉行組頭廻浦中 日記書付、秋味漁、給料・手当、出稼関連記事	1~34(縦組)
<b>道都大学紀要 社会福祉学部</b>				<b>道都大学社会福祉学部</b>			
2004	12		30		小川昭一郎	史料翻刻10 御渡武器、武術稽古、御備馬、諸品直段関連記事	1~52(縦組)
<b>道都大学紀要 美術学部</b>				<b>道都大学(札幌キャンパス)美術学部紀要編集委員会</b>			
2002	3			28	飯部紀昭	アイヌ民族の誇りが尊重される社会は近づいたか -「差別発言」と新法以降の権利回復を中心に	35~44
<b>道博協ニュース</b>				<b>北海道博物館協会</b>			
2000	3			68	松田輝哉	よみがえる慶長期の上ノ国 -アイヌと和人の中・近世世界を彷彿させる遺物続々と-	6
2000	10			70	森岡健治	平成12年度 沙流川歴史館特別展「掘り出されたアイヌの遺物」	4
2001	6			72	河野哲也	「よみがえる北の中・近世 -掘り出されたアイヌ文化-」展開幕	3
2001	12			73	深澤百合子	札幌国際大学博物館「アイヌ文化資料展示室」	7
2003	3			77	吉原秀喜	二風谷アイヌ文化博物館展示リニューアル工事を実施	4
2003	6			78	吉原秀喜	[日胆地区News]イオル構想を事例に社会的貢献のあり方探る : 日胆地区連絡協議会の総会・研究協議	4
2004	10			82	木田瑞恵	アイヌ民族博物館活動の近況	4
<b>東北アジア研究</b>				<b>東北大学東北アジア研究センター</b>			
2007	3			11	高倉浩樹	東北アジア海域におけるアイヌと先住民交易 : 北海道、アムール・樺太、チュコトカの地域史比較にかかわる研究動向展望	115~136
<b>東北学/季刊東北学</b>				<b>東北芸術工科大学東北文化研究センター (発行) 作品社(発売)</b>			
2000	4			2	三浦佑之	一人称語りの系譜 : アイヌのトゥスクルを通して	38~52
特集:巫女のいる風景							
					高橋克彦(聞き手:赤坂憲雄)	蝦夷の精神史 : 史料としての伝説へ	223~234
2001	4			4	赤坂憲雄	蝦夷と隼人 -南北論の地平を開くために	60~69
					工藤雅樹、赤坂憲雄(聞き手)	蝦夷の古代史 -えそイヌ説/蝦夷日本人説を越えて	70~87
					工藤清泰	中世東北の蝦夷考古学	88~99
					中路正恒	「えみし」小考 -その高橋富雄氏の説の検討	100~111
					赤坂憲雄	菅江真澄考③ 狩りをする人々(下)	172~185
					菊池勇夫	境界・辺境から「日本」を問う	400~403
2001	10			5	中沢新一、赤坂憲雄(聞き手)	日本文化に開ける風穴 -歴史と人間の持続性の問題	2~25
					入間田宣夫	北の内海世界としての津軽海峡	45~55
					赤羽正春	北方の丸木舟の民俗 -東シベリア・アムール川、サハリン・北海道を辿る丸木舟の流れ	68~79
					村井章介、赤坂憲雄(聞き手)	中世の海洋世界 -<地域>という方法、<世界史>の視野	112~127
2002	4			6	波照間永吉	<覚書>アイヌ文学と琉球文学 : 金田一京助と伊波普猷に関わりつつ	242~253

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
と						
2002	10	7		安水稔和	いそ山かげのさくら花	36～41
				大塚和義、赤坂憲雄(聞き手)	アイヌ文化の原像 - 交易の民としてのアイヌ	55～73
				榎森進	「ユーカラ」に探るアイヌ民族の歴史	74～89
				菊池勇夫	石焼鯨について - アイヌの鯨利用と交易	90～101
				中川裕	アイヌ文学の精神像 - 散文説話を事例に	162～111
				三浦佑之	ミンツチの起源譚	112～123
				村崎恭子	樺太アイヌ民俗誌	124～135
				荻原眞子	沙流アイヌの葬制と他界観 - 若干の問題について	136～149
				佐藤孝雄	熊送りの成立過程 - 考古学的研究の現状と課題	150～169
				増田隆一	遺伝子から探るヒグマの渡来史と古代文明の関係	170～182
				丸山隆司	<アイヌ>学の語り手たち - アイヌと金田一京助	183～195
				田口洋美	北方の狩猟誌 - その環境と技術をめぐって	196～227
				赤羽正春	北アジアの中の東北、その民俗世界 - 日本文化の基層にある北方文化	228～238
				工藤雅樹、入間日宣夫、赤坂憲雄(司会)	いくつもの東北へ - 文化の境界が示す東北像	239～267
				斉藤利男	北の中世・書き換えられる十三湊と安藤氏	268～283
				大石直正	中世東北の境界	284～292
				川西英道	近代と東北	293～302
				赤坂憲雄	連載・菅江真澄考④ 小正月の風景(上)	303～329
				菊地和博	<書評>地域社会とアカデミズムの連動 西秋良宏・宇田川洋編『北の異界 - 古代オホーツクと氷民文化』	
2005	2	2		山田悟郎	北の雑穀農耕	106～121
2005	5	3		中路正恒	考古学者よ、熊狩にゆけ	213～215
2005	11	5		宇仁義和	繰り返されたアザラシの利用 知床の里海文化	134～147
2006	8	9		佐藤宏之	(書評)伝統的パラダイムを超えたアイヌ文化の提示/瀬川拓郎『アイヌ・エコシステムの考古学』	266～269
2007	2	10		村上一馬	弘前藩の漁師と熊狩り：「弘前藩庁御国日記」から	142～185
				橋本克彦	(創作)鉄よ！ 14 鉄よ！—蝦夷の天地2 日本近代製鉄の父・大島高任	241～250
2007	5	11		山田悟郎	北方の農耕：ヒエとヒエ属について	87～95
2007	8	12		星野紘	日本の獅子舞にみる神観念：ユーラシア大陸の視点で	29～47
<b>東北芸術工科大学東北文化研究センター研究紀要</b>				<b>東北芸術工科大学東北文化研究センター</b>		
2002	3	1		細川純子	菅江真澄のアイヌ観	211～214
2003	3	2		門屋光昭	オシラサマの研究：北からの視座、南からの視座	21～37
特集：オシラサマ信仰の研究						
				今石みぎわ	喜田貞吉のみたオシラサマ：柳田国男との論争でなにがみえてくるか	189～201
2004	3	3		毛利夏子	新聞メディアのイオマンテ像：イオマンテの興行をめぐって	275～299
2009	3	8		今石みぎわ	アイヌの口承文芸に語られるイナウ：本州以南の削りかけとの比較の視点から	1～36
<b>道北センターニュース</b>				<b>日本キリスト教団北海教区 道北クリスチャンセンター</b>		
2007	12	57		桑原桂子	ウポポ アン ロー アイヌ文化体験の会	5
<b>道友</b>				<b>北海道道友会</b>		
2000	9	465		アイヌ文化振興・研究推進機構	アイヌ民族の誇りが尊重される社会の実現を目指して	2～4

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

と

		<b>東洋音楽学会会報</b>		<b>東洋音楽学会</b>	
2006	1		66		第56回大会レポート 1~10
2005年10月1、2日に札幌市の大谷短期大学にて開催された大会の記録など。公開講演会(「口琴の音を解剖する」)、公開演奏会(「北の楽器 トンコリ・ムックリ・ホムス」)、研究発表のうち『アイヌ伝統音楽』のその後 旭川の座り歌・踊り歌に関する調査報告(甲地利恵)、「北の先住民は甲板で何を観(聴)、何を観(聴)せたか」(谷本一之)のそれぞれに関する概要報告あり。					
		<b>東洋音楽研究</b>		<b>東洋音楽学会(発行)、アカデミア・ミュージック(発売)</b>	
2003	8		第68号 樋口昭		谷本一之『アイヌ絵を聴くー変容の民族音楽誌』 52~55
		<b>道歴研会報</b>		<b>北海道歴史研究者協議会</b>	
2003	9		83 松本あづさ		[2002年度卒業論文発表会]近世後期の蝦夷地調査について : 近藤重蔵とアイヌ 6~8
		<b>道歴研年報</b>		<b>北海道歴史研究者協議会</b>	
2006	3		6 松本あづさ		復領期松前藩と蝦夷地 : 「蝦夷地勤番」の活動を中心に 13~14
例会報告要旨					
2007	3		7 滝沢正		明治八年開拓使日高漁場改革とアイヌ 35~36
2009	9		10 松本あづさ		薪水給与令期間の蝦夷地における異国船問題 1~13
		<b>「同和」推進フォーラム</b>		<b>真宗大谷派同和推進本部</b>	
2004	6		39		アイヌ民族共有財産訴訟 最高裁での闘いに注目 15~16
		<b>トークバザール</b>		<b>帯広信用金庫経営企画部</b>	
2004	99		66		ムックリ奏者安東ウメ子の世界 ムックリ奏者安東ウメ子さん+北海道ウタリ協会幕別支部顧問小助川勝義さん 3~5 偶然が気付かせてくれた、自分の生まれを大切に思う心 上野さださん 6~7 帯広カムイトウポボ保存会 十勝アイヌに伝わる伝統芸能を未来へ 7
		<b>図書</b>		<b>岩波書店</b>	
2003	7		651 村井紀		パチェラー八重子の短歌に驚く 6~9
		<b>図書館情報メディア研究</b>		<b>「図書館情報メディア研究」編集委員会</b>	
2004	9	2	1 新藤透		コシヤマインの戦いに関する『新羅之記録』の史料の検討 1~10(縦組)
		<b>図書館だより</b>		<b>北海学園大学附属図書館</b>	
2000	1	21	4 152 切替英雄		アイヌ語という言葉 2~3
		<b>とっかり</b>		<b>紋別市立博物館友の会</b>	
2006	6		26・27号 武廣亮平 合併号		「独狂」とトッカリ 9~14
				山根正一(語り)、戸部千春(聞き手) 羅白町岬町・山根正一氏が語る『鞘間切・さやまきり』 15~22	
		<b>とどまつ</b>		<b>(社)北海道開拓記念館・開拓の村文化振興会</b>	
2000	3		17 40 大林太良		北東アジアの人と文化 -北海道の北と南- 4~21
2000	11		18 41 井口光雄		それは、白夜の酒盛りに始まった~北欧サーメとアイヌ人たちの交流を振り返る~ 3
2001	3		19 42 成田修一		栗の木の下を通過して -高倉新一郎先生からの道しるべ 12~15
				福岡イト子 メイプルシロップをめぐって -カナダの先住民文化から 16~19	
2002	3		21 44 堺比呂志		木村謙次と国後・択捉島(1) 18~25
2004	3		25 48 堺比呂志		木村謙次の国後・択捉島(4) 12~17
				関秀志 北海道民具史研究と『松前方言考』(下) 18~22	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>と</b>						
2004	10	26	49	乳井洋一	F.マライーニさんを偲ぶ	3
2005	3	27	50	堺比呂志	木村謙次と国後・択捉島(5)	14～21
				新川寛	勝山館跡を訪ねて : 中世の日本海交流をみる	22～27
2005	11	28	51		回想 ロシア民族博物館アイヌ資料展	1
北海道開拓記念館第60回特別展を紹介。						
				中村齋	白夜の下にアイヌ民族の未来を見つけた	3
巻頭エッセイ						
2007	3	31	54		北海道開拓記念館第145回テーマ展 北の手仕事	2
2009	3	33	56	工藤雅樹	北方交易と平泉藤原氏	4～9
<b>利根川</b>				<b>利根川同人</b>		
2006	5		28	岡本孝之	マンローと横浜一般病院の銘板	1～6
				川島正一	芹沢長介先生へ	79～84
				坂本彰	軽井沢満郎(マンロー)譜	88～90、後表紙
2007	5		29	出村文理	マンロー著Prehistoric Japanに関する覚書	77～83
<b>飛ぶ教室</b>				<b>光村図書出版</b>		
2005	10		3	神沢利子	(創作)ワカルバ物語	116～131
1941作。未発表。						
<b>苫小牧駒澤大学紀要</b>				<b>苫小牧駒澤大学</b>		
2001	9		6	杉山四郎	「勇弘会所」の復元をめぐって	1～17
2004	11		12	篠原昌彦	森竹竹市『原始林』『レラコラチ』における日本語と母語の問題	1～22
2004年7月31日静岡市民文化会館にて開催されたアイヌ文化フェスティバル(財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構主催)における講演を文章化したもの(著者付記による)。講演題目は「森竹竹市の文学世界 : 『若きアイヌの詩集 原始林』を中心に」						
				植木哲也	隠された知 : アイヌ教育と開拓政策	17～32(縦書き)
2005	11		14	植木哲也	児玉作左衛門のアイヌ頭骨発掘(1) 背景と概要	1～28
2006	3		15	植木哲也	児玉作左衛門のアイヌ頭骨発掘(2) : 研究の諸問題	119～152
2006	11		16	植木哲也	児玉作左衛門のアイヌ頭骨発掘(3) : 大後頭孔の「人為的」損傷	1～36
2007	3		17	植木哲也	児玉作左衛門のアイヌ頭骨発掘(4) : 発掘の論理と倫理	1～36
2007	10		18	金内花枝	アイヌ伝統料理の栄養学的考察 : 主食としてのオハウ(汁もの)について	73～99
				石純姫	前近代期の朝鮮人の移動に関する一考察 : 北海道における在日朝鮮人の形成過程とサハリンアイヌの関係をを中心に	145～166
<b>苫小牧市博物館だより</b>				<b>苫小牧市博物館</b>		
2003	3		52		展示室から アイヌのくらし～小刀(マキリ)～	6
<b>苫小牧市民文芸</b>				<b>第六十一回苫小牧市民文化祭実行委員会</b>		
2009	10		51	よしど あつひこ	<創作>幻の蝦夷共和国	50～67
<b>苫小牧埋蔵文化財調査センター所報</b>				<b>苫小牧市埋蔵文化財調査センター</b>		
2001	3		3	兵藤千秋	北海道の出土銭について	31～44
				宮夫靖夫	平成年代におけるアイヌ考古学 ～新聞報道された道内の事例を中心として～	45～58
<b>とようらの文化</b>				<b>豊浦町文芸振興会</b>		
2009	3	38	2	68号・福田茂夫 通巻 98号	[創作]失われた伝説 その一 八本足の怪物の物語	35～49
<b>屯田</b>				<b>北海道屯田倶楽部</b>		
2001	4		29	屯田兵編集委員会	屯田兵とアイヌの伝統文化 - 静岡市在住の山下勉氏の便りから -	26～31

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

な

		<b>内外教育</b>		<b>時事通信社</b>	
2005	10		5604		アイヌ伝統文化を実体験(11) 北海道平取町立二風谷小学校 8~9
		<b>中標津郷土館だより</b>		<b>中標津町教育委員会</b>	
2000	7		14		ルチシを尋ねて ~アイヌ語地名の調査~ 4
		<b>中標津文芸</b>		<b>中標津町文化スポーツ振興財団</b>	
2009	12		25 吉澤紘		チナナへ行ってくる -平成二十年はアイヌ民族にとって画期的な年だった 100~120
		<b>なかった 真実の歴史学</b>		<b>ミネルヴァ書房</b>	
2006	12		2 合田洋一		渡嶋と肅慎について 渡嶋は北海道ではない 58~60
2007	5		3 合田洋一		渡嶋と肅慎について 渡嶋は北海道ではない 92~114
2008	2		4 合田洋一		渡嶋と肅慎 - 渡嶋は北海道ではない 第二回 97~130
2008	6		5 合田洋一		渡嶋と肅慎 - 渡嶋は北海道ではない 最終回 88~111

に

		<b>新潟史学</b>		<b>新潟史学会</b>	
2007	10		58 轡田克史		蝦夷・俘囚・夷俘の表記とその変化 1~17
		<b>新墾</b>		<b>新墾社</b>	
2003	3	73	3 814 椎名義光 渡辺敏子		観音歌碑除幕式を想う 32 文学の受難と民族の自立 34
2005	2	75	2 837 佐藤和良		観音短歌の北方性 : 特にアイヌの歌について 28~29
		<b>二松学舎大学東洋学研究所集刊</b>		<b>二松学舎大学東洋学研究所</b>	
2004	3		34 成田修一		嘉永七年のアイヌ語 : 特に『蝦夷紀行』について 249~265
2005	3		35 成田修一		「斧の柄」のアイヌ語 107~124
2007	3		37 成田修一		『改正蝦夷全図』所収のアイヌ語について
2008	3		38 成田修一		『蝦夷語箋』の研究 155~172
		<b>二風谷アイヌ語教室 広報紙</b>		<b>平取町二風谷アイヌ語教室</b>	
2004	9		76 平村治男		私の祖父はベンリウク 1~2
			川奈野元子		訪問インタビュー 第74回 4~6
			萱野茂(談)、生田目江里子(絵、文)		アイヌの民具紹介No.4 里帰りした民具(ニマ(木の鉢)・茶托) 10
2005	3		77 萱野志朗		故川上勇治氏の足跡をたどる 1~2
			関根健司(談)		訪問インタビュー 第75回 4~6
			萱野茂、萱野れい子(談)、生田目江里子(絵、文)		アイヌの民具紹介 No.5 シト(団子)を作って食べよう 10
2005	5		78 川奈野一信(談)		運営委員長就任のご挨拶 1~2
			山岸俊紀(談)		訪問インタビュー 第76回 4~7
2005	7		79 平野みの(談)		姑・平賀さだもの思い出 1~2
			谷口薫(談)		訪問インタビュー 第77回 4~6
					講義風景(1) 7
2005	10		80 鍋澤保(談)		紫雲古津でのイヨマンテ 1~2
			草薙美寿子(談)		訪問インタビュー 第78回 4~6
					講義風景(2) 7
2005	11		81 川奈野惣七(談)		イオル再生事業の行方 1~2
			南みどり(談)		訪問インタビュー 第79回 4~6
					講義風景(3) 7
		鍋澤保氏による「ウパシクマ」			
2006	2		82 平村正		平取版「フットパス」創設を! 1~2
			大塚拓(談)		訪問インタビュー 第80回 4~6
					講義風景(4) 7

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>に</b>						
2006	9	83		萱野志朗	故 萱野茂講師の足跡をたどる	1～2
					写真で萱野茂氏をふりかえる	3
				萱野れい子	ベレー帽にわらじ履き(1)	4
『北海道功労賞 受賞に輝く人々(平成12年)』(2001年3月、北海道発行)からの転載。						
				大脇徳芳	萱野茂さんの死を悼む	5
				貝澤ユリ子(談)	訪問インタビュー 第81回	6～8
2006	12	84		平村谷一	木彫り職人として	1～2
				萱野れい子	ベレー帽にわらじ履き(2)	3
『北海道功労賞 受賞に輝く人々(平成12年)』(2001年3月、北海道発行)からの転載。						
				川上将史(談)	訪問インタビュー 第82回	4～6
<b>日本音響学会誌</b>			<b>日本音響学会</b>			
2004	7	60	7	伊福部達、清水康行	日本語・アイヌ語を録音した100年前の蠟管の修復・保存及び音声再生	392～398
2007	9	63	9	下村五三夫	アイヌ発声口琴習俗の研究	568
博士論文紹介						
<b>日本研究</b>			<b>国際日本文化研究センター</b>			
2000	10		22	高橋周	エトロフ問題の歴史的起源——九世紀初頭の漁業経営	151～165
2009	3		39	アレキサンダー・ヴォヴィン	琉球語・上代日本語と周辺の諸言語 —再構と接点の諸問題	11～27
2009	11		40	森田登代子	歌舞伎衣裳にみられる歴史的・社会的事象の受容 —「馬簾つき四天」「小忌衣」「蝦夷錦」「厚司」を事例として	129～158
<b>日本建築学会計画系論文集</b>			<b>日本建築学会</b>			
2006	10		608	小林孝二、大垣直明	近代以前の絵画資料に描かれたアイヌ民族の建築に関する研究	127～134
2007	5		615	小林孝二、大垣直明	アイヌ文化期の発掘住居跡に関する基礎的研究 : 発掘資料から見たアイヌ民族住居の寸法体系に関する考察	191～198
2007	9		619	小林孝二、大垣直明	近代以前の絵画資料と発掘資料から見たアイヌ民族の住居に付属する建物に関する基礎的研究 : 熊檻と倉を中心とする住居に付属する建物の特徴	157～164
<b>(日本甲殻類学会)会員連絡誌</b>			<b>日本甲殻類学会</b>			
2007	5		16	川井唯史、白濱和彦	江戸時代の図譜とアイヌ神祀具で見られるニホンザリガニ	51～62
<b>日本考古学</b>			<b>日本考古学協会(発売:吉川弘文館)</b>			
2003	10		16	大西秀之	境界の村の居住者 : “トピニタイ文化”集落における居住者の出自と世帯構成	157～177
2004	11		18	井出靖夫	古代東北地方北部におけるエミシ社会と交易システム	111～130
				高瀬克範	「非文明」の作法 : 日本列島東北部の先史時代研究から	149～158
「2. 研究の動向」に「(2) 北海道島」(153～154ページ)あり。						
2007	5		23	八木光則	[書評]松本建速『蝦夷の考古学』	114～119
2009	10		28	関根達人、佐藤雄生	出土近世陶磁器からみた蝦夷地の内国化	69～87
<b>日本考古学協会2001年度大会研究発表要旨</b>			<b>日本考古学協会</b>			
2001	1			工藤雅樹	古代蝦夷とその社会	3～7
<b>日本考古学年報</b>			<b>日本考古学協会(発売:吉川弘文館)</b>			
2000	7		51	工藤研治	北海道	83～88
1998年度版						
2001	5		52	秋山洋司	北海道	81～87
1999年度版						

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>に</b>						
2002	5		53	西脇対名夫	北海道	111~116
2000年度版						
2003	5		54	田才雅彦、宗像公司	北海道	97~102
2001年度版						
2004	5		55	高橋和樹、田中哲郎	北海道	119~124
2002年度版						
2005	5		56	千葉英一	北海道	131~138
2003年度版						
2006	5		57	高倉純	北海道	143~149
2004年度版						
2007	5		58	出穂雅実	北海道	137~142
2005年度版						
2008	5		59	守屋豊人	北海道	119~124
2006年度版						
2009	5		60	青野友哉	北海道	143~148
2007年度版						
<b>日本語学</b>				<b>明治書院</b>		
2002	1	21	1	245 志賀雪湖	アイヌの冬の生活と言葉	50~59
特集「冬のことば」						
2002	11	21	14	258 小野米一	北海道にはもともとアイヌ人が住んでいたそうですが、方言はどうやってできたのですか？	185
臨時増刊号「日本語あれこれ事典」						
				村崎恭子	アイヌ語は日本語の親戚なの？	186~187
2005	8	24	9	296 鏡味明克	地名研究からみた「海」	32~40
「北海道におけるアイヌ語の魚の地名」(38~39ページ)あり。						
2006	7	25	8	309 井上史雄	[ことばの散歩道]98 アイヌ資料館	21
2007	3	26	3	318 佐藤知己	アイヌ語のアスペクトと日本語のアスペクトの対照	44~52
特集:アスペクト研究の新展開						
2007	4	26	5	320 中川裕	金田一京助『アイヌ叙事詩ユーカラの研究』	101~102
臨時増刊号「日本語学の読書案内 名著を読む」						
<b>日本史研究</b>				<b>日本史研究会</b>		
2004	1		497	谷本晃久	書評 児島恭子著『アイヌ民族史の研究 蝦夷・アイヌ観の歴史の変遷』	72~75
2004	12		508	淵原智幸	九世紀陸奥国の蝦夷・俘囚支配 -北部四郡の廃絶までを中心に-	1~29
2005	3		511	樋口知志	蝦夷と太平洋海上交通	1~21
2007	4		536	菊池勇夫	寛政アイヌ蜂起と「異国境」	41~58
2008	3		547	淵原智幸	古代末期の東北支配と軍事力編成 -国衙軍制成立史の一断面	1~32
2008	4		548	鈴木拓也	淵原智幸氏報告「古代末期の東北支配と軍事力編成 -国衙軍制成立史の一断面」に寄せて	41~44
<b>日本児童文学</b>				<b>日本児童文学者協会(発行) 小峰書店(発売)</b>		
2000	6	46	3	527	シリーズ・作家が語る『宿題ひきうけ株式会社』の古田足日さん(談)(2)	74~80
2005	10	51	5	559 相川公司	アイヌ民族の子どもの現在を描いて	108
2009	4	55	2	580 三木聖子	斉藤了一『荒野の魂』(理論社 1959年)荒野から生まれたアイヌ・ラムー	44
<b>(日本大学文理学部人文科学研究)研究紀要</b>				<b>日本大学文理学部人文科学研究</b>		
2007			73	葭田光三	明治前アイヌ人口史 (1)東蝦夷地	101~128
2008			74	葭田光三	明治前アイヌ人口史 (2)西蝦夷地	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
に						
日本地名研究所通信			日本地名研究所			
2006	2		61	山本修平	アイヌ語地名講座の開催 : 2004年の経験から	3
週刊日本の街道			講談社			
2002	3	3	8	91 榎森進	“海の幸”を巡る戦いが叙事詩「ユーカラ」を生んだ	26～28
					アットゥシ織	29
日本の教育史学 教育史学会紀要			教育史学会			
2007	10		50	小川正人	「遊楽部学校」の歴史 : 1880～90年代のアイヌ学校に関する実態分析のこころみ	19～31
日本の中の異文化			日本異文化研究会			
2007	3		3	太田順三	『アイヌの結婚式』『チセ・ア・カラ』	1～4
				中野栄夫	宇梶静江『アイヌの治蔵物語 思いはこずえからこずえにつなげて』	34～39
2007	11		4	乾浩	アイヌ民俗文化研究家 萱野茂先生のこと	9～11
週刊日本の100人 田沼意次			デアゴスティーニ・ジャパン			
2007	5		64		松前藩の支配とアイヌの運命 : 意次が希望を見出した蝦夷地の歴史	19
日本パーソナリティ心理学会大会発表論文集			日本パーソナリティ心理学会			
2007	8		16	大村政男、浮谷秀一	北海道人はどんな性格かII 渡辺徹『旧新人国記』刊行60周年を記念して (2) アイヌ民族と台湾先住民の比較	36～37
日本文学			日本文学協会			
2002	11	51	11	櫻井進	[書評]丸山隆司著『〈アイヌ学〉の誕生 -金田一と知里と-』	80～81
日本文化研究			北海学園大学大学院文学研究科			
2004	3		4	滝澄子	アイヌの疾病と医療 : 自然と人間の共生をめぐり	1～21
日本歴史			吉川弘文館			
2004	11		678	武廣亮平	「独犴皮」についての一考察 : 古代北方世界との交流と関連して	1～18
2004	12		679	佐々木利和	(口絵解説)土人印鑑(『函館奉行書文書』より)	(ページ番号なし)
2005	1		680	浪川健治	[私の選ぶ図録・展示][アンケート回答。回答中に青森県立郷土館『蝦夷錦と北方交易』あり]	81～84
回答者70人のうちの一人。						
2005	4		683	浪川健治	[史料散歩]絵図のなかの「狢屋敷」	92～93
2006	8		699	高橋周	中井竹山・中井履軒による蝦夷地対策 : 経済的側面からの再検討	38～55
2007	2		705	市毛幹幸	蝦夷地の「無事」と「御味方」アイヌ認識 十八世紀における地域的展開	35～51
2008	5		720	工藤雅樹	(書評と紹介)天野哲也 小野裕子編『古代蝦夷からアイヌへ』	108～110
2009	4		731	児島恭子	(書評と紹介)榎森進著『アイヌ民族の歴史』	123～125
2009	9		736	簗島栄紀	はがき通信	144
2009	11		738	谷本晃久	(書評と紹介)榎森進・小口雅史・澤登寛聡編『北東アジアのなかのアイヌ世界 アイヌ文化の成立と変容 交易と交流を中心として【下】』	119～121
日本歴史地名大系 歴史地名通信			平凡社			
2005	1		50	児島恭子	アイヌ語地名の政治学	11～16
Newsletter 噴火湾文化			伊達市噴火湾文化研究所			
2006	3		1	黒田格男	伊達の画家・小野潭の絵画資料について	8～13
2006	11		2	百々幸雄、片山一道	[インタビュー]日本の人類学研究と噴火湾	4～5
				黒田格男	[資料紹介]伊達の画家・小野潭の『アイヌ絵』について	10～14

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ	

雑誌目次・文献目次

に

Newton(ニュートン)				ニュートンプレス			
2006	3	26	3		アイヌ文化は、海洋狩猟民族の文化を受けついで	68	69

世界遺産知床関係記事

藤崎達也

アイヌ民族の伝統を伝えたい アイヌ民族の聖地「チャシ」で自然との共存の術を学ぶ 73

人間科学研究				早稲田大学人間科学学術院			
2005	3	18		飯田桂	アイヌ民族の散文説話にみる他界間交流	19	

修士論文要旨

人間像				人間像同人会			
2001	8		163	堺比呂志	松田伝十郎とアイヌ人(1)	148	170
2001	11		164	堺比呂志	松田伝十郎とアイヌ人(2)	66	88
2002	2		165	堺比呂志	松田伝十郎とアイヌ人(3)	107	141
2002	5		166	堺比呂志	松田伝十郎とアイヌ人(4)	38	50
2002	8		167	堺比呂志	松田伝十郎とアイヌ人(5)	60	82
2002	11		168	堺比呂志	松田伝十郎とアイヌ人(6)	34	70
2004	4		171	堺比呂志	松田伝十郎とアイヌ(9)(完)	132	148
2004	11		172	大内余庵(著)、堺比呂志(訳)	東蝦夷夜話(1)	139	168
2005	6		173	大内余庵(著)、堺比呂志(訳)	東蝦夷夜話(2)	88	104
2005	12		174	大内余庵(著)、堺比呂志(訳)	東蝦夷夜話(3)	104	123

人間文化				愛知学院大学人間文化研究所			
2004	9		19	鏡味明克	北海道におけるアイヌ語地名の現代日本語接触変化	294	284
2005	9		20	鏡味明克	北海道におけるアイヌ語地名の好字への書き替え・読み替え	342	335
2006	9		21	鏡味明克	アイヌ語地名の痕跡化	19	28 (318~309)
2007	9		22	鏡味明克	東北地方のアイヌ語地名の痕跡	141	149 (276~268)

認知科学研究 第5号				室蘭認知科学研究会			
2007	3		5	松名隆	イオル考	11	29

萱野茂追悼特集

佐藤知己

アイヌ語千歳方言の再帰接頭辞 yay-と si- について 31~39

ぬ

ヌードル・ドット・コム				インスタントラーメン発明記念館			
2001	12	8	51	ゲスト・萱野茂、萱野れい子 ホスト・熊倉功夫、石毛直道	アイヌの食はカムイ(神々)の贈り物	16	21
					萱野茂氏講演会アンケート	25	
2001	12		51	萱野茂、萱野れい子(ゲスト)、 熊倉功夫、石毛直道(ホスト)	おいしい話をこの人と 食の座談会 食はカムイ(神々)の贈り物	16	21

ヌブンケシ				北見市総務部市史編さん主幹			
2006	6		121		常呂川の流れから(3)	1	2
					「松浦武四郎の最後の探検」ほか		
2006	6		122		常呂川の流れから(4)	1	2
					「クトイチャンナイで一泊」ほか		
2006	7		123		常呂川の流れから(5)	1	2
					「老人しかしないアイヌコタン」		
2006	7		124		常呂川の流れから(6)	1	2
					「ヌツケシの様子」ほか		
2006	8		125		常呂川の流れから(7)	1	2
					「ムイコツ子」ほか		
2006	8		126		常呂川の流れから(8)	1	2
					「ムニンリウカ」ほか		

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	
雑誌目次・文献目次							
<b>ぬ</b>							
2006	9		127		常呂川の流れから(9)	1～2	
「ヘテウコヒ」ほか							
2006	9		128		常呂川の流れから(10)	1～2	
「アイヌから聞いた留辺蘂地区の地名」ほか							
2006	10		129		常呂川の流れから(11)	1～2	
「常呂川の支流」ほか							
<b>ね</b>							
<b>広報ねむろ</b>			<b>根室市役所情報管理課</b>				
2004	8	772		川上淳	北千島アイヌの「タバコ入れ」	16	
<b>根室市博物館開設準備室紀要</b>			<b>根室市博物館開設準備室</b>				
2001	3		15	板橋政樹	戦後におけるサハリン・クリル諸島研究について	1～18	
大沼忠春、川上淳、佐々木寿雄、長尾又六氏の業績(1)							
本田克代							
川上淳							
2004	3		18	大沼忠春、川上淳、佐々木寿雄、本田克代	千島通史(1) 考古学から見た先史時代	71～93	
長尾又六氏の業績(3)							
北方地域研究会							
南千島等地名調査報告							
城田貴子、本田克代、川上淳							
根室・千島地方の主な歴史文献解題							
川上淳							
千島通史(4) 18世紀前半の千島							
<b>根室市博物館開設準備室だより</b>			<b>根室市博物館開設準備室</b>				
2000	5		15	川上淳	拙稿「文化年間のラシヨフ島アイヌ交易と鉄鍋・ラッコ皮」(『根室市博物館開設準備室紀要』第11号、1997)の誤りについて	34～35	
2001	6		16	川上淳	鳥居龍蔵収集の千島アイヌ資料	20～24	
2004	5		19	川上淳	栖原家史料調査	36～45	
和歌山県立図書館所蔵の関係史料のリストを掲載。							
<b>根室市歴史と自然の資料館紀要</b>			<b>根室市歴史と自然の資料館</b>				
2005	3		19	川上淳	千島通史(5) 18世紀後半の千島(1)	1～18	
大沼忠春、川上淳、佐々木寿雄、長尾又六氏の業績(4)							
本田克代、							
2006	3		20	川上淳	千島通史(6) 18世紀後半の千島(2)	1～12	
本田克代							
猪熊樹人							
国後島東沸のチャシ : 聞きとりによる							
色丹島で採集された考古資料 : 小山勇氏採集資料から							
2007	3		21	川上淳	千島通史(7) 19世紀初めの千島	13～26	
吉田千萬							
赤壁二郎の足跡							
<b>の</b>							
<b>農家の友</b>			<b>北海道農業改良普及協会</b>				
2008	1	60	1	701	アイヌ民族のたべもの アイヌ民族博物館(白老町)学芸課長 村木美幸さんの食育講座	59	
2008	11	60	11	711	萱野れい子	四季折々のアイヌ料理を楽しむ	57
2008	12	60	12	712	村木美幸	明日のために21 アイヌ民族の食文化のイメージ	61
<b>ノースアングラーズ</b>			<b>つり人社</b>				
2004	3	7	3	29	平佐修	北海道面白川名散歩 第29歩 人 その1	99
2004	5	7	5	30	平佐修	北海道面白川名散歩 第30歩 人 その2	99
佐々木聡							
二風谷ダムに見るダムの盲点							
2004	7	7	7	31	平佐修	北海道面白川名散歩 第31歩 まぎらわしい その2	99
2004	11	7	11	33	平佐修	北海道面白川名散歩 第33歩 落し	99
2005	1	8	1	34	平佐修	北海道面白川名散歩 第34歩 滑る	99

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>の</b>							
2005	3	8	3	35	平佐修	北海道面白川名散歩 第35歩 信仰1	99
2005	5	8	5	36	平佐修	北海道面白川名散歩 第36歩 信仰2	99
2005	9	8	9	38	平佐修	北海道面白川名散歩 第38歩 信仰3	99
<b>NODE</b>				<b>北海道情報宣伝研究会</b>			
2001	11		23	24	山上千尋	「イフンケ」安東ウメ子	90~91
<b>広報のぼりべつ</b>							
2000	10			600		【ふるさとの文化遺産】愛隣学校跡	13
2000	12			602		【東奔西走】知里幸恵は郷土の財産 : 第10回 のぼりべつ市民大学	6
2001	3			605	佐々木匠	学び、伝えよう 登別のアイヌ文化 アイヌ文化を伝承する市民活動	16~17
						【ふるさとの文化遺産】知里幸恵の墓	19
2003	1			627	横山むつみ	知里幸恵生誕100年に向けて	4
					小坂博宣	アイヌ文化や歴史にみなさんの関心と理解を	6
2003	6			632		ヌブルペツへ 登別へ 横山むつみさん	6
						知れる限りを、生の限りを 特集 知里幸恵生誕100年	1~6
<b>ノヤ</b>				<b>日本キリスト教団北海教区 アイヌ民族情報センター</b>			
2000	7			13	久世そらち	『チキサニの大地』をめぐる	
					宮島利光、佐藤幹雄、三浦忠雄(聞き手)	インタビュー 北川しま子さんに聴く 「アイヌ民族復権を訴え続ける」	2~3
					宮島利光	『北海道ウタリ生活実態調査報告書』(北海道環境生活部、2000年3月)を読む	4
					深代従	[本とビデオ]絵本「かみさまのおてつだい」 - ぼく、びょうきで いいんだね - 佐原良子作 同朋舎出版	5
					斎藤成二	[本とビデオ]ビデオ「新・共生への道 ~日本の先住民族アイヌ 企画・発行/北海道ウタリ協会」	5
						北海教区 総会特別決議 アイヌ民族の権利を回復する運動の推進決議に関する件	6~7
						アイヌ民族Q&A サケはアイヌの主食って、ほんとうですか?	7
						活動日誌 2000年4月~2000年6月	8
2001	7			16	赤川祥夫	共に手を携えて歩む ~沖縄・アイヌ・震災~	1
					聞き手:斎藤成二、田口美香、宮島利光	インタビュー アイヌがアイヌ語で生きる社会をめざして 新しいアイヌ語を創り出す太田マルクさん	2~3
						日本基督教団 北海教区第61回 教区推進決議 アイヌ民族の推進決議に関する件	4~5
						アイヌ民族Q&A アイヌ語の地名って、今もありますか	5
					川上盾	兵庫教区「協会とこどもセミナー」	6
					横田法子	(2冊の本)「アイヌ肖像権裁判・全記録」現代企画室編集部編 現代企画室	7
					田口美香	(2冊の本)「アイヌの知恵 ウパシクマ2」語:中本ムツ子 編・解説:片山龍峰 絵:西山史真子 新日本教育図書	7
					田口美香	活動日誌 2001年4月~2001年6月	8
2003	7			22	日向恭司	『アイヌ史資料集』による人権侵害裁判を傍聴して	1
					三浦亮平、斎藤成二、宮島利光(聞き手)	「アイヌの文化にふれたら劣等感がなくなった」インタビュー「アイヌ神謡集」をうたう伝承者 中本ムツ子さん	2~3
					宮島利光	「アイヌ民族人格権侵害裁判」というチャランケ	4~5
						アイヌ民族Q&A	5

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名	発行者			
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
の						
				佃真人	兵庫北海道交流『「人」と出会い、「風」に吹かれ、「心」を動かす旅』を終えて	6
				田口美香	[2冊の本]知里幸恵遺稿「銀のしずく」知里幸恵著 草風館	7
				東のぞみ	[2冊の本]「アト°イ 俺は魂をデザインする」アト°イ著 北海道新聞社	7
2004	4				活動日誌 2003年3月～6月	8
		24		三浦亮平	大きな山・ポロシリ	1
				東のぞみ、三浦忠雄(聞き手)	「アイヌ女性として」札幌市アイヌ生活相談員 多原良子さん	2～3
				濱田裕三	浦河ノンノ学校のこと	4～5
					アイヌ民族Q&A 台湾基督長老教会と日本基督教団との宗教協約	5
				宮島利光	[2冊の本]知里幸恵「アイヌ神謡集」への道 北海道文学館編 東京書籍	6
				成田由紀	[2冊の本]「若きウタリに」パチェラ・八重子著 岩波現代文庫	6
2004	9				活動日誌 2003年11月～2004年3月	7
		25		ロバート・ウィットマー	神の新しい世界を望みつ	1
				東のぞみ、三浦忠雄、宮島利光(聞き手)	インタビュー「アイヌ民族の文化は、イヨマンテなくしてはあり得ない」アシリチェップ・ノミの主催者 豊川重雄エカシ	2～3
				横田法子	フィールドワーク「アイヌ民族の歴史・文化・今を知る -シケレベの農場に行こう-	4～5
				東のぞみ	ウバさんとカダウさんがやって来た!	5
				三浦亮平	[2枚のCD]「ウボボサンケ」安東ウメ子 Chikap Studio	6
				斎藤成二	[2枚のCD]「アイヌ神謡集」をうたう 中本ムツ子 草風館	6
				三浦忠雄	シリーズ旭川にアイヌ民族を訪ねて① 常盤公園「風雪の群像」	7
					活動日誌 2004年4月～8月	8
2004	12			26 斎藤成二	アイヌとキリスト教	1
				田口美香(まとめ)	講演 アイヌ民族の先住権の確立を! ウタリ協会札幌支部長 阿部ユボさん	2～3
				東のぞみ	台湾原住民族について「先住民族と原住民族」	4
					シリーズ旭川にアイヌ民族を訪ねて②知里幸恵さん文学碑	5
				田中美香	[2冊の本]グローバル時代の先住民族 上村英明監修 藤岡美恵子・中野憲志編法律文化社	6
				三浦忠雄	[2冊の本]焦らず挫けず迷わずに エポカシエカッチの苦難の青春 荒井和子著 北海道新聞社	6
2005	4			27 藤原仰	わたしは〇〇民族です	1
				東のぞみ、三浦忠雄(聞き手)	インタビュー 民族としての権利回復裁判の支援を! 弁護士 秀島ひかりさん	2～3
				東のぞみ	カラダに行ってきました	4
				三浦忠雄	シリーズ旭川にアイヌ民族を訪ねて③川村カ子トアイヌ記念館	5
				成田由起	[二冊の本]「森と大地の言い伝え」チカカップ美恵子編著 北海道新聞社	6
				鈴木恵	[二冊の本]別冊太陽「先住民族アイヌ民族」別冊太陽編集部編著	6
					活動日誌 2004年12月～2005年2月	7
2005	8			28 成田信義	エベツケ・ベツ歩記	1
				三浦忠雄(聞き手)	チセ作り中に電撃インタビュー アイヌ文化の伝承・保存活動に取り組む思い 杉村フサさん	2～3
				ティヴァン・スクルマン、東のぞみ(訳)	台湾原住民族・ブヌンの文化について	4

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
の						
				三浦忠雄	シリーズ旭川にアイヌ民族を訪ねて④ チノミ	5
				三浦亮平	シリーズ旭川市博物館	
				三浦亮平	[2冊の本]「アイヌ民族もんよう きり絵のせかいへ」監修 小川早苗 エテケカンパの会	6
				斎藤成二	[2冊の本]「久摺(クスリ)」山本多助エカシ生誕百年記念特集号 釧路アイヌ文化懇話会	6
					第65回北海教区定期総会特別決議 アイヌ民族の権利を回復する運動の推進決議	7
					活動日誌 2005年4月～6月	8
2005	12	29		西岡昌一郎	失われた関係を取り戻し作りだすために	1
				安部一徳(文責)	講演 アイヌとして生きて 川村力子トアイヌ記念館 川村久恵さん	2～3
				三浦忠雄	扶桑社「新しい教科書 公民」問題	4
				三浦忠雄	シリーズ旭川にアイヌ民族を訪ねて⑤ アイヌ墓地	5
				三浦忠雄	[2冊の本]アイヌ・暮らしの民具 文・萱野茂 写真・清水武男 クレオ社	6
				成田由紀	[2冊の本]新版アイヌ民族の碑を訪ねて ー権利回復への道程をたどるー杉山四郎著	6
				松尾みつ子	ディヴァン宣教師ついに着任!!	7
					活動日誌 2005年7月～11月	8
2006	4	30		中田美歌	わたし流、楽しむことから	1
					インタビュー 小さい頃、チセに住んだこともある 門別春男エカシ	2～3
				三浦忠雄	不当裁判に異議あり!!	4
				三浦忠雄	シリーズ旭川にアイヌ民族を訪ねて⑥カムイコタン(神居古潭)	5
				安部一徳	[2冊の本]イヨマンテの花矢 続・アイヌの碑 萱野茂著 朝日新聞社	6
				三浦忠雄	[2冊の本]日本の宣教の光と影 アイヌの伝道等をめぐって 宮島利光・岩崎孝志他著 いのちのことば社	6
					活動日誌 05年11月～06年4月	7
2006	12	31		三浦忠雄	アイヌ民族情報センターのこれから	1
				佐藤幹雄、中田美歌(聞き手)	10周年特別インタビュー 貝澤耕一さんに聞く 全ての命を認め合うことからの始まり	2～4
				小柳伸顕	アイヌ民族情報センター10周年に寄せて ー粒の種	5
				西岡昌一郎	アイヌ民族情報センター10周年に寄せて アイヌ民族情報センターの過去・現在・未来	6～7
					活動日誌 06年5月～11月	8
2007	6	32		西岡裕芳	ツキサップにて	1
				中田美歌、三浦忠雄(聞き手)	インタビュー 故松井梅太郎さんの直弟子 平塚賢智さんにお聞きしました	2～3
				R・ウィットマー	[2冊の本]翻訳/デボラ・デイビットソン、大脇徳芳 The Ainu and the Fox 作/萱野茂 絵/石倉欣二 RIC出版	4
				中田美歌	[2冊の本]ハルコロ(1)(2) 作:石坂啓、原作:本多勝一、監修:萱野茂 潮出版社	4
					アイヌ民族の権利を回復する運動の推進決議 2007年5月1日 第67回北海教区定期総会	5
					活動日記 06年12月～07年4月	6
2007	12	33		中田美歌	「ディヴァンさんといく台湾への旅」報告	1
				田口美香	教職講座・二風谷フィールドワーク報告	2
					活動日誌 07年5月～10月	3
				三浦忠雄	活動日誌ブログ(11月3日、一部編集)	4
2008	8	34		ディヴァン・スグルマン	アイヌ民族との出会い	1

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名	発行者		
発行年	発行月	巻 号 通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

の

			中田美歌	「平安」…そして歌声とハーモニーでつながる ～台湾・玉山神学院の神学生を迎えて～	2～3
			三浦忠雄	「先住民族サミット アイヌモシリ2008」に参 加して	4
			ロバート・ウィットマー	新しい時代を願いつつ	5
				アイヌ民族の権利を回復する運動の推進決議 2008年4月30日 第68回北海教区定期総会に て可決	6
				活動日誌 07年11月～08年7日	7
2009	8	36	久世そらち	日本の150年	1
			中田美歌	知床に行ってきました! 知床研修報告	2
			イサウ・タダウ	知床に行ってきました! 知床旅行	2～3
			スコット・サイモン	知床に行ってきました! 連帯を大切にしま しょう	3～4
				私たちに求められている道	5
				アイヌ民族の権利を回復する運動の推進決議 第69回 北海教区教会(2009年4月29日～30 日開催)にて決議・承認	6
				活動日誌 08年11月～09年5月	7

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ		

は

<b>バウンダリ</b>			<b>コンパス社</b>					
2006	1	22	1	248	井戸理恵子、魚井一由、舟山秀太郎ほか	日本の材料を忘れた日本人のための講座 うみやまのあひだのマテリアル : アイヌの文化を材料から見る	9~25	
<b>博物館研究</b>			<b>日本博物館協会</b>					
2005	8	40	8		中村齋	[支部が推薦する博物館情報](1) 北海道支部 私立アイヌ民族博物館の必死	21~25	
2007	8	42	9		加茂千秋	旭川市博物館リニューアルの取り組み	15~19	
<b>はこだて 市史編さん室だより</b>			<b>函館市総務部市史編さん室</b>					
2004	9		3		細見一夫	昭和20年代の函館③	4~8	
記事中に「北洋博覧会」(1954年)の紹介あり。博覧会中に「アイヌ館」あり。								
<b>函館観光新聞</b>			<b>阿部総合印刷メディア事業部</b>					
2007	2			68		先住民族アイヌ その九 アイヌ犬の穴熊猟	3	
<b>箱館昔話</b>			<b>函館パルス企画</b>					
2000	4			12	宮澤嘉平	アイヌ風俗画に専念した絵師平沢屏山と周辺の人々	3~15	
					高橋重雄	中世初期の十三湊と志海苔について -南部守行陸奥国司任官以前-	80~91	
<b>波灯</b>			<b>留萌市文化会議</b>					
2002	5			15	藤本英夫・大塚一美	或る姉妹の葉書から -「近文の一夜」余聞	34~44	
<b>母の友</b>			<b>福音館書店</b>					
2005	2			621	宇梶静江(布絵制作)	古布絵による絵物語 シマフクロウとサケ	67~77	
2006	12			643	宇井真紀子、アシリレラ	カムイ(神)の民に戻りましょう : あるアイヌ女性の言葉	56~61	

ひ

<b>びあっと</b>			<b>コープさっぽろ</b>					
2009	11			130	大須賀るえ子	アイヌの食文化と子育て①	11~12	
2009	12			131	大須賀るえ子	アイヌの食文化と子育て②	11~12	
<b>ピオストーリー</b>			<b>生き物文化誌学会(発行)、昭和堂(発売)</b>					
2007	10			8	佐々木史郎	北方諸民族世界と日本 : 大林太良と北方文化研究	48~55	
<b>比較文化研究年報</b>			<b>盛岡大学比較文化研究センター</b>					
2006	2			16	横沢京子	アイヌ民族とNative AmericanのOral Folkloreに対する検証 : 「アイヌラックル」と"Arrow to the Sun"を中心にして	39~50	
<b>比較文化論叢</b>			<b>札幌大学文化学部</b>					
2006	3			17	川上淳	宝暦六(一七五六)年紀州船エトロフ漂流記について	5~29(縦組)	
p.15~17「エトロフ島アイヌの風俗等」あり。								
2008	11			22	川上淳	文化四(一八一七)年ロシアのエトロフ島襲撃を巡る諸問題	33~63(縦組)	
2009	6			23	常本照樹	アイヌ民族と大学教育	97~110	
<b>比較民俗研究</b>			<b>比較民俗研究会</b>					
2009	3			23		知里真志保(1909~1961)の比較民俗観抄	表紙裏	
<b>東アジア日本語教育・日本文化研究</b>			<b>東アジア日本語教育・日本文化研究学会</b>					
2007	3			10	板橋義三	マタギ言葉に見られるアイヌ系言語語彙の言語学的特徴について	171~187	
<b>ビッグイシュー日本版</b>			<b>ビッグイシュー日本</b>					
2008	8			101	編集部	マウコピリカ 幸せになるう 「先住民族サミット」アイヌモシリ2008とアイヌ民族の歴史	12	
特集:ファーストピープル 先住民族たちのいま								
					土田朋水	今を乗り越えていくビジョンを先住民族の文化はもっている : 結城幸司さんは語る	13	
					木村嘉代子	手仕事の決意、若者や他の民族の人々にも : サミット共同代表島崎直美さんが語る、アイヌ女性の文化	13	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ひ</b>						
				編集部	サケ、土地、ことば。アイヌの文化と権利とは？ : 萱野志朗さんは語る	18
				土田朋水	先住民族は、なぜ環境問題に熱心か？ ダム建設は生態系を壊すもの : 小野有五さんに聞く	19
<b>美術ペン</b>						
<b>北海道美術ペンクラブ</b>						
2004	2		111	河上實	「エコミュージアム オサシマセンター」アトリエ3モア	12
<b>hibi.N (ヒビドットエヌ)</b>						
<b>日々有限会社</b>						
2007	6		4		今、北海道犬が気になります	8～13
<b>非文字資料研究</b>						
<b>神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化のための非文字資料の体系化」研究推進会議</b>						
2007	6		16	菊池勇夫	生活絵引と菅江真澄	17
				舟山直治	「人びとの暮らしと生業」に参加して	18～19
				池田貴夫	鳥瞰の視線を考える : 『生活絵引』作成における歴史学、民俗学と美術史学の合流点をめぐって	20～21
				児島恭子	アイヌ民俗図資料の見方	22
<b>ヒューマンライツ</b>						
<b>部落解放・人権研究所(発行)、解放出版社(発売)</b>						
2000	6		147	塩見鮮一郎	部落の歴史あこがれ(25) 別所と蝦郎	38～41
2001	2		155	山本一昭	アイヌ民族に対する差別図書(河野本道編集・発行)を絶対許さない 裁判支援を訴えます	44～51
2001	8		161	上村英明	反人種主義世界会議と先住民族の権利保障 - 先住民族が「ダーバン」に期待すること -	19～24
2001	12		165	河明子(インタビュー)	見えない差別構造を問い直す ～誰の視点から歴史を語るのか 『先住民族の近代史』～植民地主義を超えるために、筆者上村英明さんに聞く	30～35
<b>ひょうご部落解放</b>						
<b>ひょうご部落解放・人権研究所</b>						
2009	3		132	兵藤宏	[本の紹介]アイヌ民族の歴史 榎森進著 草風館発行	102～103
				竹本貞雄	[本の紹介]北の彩時記 アイヌの世界へ 計良光範著 コモンズ発行	104～105
<b>備陽史探訪</b>						
<b>備陽史探訪の会</b>						
2003	8		113	種本実	坂上田村麻呂とアイヌ : 能「田村」から	7
<b>広報びらとり</b>						
<b>平取町役場</b>						
2000	2		492		シリーズ沙流川歴史館だより 展示解説⑥	12
2000	4		494		平成12年度主要事業④ウタリ福祉施策の推進	7
2000	6		496		アイヌ文化博物館だより	18
2000	9		498		二風谷アイヌ文化博物館だより	16
					アイヌ民族文化公園 町をあげて誘致実現へ	2～3
					チツサンケ	
2000	10		499		萱野茂氏 名誉町民に	5
2000	11		500		二風谷アイヌ文化博物館だより	16
2001	1		501		シリーズ沙流川歴史博物館だより 展示解説⑦	15
2001	2		502		二風谷アイヌ文化博物館だより	16
2001	4		504	中道善光	平成十三年度町政執行方針 ウタリ福祉施設の推進	6
					二風谷アイヌ文化博物館だより	18
2001	5		505		さんぼ道 オキクルミ像	12
2001	6		506		二風谷アイヌ文化博物館だより	12
2001	8		507		さんぼ道 オブシヌプリの話	12
2001	9		508		チツサンケ	5
					二風谷アイヌ文化博物館だより	16
2001	11		510		萱野茂さんに勳三等瑞宝章、「カムイ義経」を発刊	6

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	
雑誌目次・文献目次							
ひ							
					二風谷アイヌ文化博物館だより	14	
2002	2		512		二風谷アイヌ文化博物館だより	16	
2002	3		513		アイヌ生活用具コレクションが重要有形民俗文化財に指定されました	2~3	
					シシリムカアイヌ文化祭 二風谷アイヌ文化博物館シンポジウム	9	
2002	4		514		平成14年度、町政執行方針 ウタリ福祉施策の推進	6	
					二風谷アイヌ文化博物館だより	20	
2002	6		516		マンロー博士拝礼式	5	
					二風谷アイヌ文化博物館だより	14	
2002	9		518		舟おるしの伝統儀式 8月20日 第33回 チップサンケ	1	
					二風谷アイヌ文化博物館だより	18	
2002	11		520		二風谷アイヌ文化博物館だより	16	
2003	1		521	平取町企画課百年記念事業推進室	国境越えの道(三)	18	
2003	2		522		二風谷アイヌ文化博物館だより	12	
2003	4		524	中道善光	平成15年度町政執行方針/ウタリ福祉政策の推進	6	
					二風谷アイヌ文化博物館だより	18	
2003	6		526		二風谷アイヌ文化博物館だより	12	
2003	9		528		二風谷アイヌ文化博物館だより	18	
2003	11		530		二風谷アイヌ文化博物館だより	14	
2004	1		531		ふるさと物語 民芸品店が軒を並べ、商店街の基礎をつくった	14	
2004	2		532		二風谷アイヌ文化博物館だより	14	
2004	4		534		平成16年度町政執行方針/ウタリ福祉対策の推進	6	
					二風谷アイヌ文化博物館だより	18	
2004	6		536		二風谷アイヌ文化博物館だより	16	
2004	8		537		二風谷アイヌ文化博物館だより	18	
2004	9		538		第35回チップサンケ	18	
2004	11		540		二風谷アイヌ文化博物館だより	14	
2005	2		542		二風谷アイヌ文化博物館だより	14	
2005	4		544	中道善光	活力ある平取町自立の元年/ウタリ福祉対策の前進	4	
					二風谷アイヌ文化博物館だより	12	
2005	6		546		マンロー博士の氏族が来町	3	
2005	9		548		[町のひろば]第36回チップサンケ、平取町二風谷フォーラム2005	4	
2006	4		554	中道善光	町民参加型の町づくりを/ウタリ福祉対策の充実	5	
「平成18年度調整執行方針」の一部							
				齊藤憲章	21世紀に対応できる学力を/イオルの再生、アイヌ文化	7	
平成18年度教育執行方針の一部。							
2006	5		555		故・萱野茂氏のご冥福をお祈り申し上げます	5	
2006	6		556		[写真で見るびらとり歴史探訪]オキクルミカムイ700年祭を記念し、昭和43年6月23日に義経グランドで開催されたクマ祭り	10	
2007	4		564	中道善光	町政執行方針 将来を見据えた町づくりを目指して	2~4	
「ウタリ対策の推移」あり。							
				齊藤憲章	教育執行方針 環境の変化に対応できる教育を	5~6	

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	

雑誌目次・文献目次

ひ

「イオルの再生 アイヌ文化」あり。

2007	9		568		[今号の1枚](第38回チッサンケ	12
2008	1		571		平取ダム付替道路工事に伴い「カムイノミ」が開 催されました	10
2008	3		573		シシリムカアイヌ文化祭	7
2008	4		574	中道善光	平成20年度町政執行方針 ウタリ福祉対策の 推進	4
				斉藤憲章	平成20年度 教育政策執行方針 アイヌ文化 について	6
2008	6		576		マンロー先生の遺徳を偲ぶ会	4
2008	9		578		チッサンケ 転覆続出の川下り(8/24)	4
2008	10		579	川上満	健康で豊かに安心して暮らせるまちづくり イ オル(アイヌの伝統的な生活の場)再生 整備	4
2009	3		583		平取町イオル再生事業の概要	2～3
					シシリムカアイヌ文化祭(2/15)	5
2009	4		584	川上満	平成21年度町政執行方針 ウタリ福祉対策の 充実	4
				斉藤憲章	平成21年度 教育行政執行方針 アイヌ文化 について	6
					ふたつのポロチセが完成しました チセノミ開催 (3/25,29)	7
2009	5		585		入館者数が50万人!二風谷アイヌ文化博物館 (5/21)	5
2009	8		587		研修旅行でアイヌ文化を見学 ブラジル国アル モニア学園(7/10)	2
2009	9		588		転覆続出!川くだりに挑戦 チッサンケ	3

弘前大学国史研究

弘前大学國史研究会

2001	3		110	女鹿潤哉 榎森進	古墳時代における「えみし」の位置付けについて [書評と紹介]田端宏・桑原真人・船津功・関口明 共著『北海道の歴史』(新版県史シリーズ1)	1～20 62～65
2001	10		111	中野渡一耕	青森県南部町所在のアイヌ関係新資料について	50～52
2002	10		113	女鹿潤哉	「えみし」社会の成立と倭国	1～23
2003	3		114	鐘江宏之 中村和之	九世紀の津軽エミシと逃亡民 最上徳内『樺太島』について	18～29 38～50
2003	10		115	市毛幹幸	寛文期の蝦夷地アイヌ社会の様相について - 寛文蝦夷蜂起の戦後処理を手掛かりとして-	26～52
2004	3		116	女鹿潤哉	「えみし」社会の成立とアイヌ民族へと連なるエ トノスとの関連についての予察	1～20
2005	3		118	武田亜弓 市毛幹幸	近世前期における弘前藩のアイヌ支配について -松前飛脚回送の実態から-	25～39
					<書評>佐々木利和著『アイヌ絵誌の研究』	74～78
2006	10		121		<書評>三浦圭介・小口雅史・斉藤利男・編『北の防 御性集落と激動の時代』	63～69
2007	10		123	市毛幹幸	[書評論文]榎森進著『アイヌ民族の歴史』	51～60
2009	3		126	市毛幹幸 吉田敏	民族衝突の記憶 : 「津軽一統志」巻一〇収載 の寛文蝦夷蜂起関連資料と叙述の継承 [書評と紹介]榎森進・小口雅史・澤登寛総編『ア イヌ文化の成立と変容 : 交易と交流を中心 として 上 エミシ・エゾ・アイヌ』	1～26 47～51

広島県立大学論集

広島県立大学

2005	8	9	1	Herbert John	日本における少数言語の復活 : アイヌ語の 場合	27～42
------	---	---	---	--------------	-----------------------------	-------

ふ

faura(ファウラ)

北国からの贈り物(発行)、ナチュラルー(発売)

2006	3		11	河井大輔	ファウラ博物誌 其ノ八 蝶鮫・失われた遺産	66～67
2006	12		14	河井大輔	アイヌ民族は鷲をどう見ていたか	31

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>ふ</b>							
<b>フォーラム人文</b>				<b>札幌学院大学人文学部</b>			
2003	3			5	奥田統己	インタビュー調査と「事実」一人が人の話を聞くということ	45～60
<b>藤女子大学国文学雑誌</b>				<b>藤女子大学国語国文学会</b>			
2006	9			75	丸山隆司	〈位置〉について : 鳩沢佐美夫論にむけて	13～22
					盛義昭	赤きもののような現象と赤い風船	23～25
					木名瀬高嗣	鳩沢佐美夫の最初の日記について	26～35
					鳩沢佐美夫	鳩沢佐美夫日記Ⅰ(大学ノート)	36～64
資料					鳩沢佐美夫	鳩沢佐美夫日記Ⅲ(カレンダー)	65～79
資料							
<b>婦人之友</b>				<b>婦人の友社</b>			
2008	7	102	10	1261	小野有五	「先住民族サミット」アイヌモシリ2008	26～29
<b>舞台評論</b>				<b>東北芸術工科大学東北文化研究センター</b>			
2004	5			1		アジア文化の夕べ	38～40
<b>物質文化</b>				<b>物質文化研究会</b>			
2003	5			75	横山英介	北海道における焼畑跡	1～13
					松本建速	蝦夷と蕨手刀	30～44
2003	11			76	関根達人	アイヌ墓の副葬品	38～54
2004	5			77	富田恵子	礼文島における銆頭の変遷 : 銆頭からみた初期オホーツク文化の研究	21～38
<b>物質文化研究</b>				<b>城西国際大学物質文化研究センター</b>			
2005	3			2	内山達也	アイヌの他界観 : 他界観、その多様な構造と意味づけ	1～26
2006	3			3	内山達也	樺太アイヌの埋葬形態についての一考察	32～51
2007	3			4	内山達也	アイヌの方位観 : 神窓方位と埋葬頭位に関する一試論(平取を中心として)	11～36
2008	3			5	内山達也	アイヌの〈太陽〉に関する信仰について	1～25
<b>部落</b>				<b>(社)部落問題研究所出版部</b>			
2000	11	52	12	668	大脇徳芳	アイヌ民族共有財産裁判の経過と課題	24～30
<b>部落解放</b>				<b>解放出版社</b>			
2000	2			465	林浩一	人材育成としての国際連帯 アイヌ民族・アポリジニとの交流を通して	46～55
					大城光	先住民族をつなぐ文化交流 「ネイティブコンサート」が投げかける日本の民族問題	92～95
2000	6			470	ひろたまさき	差別は近代の産物	8～23
2005	8			553	ひろたまさき	差別の歴史を考える 11 日本型華夷意識の形成	102～110
2005	10			550	ひろたまさき	差別の歴史を考える⑨ 蝦夷と琉球	108～115
2006	2			561	竹内渉	沖縄イチャルパ	10～11
2006	6			566	編集部(文責)	マイノリティ当事者からの訴え : 「人権の法制度を提言する市民会議」結成記念集会から	64～69
2006	6			567	竹内渉	麻生外相の「一民族」発言	128～131
2006	11			573	ひろたまさき	差別の歴史を考える28 アイヌと沖縄人	108～117
2007	2			577	ひろたまさき	差別の歴史を考える 29 同化と異化	104～112
2007	3			579	山崎鈴子、李月順、多原良子(座談会)	座談会 複合差別を訴える	12～26
					多原良子	アイヌ女性の大きな自信と誇りに : アイヌ女性の実態調査を実施して	45～55
2007	5			582	竹内渉	萱野茂アイヌの遺したもの	94～97
2007	8			586	阿部ユボ	アイヌ民族の先住権の回復を求めて	12～21
					竹内渉	実態から見える振興法の限界と課題 『平成18年北海道アイヌ生活実態調査報告書』より	22～25

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
ふ						
				秋辺日出男	〔インタビュー〕文化は人間にとっての万能薬 観光を通してアイヌの心を伝える	36～43
				新納功一	沖縄で亡くなったアイヌ民族の慰霊祭 「南北 の塔」そして基地包囲行動	54
2007	10	588		竹内渉	〔本の紹介〕アイヌ民族の歴史 榎森進著	58～59
2007	12	590		手島武雅	先住民族に関する国連宣言 その経緯、内容、意義	70～81
2008	1	592		多原良子	私の被差別体験	161～173
				多原良子	アイヌ女性の実態調査を実施して そしてエン パワメント	189～194
2008	2	595		原由利子	時と歴史・思いと経験をわかちあった第一回マ イノリティ女性フォーラムin札幌	64～65
2008	5	598		阿部ユボ	「先住民族の権利に関する国連宣言」の採択	102～105
2008	6	599		多原香里	ピリカピリカ①わたしがわたしであること	48～51
2008	7	600		多原香里	ピリカピリカ②北海道洞爺湖サミットとアイヌ 民族	72～75
2008	8	602		多原香里	ピリカピリカ③アイヌは先住民族	50～53
2008	9	603		多原香里	ピリカピリカ④先住民族に学ぶこと	46～49
2008	10	604		多原香里	ピリカピリカ⑤はじめての海外生活はカナダで	66～69
				秋辺日出男	「アイヌ先住民族」国会決議、そして「先住民族サ ミット」アイヌモシリ2008	104～110
2008	11	605		多原香里	ピリカピリカ⑥サケとアイヌ民族	62～65
2008	12	606		多原香里	ピリカピリカ⑦サケがつなぐ文化と文化	72～75
2009	1	607		多原香里	ピリカピリカ⑧自分の文化・社会を絶対視する 傲慢さ	36～39
				小笠原信之	今こそ「仕切り直し」をするべきだ	40～41
					<本の紹介>アイヌ民族の視点からみた「先住民 族の権利に関する国際連合宣言」の解説と利用法	51
2009	1	608		上村英明	先住民族権利宣言とアイヌ民族	145～155
2009	2	609		上村英明	反日・非知的事実歪曲言論としての「わしズム」	10～11
				多原香里	ピリカピリカ⑨先住民族の伝統儀式に参加	64～67
				小笠原信之	見事なバトンタッチ	68～69
2009	3	611		多原香里	ピリカピリカ⑩ステレオタイプのアイヌ、その 偏見の背景には	70～73
				小笠原信之	積分的視点が必要だ	74～75
2009	4	612		多原香里	ピリカピリカ⑪「同じ国民だ」という支配論理	44～47
2009	5	613		多原香里	ピリカピリカ⑫血による差別の論理	46～49
				山崎行太郎	マンガ右翼・小林よしのりの退場勧告!!! (その2)	50～51
2009	5	614		竹内渉	アイヌの巨星逝く 追悼野村義一アイヌ	116～119
				竹内渉	アイヌの先住民族 国会決議	112～115
2009	6	615		多原香里	ピリカピリカ⑬先祖たちの軌跡	44～47
2009	7	616		多原香里	ピリカピリカ⑭人権高弁務室事務所でインター ンシップ	56～59
				小正路淑泰	鶴田知也「コシャマイン記」断章	90～101
2009	8	618		多原香里	ピリカピリカ⑮ジュネーブに集う先住民族	62～65
2009	9	619		多原香里	ピリカピリカ⑯日本が批准しないのはなぜ?ILO 一六九号条約の意味	42～45
2009	10	620		萱野志朗	アイヌ民族の現状と課題	12～19
				松島泰勝	先住民族・琉球人の自治に向けて	25～33
				多原香里	ピリカピリカ⑰パートナーとの出逢い	36～39
				榎森進	歴史からみたアイヌ民族 小林よしのり氏の 「アイヌ民族」否定論を批判する	20～24
2009	11	621		多原香里	ピリカピリカ⑱語学力を身に付けてアイヌ文化 を伝える	54～57

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ふ

				島崎直美	女性差別撤廃委員会第六回日本報告書審査とマ イノリティ女性 実感した当事者参加の意義 アイヌ民族女性の状況を訴える	84～85
2009	12		622	多原香里	ピリカピリカ⑨ピウスツキーが残した蠟管	52～55
				<b>部落解放研究</b>	<b>部落解放・人権研究所</b>	
2004	4		157	友永雄吾	2003年先住民作業部会と国連人権小委員会報 告	55～68
2007	6		176	スティンソン・純	国連人権理事会 : 人権課題の主流化	37～50
2007	12		179	手島武雅	自由権規約報告第27条とアイヌ民族政策	43～53
				<b>部落解放全国通信</b>	<b>日本基督教団部落解放センター</b>	
2006	2		50	三浦忠雄	差別社会の中での連帯を求めて 第12回 ア イヌ民族との連帯	6～7
				<b>部落解放ひろしま</b>	<b>部落解放同盟広島県連合会出版局</b>	
2000	5		46	計良光範	浄土真宗本願寺派札幌別院「差別落書き事件」と 『ヤイユーカラの森』①	59～66
2000	7		47	計良光範	浄土真宗本願寺派札幌別院「差別落書き事件」と 『ヤイユーカラの森』②	91～99
2000	9		48	計良光範	浄土真宗本願寺派札幌別院「差別落書き事件」と 『ヤイユーカラの森』③	67～72
2000	11		49	計良光範	浄土真宗本願寺派札幌別院「差別落書き事件」と 『ヤイユーカラの森』④	80～86
2001	1		50	計良光範	浄土真宗本願寺派札幌別院「差別落書き事件」と 『ヤイユーカラの森』⑤	109～124
2003	3		63	部落解放ひろしま編集委員会	アイヌ交流三十周年記念訪問団 被差別統一戦 線の布石から三十年 - その歩みをたどる小さ な旅 -	148～160
2003	11		67	工藤英勝	近代曹洞宗と部落差別 異聞 - 新平民・朝鮮 人・アイヌという他者	36～45
				<b>部落問題 調査と研究</b>	<b>岡山部落問題研究所</b>	
2000	12		149	竹内和夫	アジアのなかの日本(3) - 北海道旧土人の百年 -	52～55
				<b>ブルータス</b>	<b>マガジンハウス</b>	
2007	8	28	14	621	今、そこにあるアイヌ文化に触れる旅	62～69
OKI、萱野茂二風谷アイヌ資料館、阿寒湖アイヌコタンなどを取り上げる。						
(広告) 北海道の美味よりもLISMOで名曲 チェックするほうが先ですか? 221～222						
OKI Dub Ainu Bandに言及あり。						
				<b>ふるさと十勝</b>	<b>ふるさと十勝</b>	
2005	3		168	内田祐一 時田則雄	十勝の宗教2 アイヌ民族の信仰 (詩)土の詩2 子守歌(ルビ:イフンケ)	70～73 77
				<b>プレーメン館</b>	<b>『プレーメン館』編集部</b>	
2004	6		2	小岸昭	[晩年学]第二話 翻訳者の使命 - 知里幸恵の 晩年	149～157
2007	6		5	阿部包 大和幸子	北辺の地をゆく 天塩思い入れ紀行	112～123 123～131
				<b>フロームステーション</b>	<b>表示灯株式会社</b>	
2007	10		11		アイヌ文化交流センター・東京でアイヌ文化を 知る!見る!体験する	11～12
				<b>文学</b>	<b>岩波書店</b>	
2001	11	2	6	中川裕	アイヌ語テキストの電子化の現状と課題	282～284
2005	3	6	2	前田雅之	「鬼神」と「心正直」 : 中世太子伝の蝦夷形象 をめぐって	157～173
2005	5	6	3	前田雅之	「鬼神」と「心正直」 : 中世太子伝の蝦夷形象 をめぐって(承前)	179～199

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	

雑誌目次・文献目次

ふ

文学岩見沢				文学岩見沢の会			
2000	2		60	荘司トミ	アイヌ民族衣装と和服	51～52	
2002	8		65	岩川桂	(創作)木の鈴	8～13	

砂澤ビッキを取り上げた作品。

文学界				文藝春秋			
2003	2	57	2	三浦佑之	古事記講義 : 英雄叙事詩は存在したか	168～199	

「アイヌの英雄叙事詩」(179～182ページ)などあり。

2004	2	58	2	斎藤環	「怒り」の批評をめぐって	281～287	
------	---	----	---	-----	--------------	---------	--

連載「文学の徴候」第13回

月刊 文化財				第一法規			
2004	10		493	佐々木利和	特集「北の大地と文化財」によせて	4～5	
				青柳信克	アイヌの人びとと文化財	6～8	
				吉原秀喜	アイヌの生活用具コレクションはどう活かされているか	9～11	
				甲地利恵	「アイヌ古式舞踊」伝承の現在	12～15	
				谷本晃久	箱館奉行所文書にみるアイヌの社会史	16～18	
				豊原照司	史跡としてのチャシはどう活かされているか : ユクエピラチャシを例に	19～21	
2005	6		501	文化庁文化財部	蝦夷三官寺善光寺関係資料	50～51	
				文化庁文化財部	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	52～53	
2007	9		528	吉原秀喜	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観(新選定の文化財)	36～38	
					アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観 : 牧野・牧野林の広がり	52	

表紙解説

文化情報				北海道文化財保護協会			
2000	1		213	膳亀奈美枝	上ノ国シンポジウム 「海峽がつなぐ地域史を掘る」参加記録	2	
				井上壽	ろうべつ神社とは読まない	7	
2000	8		221	薩川益明	長生川をさかのぼれば	2	
2000	10		223		北海道文化財保護功労者決まる 文化財の保護・保護思想の普及に貢献	1	
2001	1		226	福岡イト子	語り伝えるもの	3	
2001	3		228	H生	萱野茂さんに博士号	1	
2001	4		229		絵馬カムイノミの図(豊頃町)など道指定有形文化財に	1	
2001	6		231	横田直成	アイヌの秘宝「鋏形」について	2	
2001	7		232	山本融定	一枚の写真から(三) 校庭のなかの文学碑	3	
2001	8		233		縄文シティサミット記念講演/梅原猛氏が力を込めて語る 縄文文化は日本の基層文化	1	
2001	9		234	中村和之	秦檜麿の蝦夷錦	2	
2001	10		235		北海道文化財保護功労賞 個人五氏と一団体に決定	1	
2002	2		238		北海道遺産「アイヌ文様・アイヌ語地名」選定を記念し、平取町で文化振興フォーラム「地域文化・環境・デザイン」を開催	1	
2002	3		239		萱野氏収集のアイヌ民具を重要有形民俗文化財に答申	1	
					[会員ニュース]萱野茂氏	4	
2002	4		240	狩野剛	偉大なる砂沢ビッキ -みんなの心の中に今も生きている-	2～3	

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名	発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
ふ						
					アイヌ民族の三大歌人 生誕百年記念森竹竹市 文学展・写真展報告集を発刊	3
2002	5	241		福岡イト子	旭川竜谷高等学校郷土部特別展示 上川アイヌ の研究 -35年の軌跡から	2
2002	6	242			里帰りしたアイヌ民族の生活用具 北海道開拓 記念館(札幌)でマンローコレクション	1
				中村和之	ヘップバーンのアーミーコート	3
2002	7	243		新川寛	アイヌ・ネノアン・アイヌ	2~3
2002	8	244			史跡常呂遺跡を追加答申 オホーツク文化とア イヌ文化遺構	1
2002	9	245			アイヌ生活用具コレクションの国文化財指定を 祝い 平取町で記念フォーラムを開く	1
2002	10	246			銀のしずく降る降るまわりに	1
2002	11	247			今年度の北海道文化財保護功労賞 個人三人と 二団体に決まる	1
2002	12	248		新川寛	『アイヌ神謡集』の世界	2
2003	1	251		新川寛	アイヌ文化伝承記録映画『アイヌの漁撈とくら し -海魚・川魚-』を見て	2~3
2003	4	252			森竹竹市遺稿集『銀鈴』を刊行	3
2003	5	253			アイヌ民族の食文化を学ぶ	1
2003	6	254			豊浦町初の指定文化財にアイヌ祭祀具とカムイ チャシ	1
				新川寛	イオル	2~3
2003	8	256			アイヌ語地名をフィールドワーク	1
				中村和之	「あいぬ」の龍	3
2003	11	259			今年度の北海道文化財保護功労賞に個人三氏と 余市町郷土文化財愛護少年団	1
2004	1	261		本間愛之	文化の花開く北の若者たち11 旭川竜谷高校 郷土部	2
2004	4	264		青柳文吉	二〇世紀の目撃者、写真家・掛川源一郎	2
2004	6	266			森竹竹市の遺稿集を発行	3
2004	8	268			浦臼は「やなのある川」	1
2005	2	274		新川寛	道南十二館	3
2005	3	275		地蔵慶護	「タツ・ニ」	2
2005	4	276			蝦夷錦四点を厚岸町の指定文化財に	1
				三好勲	春を待つ : 喜登牛・張碓等の地名起源	2
2005	5	277			重要文化財に美々8遺跡出土品と蝦夷三官寺関 係資料	1
				地蔵慶護	シンコ	3
2005	6	278		地蔵慶護	「ベツ」と「ナイ」	2
				山本融定	統一枚の写真から(3) 奉安殿	3
平取町立二風谷小学校の奉安殿を紹介。						
2005	7	279			森竹竹市展を仙台市で開催	1
				地蔵慶護	ラルマ・ニ	2
				鈴木仁	樺太関係資料について	3
樺太関係資料館の紹介。						
2005	8	280		臼杵勲	シンポジウムに寄せて 中世総合資料学と歴史 教育 : 北方世界の交流と変容	3
2005	11	283			アイヌ絵と思われる掛け軸の謎を追って 大 津・十勝川学会でセミナー	4
2007	4	300		山田雅也	オタスの杜の教育所と写真館	2
2008	1	305		小坂アエ、猩々獅子五段くず し舞保存会、伊達市仙台神楽 保存会、鶴川アイヌ文化伝承 保存会	紙面座談会 かけがえのない文化財をどう、後 世へ伝えていくか	1~2

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ふ</b>						
2008	5		307		アイヌ文化を一目で 小・中学生向け副読本、全面改訂	3
				新川寛	先住民族サミット・アイヌモシリ2008	4
					旭川アイヌの研究[旭川竜谷高校郷土研究会]	4
2008	7		308	新川寛	ピリカ・ケウトゥム・アプカシ	3
				山田雅也	アイヌは先住民族	4
2008	9		309	佐藤幸雄	「先住民族の権利に関する国際連合宣言」採択の意味と課題	1
				中村和之	蝦夷錦の年代測定と今後の展望	2
				馬場昭	カネト合唱劇旭川公演	3
2008	11		310		道文化財保護功労賞を贈呈 向井政次郎さん(浦河町)、帯広カムイトウボボ保存会	1
				猪熊樹人	北海道文化財保護強調月間実施事業 根室市	3
2009	1		311		厚真町で「子ども文化財愛護活動」	6
2009	7		314		九度山(名寄)黄金山(石狩)を名勝に指定 ～総称【ピリカノカ(美しい・形)】	2
				伊佐治知子	義経蝦夷渡り伝説図絵馬	2
				渡辺昇	別海町指定文化財「加賀家文書」について	3
2009	11		316		道文化財保護功労賞を贈呈 上武やす子氏(登別市)	1
					「アイヌ古式舞踊」がユネスコの無形文化遺産	2
					「代表一覧表」に記載決定	
<b>文化人類学研究</b>				<b>早稲田大学文化人類学会</b>		
2004	12	5		上村英明	「植民地問題」解決のための国連の歴史的努力と「先住民の国際10年」 -人類学者のための民族集団に関する国際人権法入門-	14～30
				常本照樹	国内法における先住民族 -アメリカを中心に-	49～59
				上村英明、笠原政治、常本照樹、(司会)スチュアート・ヘンリ	国際先住民の10年 -軌跡と展望-	60～85
<b>文化庁月報</b>				<b>ぎょうせい</b>		
2007	4		451		文化庁の星 第1回 アイヌ文化振興専門官	33
<b>文芸いくたはら</b>				<b>『文芸いくたはら』発刊実行委員会</b>		
2000	5	3		萱野茂	わたしたちが子どもたちに伝えたいもの	132～145
<b>文芸うらかわ</b>				<b>浦河文化協会</b>		
2000	11	19		河村和美	寛政十一年捕物帳 -一只今 熊一足 切留め申し候-	113～119
2004	10	23		河村和美	浦河百話補遺 エゾ鹿景気顛末の記	114～116
2006	12	25		大脇徳芳	地球一周ピースボートの船旅	112～125
2008	2	26		須貝光夫	日高文学とゼベット	6～16
				池田智恵子	ホームヘルパー日誌	40～42
				大脇徳芳	地球一周ピースボートの船旅(続)	95～126
2009	2	27		大脇徳芳	地球一周ピースボートの船旅(第三回)	79～103
<b>文芸江さし草</b>				<b>江さし草会</b>		
2000	2	93		薄木達郎	テッカエシ(テボコ)とテルケ・ウシ -江差古地名解-	12～14
2001	11	100		薄木達郎	「エサシ」という地名にもう一度	9～12
2002	5	102		薄木達郎	アイヌ語地名理解に役立った地形名(一)ナイとペツ…川	19～22
2002	8	103		薄木達郎	アイヌ語地名理解に役立った地形名(二)ヌブル・モイワ・シリ外	15～17
2002	11	104		薄木達郎	アイヌ語の地名(つづき)トマリ・潤・その他	13～15
2006	11	120		板谷等	菅江真澄日記 えみしのさへきの植物	196～207
2007	11	124		鈴木博	新発見!! アイヌ語地名解あれこれ : 新地名解考・博研究室ノートから	19～21

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ふ

		<b>文芸オホーツク</b>			<b>紋別市文化連盟</b>		
2002	10			11	横平弘	「鴻之舞」の語源を探る	45～48
2005	10			14	上伊澤ひろし	(創作)風の橋(二)	169～208
2006	10			15	横平弘	古事記に見るアイヌ語地名の可能性	123～128
2006	10			15	上伊澤ひろし	(創作)風の橋(三)	182～219
2007	10			16	横平弘	古事記に見るアイヌ語地名の可能性(続)	38～44
					上伊澤ひろし	(創作)風の橋(四)	241～276
2008	10			17	上伊澤ひろし	(創作)風の橋(五)	238～276
		<b>文芸言語研究 文芸篇</b>			<b>筑波大学大学院人文社会科学研究科 文芸・言語専攻</b>		
2006	10			50	齋藤一	柳瀬尚紀訳『フィネガンズ・ウェイク I～IV』のアイヌ語地名について	95～119
		<b>文芸春秋</b>			<b>文芸春秋</b>		
2005	11	83	14		永江朗	『アイヌ叙事詩 ユーカラ』金田一京助採録並に訳	182～183
2007	2	85	3		金田一秀穂	金田一京助、金田一春彦 学者の家、三代の遺産	272～274
		<b>文芸秩父</b>			<b>文芸秩父の会</b>		
2001	5			114	小田きよ子	関東ウタリ会 二十年の歩み	68～74
		<b>文芸にいかっぷ</b>			<b>新冠文芸協会</b>		
2000	10			18	狩野義美	父の思い出あれこれ	12～14
2001	12			19	狩野義美	駿馬ロードの昔を偲び	83～89
2002	12			20	狩野義美	滑若の遠い思い出	29～33
2003	12			21	豊巻愛	知里幸恵と私の母	57～58
					狩野義美	古川足(アシンノカル)の生涯	90～95
2004	12			22	狩野義美	クマ初猟の思い出等々	17～24
2005	12			23	狩野義美	古川足(アシンノカル)の生涯(その二)	110～116
2006	12			24	狩野義美	父の追憶(その一)	23～28
					乾芳宏	江戸時代の地名改正 ビボクからニイカッフへ	127～131
2007	12			25	狩野義美	父の追憶(その二)	91～97
2008	12			26	狩野義美	手負いグマ	19～23
					向井豊昭	[創作]飛ぶくしゃみ	138～158
2009	12			27	狩野義美	スキャンダル	94～101
					乾芳宏	アイヌ文化の狩猟について	116～120
		<b>文芸ほべつ</b>			<b>文芸ほべつの会</b>		
2000	4			12	武田みさ子	卑弥呼の会(ノートより)	12～18
		<b>文献探索 2006</b>			<b>文献探索研究会</b>		
2006	11				宮本沙織	アイヌ民族の民話・伝説に関する書誌	462～484
		<b>ペガータ</b>			<b>文学同人「アニマの会」事務局</b>		
2005	4			2	須田茂	「アイヌ神謡集」の波紋 ～アイヌ現代文学の系譜	93～110
		<b>へき地教育研究</b>			<b>北海道教育大学へき地教育研究センター</b>		
2007	12			62	井筒勝信	アイヌ語学習・教育用資料の電算化・集積・公開を可能にする情報ネットワーク構築のための基礎研究	61～71
		<b>vesta(食文化誌 ヴェスタ)</b>			<b>味の素食文化センター</b>		
2007	2			65	木原仁美	アイヌの神の魚「鮭」	12～13

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

へ

PETANU(ペタヌウ)				高木五郎(責任者)		
2003	12			1 川村シンリツ・エオリパック・アイヌ	アイヌモシリに生きて	6～9
2004	10			2 斉藤傑	北海道を考える	6～16
2005	4			3 岡田雅勝	カムイ・ユーカラの世界 ―道東地方のカムイ・ユーカラ物語―	42～55
2005	10			4 岡田雅勝	小熊秀雄論 叙事詩と『飛ぶ櫓』について	30～49
2009	6			11 斉藤傑	北海道を考える その一〇	40～55
別冊ジュリスト				有斐閣		
2001	4	37	1 156	今井直	先住少数民族の権利 ―二風谷ダム事件―	98～99
別冊太陽				平凡社		
2004	11			池澤夏樹	新しいアイヌ史のために	2～3
				露口啓二(撮影・文)	アイヌ民族の風景	6～15
				涌坂周一	アイヌ文化前史・オホーツク文化と擦文文化	16～17
				児島恭子	アイヌ文化の成立から爛熟まで	18～24
				中村和之	蝦夷錦にみるアイヌ民族の北方交易	25～27
				貝澤和明	明治以降・同化政策からアイヌ文化振興法へ	28～29
				野本正博	送りにみるアイヌ民族の信仰	32～33
				内田祐一	アイヌ民族の他界観	38～39
				野本正博	祈りのかたち	40～55
				野本正博	チセの構造	56～57
				津田命子	衣服のかたち	60～69
				村木美幸	アイヌ民族の薬箱 : 薬草の知恵	72～73
				広野洋	アイヌ民族の伝統料理	78～79
				村木美幸	暮らしのかたち	70～81
				直川礼緒	ムックリの世界	82～83
				内田祐一	描かれたアイヌ民族の暮らし	84～96
				弟子シギ子	山に感謝	98～101
				上野サダ	ウポポは生きること	102～103
				藤戸竹喜	木彫に託す思い	106～113
				計良智子	カムイからフチたちへ、そして私たちへと…	114～119
				かとうまちこ	古典的アイヌ紋様に魅せられて	120～125
				オキ	なんでトンコリ?	126～129
				知里むつみ	未来に伝えたい人 : 知里幸恵	130～132
				小野有五	今に生きる知里幸恵	134～135
				工藤直子	神話の時間	136～137
				中川裕	アイヌ神謡集の謎	138～139
				吉武輝子	第三の性 : パチェラー八重子の生き方	140～142
				結城幸司	パチェラー八重子のメッセージを受けて	143

2005 2

第5回内国勲業博覧会のページに「人類館」関係資料掲載あり。索引で「アイヌ」5箇所あり。その他「日本の博覧会年表」などあり。

別冊東北学				東北芸術工科大学東北文化研究センター(発行) 作品社(発売)		
2001	7			2 熊谷達也	(創作)荒蝦夷 第一回	304～328
				長倉洋海(写真・文)	大地(モシリ)に生きる	(8p)
別冊歴史読本				新人物往来社		
2001	10	26	26	工藤雅樹	「蝦夷征伐史観」の復活は許せない 蝦夷・アイヌをめぐる叙述の歴史(戦前)	126～131
2004	9	29	27	加藤恵	義経生存伝説紀行	5～16

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次							
へ							
<b>辺境</b>				<b>市民科学研究機構</b>			
2001	8			119	柏陽太郎	道ウタリ協会の英断 「アイヌ民族同 化発言」糾弾	ムネオの「アイヌ民族同 化発言」糾弾 10
ほ							
<b>ほ Ho</b>				<b>財界さっぽろ</b>			
2007	11			15		[神社に行こう]4 義経神社 旅のプロフェッショナルが選んだ日本一の温泉 ホテル 鶴雅の秘密	
阿寒湖アイヌコタン関係記述あり。							
東直己							
サッポロピリカコタン関係記述あり。							
<b>季刊 保育問題研究</b>				<b>新読書社</b>			
2005	10			215	チカupp美恵子	特別講座 共生の道しるべ : アイヌ民族の 文化を創造する	186~203
<b>法学会誌</b>				<b>明治大学法学会</b>			
2005				55	大塚みやま	先住民族の権利とアイヌについて	95~125
<b>法学新報</b>				<b>中央大学法学会</b>			
2007	3	113	5・6		初岡宏成	少数者の人権保護に関する意識と裁判所の機能 : 「二風谷ダム判決」および「アイヌ文化振興法」 をめぐるアンケート調査の統計的分析からの示唆	33~75
<b>法学セミナー</b>				<b>日本評論社</b>			
2001	8	46	8		上村英明	先住民族問題をどう考えるか : アイヌ民族 と沖縄人の権利	71~73
特集企画:人種差別撤廃委員会の最終見解を読む パート2							
2002	3	47	3	567	保屋野初子	市民と行政訴訟 第四回 二風谷ダム訴訟 ア イヌ民族への“償い”の言葉に代えた歴史的判決	77~80
2004	5	49	5		斎藤貴男	里程標milestones 自由と尊厳を求めて(17) アイヌ民族の尊厳を回復するために : 三田 一良さん	5~8
<b>法社会学</b>				<b>有斐閣</b>			
2000	3			52	房川樹芳	アイヌ民族の法と権利の現状	120~126
構造改革と法社会学(3) シンポジウムII 日本の多文化社会と法							
<b>彷徨月刊</b>				<b>彷徨舎</b>			
2007	3	23	4	258	高橋靖以	アイヌ語を読むために	30~31
特集:よめぬ字の早くよめる本なり 明治・大正の辞書辞典							
<b>望星</b>				<b>東海教育研究所(発行)、東海大学出版会(発売)</b>			
2007	6	38	6		川田順造	もうひとつの日本への旅 第18回 私たちの なかのアイヌ文化	104~111
2007	7	38	7		川田順造	もうひとつの日本への旅 第19回 「先住民」 をめぐる問題群	104~111
<b>法政史学</b>				<b>法政大学史学会</b>			
2005	9			64	坂田美奈子	出稼ぎ和人の語る「蝦夷人介抱」 : 18世紀後 半蝦夷地におけるアイヌ-和人関係の実践	20~38
<b>法政史論</b>				<b>法政大学大学院日本史学会</b>			
2002	5			29	坂田美奈子	紛争解決手段にみるアイヌ-和人関係 : 寛 文九年の戦いにおける上蝦夷地での和睦	70~71
大学院月例報告(第348回、2001年7月14日)要旨。							
2004	3			31	永田一	蝦夷と律令位階叙位についての一考察	51~52
大学院月例研究会報告要旨(第359回、2003年10月25日)。							
<b>法曹</b>				<b>法曹会</b>			
2006	7			669	大内捷司	知里幸恵と『アイヌ神謡集』	2~12
<b>放送大学研究年報</b>				<b>放送大学研究年報</b>			
2007	3			24	本多俊和・葉月浩林	アイヌ民族の表象に関する考察 -博物館展示 を事例に-	57~68

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ほ

		<b>放送大学大学院教育研究成果報告 Open Forum</b>		<b>Open Forum編集委員会(放送大学教務部修学支援課)</b>	
2005	3	1	津田命子	アイヌ女性の創造した衣文化 : 異文化接触に伴う材料・技術・環境の変化が生み出した衣文化の研究	
		<b>放送大学通信 on air</b>		<b>放送大学</b>	
2004	6	74	江淵一公	[修士論文紹介]アイヌ女性の創造した衣文化(平成14年度入学 文化情報学群 修士全科生 津田命子)	15
		<b>北星学園女子短期大学紀要</b>		<b>北星学園女子短期大学</b>	
2002	3	38	福山和子	東北地方におけるアイヌ服飾文化資料の調査研究ノート 青森県下北地方残存「アイヌ衣服」について	125～132
		<b>北星論集</b>		<b>北星学園大学文学部</b>	
2004	3	41	阿部敏夫	北海道民話の研究(その2) 中田千敏『アイヌ神話』の考察	129～138
2005	9	43	1 阿部敏夫	北海道民話の研究(その3) 工藤梅次郎『アイヌ民話』の考察	65～76
		<b>北大史学</b>		<b>北大史学会</b>	
2000	11	40	小野哲也	刀子からマキリヘ - 考古学的アプローチによる -	1～28 (横組)
2002	11	42	コラー・スサンネ	安永年間の蝦夷地における日露交渉と千島アイヌ	56～79 (横組)
2006	11	46	ラファエル・アバ	ある英国人が見た日本列島の先史文化 -N. G.MunroとPrehistoric Japan(1908年)-	1～24 (横組)
2008	12	48	瀧澤正	明治初年におけるアイヌの昆布業 -日高地方 様似郡の例にみる-	39～68 (縦組)
			ラファエル・アバ	日本におけるヨーロッパ近代考古学思想の導入 -「三時代法」および「先史」の観念を中心として-	69～97 (縦組)
2009	12	49	ラファエル・アバ	鳥居龍蔵の考古学思想の学史的検討 -「固有日本人」説を中心として	78～103 (縦組)
		<b>北大植物園研究紀要</b>		<b>北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園</b>	
2004	3	4	加藤克	札幌農学校所属博物館のアイヌ民族資料	1～54
		<b>北大法学研究科 ジュニア・リサーチ・ジャーナル</b>		<b>北海道大学大学院法学研究科</b>	
2006	2	12	ジョージナ・スティーブンス	国際人権規約と先住民族 : アイヌ民族と自由権規約を中心に	121～173

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ほっかい

月刊ほっかい				月刊ほっかい			
2000	2	30	3			白老観光の“救世主”として急浮上 : アイヌ民族・文化公園構想の全容	52~54
2005	8	35	9			白老町の「中核イオル」が10年目で愁眉を開く/来年度予算で拠点施設の設計費を概算要求	24~25
2008	7	38	8			登別温泉12 いで湯の里アートコレクション : のぼりべつクマ牧場・ユーカラの里	66~67
北海学園大学 開発論集				北海学園大学開発研究所			
2005	9			76	岩崎まさみ	[研究ノート]社会影響評価の手法と二風谷ダム	89~109 の事例
北海学園大学学芸員課程学事報告書				北海学園大学学芸員課程			
2003	2			3	菊池景子	「金田一京助全集」第5巻『アイヌ語 I』のアイヌ語索引・注釈の作成について	142~231
2003	3			4	菊池景子	金田一京助『アイヌ語講義』第III編語法論索引・注釈	65~140
					藤村久和	葛野辰次郎翁が綴ったアイヌ文化資料の翻刻(2)	141~246
2005	3			7	小西恵	古平アイヌの歴史	20~23
					花輪陽平、藤村久和	名取武光著『噴火湾アイヌの捕鯨』のアイヌ語・地名・人名索引	130~202
2005	12			10	千葉綾子	アイヌ語由来の地名 : 古平町	35~39
2005	12			11	花輪陽平、藤村久和	知里真志保フィールドノート(5)、(11)への補注	47~121
					花輪陽平、藤村久和	葛野辰次郎翁が綴ったアイヌ文化資料の翻刻(ノートNo.3)	56~247
					藤村久和	『蝦夷国夜話』及び、『蝦夷国私記』の翻刻	122~248
2007	3			15	花輪陽平	葛野辰次郎翁の伝承 アイヌ語集 II	107~249
北海学園大学学報				北海学園大学			
2004	7			57	朝倉利光	ろう管レコードに吹込んだ人々 3 流浪の人類学者の録音(1) プロニスワフ・ピウスツキ	3
2004	10			58	朝倉利光	ろう管レコードに吹込んだ人々 4 流浪の人類学者の録音(2) プロニスワフ・ピウスツキ	4
2004	12			59	朝倉利光	ろう管レコードに吹込んだ人々 5 在野の言語学者の録音 北里蘭	4
2007	12			72	藤村久和	アイヌ文化の重要性	3
北海学園大学 工学部研究報告				北海学園大学工学部			
2001	2			28	桃内佳雄、大友雄介、越前谷博	アイヌ語から日本語への漸進的な翻訳処理に関する基礎的考察	203~216
2005	2			32	越前谷博、荒木健治、桃内佳雄	アイヌ語-日本語対訳コーパスを対象とした局所着目型学習による対訳語の自動抽出	41~63
					桃内佳雄	アイヌ語と日本語の連体節修飾名詞句の基本的な構成と対訳パターン	181~202
2006	2			33	桃内佳雄	アイヌ語地名解析の自動化のための基礎的考察	153~169
2008	2			35	桃内佳雄、安曇恭徳、角谷礼雄	研究ノート : 『アイヌ神謡集』の電子化データの構成と利用	159~171
2009	2			36	安曇恭徳、桃内佳雄	階層的なアイヌ語・日本語対訳データの構成と層指定解析ツールの開発	175~193

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
<b>ほっかいどう</b>			<b>北海道広報広聴課</b>			
2004	3		151		[14支庁から 地域が元気です!]生誕百年を迎えた『アイヌ神謡集』の著者知里幸恵の記念館建設へ(胆振支庁)	16
<b>北海道浅井学園大学短期大学部研究紀要</b>			<b>北海道浅井学園大学短期大学部</b>			
2006	3		44	畠山幸代	北方民族の服飾からイメージしたドレス1 : アイヌの衣服文様から	179~180
<b>北海道いい旅研究室</b>			<b>海豹舎</b>			
2001	10		5		いい旅トーク 二風谷アイヌ資料館館長 萱野茂さん	57~62
				水上美紀子	『アイヌの昔話集』はまおかのりこ(絵)ほか	110
2002	7		6	安川誠二	『俺は魂をデザインする』アド°イ	113
2005	6		8		素敵なライブとアイヌ料理のフルコースと講和(ママ)付き温泉宿	8
豊岡征則氏の民宿を紹介。						
2007	10		10	アド°イ(語り)	カムイイピリマ : 神々の耳うち	114~117
2009	1		11	アド°イ(語り)	~神々の耳うち~ カムイ イピリマ	58~61
				秋葉實 館浦海豹(聞き手)	アイノを語る	96~104
				三上努	屈斜路湖畔の夜はふけて カムイイピリマ ~ 夜のしじまに	126~127
<b>北海道遺産構想推進協議会情報誌</b>			<b>北海道遺産構想推進協議会</b>			
2006	3		7		アイヌ口承文芸継承者 川上将史	24~26
<b>北海道遺産情報誌</b>			<b>北海道遺産構想推進協議会</b>			
2005	3		6		アイヌ口承文芸 : 人から人へ、途切れることなく語り伝え	10~11
					平取町と白老町の取り組み	10~11
「アイヌ口承文芸」関係記事。						
<b>ほっかいどう演劇</b>			<b>北海道演劇集団事務局</b>			
2007	4		29	福浦寛	「アイヌ通送人 吉良平治郎」公演の取り組みについて	89~90
<b>北海道開拓記念館研究紀要</b>			<b>北海道開拓記念館</b>			
2000	3		28	山田悟郎	ゴボウ考	27~38
				出利葉浩司	博物館展示はなにを伝達するのだろうか? : 学芸員はなにを語ろうとしたのか?開拓記念館アイヌ文化展示のコンセプト	61~80
				出利葉浩司	「白布切抜置文衣の誕生」再考 : アメリカ合衆国東部にある博物館の資料を中心に	81~98
				池田貴夫	日本列島に点在する昆虫呼称「雪虫」	99~118
				三浦泰之	明治期の地方博覧会と開拓使 : 開拓使、北海道はどのように「見られていた」のか?	153~178
				山田伸一	拓殖館のアイヌ民族資料についての覚書	179~198
2001	3		29	手塚薫	千島列島北部オンネコタン島ネモ湾に所在する周堤をもつ特殊な遺構について : 2000年度IKIP(国際千島調査)の成果から	81~92
				舟山直治	近世期以降における和人とアイヌ民族の文化接触による水神信仰の変容について	93~108
				林昇太郎、水島未記、手塚薫	『蝦夷草木図』写本の比較	135~176
				三浦泰之	ウィーン万国博覧会と開拓使・北海道	177~206
				山田伸一	開拓使による狩猟規制とアイヌ民族 : 毒矢猟の禁止を中心に	207~228
2002	3		30	小林孝二	アイヌ民族の住居(チセ)に関する研究-2 : 北海道における民家研究史の検討と竪穴住居から平地住居への変容過程についての考察	39~52
「アイヌ民族の住居(チセ)に関する研究」は同館『北の文化交流史研究事業研究報告』(2000年)に掲載。						
				山田伸一	「北海道旧土人保護法」による十勝アイヌの共有財産管理	75~96

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
2003	3	31		鈴木琢也	北海道出土の須恵器 : 北海道開拓記念館所蔵資料より	29~42
				池田貴夫	『北海記』にみるクマ送り	71~76
				山田伸一	「北海道旧土人保護法」による既所有地の所有権制限 : 第2条第3項の適用事例	99~110
				三浦泰之、笹木義友	〈研究ノート〉松浦武四郎「北海道国郡検討図」について	111~136
2004	3	32		山田伸一	千歳川のサケ漁規制とアイヌ民族	119~142
2005	3	33		鈴木琢也	擦文文化における物流交易の展開とその特性	5~30
				右代啓視	北方諸地域における古代・中世の要害遺跡	31~46
				手塚薫、池田貴夫、三浦泰之	接触・交錯するアイヌと和人のまつり : 『北役紀行』記載、文久3(1863)年ハママシケの神社祭礼とクマ送りから	47~66
				山田伸一	アイヌ語地名の近現代史に関するノート	122~101
2006	3	34		出利葉浩司	写真に残されたアイヌ資料 : セントルイス万国博覧会に参加したアイヌの人々とその道具	41~56
				東俊佑	北蝦夷地在住・栗山太平の活動	57~80
				三浦泰之	開拓使に雇われた「画工」に関する基礎的研究	81~112
				田村将人	20世紀前半のある樺太アイヌ村落の歴史的な位置づけ	113~128
				山田伸一	「北海道鹿猟規則」施行後のアイヌ民族のシカ猟	156~129 (縦組1~28)
2007	3	35		小林幸雄	函館市臼尻B遺跡出土漆製品の材質と技法	11~24
				出利葉浩司	セントルイス万国博覧会で『展示』されたアイヌ衣服について	25~42
				舟山直治、三浦泰之ほか	18世紀中頃のアイヌ絵をめぐって	43~66
				東俊祐	幕末期北蝦夷地における大野藩のウシヨ口場所経営	67~86
				田村将人	白浜における集住政策の意図と樺太アイヌの反応	87~100
2008	3	36		山田悟郎	中・近世アイヌ民族の農耕活動の実態について : 発掘された畝跡と種子をもとにして	37~56
				出利葉浩司	ハイラム・ヒラーが残したガラス乾板	69~78
				舟山直治、手塚薫、池田貴夫	北海道における獅子舞とその伝承 : 物質文化から見えるもの	79~102
				山田伸一	遊楽部川へのサケ種川法導入と地域住民	124~103 (縦組)
2009	3	37		舟山直治	北海道における獅子頭の再利用に関する研究	59~68
				小林孝二	前幕領期の東蝦夷地各場所における建築活動 : 『東蝦夷地各場所様子大概書』および『東行漫筆』から見た和人の建築活動	83~94
				出利葉浩司	フレデリック・スターが「選んだ?」アイヌ資料 : セントルイス万国博覧会、その後	95~114
				宮武公夫	1910年日英博覧会におけるアイヌ展示 : ハンマースミスとフルハム文書館および地域歴史センターにおける写真資料を中心に	115~128
				東俊佑	北蝦夷地における直捌の展開と越後差配人の漁場開設	200~165
				山田伸一	札幌県による十勝川流域のサケ禁漁とアイヌ民族	222~201
<b>北海道開拓記念館調査報告</b>				<b>北海道開拓記念館</b>		
2000	3	39		右代啓視、小林幸雄、山田悟郎、村上孝一、為岡進	枝幸町ウバトマナイチャシ第2次発掘調査概報	73~94
				林昇太郎	資料紹介 三笠市幌内神社所蔵 義経蝦夷渡り伝説絵馬	95~100
				山田伸一	史料紹介 『事業日誌』と内田瀨のフィールドノート : 1890年の殖民地区画測設の記録	101~114
2001	3	40		氏家等、池田貴夫、舟山直治、右代啓視	臼・杵類の分布、形態、用途に関する調査報告	1~34
				水島末記	余市町豊浜の稻荷神社に置かれていた鯨骨	35~44

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
				林昇太郎	木戸竹石覚書	89～106
				山田伸一	史料紹介 殖民地撰定員山本信『日誌』	115～128
2002	3	41		山田伸一	オオカミ、ヒグマ、カラス : 明治期北海道における「有害鳥獣獲殺手当」をめぐる	67～92
				出利葉浩司、山田健、関秀志、矢島睿、野村崇	北海道における鮭漁の歴史と漁労文化	123～152
2003	3	42		山田伸一、海保嶺夫、寺林伸明、林昇太郎、三浦泰之	幕末・明治の北海道における文化と民族に関する研究 : 平成14年度調査概報	45～48
				三浦泰之	〈史料紹介〉 河野常吉資料『絵画集』	123～152
2004	3	43		右代啓視、鈴木琢也、山田悟郎、平川善祥、村上孝一、添田雄二、為岡進	稚内市増幌チャシの地形測量調査報告	67～78
				三浦泰之、東俊佑	『松本吉兵衛紀行絵巻』について : 安政6年(1859)秋田藩士の蝦夷地紀行	89～128
2005	3	44		右代啓視、鈴木琢也、山田悟郎、平川善祥、村上孝一、添田雄二、為岡進	稚内市増幌川口2号チャシの地形測量調査報告	67～78
				手塚薫、舟山直治、三浦泰之	『庄内藩蝦夷地風俗絵巻』にみる民俗芸能	214～189 (縦組)
2006	3	45		舟山直治、為岡進	北海道における民俗芸能の伝承に関する研究 : 2005(平成17)年度調査概要	63～74
				右代啓視、鈴木琢也、山田悟郎ほか	稚内市泊岸1号・2号チャシの地形測量調査報告	87～106
				出利葉浩司	バシフォード・ディーンが収集したアイヌ民族資料について : ディーン・ノート 解題	107～174
				松本あづさ、三浦泰之、東俊佑	近藤家資料のなかの異国船関係史料	242～205 (縦組1～38)
2007	3	46		鈴木琢也、右代啓視、村上孝一	浦臼町晩生内2号チャシの地形測量調査報告	17～28
				右代啓視、鈴木琢也ほか	礼文町沼の沢チャシの地形測量調査報告	69～82
				田村将人	『サガレン新聞』(1921-1924年)掲載アイヌ関係記事:目録と紹介	179～188
2008	3	47		鈴木琢也、右代啓視、村上孝一	浦臼町晩生内1号チャシの地形測量調査報告	15～28
				山田伸一	明治期北海道の火山と禿山	29～38
「アイヌ民族との関係」あり。						
				右代啓視、鈴木琢也、山田悟郎、平川善祥、村上孝一、森田知忠、清水昌樹、春日拓也	稚内市サンナイ遺跡の地形測量調査報告	39～58
				三浦泰之、山本命、東俊佑	近世後期から近代初期に形成された知識人ネットワークに関する基礎的研究 : 2007(平成19)年度調査報告	71～86
「松浦武四郎に焦点をあて、近世後期から近代初期における知識人ネットワークの具体相とその特質を明らかにすること」(「はじめに」による)を主な目的とした研究の調査報告。						
				矢口祐人	ハイラム・ヒラー書簡 : 1901年の北海道より	87～100
				松本あづさ、三浦泰之、東俊佑	近藤家資料のなかの書状について(2) : 嘉永七年(一八五四)幕吏蝦夷地巡見随行関係文書	232～163 (縦組)
2009	3	48		鈴木琢也、右代啓視、村上孝一	根室市別当賀川口1号チャシ・別当賀川口6号穴群の地形測量調査報告	23～38
				田村将人	網走の観光資源とサハリン先住民文化に関する新聞資料(1)	49～70
				矢口祐人、出利葉浩司	ロミン・ヒチコックが語った北海道・アイヌの人々	113～130
				松本あづさ、三浦泰之	史料紹介 札幌市中央図書館所蔵 松浦武四郎自筆『交友名簿帳』	226～187 (縦組)
				<b>北海道開発グラフ</b>	<b>北海道開発協会</b>	
2005	11	43		岩井國臣、加藤忠、飴谷長藏、野本勝信、村木美幸、本多満	アイヌ文化に関する座談会	14～15

「岩井国土交通副大臣が来道、白老町と栗山町で座談会を行いました」(14～17頁)の一部

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ほっかいどう

				<b>ほっかいどう観光百景</b>		<b>北海道観光宣伝社</b>	
2007	4	46	4	木原直彦	文学に見る北の風景 第47回 沙流川 金田 33	一京助「太古の国の通路から」	
				<b>北海道教育大学紀要(教育科学編)</b>		<b>北海道教育大学</b>	
2004	9	55	1	吉田正生	中学校社会科歴史教科書に現れたアイヌ民族関係記述について : 中近世史記述に限定して		121~132
2005	2	55	2	吉田正生	中学校社会科歴史教科書に現れたアイヌ民族関係記述について(その2) 中近世史記述に限定して		155~169
2005	8	56	1	吉田正生	中学校社会科歴史教科書に現れたアイヌ民族関係記述について(その3) 中近世史記述に限定して		173~182
2006	2	56	2	吉田正生	中学校社会科歴史教科書に現れたアイヌ民族関係記述について(その4) : 中近世史記述に限定して		97~105
2007	2	57	2	鈴木哲雄 吉田正生	アイヌの歴史文化学習の課題と可能性 中学校社会科歴史教科書に現れたアイヌ民族関係記述について 第2章 表象のアリーナ		125~139 141~155
				<b>北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編</b>		<b>北海道教育大学</b>	
2006	2	56	2	羽岡宏成	先住民族と裁判所 : アメリカ合衆国における先住民族裁判所の管轄権問題からの視座		57~68
2006	2	56	2	井筒勝信	アイヌ語の品詞分類再考 : いわゆる人称代名詞をめぐって		13~27
2007	2	57	2	井筒勝信 山田祥一	日本語とアイヌ語の証拠性 アイヌ語の動詞raykeの意味に関する一考察		123~136 137~145
2007	8	58	1	羽岡宏成	多数者と少数者の人権意識・前編 アイヌ文化振興法をめぐる意識調査の統計的分析からの一考察		29~41
2008	2	58	2	羽岡宏成	多数者と少数者の人権意識・後編 -アイヌ文化振興法をめぐる意識調査の統計的分析からの考察-		17~25
				<b>北海道暮らし</b>		<b>北海道文化振興課</b>	
2001	10			25	アイヌの伝統弦楽器・トンコリが、未来へのメッセージを紡ぎ出す。オキさん		8~10
				<b>北海道経営</b>		<b>北海道経営者協会</b>	
2008	2			706	アイヌ語地名[表紙解説]		1
2008	3			707	アイヌ口承文芸[表紙解説]		1
				<b>北海道経済</b>		<b>北海道経済</b>	
2000	7			379	東北の佐々木豊さん宅で金田一京助氏の直筆遺稿発見!!「アイヌの話」序文		92~93
2001	6			390	浜田康裕	時代屋で見つけた旭川のお宝③	127
2008	5			473		旭川市指定文化財「国見の碑」の建立場所は間違っている?	86~91
2008	7			475	西田稔	旭川のイオル再生事業 旭川誘致は100年経っても無理	102~105
					的場光昭	天定破人(52) 民族紛争	216
2008	8			476	村上	今津寛代議士が咬み付かれた手ごわい相手/国会の「アイヌ民族を先住民とすることを求める決議」の陰に隠れた問題点とは…	80~85
					的場光昭	天定破人(53) 全会一致	244
2008	9			477	的場光昭	天定破人(54) 名誉	199
2008	10			478	的場光昭	天定破人(55) 嘘-土人考-	216
2008	12			480		旭川市博物館リニューアルオープン 知られざるアイヌの歴史と文化を伝える	106~108
					的場光昭	天定破人(57) アイヌ	220

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
2009	2		482	的場光昭	天定破人(59) アイヌ民族の定義	200
2009	4		484	西田稔	どこへ行く?アイヌ語旭川方言の研究 道教大の准教授はアカハラで解雇—一方でアイヌ自身による研究も進む	72～74
2009	5		485		パーテング協会旭川支部 アイヌ紋様衣装を旭川市博物館に寄贈	59
					チャリティーの益金でアイヌ紋様の衣装を寄贈 伊藤憲司	203
2009	6		486	的場光昭	天定破人(63) 過ち	212
2009	7		487		アイヌ民族排斥の歴史的事実に光 郷土研究家・松田さんが自費出版	120～121
2009	8		488	的場光昭	天定破人(65) 謝罪	244
2009	10		490	的場光昭	天定破人(67) 過ち	214
<b>北海道経済</b>				<b>北海道経済研究所</b>		
2007	11		496	石城謙吉	沙流川水系のダム問題 : 二風谷ダムの現状と平取ダム建設への疑問	1～15
<b>北海道考古学</b>				<b>北海道考古学会</b>		
2000	3		36	女鹿潤哉	「クマ祭儀」の行方 縄文時代後期～弥生時代中期の北部 東北地方と北海道における「クマ意匠」をめぐる一考察	47～64
					1999年度研究例会記事	140～142
2001	3		37	瀬川拓郎	石狩川水系における擦文集落の形成	107～113
					2000年度研究例会記事	123
				西脇対名夫	「マレクとアイヌ社会」	123
2002	3		38	女鹿潤哉	後北C <sub>2</sub> -D式土器の東北北半域への展開と「えみし」社会の成立	31～46
2004	3		40	小野哲也	アイヌ文化期	119～130
特集:北海道考古学の現状と課題						
2005	3		41	サリモヴァ・グリナラ、竹内亮介 小野哲也	続縄文からアイヌ文化期における骨角製銚頭の様相 : 小幌洞窟・増市遺跡出土銚頭の再検討 北海道域を取り巻く製品流通状況について : 鉄鍋の検討による	55～76 77～89
2006	3		42	女鹿潤哉 西田茂 簗島栄紀	下北アイヌ社会成立についての一考察 石狩低地帯南部における遺跡の形成と水位の変動 [書評]瀬川拓郎著『アイヌ・エコシステムの考古学 : 異文化交流と自然利用からみたアイヌ社会成立史』	93～108 109～116 135～138
2007	3		43	天野哲也 長沼孝 藤田登 寺崎康史 武田修 畑宏明 松田宏介 荒山千恵 小野哲也 瀬川拓郎 佐藤孝雄 天野哲也 岩崎卓也、前田潮ほか	特集にあたって 森町鷲ノ木遺跡の保存と史跡指定 鷲ノ木遺跡の調査と将来構想 史跡ピリカ遺跡の保存と活用について 史跡常呂遺跡の保存と活用 私の文化財保護 開発と遺跡保存の間で 粗製石鏃小考 続縄文期における石器の仮器化 籠形木製品について 北海道域出土鉄鍋の生産地 [書評]松本建速著『蝦夷の考古学』 [書評]天野哲也、間野勉、増田隆一編著『ヒグマ学入門 自然史・文化・現代社会』 北構保男博士の米寿を言祝ぐ 北構保男先生の米寿に寄せて	1～2 3～14 15～16 17～24 25～32 69～80 81～95 97～112 113～122 123～125 127～131 133 133～135
略歴及び著作目録あり。						
2008	3		44	山浦清	プロト=アイヌ期以降における銚頭の変遷とその背景 —下北半島出土の銚頭を出発点として—	1～20

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
2009	3	45		瀬川拓郎	宝の王の誕生 - アイヌの宝器「鍬形」の起源をめぐる形式学的検討	1~15
				三谷智宏	アイヌ文化期の貝塚からみる生業構造の検討	15~30
<b>(北海道史研究協議会)会報</b>				<b>北海道史研究協議会</b>		
2007	6	80		谷本晃久	北海道・東北史研究会創立20周年記念例会の概要	
『北海道・東北史研究会会報』2006年第4号(2006年12月)掲載を一部改訂して再掲。						
<b>北海道自治研究</b>				<b>北海道地方自治研究所</b>		
2000	9	380		尚	豊かさをゆとりに ゆとりをやわらぎに 健康、ふれあい、おもいやりを大切に する町 胆振管内-白老町	34~37
2001	10	393			北海道議会開設百年記念式典と先住民族の不在	1
2002	1	396		萱野茂、花崎皋平、山内亮史	鼎談 多文化共生の大地北海道と21世紀の希望の芽 人間的富と豊かさの再生を求めて	4~15
2006	5	448			萱野茂さんが言い遺したこと	17
<b>北海道児童文学</b>				<b>日本児童文学者協会 北海道支部</b>		
2001	6	85		菊地慶一	コロボックルの復活	4~5
2007	4	91		篠原裕子	「ワカルバ物語」の主題について	11~13
『飛ぶ教室』2005年秋号掲載の「ワカルバ物語」(神沢利子)に関するエッセイ。						
2009	3	93		相川公司	(創作)本を彫る人・フミオさん	35~41
<b>北海道社会文庫通信</b>				<b>堅田清司</b>		
2000	2	977		堅田精司	木下源吾の五万円請求	1~6
2000	6	1105		堅田精司	川村三郎のこと	4
2000	6	1109		堅田精司	アイヌ補導員のこと	1~2
2000	7	1137		堅田精司	札幌のコタン	2~3
2000	8	1163		堅田精司	長知内小学校の廃校	4
2000	8	1170		堅田精司	『十勝史』に登場するアイヌ民族	1~2
				堅田精司	十勝アイヌ旭明社の創立	2~3
2000	8	1183		堅田精司	違星北斗の短歌	2~3
2000	8	1186		堅田精司	違星北斗の短歌2	3
				堅田精司	宮澤弘幸のアイヌ研究	3~4
				堅田精司	十勝アイヌの移転	3~4
2000	8	1185		堅田精司	孫引きのおわび 旭川合同労働組合 豊栄支部 について	1
2000	9	1191		堅田精司	違星北斗の短歌3	1
2000	9	1194		堅田精司	違星北斗の短歌4	4
2000	9	1204		堅田精司	稲畑笑治の違星北斗追悼文	1~3
2000	10	1228		堅田精司	春採給与地の再下付	1~2
2000	10	1235		堅田精司	佐茂菊蔵のこと	4
2000	10	1240		堅田精司	和泉盛のこと	2~3
2000	10	1242		堅田精司	アイヌ青年の大会	2~4
				堅田精司	樺太多蘭泊のアイヌ民族	4
2000	10	1250		堅田精司	古川忠四郎のこと	2~4
				堅田精司	豊栄相互団の救済要求	3~4
2000	11	1259		堅田精司	豊栄互助国の生活改善	1
2000	11	1262		堅田精司	空知寛のこと	4
2000	11	1270		堅田精司	ソビエト領のアイヌ民族	2~3
2000	11	1271		堅田精司	アイヌ民族にものを聴く座談会	2~3
2000	11	1276		堅田精司	イヨマンテ禁止に対するアイヌ民族の見解	3~4
2000	11	1279		堅田精司	門野ハウトムテイの表彰	4

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
ほっかいどう						
2000	11	1280	堅田精司	川上コヌサアイヌ家のイオマンテ	1~2	
2000	12	1281	堅田精司	亭生のアイヌ矯風部弁護論	1~2	
2000	12	1296	堅田精司	高橋真の軍事探偵志願	1~2	
2000	12	1298	堅田精司	普選とアイヌ民族	4	
2000	12	1300	堅田精司	石川たつ子のこと	3	
			堅田精司	高木とみのこと	3	
2000	12	1301	堅田精司	樺太アイヌという言葉	3~4	
2000	12	1303	堅田精司	豊栄青年団の綿羊飼育	2~3	
2000	12	1304	堅田精司	1932年の近文アイヌ民族の運動日誌	2	
2000	12	1306	堅田精司	森竹竹市のアイヌ更生同志会結成	4	
2000	12	1307	堅田精司	川村才登の上京運動	1	
			堅田精司	アイヌ地区の断線	1~2	
			堅田精司	"仏法僧"事件	2~3	
			堅田精司	近文アイヌ民族の出征	3	
			堅田精司	長万部のイオマンテ	4	
2000	12	1308	堅田精司			
2000	12	1308	堅田精司	「高台の子供」	3~4	
2000	12	1311	堅田精司	アイヌ文化参考館の開館	4	
2001	1	1314	堅田精司	道東のアイヌ民族大会	4	
2001	1	1318	堅田精司	砂澤市太郎と救世軍	2	
2001	1	1321	堅田精司	街頭録音の熊送り論議	4	
2001	1	1322	堅田精司	大典記念のイオマンテ	3~4	
2001	1	1328	堅田精司	邊泥和郎のコタン童話	4	
2001	1	1339	堅田精司	佐茂菊蔵の活動	1	
			堅田精司	明石四のこと	1~2	
			堅田精司	津屋榮のこと	2	
			堅田精司	豊栄小学校のイオマンテ	4	
2001	1	1342	堅田精司	八雲コタンの指導者	1~2	
2001	2	1343	堅田精司	アイヌ民族の芸能人	4	
2001	2	1345	堅田精司	川上コヌサアイヌの一族	3~4	
2001	2	1350	堅田精司	近文コタンの熊彫組合	1~2	
2001	2	1353	堅田精司	近文コタンの窃盗事件	4	
2001	2	1359	堅田精司	近文コタンの運動会	4	
2001	2	1360	堅田精司	1917年のイオマンテ	2~3	
2001	2	1362	堅田精司	中村要吉のアイヌ代表会議開催請願	4	
2001	2	1367	堅田精司	常呂のイオマンテ	1	
			堅田精司	近文コタンの指導権	1~2	
			堅田精司	平取アイヌの京都興行	2~3	
			堅田精司	平岡定太郎のアイヌ保護資金費消	3~4	
			堅田精司	音更コタンの婦人指導者	4	
2001	2	1369	堅田精司	川上コヌサアイヌ批判	1~2	
			堅田精司	貝澤藤蔵の訴え	2~3	
			堅田精司	鹿川利助と解平社	3	
2001	3	1378	堅田精司	小樽のイオマンテ興行	2	
2001	3	1384	堅田精司	川上モノクテの葬儀	1~4	
2001	3	1386	堅田精司	南極残留樺太犬	3~4	
2001	3	1388	堅田精司	南極探検とアイヌ	2	
2001	3	1389	堅田精司	アイヌ民族の不良教師糾弾	1	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
				堅田精司	新聞記者の川上コヌサアイヌ訪問記	2~4
				堅田精司	台覧イオマンテ	4
2001	3		1394			
2001	4		1404	堅田精司	大川原コピサントクの公害闘争	3~4
2001	4		1405	堅田精司	白老土人協会	4
2001	4		1412	堅田精司	川上コヌサアイヌのこと 追加	1
2001	4		1414	堅田精司	川村三郎のこと	1
				堅田精司	松井國三郎のこと 改定	2
				堅田精司	エカシパのこと	2~3
2001	4		1416	堅田精司	山邊安之助のこと	4
2001	4		1417	堅田精司	川村モノクテのこと	1
				堅田精司	鶴川のイオマンテ	2
				堅田精司	樺村勇左衛門のこと	3
2001	4		1428	堅田精司	貝澤久之助の運動	2~4
2001	4		1431	堅田精司	アイヌ民族の日本脱出	2
2001	5		1449	堅田精司	吉田菊太郎のこと	1~2
2001	5		1456	堅田精司	川上コヌサアイヌの家庭程	3
2001	6		1473	堅田精司	札幌の熊祭り	3~4
2001	7		1495	堅田精司	イオマンテ論争	4
2001	8		1540	堅田精司	アイヌ民族の支持政党	2
2001	9		1571	堅田精司	1907年の樺太アイヌ民族	1~2
2001	9		1580	堅田精司	「十勝毎日新聞」のアイヌ民族思想運動報道	4
2001	10		1585	堅田精司	森竹竹市と「北海道大(ママ)国大学新聞」	2
2001	10		1587	堅田精司	塘路のイオマンテ	2~3
2001	10		1613	堅田精司	榛幸太郎のこと	2~3
2001	11		1645	堅田精司	遠星滝次郎について	3
2001	12		1676	堅田精司	保導員のコタン改善	4
2002	1		1682	堅田精司	ベカンベ祭り	1
				堅田精司	春採の保導指導委員のこと	2
				堅田精司	一度死んだ釧路の旧土人	2~3
				堅田精司	標茶におけるアイヌ民族土地下付状況 1933年	3
2002	1		1694	堅田精司	近文コタンのイオマンテ奉納	3
2002	1		1699	堅田精司	アイヌ語地名に対する蔑視	4
<b>北海道じゃらん</b>					<b>リクルート北海道じゃらん(発行)、リクルート(発売)</b>	
2009	8	16	8	196 小西由稀(取材・文)、石田理恵(撮影)	白老でアイヌ文化の魅力再発見	98~101
<b>北海道生涯学習研究</b>					<b>北海道教育大学生涯学習教育研究センター</b>	
2007	3		7	斎藤祥子、藤田和佳奈	アイヌ衣服と文様	59~66
<b>北海道生活</b>					<b>アイリー出版</b>	
2007	5		4		アイヌの食 おおうばゆり 【トゥレフ】	107~109
2007	11		6		アイヌの食 鮭	107~111
2008	2		7		ポネ鍋	48
				網野由利子・大司明子(文)、菅原誠人(写真)	アイヌの手仕事に触れる	74~80
2008	5		8	チカupp美恵子	アイヌ・モシリの春(パイカラ)	65~67
2008	9		9	三宅里加子(文)、菅原誠人(撮影)	アイヌ文化の伝承 -「ポロトコタンの夜」への誘い-	76~78
2008	11		10	三宅里加子(文)、菅原誠人(撮影)	アイヌ文化の伝承 -伝承を守り継ぐ人たち~	51~55
2009	2		11	千葉剛史(文)、齊藤則雄(写真)	アイヌ文化の伝承・特別編 吉良平治郎が伝えるもの ~「アイヌ送人 吉良平治郎」観劇記~	93~95

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
2009	5		12	津田命子	アイヌの衣服文化第一回 アミフAmip	99~103
2009	8		13	津田命子	アミフAmip アイヌの衣服文化 第二回	109~113
2009	11		14	津田命子	アミフAmip アイヌの衣服文化 第三回	101~105
<b>北海道大学総合博物館研究報告</b>				<b>北海道大学総合博物館</b>		
2004	3	1		佐伯有清	北大構内サクシュコトニ川遺跡出土の「夫」字土器研究とその後 : 発掘から20年の後に	81~99
<b>北海道大学総合博物館ニュース</b>				<b>北海道大学総合博物館</b>		
2004	1	8			第4回企画展「アイヌ民族楽器 : ムックリ・トシコリ」	4
<b>北海道大学大学院文学研究科紀要</b>				<b>北海道大学大学院文学研究科</b>		
2005	2		115	宮武公夫 佐藤知己	黄色い仮面のオイディプス アイヌと日英博覧会 六種対照『アイヌ神謡集』(1) 校本作成のための資料と本文をめぐる諸問題	21~57 103~127
2006	2		118	宮武公夫	博覧会の記憶 : 1904年セントルイス博覧会とアイヌ	45~93
<b>北海道大学文学研究科紀要</b>				<b>北海道大学</b>		
2002	12		108	宮武公夫	人類学とオリンピック - アイヌと1904年セントルイス・オリンピック大会 -	1~22 (横組)
2004	2		112	佐藤知己	アイヌ文学における一人称体の問題	171~185
2004	7		113	煎本孝	アイヌ文化における死の儀礼の復興 : 紛争解決、共生、行為主体	31~64
2007	2		121	佐藤知己	『藻汐草』の「一冊本」について	157~170
2008	2		124	佐藤知己	アイヌ語古文書における言語学的諸問題	153~180
2009	2		127	佐藤知己	18世紀前半のいくつかのアイヌ語資料について	29~58 (横組)
<b>北海道東海大学紀要</b>				<b>北海道東海大学国際文化学部</b>		
2001	3	13		沖野慎二	合衆国国立自然史博物館所蔵サハリン・アイヌ資料の背景について - 札幌農学校はいかにして関わったか -	1~16
<b>北海道・東北史研究</b>				<b>サッポロ堂書店</b>		
2004	12	1		坂田美奈子	アイヌモシリにおけるウレシバの原則 : 複数の視点から見る前近代蝦夷地社会史にむけて	2~17
				谷本晃久	網走の漆は誰が植えたか? : あるいは、斜里アイヌの歴史意識をめぐって	56~61
				女鹿潤哉	[自著自解]『古代「えみし」社会の成立とその系統的位置付け』 岩手県立博物館調査研究報告書第18冊	65~67
				三浦泰之	[新刊紹介]菊池勇夫編『蝦夷島と北方世界』	68
				大内晶子	[新刊紹介]河野本道著『アイヌ史新聞年表』 : 『小樽新聞』(明治期)編	68~69
				澤井玄	[新刊紹介]菊池俊彦著『環オホーツク海古代文化の研究』	69
				東俊佑	[新刊紹介]松浦茂編『13世紀以降のアムール川下流・サハリン地方に関する研究』	69~70
				兎内勇津流	サハリン郷土誌ビュレティン総目次(1) 1990-1994	72~87
2005	12	2		谷本晃久	[史料紹介]大正期、札幌への進学と郷里の対応を示す史料2点	1
				コラー・スサンネ	天明期の幕府による千島探検	2~18
				東俊佑	幕末カラフトにおける蝦夷通詞と幕府の蝦夷地政策	19~34
				白井哲哉	義経渡海説を語らせたのは誰か : 近世武蔵国の事例から	47~55
				菊池勇夫	蔓延する「義経北行伝説」 : 伝説をいかに解体するか	69~73
				兎内勇津流	サハリン郷土誌ビュレティン総目次(2) 1995-1999	72~87

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ほっかいどう

					松本あづさ	[新刊紹介]佐々木利和・古原敏弘・児島恭子編『街道の日本史1 アイヌの道』	99
2006	12	3			市毛幹幸	18世紀末における近世国家とアイヌ社会の関係秩序 : クナシリ・メナシの戦いのアイヌ仕置を手掛りとして	18~34
					山崎幸治	アイヌ史研究におけるモノと文献 : シーボルトの「蝦夷細工」を中心に	65~79
2007	12	4			田村将人	温存された首長の役割 : 樺太庁が任命した樺太アイヌの「土人部落総代」について	36~53
					奥田統己	アイヌ語研究の足下 : 坂田美奈子「アイヌモシリにおけるウレシバの原則」(『北海道・東北史研究』1,2004年)をめぐって	80~85
2009	4	5			田端宏、河西英通	[書評]榎森進著『アイヌ民族の歴史』	98~108
					山本命	重要文化財指定「松浦武四郎関係資料」と「蝦夷屏風」	1~2
					滝澤正	明治初年アイヌ昆布漁家の「経営」と「家計」 - 様似郡の例にみる -	
					O. Y u. デチャーヒン(著)、中川昌久(訳)	7~14世紀におけるサハリン諸民族の対外関係(上) - 考古学資料と文面資料の概観	23~44
					東俊佑	北東アジアの歴史文化に関する近年の研究動向 - 4つの加権報告書をもとに -	64~69

北海道のつり

水交社

2004	1	34	1	397	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.5 和人は舟を食う	102~103
2004	2	34	2	398	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.6 キャッシュ・ボックス……銭函?	113~115
2004	3	34	3	399	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.7 春のさががけ・福寿草……そして「知来別」追想	113~115
2004	4	34	4	400	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.8 「る」の付く地名	113~115
2004	5	34	5	401	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.9 「セキタン岬」はどこ?	111~113
2004	6	34	7	403	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.10 逆流していた豊平川!?「対雁」と書いて「ツイシカリ」	111~113
2004	7	34	8	404	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.11 「死骨」はブキミなので「千歳」	115~117
2004	8	34	9	405	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.12 嗚呼、憧れのモーラップ・キャンプ場!	113~115
2004	9	34	10	406	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.13 せめてエ〜歌棄、磯谷ま〜でエ〜	113~115
2004	10	34	11	407	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.14 「鮭の漁場」が「一番(いっちゃん)」大事!!	111~113
2004	11	34	12	408	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.15 「鰻」と「蝦」は畏れ多「イ」	111~113
2004	12	34	13	409	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.16 「札幌扇状地」を形成した「豊平川」	110~113
2005	1	35	1	410	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.17 ゴキブリはいなかった	113~115
2005	2	35	2	411	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.18 ほいど溪師の本領発揮! アメマス釣ってトクをシン	113~115
2005	3	35	3	412	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.19 ゴメが鳴くから鯨が来るとオ〜	117~119
2005	4	35	4	413	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.20 「円山」が「モイワ」で、「藻岩山」は「インカルシベヌプリ」	112~113
2005	5	35	5	414	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.21 嗚呼! 懐かしき「つきさつぶんばん」	112~113
2005	6	35	6	415	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.22 水清ければ魚住まず	110~111
2005	7	35	7	416	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.23 You know 夷?	108~109
2005	8	35	8	417	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.24 外道の王様『カラス貝』	108~109

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>ほっかいどう</b>							
2005	9	35	9	418	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.25 『サニナイ』にご注意	103～105
2005	10	35	10	419	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.26 Anyone ins't ENIWA	103～105
2005	11	35	11	420	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.27 道内6ヶ所…11月登録目指す	103～105
2005	12	35	12	421	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行Vol.28 冬季五輪から三十余年!!	103～105
2006	1	36	1	422	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.29 札幌の「奥座敷」・定山溪 その1	105～107
2006	2	36	2	423	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.30 札幌の「奥座敷」・定山溪 その2	113～115
2006	3	36	3	424	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.31 カムイが住んでるカムイコタン	109～111
2006	4	36	4	425	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.32 難読地名地帯を歩く・その1	105～107
2006	5	36	5	426	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.33 難読地名帯を歩く その2	105～107
2006	6	36	6	427	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.34 発寒区ができる!?	105～107
2006	7	36	7	428	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.35 「毛無山」には「毛」は「無い」か?	107～109
2006	8	36	8	429	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.36 らんらん、海水浴だ!	105～107
2006	9	36	9	430	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.37 さら・さり・さる・され・さる	107～109
2006	10	36	10	431	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.38 藻麓と標津	103～105
2006	11	36	11	432	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.39 誰もがみい～んな知っている「おしゃまんべ」	103～105
2006	12	36	12	433	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.40 「祝津」と書いて「しゅくずし」…小樽と室蘭両方に	103～105
2007	1	37	1	434	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.41 東西はあるけれど南北はない	107～109
2007	2	37	2	435	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.42 襟～裳の春は～ア 何もない春ですウ～	103～105
2007	3	37	3	436	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.43 『輪厚』it?	103～105
2007	4	37	4	437	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.44 トに○	103～105
2007	5	37	5	438	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.45 「心太」と書いて…	105～107
2007	6	37	6	439	榊原正文	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol.46 世界一小さい哺乳類	102～104
<b>北海道の文化</b>					<b>北海道文化財保護協会</b>		
2000	2			72	青野友哉 難波琢雄・青木延広 富水慶一 増田又喜 扇谷昌康 池田泰彦	表紙写真解説[伊達市館山チャシ址 沖の神(シャチ)とカムイギリ アイヌの財宝「クワサキ」考 アイヌ伝統音楽を尋ねて(八) 新冠町・大狩部と三石町・歌笛の語源 わせに陥り易いアイヌ語地名ー 三角測量を支えた人々 平取町・日高町における無名の測量官と忘れられた案内人	表紙裏 15～23 47～54 55～62 63～73 74～103
2001	3			73	萩中美枝 平山裕人 増田又喜 榎原匡幸・東日出男 地蔵慶護 土屋良雄	『北海道の文化』創刊のころ 「近世」高島地域のアイヌ語地名 アイヌ伝統音楽を尋ねて(九) 幕末期の紋別地方における蝦夷地経営ーモンベツ御用所文書に見るー 恵庭市ラルマナイ川の滝群 北海道犬小史	10～11 19～29 48～55 65～74 75～82 83～91

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
2002	3	74		冨水慶一	アイヌ家屋の神窓方位考察	68~79
				増田又喜	アイヌ伝統音楽を尋ねて(十)	97~105
				山本融定	『生誕百年 森竹竹市小伝』	106~114
				横田直成	栗山町 桜山出土の『鍬形』 東京国立博物館収蔵品を復元複製	115~129
2004	3	76		福岡イト子	二十一世紀型に合わせた思考と感性	16~17
				大島秀俊	北海道の古代出土文字資料について	28~37
				冨水慶一	近世蝦夷地の考古学史概説(下) : 松浦武四郎の蝦夷地紀行と考古観	38~48
				横田直成	アイヌの祈禱祭祀具『鍬形』その二 北海道ゆかりの三枚 小樽市と東北歴史博物館で確認	95~111
2005	3	77		高橋規	追悼 安東ウメ子さん	10~11
				斉藤傑	私と考古学・2004年秋	15~18
				上屋真一	恵庭市カリンバ3遺跡の墓と副葬品	19~27
				井上壽	アイヌと虫の生活誌(補遺)	28~35
				地蔵慶護	水戸藩と蝦夷地	36~44
				三好勲	アイヌ語地名「キキン」をめぐる : 木禽原野、津別町恩根・本岐	67~73
2007	3	79		岡田淳子	北海道の文化としてのアイヌ文化	2~4
				長澤政之	小平町臼谷稲荷神社の「弁才天碑」	10~19
				越田賢一郎	ガラス玉の話② ガラス玉の道 : 松井恒幸氏「北のガラス史のための覚書」をめぐる	19~31
				山本融定	コタンの父 高橋房次小伝	45~57
				鈴木仁	菱沼右一と樺太郷土会	58~68
				地蔵慶護	菅江真澄と蝦夷地	98~106
				竹田輝雄	史跡「手宮洞窟」の御難	107~113
2008	3	80		卜部信臣	新十津川の丸木舟について	8~10
				鈴木仁	西鶴定嘉 一樺太史を綴った生涯	18~28
				青柳文吉・編	アイヌ民俗文化財調査報告書誌目録	97~108
2009	3	81		岡田淳子	和服をリフォームしたアイヌ衣装 ー新十津川開拓記念館の収蔵資料	12~21
				山本融定	コタンを訪ねて (八) ~厚真川流域の人々~	22~31
				平山裕人	アイヌの蜂起と自然災害	32~41
<b>北海道方言研究会会報</b>				<b>北海道方言研究会</b>		
2000	8	72		三橋誠之	日本語の深層について	1~12
2001	8	74		三橋誠之	羊蹄(ギシギシ草)の方言170について	22~30
				武沢和義	蝦夷地の開拓と北海道の義経伝説	33~42
2002	9	76		三橋誠之	地名の方言変化 ー江戸と伊豆ー	51~58
2003	3	77		三橋誠之	水・ワカ・ワッカ	1~6
第149回例会発表資料。						
2004	6	79		三橋誠之	北海道弁の中のアイヌ語	23~24
第157回例会発表資料。						
				三橋誠之	地名の由来 「オタ・ウタ」について	33~36
第158回例会発表資料。						
2005	12	81		三橋誠之	地名藻岩・遠軽・五十嵐の謎 : 地名藻岩・遠軽・五十嵐の語源について	25~28
第163回例会発表資料(2005年6月12日)。						
				小野米一	アイヌに関する国語教科書教材	60~80
第165回例会発表資料(2005年11月13日)。						
2006	8	82		三橋誠之	九州の古地名と蝦夷語	18~20
第167回例会(2006年4月30日)発表資料						

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
2007	3	83		奥田統己	アイヌ語の主題化助詞 : 日本語の「は」との対照をとおして	13～18
北海道方言研究会第169回例会発表(2006年9月10日)資料						
2007	12	84		見野久幸	明治初期米沢藩士が見聞した北海道 : 『恵曾谷日誌』に記された民俗・伝承文化・鯨漁撈とことば	1～28
北海道方言研究会第172回例会発表(2007年4月15日)資料。「アイヌと民俗・生活・伝承など」「アイヌ語と通辞による和訳」などあり。						
				三浦誠之	黒曜石に関する地名 : 黒曜石は刃物として最良の石器	29～32
北海道方言研究会第173回例会発表(2007年6月17日)資料。「黒曜石に関わる蝦夷語」「黒曜石に関する地名」などあり。						
				奥田統己	アイヌ語とアクセントとイントネーション : 日本語との対照をとおして	51～56
北海道方言研究会第175回例会発表(2007年11月11日)資料。						
2009	9	86		三橋誠之	縄文語の探究 概要	8～11
				奥田統己	アイヌ語の人称表示再考	70～74
<b>北海道民主文学</b>				<b>日本民主主義文学同盟北海道研究会実行委員会</b>		
2002	10	14		松木新	佐々木譲『黒頭巾旋風録』を読む	236～246
2006	9	16		松木新	アイヌを描いた文学	363～384
日本民主主義文学会北海道研究会作品集						
<b>北海道民族学</b>				<b>北海道民族学会</b>		
2005	3	1		切替英雄	アイヌ語のもう一つの1	3～11
『北海道民族学会会報』の改題継続。						
				若林和夫	『丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌』に見る安政四年のオオウバユリ採集とその周辺	37～52
2006	3	2		高橋靖以	アイヌ語十勝方言テキスト:クマの追跡を逃れた話	50～54
				若林和夫	『丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌』におけるオオウバユリ食用記述とその周辺 : 記述の分析による調理及び食用状況の把握	55～66
				中田篤	〔書評・紹介〕北海道立北方民族博物館編『環北太平洋の環境と文化』(仮題)	79～80
				津田命子	〔2005年度第1回研究会発表要旨〕アイヌ木綿衣服の比較調査 : ロシアと釧路の3資料から	84
2007	3	3		中村和之	李志恒『漂舟録』にみえるアイヌ語について	22～28
				甲地利恵	〔書評・紹介〕谷本一之著『北方民族 歌の旅』	57～60
2008	3	4		中村和之	〔書評・紹介〕A.R.アルターミエフ著垣内あとし 菊池俊彦・中村和之監修『ヌルガン永寧寺遺跡と碑文 -15世紀の北東アジアとアイヌ民族』	78～80
2009	3	5		高橋靖以	十勝本別地方におけるアイヌ口頭文芸 : 特に散文説話について	25～29
				奥田統己	〔書評・紹介〕佐藤知己『アイヌ語文法の基礎』	34～36
				福岡イト子	高校生に何ができるのか : 旭川龍谷高等学校郷土部『上川アイヌの研究』40年記念復刻刊行をめぐって	51～53
研究会発表要旨						
				遠藤真貴	アイヌの「履物」に関する文献調査 : 『アイヌ民俗文化財調査報告書』を中心に	57～59
研究会発表要旨						
				山田祥子	〔講演会等報告〕北大文学研究科公開シンポジウム「サハリンの言語世界」	70～73
<b>北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要</b>				<b>北海道立アイヌ民族文化研究センター</b>		
2000	3	6		沖野慎二	北海道大学農学部博物館のアイヌ民族資料(中)	1～18
				山田伸一	「北海道アイヌ協会」と「全道アイヌ青年大会」	19～47
				小川正人	「北海道旧土人奨学資金給与規程」(1931年)について	49～72
				本田優子	吉田菊太郎資料の中の金成マツ筆録口承文芸目録	73～111

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名	発行者		
発行年	発行月	巻 号 通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次					
<b>ほっかいどう</b>					
2001	3	7	大谷洋一	松島トミさんの口承文芸 2	113~149
			甲地利恵	「クモの神の自叙」の音楽について : 旋律構造とリズム配分を中心に	151~186
			貝澤太一	アイヌ文化の植物観および植物利用に関する研究文献のデータベース化についての一考察	187~205
			佐藤知己	アイヌ語千歳方言における反復による有音休止	207~218
			荻原真子	(資料紹介)B.ピウスツキのサハリン紀行	219~240
			沖野慎二	北海道大学農学部博物館のアイヌ民族資料(下)	1~20
			澤井春美	アイヌ語十勝方言の親族名称について	21~50
2002	3	8	佐藤知己	アイヌ語千歳方言の「第三類の動詞」の構造と機能	51~71
			本田優子	オオウバユリの加工における多様性の再検討 : 「発酵」の位置づけを中心に	73~94
			大谷洋一	松島トミさんの口承文芸 3	95~147
			小川正人	私の歩み : 黒川セツ	149~187
			古原敏弘	(資料紹介)金城朝永日記(抄)	189~224
			本田優子	近世北海道におけるアットウシの産物化と流通	1~40
			甲地利恵	「クモの神の自叙」の音楽について(続) : 神謡の演唱にみる音節数・アクセント・音型・リズム型の相互関係	41~59
2003	3	9	佐藤知己	アイヌ語千歳方言の kane の用法	61~88
			大谷洋一	松島トミさんの口承文芸 4	89~128
			小川正人	(資料紹介)第5,8回帝国議会「北海道土人保護法案」審査特別委員会会議録	89~128
			谷本一之	1960年代、古老の歌の記憶 : フィールド・ノートの落穂ひろい(Ⅰ)	1~9
			佐藤知己	Phonological Status of the Epenthetic Glides in the Chitose Dialect of Ainu(英文)	11~34
			本田優子	近代北海道におけるアットウシ産出の様相を解明するための予備的考察 : 開拓使の統計資料の整理と分析を中心に	11~34
			大谷洋一	松島トミさんの口承文芸 5	81~116
2004	3	10	小川正人	北海道アイヌ協会浦河支部創立当時のこと : 富菜愛吉	117~145
			貝澤太一	黒川セツさんの伝承 1 : アベクンチとベクンチの伝承	147~157
			佐藤知己	知里幸恵『アイヌ神謡集』の難読箇所と特異な言語事例をめぐって	1~32
			本田優子	アイヌ口承文芸にあらわれる衣服について	33~67
			谷本一之	1960年代、古老の音の記憶 : フィールド・ノートの落穂ひろい(Ⅱ)	69~75
			大谷洋一	松島トミさんの口承文芸 6	77~123
			甲地利恵	旭川地方におけるタフカラについて : 杉村満さんの伝承より	125~151
2005	3	11	荻原真子	(資料紹介)V.N.ヴァシーリエフ「エゾおよびサハリン島アイヌ紀行」	153~177
			平野芳英、山崎幸治、北原次郎太	(資料紹介)島根県美保関町の北方民族関係資料	179~187
			佐藤知己	「申渡」のアイヌ語訳文に関する一考察	1~46
			澤井春美	アイヌ語十勝方言の人称接辞 'a-, 'an- の出現条件と例外的事例について	47~72
			本田優子	近世北海道におけるアットウシ着用の様相	73~108
			大谷洋一	(調査報告)ネコに殺されそうになった友人を助けた男の話	109~142
			平取町の上田トシによる物語の翻訳、訳注、解説。		
			アイヌ文献目録編集会	アイヌ文献目録 2003	143~176
			福田茂夫、高橋理、古原敏弘	(資料紹介)豊浦町所蔵のアイヌ資料	177~190

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
				切替英雄、萩中美枝	〔講演記録〕企画展「アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー」記念講演会「アイヌ語地名研究をめぐって」	191～222
萩中美枝「山田秀三と知里真志保の地名調査」/切替英雄「山田秀三のアイヌ語地名研究」/質疑応答 2004年11月3日に開催された講演会の記録。						
2006	3	12	甲地利恵		沙流川流域に伝わるアイヌの「神謡」の音楽について (1)概説 (2)拍節構造	1～42
			佐藤知己		アイヌ語千歳方言のアスペクト : -kor an, wa an を中心として	43～67
			大谷洋一		(調査報告)小川シゲノさんの口承文芸	69～82
			黒田格男、大島直行、古原敏弘、小川正人		〔資料紹介〕伊達市噴火湾文化研究所所蔵のジョン・パチラー関係資料 1	83～107
			アイヌ文献目録編集会		アイヌ文献目録 2004	109～160
2007	3	13	佐藤知己		再びアイヌ語千歳方言のアスペクトについて : 特に完了を表す形式をめぐって	1～14
			本田優子		樹皮を剥ぎ残すという言葉説をめぐって : 更科源蔵の記録に基づく一考察	15～30
			黒田格男、大島直行、古原敏弘、小川正人		伊達市噴火湾文化研究所所蔵のジョン・パチラー関係資料2	31～54
			林誠		北海道立図書館所蔵マイクロフィルム「金田一京助探録ユーカラ・ノート」の細目次	55～130
			アイヌ文献目録編集会		アイヌ文献目録 2005	131～172
2008	3	14	佐藤知己		伊達地方のアイヌ語の言語的特徴	1～54
			澤井春美		アイヌ語十勝方言の接続助詞 wa, tek, ahinne について	55～88
			竹ヶ原幸朗		増補・虚構としての(あいぬの風俗)	89～114
			アイヌ文献目録編集会		アイヌ文献目録 2006	115～157
2009	3	15	佐藤知己		アイヌ語虻田方言の英雄叙事詩(yukar)テキストとその言語的特徴	1～38
			本田優子		アイヌ口承文芸にみる「史実」と交易	39～56
			古原敏弘、小川正人		長万部町教育委員会所蔵のアイヌ資料	57～83
			アイヌ文献目録編集会		アイヌ文献目録 2007	115～157
<b>北海道立地質研究所報告</b>				<b>北海道立地質研究所</b>		
2005	3	76	高清水康博		北海道鶴川町における津波に関するアイヌの口碑伝説と祭儀	97～100
<b>北海道立北方民族博物館研究紀要</b>				<b>北海道立北方民族博物館</b>		
2000	3	9	笹倉いる美		北海道立北方民族博物館の資料とその整理について	85～103
			笹倉いる美		のりすと1999 : 北方研究データベース	127～136
2001	3	10	笹倉いる美		のりすと2000 : 北方研究データベース	101～109
2002	3	11	ヤンフネン, ユハ		アイヌ民族文化の編年について	1～20
			中生勝美		サハリン先住民の民族誌再検討 : オタスの杜の戦前・戦後	21～59
			齋藤玲子		更科源蔵『コタン探訪帳』の概要について : 弟子屈町立図書館所蔵ノートの紹介	79～107
			笹倉いる美		のりすと2001 : 北方研究データベース	185～192
2003	3	12	フィリップ・ヴァルテル(渡邊浩司訳)		熊の頭骸骨 : 聖遺物・偶像・仮面	15～35
			笹倉いる美		のりすと2002 : 北方研究データベース	93～100
2004	3	13	笹倉いる美		のりすと2003 : 北方研究データベース	139～146
2006	3	15	谷本一之		北の先住民は甲板でなにを見、なにを見せたのか	1～17
千島アイヌに関連する記述などあり						
			笹倉いる美		のりすと2005 : 北方研究データベース	109～120
「付」として「のりすとの13年」あり。						
2007	3	16	篠原智花、笹倉いる美		北海道立北方民族博物館所蔵の田辺尚雄氏樺太調査関連資料について(1)	77～98

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
				齋藤玲子	北海道立北方民族博物館所蔵の寺田弘氏収集資料について：収蔵までの経緯と主なアイヌ民族資料	99～104
2008	3			笹倉いる美	のりすと2006：北方研究データベース	105～113
		17		篠原智花、笹倉いる美	北海道立北方民族博物館所蔵の田辺尚雄氏樺太調査関連資料について(2)	59～72
				角達之助	加熱されたオホーツク式土器：北海道立北方民族博物館所蔵モヨロ貝塚出土完形土器を対象として	83～96
2009	3			笹倉いる美	のりすと2007：北方研究データベース	97～105
		18		角達之助	オホーツク文化竪穴住居址の柱穴について	77～94
				笹倉いる美	のりすと2008：北方研究データベース	117～126
<b>北海道立埋蔵文化財センター年報</b>				<b>北海道立埋蔵文化財センター</b>		
2000	3	1		小林達雄	基調講演「縄文ランドスケープと鎮守の森」	13～19
平成11(1999)年度						
2001	3	2		宇田川洋	北海道考古学の諸問題：チャシをめぐる	34～51
平成12(2000)年度						
2002	3	3		鈴木信	擦文～アイヌ文化期の馬：馬蹄跡の調査から	45～54
平成13(2001)年度						
2003	3	4		大塚和義	[講演会要旨]熊と玉	29～34
平成14(2002)年度						
2006	3	7		古原敏弘	[講演会要旨]美々8遺跡の木製品とアイヌ民具について	3～7
平成17(2005)年度						
2007	5	8		野村崇	[講演会要旨]北海道における玉文化：ヒスイ玉を中心として	49～55
平成18(2006)年度						
				平川善祥	アイヌ文化期出土の銭貨	63～66
2008	5	9			特別展示概要 (1) 交流の考古学 3 船	53～59
平成19(2007)年度						
<b>北海道立文書館研究紀要</b>				<b>北海道立文書館</b>		
2004	3	19		タチアナ・ニコラエワ・ブルツサコワ	サハリン州近代史資料センターの紹介	66～73
<b>北海道れきけん</b>				<b>北海道歴史研究会</b>		
2001	5	45		清水清次郎	北海道の旧地名と九州地名との関連性 西北九州型弥生人の言語と蝦夷(ルビ:アイヌ)語(2)	8～12
				地蔵慶護	石狩低地帯の歴史をあるく(最終回)	13～19
2001	9	46		清水清次郎	北海道の旧地名と九州地名との関連性 西北九州型弥生人の言語と蝦夷(ルビ:アイヌ)語(3)	16～20
2002	1	47		清水清次郎	北海道の旧地名と九州地名との関連性 西北九州型弥生人の言語と蝦夷(ルビ:アイヌ)語(4)	8～16
2005	1	57		清水清次郎	本州の「舞台」地名は和語かアイヌ語か(一)	10～15
				岡村正吉	えぞ歴史放談(一)	16～17
				水無月怜	先住民族に見る詩歌の世界(一)	18～20
2005	5	58		清水清次郎	本州の「舞台」地名は和語かアイヌ語か(二)	2～7
				水無月怜	先住民族に見る詩歌の世界(二)	8～9
パッチェラー八重子を紹介。						
				水無月怜	先住民族に見る詩歌の世界(三)	9～10
遠星北斗を紹介。						
2005	9	59		水無月怜	先住民族に見る詩歌の世界(四)	2～3
森竹竹市を紹介。						
				水無月怜	先住民族に見る詩歌の世界(五)	4～6
江口カナメを紹介。						
				清水清次郎	本州の「舞台」地名は和語かアイヌ語か(3)	7～9

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ほっかいどう</b>						
				地藏慶護	ソロマ	19
2006	5		61	清水清次郎	西日本にアイヌ語地名は存在しないとする地名 学者の見解は誤り	8～14
				岡村正吉	蝦夷地関係の年譜	2～7
2006	9		62	水無月怜(山下弦橋)	先住民族に見る詩歌の世界(8)(9)	1～2,3～4
2007	1		63	水無月怜	先住民族に見る詩歌の世界(十)(十一)(十二)	3～4
				寒川溪	(創作)小説コシャマイン(一)	5～
				清水清次郎	秋田県雄勝村の語源	9～11
2007	6		64	水無月怜	先住民族に見る詩歌の世界(十三)(十四)(十五)	2～4
				寒川溪	(創作)小説コシャマイン(二)	4～8
				岡村正吉	北海道の歴史を考える その一 根室のイチャ ルバ	14
				岡村正吉	北海道の歴史を考える その二 夷酋列像	14～15
2007	9		65	寒川溪	(創作)小説コシャマイン(三)	2～5
				水無月怜	先住民族に見る詩歌の世界(十六)(十七)(十八)	6～7
<b>北海道歴史教室</b>						
2000	1		171	岸甫一	報告 上ノ国シンポジウム『海峡がつなぐ地域 史を掘る』から	66～69
				滝沢正	[[ほんの窓]永井秀夫編『北海道の百年』山川出版 社	76～77
2002	4		175		シンポジウム 北東アジア・地域像をさぐる	8～31
				千葉誠治	シリーズ 子ども教科書Ⅱ 小学校社会科教科 書を読む	62～71
				千葉誠治	先住民族と教育～鹿田・ヴィソーコフ両氏の発 言から	32～33
				小松豊	フィールドワークと北海道の近代	38～41
				平井敦子	「沖縄 南北の塔」書き換えられた碑文に思う	88～89

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ほっぽう

北方圏				北方圏センター			
2002	10		121	山中文夫	世界はひとつ 民俗学の周縁から アイヌについて⑤	70~73	
2004	4		127	飯部紀昭	こんにちは イランカラプテ 悲願のアイヌ文化施設	50	
季刊 北方圏				北方圏センター			
2006	1		134	飯部紀昭	【こんにちは イランカラプテ】辺野古と「南北之塔」	51	
2006	7		136	岩崎まさみ	岩崎グッドマンまさみの講義録① 多様化する日本社会	12~17	
2006	10		137	岩崎まさみ	岩崎グッドマンまさみの講義録② 多民族社会日本のチャレンジ	15~19	
2007	1		138	井内佳津恵 飯部紀昭	アイヌ文様の美 チンチリ/チカラカラベ 【こんにちは イランカラプテ】アイヌ民族描いた市民劇	6~7 43	
2007	4		139	岩崎まさみ	岩崎グッドマンまさみの講義録4 多民族社会日本へ向けた一歩を	22	
北方圏生活福祉研究所年報				北海道浅井学園大学人間福祉部北方圏生活福祉研究所			
2002	10		8	菊地達夫	アイヌ民族における生活福祉の動態と空間構造	1~10	
北方山草				北方山草会			
2006	3		23	福岡イト子	アイヌの精神文化を通して植物をみる	3~13	
小特集:アイヌと植物				山岸喬	アイヌの重要な利用植物	15~22	
				齋藤玲子	アイヌの植物利用に関する研究史の概略と文献案内	23~32	
				戸部千春	山草、樹木そしてアイヌ民具を巡る五つの小品	33~40	
				塩田惇	砂澤ベラモンコ口蝸と植物標本	51~53	
				松井洋	江戸時代後期の植物名と蝦夷語(アイヌ語)の資料集成 : 木本編	67~103	
2008	3		25	松井洋	アイヌ民族が利用したシダ植物	25~38	
北方ジャーナル				北方ジャーナル			
2004	1	33	1	411	原稿をボツにされた記者が謝罪	12~13	
				アイヌ問題特別取材班	ウタリ協会の病根をえぐる 3	14~21	
2004	2	33	2	412	アイヌ問題取材班	ウタリ協会の病根をえぐる 4	24~31
2004	3	33	3	413	アイヌ問題取材班	ウタリ協会の病根をえぐる 5	12~17
					視点 曲がり角に立つウタリ協会 : アイヌ施策が産んだ功罪	18~19	
2004	4	33	4	414	アイヌ問題取材班	ウタリ協会の病根をえぐる 6	16~23
「読者の広場」にも関係投書あり。							
2004	5	33	5	415	釧路町支部に助成金返還を求めたアイヌ文化振興財団の“本末転倒”	14~15	
2004	6	33	6	416	道東S町の怒れる町民	【読者の広場】ウタリ協会の不正をただせ	108
2004	7	33	7	417		ウタリ協会の悪徳幹部	6~7
2004	11	33	11	421		2003~2004総集編(前篇) 激動の時代に潜む闇を撃て! ウタリ協会の病根をえぐる	85~117
2003年11月号~2004年7月号掲載7件の記事を再掲。							
2005	1	34	1	423		ウタリ協会の病根をえぐる	14~17
2005	2	34	2	424		ウタリ協会の病根をえぐる	12~16
2005	9	34	9	431		[NEWS LINER]ウタリ協会門別支部・吉田昇支部長が貸金請求訴訟で完全敗訴	13~14
2008	3	37	3	461	白井暢明・河野本道	ホンネで語る北海道独立論 後編 北海道の島民として自立せよ!	104~114
				河野本道	河野広道がえがいた博物館論 北海道博物館の表裏面史をたどる	115~123	
					河野家三代が引き継ぐ「百年の孤独」	123	

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次							
<b>ほっぽう</b>							
2008	6	37	6	464		closeup 旭川古美術親交会会長 伊藤通依丸さん	54~57
<b>北方人文研究</b>				<b>北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター</b>			
2008	3				1 宮武公夫	シカゴ・フィールド博物館所蔵のアイヌ工芸品 -1904年セントルイス博物館と二つのテクンペー	41~54
					佐藤知己	アイヌ語千歳方言における合成名詞の構造	55~68
					高橋靖以	アイヌ語厚別方言の基礎語彙	105~113
2009	3				2 中川裕	(書評)佐藤知己著『アイヌ語文法の基礎』大学書林	107~111
<b>北方生活研究所所報</b>				<b>北海道東海大学北方生活研究所</b>			
2002	3		27		沖野慎二	アイヌ民族の物質文化(1)-序説-	2~9
<b>北方探究</b>				<b>北方懇話会</b>			
2000	5				2 三宅正浩	"AINU Spirit of a Northern People"展を訪れて	39~42
					戸部千春	随想-博物館展示のキテを見て	43~48
2001	4				3 平山裕人	松前安藤氏の興亡	32~48
					因幡勝雄	北の交遊録 恥ずかしいなあ	49~50
2002	5				4 浦坂周一	オホーツク文化の木製品・4(弓状木製品)-浦臼町松法川北岸遺跡-	1~3
					伊藤せいち	湧別川筋の中上流チャシコツについて	4~10
					因幡勝雄	紋別のチャシコツ	11~15
2004	6				6 宇田川洋	北方地域"民族的集団"の名称	56~83
					因幡勝雄	史料 黒曜石について	84~90
目次では表題「資料 黒曜石について」。							
2005	9				7 豊原熙司、塚本浩司、坂井通子 平山裕人	清里町札弦チャシ出土の擦文土器(北海道・東部) アイヌの蜂起とウカルの論理	13~20 34~45
<b>北方博物館交流</b>				<b>北海道北方博物館交流協会</b>			
2000	3				12 野村崇、杉浦重信	カムチャッカ半島南東部ジュパノヴォ遺跡 出土の日本製品	16~20
2001	3				13 野村崇	土鍋のきた道 -千島・カムチャッカへの文化伝播-	29~32
					杉浦重信	カムチャッカ考古学の先駆者中山英司	33~36
					小西雅徳	特別展「石田収蔵 -謎の人類学者の生涯と板橋-」を終えて	40~43
2002	3				14 ミハイル・ミハイロヴィッチ・プロコフィエフ	近年のサハリンにおける考古学事情	19~23
2007	3				19 ト部信臣	樺太アイヌの人たちの追憶	31~33
<b>北方風土</b>				<b>イズミヤ出版(秋田県十文字町)</b>			
2002	1				43 田牧久穂	征夷の残酷物語 : 陸奥出羽周辺諸国の一例として下総国の場合	13~25
2003	8				46 高橋暁樹	古代東北と阿豆流為の時代	77~80
2006	1				51 西成辰雄	北東北における民族形成の系譜について	23~25
2007	6				54 佐藤貢	武士の発生を促した蝦夷戦争	63~69
					高坂昭男	秋田伝説・秋田弁・マタギ語・アイヌ語	82~87
2008	1				55 田牧久穂	蝦夷銘々伝 - 爾散南公 阿波蘇	32~43
2008	7				56 田牧久穂	深江弥加土の名の不思議 追記	1~14
					西成辰雄	アイヌ : その形成と文化について	15~17
					深田新一郎	深江弥加止は横手盆地の湧水・出水・沼を意味する	129~132
					新谷正隆	山崎半蔵、松前下蝦夷地紀行(文化三年)	142~167
2009	7				58 西成辰雄	アイヌ文化の確立にふれて	14~16
					松橋由雄	「トコドの沼」<安倍貞任とエミシと差別と魔物>	111~119
<b>北方文芸 別冊</b>				<b>北方文芸刊行会(発売:なにわ書房)</b>			
2003	2				356 工藤正廣	百年の「雨雀」 : 「アイヌの煙」周辺	17~43

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ほっぽう

北方林業					北方林業会		
2007	6	59	6	699	出利葉浩司	人びとにとって森林とは何か : アイヌ民族と森林を考える	1~4
シリーズ「アイヌの人々と森」連載開始(翌年5月号まで連載)。							
2007	7	59	7	700	志賀雪湖	物語にみる「森」: 倒木	17~21
2007	8	59	8	701	津田命子	アイヌ女性の森林利用: 植物からつくられたもの	17~19
2007	9	59	9	702	北原次郎太	[アイヌの人々と森](4) イナウ	17~20
2007	10	59	10	703	北原次郎太	[アイヌの人々と森](5) 森の動物 クマと信仰	18~20
2007	11	59	11	704	出利葉浩司	[アイヌの人々と森](6) 道具にみる木の利用	17~21
2007	12	59	12	705	齋藤玲子	木彫り熊と土産	15~18
火群					町民芸誌編集委員会		
2000	3		25		石川三四郎	<創作>パルトコタンの昔話 双子の兄弟と狼煙	150~157
2001	3		26		石川三四郎	<創作>はるにれ物語 十勝の若者(ペウエクル)と日高の女(メノコ)	110
2002	3		27			<創作>パルトコタンの昔話 コロポックルはどこへいくの	123~131
掘る					札幌郷土を掘る会		
2001	8			178		北海道ウタリ協会理事長、秋田春蔵氏に変わる!! 新理事長、アイヌ共有財産裁判、協会として取り組む姿勢	[2]
2003	8			201	滝沢正	アイヌ民族共有財産裁判第7回札幌高裁証人請求を一切認める「訴えの利益」論を突破する契機にしたい	[4]
2003	10			203	大脇徳芳	シンポジウムーアイヌ民族共有財産裁判ー「100年の管理に正しい審判を」を終えて	[3]
2003	12			205	大脇徳芳	明治以降(100年以上)北海道での「アイヌ政策」問題になる アイヌ民族共有財産裁判、高裁で二人の証人尋問を行う	[2]
ボルカノ					道南政経		
2004	1	9	1	33	岡村正吉	創作 岡村正吉自分史 2	70~73
2005	10	10	3	38	岡村正吉	創作 岡村正吉自分史 7	50~53
本					講談社		
2002	6	27	6	311	小嵐九八郎	蜂起には至らずー新左翼死人列伝 16 ピュア精神…とは	55~61
齋藤和(のどか)を取り上げる。							
2007	12	32	12	377	瀬川拓郎	アイヌ史はおもしろい	28~30
本郷					吉川弘文館		
2004	9			53	坂本寿夫	[ミュージアム・コレクション]北方ロマンの絹織物[蝦夷錦亀文打敷 青森県立郷土館]	表紙裏
2009	7			82	児島恭子	アイヌ史の多様性	22~24
本の話					文芸春秋		
2005	1	11	1	116	森まゆみ	大正快女伝 41 知里幸恵 <私は涙を知っている>	74~77
本の窓					小学館		
2001	5	24	4	204	津島佑子	女性作家による日本の文学史 第一回/神との交わり 口承文芸 総論	48~57
2002	8	25	7	218	菊池仁	[コラム 本の学校 時代小説の愉しみ]アイヌ民族の戦いを描く待望の書	78
大森光章『シャクシャイン戦記』を取り上げる。							
奔流					日本民主主義文学同盟札幌支部		
2001	12			18	松木新	宮本百合子未定稿「遥かなる彼方」を読む	85~98
2007	12			21	松木新	アイヌを描いた文学	154~167
「アイヌを描いた文学」文献目録(2007年11月現在)掲載。							

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ
雑誌目次・文献目次						
<b>ま</b>						
			<b>町民文芸 まくべつ</b>		<b>幕別町図書館</b>	
2009	10	25		編集委員会 笹川幸震	アイヌの人たちの文化 <創作>シベチャリに吹く風(下)	2～27 28～48
			<b>真澄学</b>		<b>東北芸術工科大学東北文化研究センター</b>	
2004	11	1		今石みぎわ 菊池勇夫	真澄に「削りかけ」研究の今後をさぐる 菅江真澄から近世史をさぐる1 鮭漁に生きる人々 : 渡島半島西海岸の旅	210～225 300～319
2005	11	2		井筒桃子 菊池勇夫	菅江真澄 日記の中の災害史 : 東北・北海道編 菅江真澄から近世史をさぐる② 昆布刈りのわざ : 渡島半島東海岸の旅	248～295 321～345
2006	11	3		舟山直治 今石みぎわ	菅江真澄にみる民具の消長 -カモカモといふ容器から- 記録されたイナウ -「木幣」と「イナヲ」のあいだから-	76～86 200～217
			<b>街</b>		<b>街</b>	
2004	3	449		原子修	わたしはどこから来たのか?	12～13
2008	10	520		佐藤理夫	博物館へGO!(1) アイヌに魅せられて…アイヌ語地名を歩く	41
2009	7	523		霜村紀子	博物館へGO!(4) 「アイヌの美 -カムイと創造する世界」展	42～43
			<b>窓</b>		<b>ナウカ</b>	
2002	10	122		長縄光男	函館のニコライ -ゴシケーヴィチ宛ての手紙より-	22～27
2002	12	123		有泉和子	ゴロヴニン事件の日本側の記録(第五回) 『久奈志利記』翻刻(四)	54～59
			<b>間宮林蔵顕彰会だより</b>		<b>(間宮林蔵顕彰会)広報事業部</b>	
2004	4	19			間宮林蔵顕彰会設立十周年記念林蔵祭 林蔵子孫、一同に会して盛大に開催	
			<b>まんだら</b>		<b>東北芸術工科大学 東北文化研究センター</b>	
2003	3	15			映像にみるアイヌ文化	26～27
2004	6	20		杉崎満寿夫	仕掛け弓と稗 : 菅江真澄の道を行く旅から	33～34
			<b>万葉古代学研究所年報</b>		<b>奈良県万葉文化振興財団万葉古代学研究所</b>	
2008	3	6		藤村久和	アイヌの葬送儀礼について : 死亡から湯灌までの流れ	99～176
<b>み</b>						
			<b>緑の地球 みやび通信</b>		<b>緑の地球ネットワーク みやび出版</b>	
2005	11	6		稲田和子(文)、宮田菜穂(絵)	現代っ子に読ませたい日本昔話六(北海道) きぎんをすくった女神	38～39
			<b>宮本百合子全集 月報</b>		<b>新日本出版社</b>	
2001	11	1		金田一京助	中條百合子さんの片影	6～8
『多喜二と百合子』(1956年6月)						
2002	7	20		塩谷郁夫	鋭い観察眼と省察の記録	3～6
			<b>民映研通信</b>		<b>民族文化映像研究所</b>	
2008	7	27	102	姫田忠義	時の流れと出会い その啓示 -民映研創立記念日に寄せて-	1～2
				飯田光代、姫田忠義	対談 まわりの人にとってほしいことがある。そして自分も一緒に学びたい。～優れたドキュメンタリー映画を観る会 10年目を迎えて～	3～8
				姫田忠義	人間の感性、イメージの持ち方を洗い直し、物事を、人を、他者を、特殊化する道を解きほぐす 上映作品『越後奥河 一山に生かされた日々-』	12～14
2008	10	27	103	皆川学、姫田忠義	日本民俗学の祖 菅江真澄の世界 第21回国菅江真澄研究会集会より	12～13

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ	雑誌目次・文献目次	

み

				<b>民具研究</b>		<b>日本民具学会</b>		
2002	12		126	北野信彦	アムール川下流域における和製漆器の調査	35~48		
2004	10		130	氏家等	背負子・運搬具・運搬方法にみる北海道・東北：魚運搬具(もっこ)とアイヌ民族の背負紐(タラ)を中心に	70~72		
2007	8			特別号 関秀志	北海道民具 アイヌ・開拓民民具	99~107		
				<b>民具マンスリー</b>		<b>神奈川大学日本常民文化研究所</b>		
2004	4	37	1	433 関秀志	『北海道民具事典』の編集について	9~14		
				<b>民主文学</b>		<b>日本民主主義文学会</b>		
2001	4		426	476 松木新	アイヌを描く文学の課題	144~149		
2003	3		449	499 右遠俊郎	(創作)伊藤久男・イヨマンテの夜	6~12		
2003	11		457	507 松木新	『光ってみえるもの、あれは』のことなど	162~167		
「知里幸恵生誕百年記念フォーラム」での津島佑子の講演「アイヌ神謡集の魅力」に触れる。								
2003	12		458	508 松木新	『静かな大地』のことなど	150~155		
2004	5		463	513 松木新	アイヌと平和	144~145		
特集(「憲法改悪を許さない」)中の「緊急発言」。								
2005	1		471	521 福山瑛子	(創作)武四郎とアイヌ	133~143		
2007	4		498	548 松木新	近現代文学探訪76/武田泰淳「森と湖のまつり」	152~158		
2007	10		504	554 高橋篤子	(創作)ウツソルを送る	6~26		
				<b>民俗文化</b>		<b>近畿大学民俗学研究所</b>		
2010	3		19	大脇潔	松前薨紀行：北の薨文化の発見	61~154		
p.114~115「モースの見たアイヌの村」あり。								
				戸井田克己		江差・奥尻民俗紀行：「青潮」と「白潮」の出会い海域		
p.247~254「アイヌの生活文化から」あり。								
				<b>民俗文化研究</b>		<b>民俗文化研究所</b>		
2007	8			8	[書誌紹介]東村岳史著「戦後期アイヌ民族・和人関係史序説 1940年代後半から1960年代後半まで」	289~293		
				<b>月刊みんぱく</b>		<b>千里文化財団</b>		
2004	1	28	1	316	特別展「アイヌからのメッセージ」よりものづくりと心	10~13		
				大塚和義		木彫家としての萱野茂		
				知里むつみ(文)、岡島礼子(絵)		『アイヌ神謡集』をよむ：いまも心をあたためる炉辺のうた		
				村木美幸		[民族博物誌]113 サケ		
2004	2	28	2	317	大塚和義	木彫のランプ「ヤオシケフ」	20~21	表紙裏
表紙写真(貝澤徹作)の説明文。								
				寮美千子		アリゾナからアイヌへ		
				中川裕		[民族博物誌]114 シマフクロウ		
2004	3	28	3	318	中川裕(回答)	[読者のページQ&A](特別展「アイヌからのメッセージ」関連記事に見られるカタカナの小文字について)	22	
2005	3	29	3	330	大塚和義	わたしにとっての民博とアイヌ文化研究	12	
退任のことば								
2007	5	31	7	358	加藤謙一	アイヌ文化と学校教育、そして博物館	15	
2008	12	32	12	375	佐々木利和	アイヌ アナクネ ビリカ	15	

む

				<b>Mouseion ムゼイオン</b>		<b>立教大学 学校・社会教育講座</b>		
2006	12		52	大塚拓	アイヌ文化を表象する2つの地域博物館の役割：北海道平取町二風谷を例に	7~22		

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

む

室蘭認知科学研究		室蘭認知科学研究会			
2006	99	4	松名隆、塩谷亨	アイヌ語とハワイ語の気象語彙に関する対象研究について	13～18
室蘭文芸		室蘭文芸協会			
2003	3	36	盛美代治	「シリバ燃える」をめぐって	33～34
2005	3	38	浅野清	宮沢賢治と白老	96～107
2006	3	39	三浦清宏、三村美代子、浅野清、北村遼子	パネルトーク 三浦清宏文学について	26～39
むろらん港の文学館通信		港の文学館			
2007	3	34	浅野清	『海洞(アフルパロの物語)』小論	2

め

メディアあさひかわ		メディアあさひかわ		
2001	4	96	旭川初公開もあるアイヌ男性の手仕事と技展	135
2001	10	102	旭川市も「イオル再生」に名乗り!!将来「旭川観光」の目玉に?!	146～148
2002	7	111	嵐山でアイヌの神々への祈り	30
2005	2	142	[アラカルト]石狩川流域のアイヌ語地名の由来説いた研究書を自費出版	125
由良勇『上川郡内 石狩川本支流アイヌ語地名解』の紹介。				
			[談話室]アイヌ語地名	161
2005	7	147	[耳より情報ファイル]オキがアイヌの伝統楽器・トンコリのツアー	95
2005	12	152	[メディアアイ]吹き荒れる民芸品不況、トミヤ郷土民芸社が近文工場を閉鎖	40
2006	1	153	アイヌの昔語りや踊りを披露 復活した伝統住居「チセ」で文化交流会	252
2006	3	155	ポロチセを再建したい 旭川アイヌ最後の大棟梁の願い	138～139
2007	4	168	[メディアアイ]アイヌ文様を生き生きと 博物館で伝統学ぶ体験学習	28
2008	3	179	『アイヌの歴史 海と宝のノマド』(瀬川拓郎著、講談社)	131
2008	11	187	アイヌの外洋船「イタオマチップ」	31
2008	12	188	「大船」の馬場昭さん逝く アイヌ文化の継承・振興でも尽力	148
2009	3	191	旭川の歴史的建造物の保存を考える会 第12回建築賞 アイヌ民族住居チセと銀座仲見世通りに	132
2009	6	194	旭川市博物館の"怪展示"アイヌ関係者からポロクソ	72～74
			旭川版イオル再生構想から道アイヌ協会旭川支部離脱か?旭川市の調整不足で計画自体も暗礁へ	180～182

metropolitana(メトロポリターナ)

産経新聞社

2004	5	17	伊勢華子・文 鳥巢佑有子・写真	聖なる風吹く刺繍物語	6～13
------	---	----	-----------------	------------	------

芽室文芸

芽室町文芸協会

2005	3	31	井上寿	芽室開拓の先駆者 竹沢嘉一郎 ー朔北の原野に挑んだ人生ー	112～120
------	---	----	-----	------------------------------	---------

モーリー

北海道新聞野生生物基金

2000	5	2	岩崎・グッドマン・まさみ 野本正博	アイヌ民族とクジラの関わり	26～30
2005	12	13	萱野茂	クマ送り	26～30

特集:ヒグマ考 陸の王者の博物誌

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

め

				萱野志朗	食べ物としてのクマ	31~33
				木村盛武	熊皮と故事	34~38
2008	7		18	辻井達一	連携し合って二風谷から発信 二風谷アイヌ文化博物館	36~37
2009	12		21	阿部一司	自然・文化遺産と先住民族 アイヌ民族の場合	46~49
				加藤博文(文・写真)	文化遺産は誰のものか 考古学と先住民族の新たな関係の構築のために	50~52
				貝沢耕一(文・写真)	ふるさと沙流川	53~55
				川上将史	アイヌの自然観念と今日的文化継承の一考察	56~59

も

黙 MOKU				MOKU出版		
2002	6	10	6	124	井上和博(写真と文)	森羅万象のすべてを一心に彫り続ける彫刻家 床ヌプリ 30~43
桃山学院大学キリスト教論集				桃山学院大学総合研究所		
2007	3			43	小柳伸顕	アイヌ民族2人の英国人(1) 225~244
桃山学院大学社会学論集				桃山学院大学総合研究所		
2009	1	42	2		宮本孝二	吉本隆明の社会理論(10) 差別問題をめぐって 21~44
桃山学院大学総合研究所紀要				桃山学院大学総合研究所		
2004	2	29	3		尾本恵市	先住民族と人権(1) アイヌと先住アメリカ人 101~120
盛岡市先人記念館だより				盛岡市先人記念館		
2005	3			34	及川三治	叱られて 1
金田一京助の回想を紹介。						
2005	9			35		シリーズ講座再録 第1回「金田一京助と柳田国男」 4
茂呂欄 室蘭地方史研究				室蘭地方史研究会		
2005	2			39	小田島洋	御雇医師 野村周甫(一) 26~45

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

や

		<b>谷中・根津・千駄木</b>		<b>谷根千工房</b>		
2005	10				[Mの旅日記]知里幸恵と本郷森川町	19～23
		<b>山形県地域史研究</b>		<b>山形県地域史研究協議会</b>		
2002	2		27 榎森進		日本海海運における蝦夷地と山形 : 松前藩の領主蔵米を支えた山形	1～23
第27回研究大会講演						
		<b>山形県立米沢女子短期大学紀要</b>		<b>山形県立米沢女子短期大学</b>		
2008	12		44 新藤透		旧松前藩正議士・新田千里著『松前家記』の書誌的検討 : 明治期北方史学史の文献学的研究	15～26
		<b>山形方言</b>		<b>山形方言研究会</b>		
2005	12		37 宗田寛		山形方言と日本語の祖先 : アイヌ語的語彙を通してかいま見る	33～37
		<b>山口昌男山脈</b>		<b>川村オフィス</b>		
2005	1		5 山口昌男、チカカップ美恵子、辻井達一		[鼎談]森と文化	59～84
第9回「森と市民を結ぶ集い 北海道2003」報告書より転載。						
			石塚千恵子		そこにギャラリーがあった : 札幌大学「展示スペース学習室」報告	88～96
砂澤ビッキに言及あり。						
		<b>山と溪谷</b>		<b>山と溪谷社</b>		
2005	6		840 田中泰義(文)、宮本明登(写真)		連続インタビュー 第4回 萱野茂氏 アイヌの「心」が教えてくれるもの	203～206

ゆ

		<b>ユーラシア研究</b>		<b>ユーラシア研究所</b>		
2005	5		32 橋田欣典		ルポルタージュ 樺太アイヌ民族との出会い	63～65
		<b>ユーラシア言語文化論集</b>		<b>千葉大学ユーラシア言語文化論講座</b>		
2000	3		3 中川裕		アイヌ口承文芸テキスト集1 白沢ナベ口述 狼から逃れた娘	52～66
			マウゴジャータ ザヨンツ		小島倉太郎の千島日記	145～165
2002	3		5 北原次郎太		(覚え書き)樺太アイヌの火神の祭壇	72～96
			中川裕		アイヌ口承文芸テキスト集3 白沢ナベ口述 トパットウミから逃れたウライウシナイの少年	111～143
			白石英才		アイヌ語沙流方言の昔話 : 上田トシのウエベケレ	178～196
			田村雅史		アイヌ語沙流方言の格助詞と移動の概念構造	203～223
			田村将人		樺太庁による樺太アイヌの集住化	224～249
2004	8		7 SHIRAISHI Hidetoshi		Folktales of the Saru Dialect of Ainu : Ueda Toshi's Uepeker 3	115～139
			中川裕		アイヌ口承文芸テキスト集5 : 白沢ナベ口述 ワウオリ:アオバトが生まれたわけ	161～174
2005	8		8 田村雅史		名詞抱合からみたアイヌ語の二つの再帰接頭辞si-とyay- : 意味的差を求めて	31～51
			中川裕		アイヌ口承文芸テキスト集6 白沢ナベ口述 兄に殺されかけ、犬に救われた	151～184
2006	10		9 山口伸樹		動物名称から見るアイヌ語合成名詞の諸特徴	145～162
			中川裕		アイヌ口承文芸テキスト集 7 白沢ナベ口述 狼が人間の母親に虐待された	219～256
2008	3		10 吉田睦		荻原真子先生 研究業績目録	3～10
荻原真子教授退職記念号						
			荻原真子		アイヌ文化における刀剣についての覚書	21～24
			北原次郎太		火の神の夫 : apekamuy・cisekorkamuy・cisekamuy	105～142
			田村将人		二種類の『樺太土人旧慣調書』について	143～169

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者	
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ゆ

				若林和夫	現在の漫画表現とアイヌイメージ : 資料紹介と若干の分析	275~290
				中川裕	アイヌ口承文芸テキスト集8 白沢ナベ口述ユカライルバイエ : シヌタツカ人、石狩人と戦う	291~313
2009	3	11		奥田統己	アイヌの英雄叙事詩における英雄像の地域差	69~75
				若林和夫	現在のアイヌに対する研究についての試論 : 現代、現在研究の動態および現在研究の概念と調査対象について	77~91
				中川裕	アイヌ口承文芸テキスト集9 白沢ナベ口述カニに手足が生えるわけ	113~132
				田村雅史	四宅ヤエさんの口承文芸テキスト : おへそから出たスズメのしっぽ	133~150
				東俊佑、田村将人	北海道開拓記念館所蔵・林家文書のアイヌ語資料	165~175

よ

<b>余市水産博物館研究報告</b>			<b>余市水産博物館</b>			
2000	3	3		石川直章	ヌッチ川遺跡出土の銚先 - 近世アイヌ期の海獣狩猟具の再検討 -	1~8
				佐藤利雄	大川・入船遺跡の歴史的概要について	15~24
<b>余市文芸</b>			<b>余市町文化協会</b>			
2001	3	26		本郷保寛	『安政六年 見廻り日記』 - 初心者の目からみて -	6~17
2002	3	27		川端有	フゴツペ丸山に情熱を傾注した人々	9~20
2003	3	28		押切孝作	「ピラミッド・余市姫・刻画」II - 私の好古学 -	6~16
				白鳥友二郎	余市民話とその背景(六)	95~98
2004	3	29		佐藤利雄	余市アイヌのウパシクマ 『サルアイヌの襲来』と「トパットミ」について(試論)	6~13
2005	3	30		佐藤利雄	地名「ヨイチ」語源の諸説について	6~19
<b>洋学史研究</b>			<b>洋学史研究会</b>			
2009	4	26		新藤透	幕末におけるアイヌ民族の「日本」帰属意識について	91~104
<b>よだん</b>			<b>文友社出版</b>			
2005	8	1		松木新	アイヌを描いた文学 山中峯太郎『民族』	26
2005	9	2		松木新	アイヌを描いた文学 今官一『巨大なる樹々の落葉』	25
2005	10	3		松木新	アイヌを描いた文学 長見義三『アイヌの学校』	28
2005	11	4		松木新	アイヌを描いた文学 山中峯太郎『コタンの娘』	27
2005	12	5		松木新	アイヌを描いた文学 菊田一夫『リラの花忘れじ』	24
2006	1	6		松木新	アイヌを描いた文学 菊田一夫『君の名は』	30
2006	2	7		松木新	アイヌを描いた文学 石森延男『コタンの口笛』	31
2006	3	8		松木新	アイヌを描いた文学 武田泰淳『森と湖のまつり』	31
2006	4	9		松木新	アイヌを描いた文学 新田次郎『最後の叛乱』	27
2006	5	10		松木新	アイヌを描いた文学 寒川光太郎『吹雪と原始林』	27
2006	6	11		松木新	アイヌを描いた文学 イサベラ・バード『日本奥地紀行』	21
2006	7	12		松木新	アイヌを描いた文学 ジョン・バチラー『我が記憶をたどりて』	19
2006	8	13		松木新	アイヌを描いた文学 松浦武四郎『アイヌ人物誌』	18
2006	9	14		松木新	アイヌを描いた文学 徳富蘆花『みみずのたはごと』	20
2006	10	15		松木新	アイヌを描いた文学 大西雄三『湖の裁き』	15
2006	12	17		松木新	アイヌを描いた文学 子母澤寛『厚田日記』	15
2007	1	19		松木新	アイヌを描いた文学 安井正人『津波』	25
2007	3	20		松木新	アイヌを描いた文学 船山馨『お登勢』・『続お登勢』	23

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

ら

ライフサイエンス				生命科学振興会			
2006	99	32	2	萱野茂、石垣繁ほか	21世紀に生きる心の原点	対談・アイヌ民族とウチナンチュウの教え	39～57
酪農学園大学紀要 自然科学編				酪農学園大学、酪農学園大学短期大学部			
2008	4	32	2	62	石井智美、玉城美香、柴田千晶、岩野英知	アイヌ民族が伝承してきたシケレベの効用に関する研究	139～148
ラボラ				北海道国際航空			
2006	2			22	鳥越さやか(文)、伊藤健次(写真)	カムイノミ : 先住民族の住居跡で神への祈りを捧げる	9～11

「知床を歩く」Part2

り

立命館言語文化研究				立命館大学国際言語文化研究所			
2005	2	16	3	79		企画にあたって	2
特集: 春季企画 連続シンポジウム「先住民という言葉に内実を与えるために」							
					池谷和信	狩猟採集民の伝統と近代	5～12
					岩崎・グッドマン・まさみ	アイヌの生態環境知識の再構築	13～17
					小長谷有紀	モンゴル遊牧民における伝統のグローバリゼーション	19～26
質疑応答部分に関係部分あり							
					大村敬一、遠藤彰、春山貴子、スチュアートヘンリ(談)	コメント(シンポジウムI)	27～42
コメントのほか討論、質疑応答あり。							
					崎山正毅	先住民の権利と法 : 近代の力を逆手にとる	43～47
					太田昌国	先住民族問題は何を語るか	49～55
					手島武雅	先住民族の権利と自決権否定の論法	57～75
					西成彦	国語学とアイヌ語学の分岐点 : 金田一京助と知里幸恵	87～89
					丸山隆司	忘れられた書物 : 知里幸恵編著『アイヌ神謡集』	91～99
					安田敏朗	「帝国大学言語学」の射程 : 上田万年から金田一京助へ	101～111
					佐藤=ロスベアグ・ナナ	知里真志保の日本語訳におけるオノマトベに関する試論	113～125
						質疑応答(シンポジウムIII)	127～142
						討論(シンポジウムIV)	143～144
					中川成美	同時代人としての知里幸恵と宮沢賢治	143～144
					池澤夏樹	宇宙の中心に立つ知里幸恵と宮沢賢治の姿勢	145～155
					秋枝美保	『アイヌ神謡集』と賢治の童話 : 鬼神・魔神・修羅の鎮魂	157～168
					坪井秀人	国境と詩のことは : 宮沢賢治と知里幸恵	169～184
2006	2	17	3		佐藤 ロスベアグ ナナ	「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」は多文化主義政策なのか?	223～238
特集: 共生の可能性と限界プロジェクト							
2007	9	19	1		麓慎一	北千島アイヌの改宗政策について : 色丹島におけるアイヌの改宗政策と北千島への帰還問題を中心に	

立命館大学国際平和ミュージアムだより

立命館大学国際平和ミュージアム

2004	8	12	1	32		特別展 銀のしずく降る降る 知里幸恵「アイヌ神謡集」の世界	7～9
					藤井修	「知里幸恵「アイヌ神謡集」の世界」を知って	10～12
					佐藤奈奈	特別展「銀のしずく降る降る 知里幸恵「アイヌ神謡集」の世界」によせて	13～14

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者			
発行年	発行月	巻	号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次							
<b>り</b>							
<b>立命館平和研究</b>				<b>立命館大学国際平和ミュージアム</b>			
2005	3		6	佐藤=ロスバグ・ナナ	「知里真志保と詩人たち」を論じるために		85~97
<b>リテラボプリ</b>				<b>北海道大学</b>			
2009	7		37		アイヌ語の復興のために 佐藤知己教授(文学研究科)に聞く		6~7
<b>広報誌リパティ</b>				<b>大阪人権博物館</b>			
2006	7		34	文公輝	アイヌ民族として		[7]
<b>リブレーザ</b>				<b>リブレーザ(Ripresa)社(発行)、社会評論社(発売)</b>			
2008	2		5	小柳伸顕	いまに続くアイヌの同化政策 有珠にパチラー八重子の歌碑を訪ねて		209~219

<b>る</b>							
<b>ルシファー</b>				<b>水平社博物館</b>			
2007	10	カ-	10	駒井忠之	第七回企画展 「アイヌ民族の歴史と文化」を開催して		4~10
				野本正博	アイヌ文化の現在 : 自らの経験を伝えること		18~30
2006年12月21日に奈良県御所市柏原解放センターにて開催された「なら人権大学講座」での講演記録。							
<b>留萌市海のふるさと館紀要</b>				<b>留萌市海のふるさと館</b>			
2004	3		15	福土廣志、高橋勝也	〔資料紹介〕昭和九年 郷土誌 留萌町潮静尋常小学校 全潮静青年学校		1~41(縦組)
「北海道ノ歴史」「地名ノ沿革」などあり。							
2005	3		16	高橋明雄	留萌地方における栽培作物の歩みについて : アイヌ民族の食物、幕末庄内藩の開発、明治期の試作		9~34
<b>留萌文学</b>				<b>留萌ペンクラブ</b>			
2003	7		88	高橋明雄	生き急ぐ魂の鼓動、新谷行の生涯 - 彷徨する詩心・アイヌ民族への収斂		171~193
2004	7		89	藤本英夫	"旧土人小学校"校長佐々木長左衛門先生のこと		186~203
2005	7		90	松田青浪	私の佐々木長左衛門先生		51~53
2006	7		91		追悼 藤本英夫さん/やさしさと、大きさと、強靱な意志と アイヌ文化研究・考古学研究・伝記・日韓交流に大きな足跡		2~5
主な著作、『留萌文学』に発表された作品などを紹介。下記の他にも関係する文あり。							
				内山綾子	唯 哀惜 藤本先生の急逝を悲しむ		13~16
				丸山靖生	小さな旅の大きな思い出		17~19
				高橋明雄	藤本英夫先生を偲ぶ		19~20
				かいどうしげあき	藤本先生を悼む		21~27

<b>れ</b>								
<b>Leira(レイラ)</b>				<b>北海道空港情報サービス</b>				
2002	11				アイヌ民族の心を伝える ムックリという楽器		3~9	
<b>歴史学研究</b>				<b>歴史学研究会</b>				
2003	10		780	榎森進	〔書評〕児島恭子『アイヌ民族史の研究-蝦夷・アイヌ観の歴史の変遷』		53~56	
2007	10		833	谷本晃久	近世蝦夷地在地社会と幕府の対外政策 : 蝦夷地第二幕領期を中心に		84~93	
大会近世史部会(テーマ:寄進の比較史 富の再分配と公共の論理)報告要旨。討論の記録にも関連部分あり。835号(2007年12月)に池内敏による大会報告批判掲載。								
				小川正人	学校ができ、そこに子どもが通う-近代アイヌ教育政策史における学校の問題		95~104	
大会近代史部会(テーマ:マイノリティと教育)報告要旨。討論の記録にも関連部分あり。								
<b>歴史研究</b>				<b>歴研</b>				
2004	2	46	2	513	間淵鉄一	〔史談往来/北から南から〕小字のアイヌ語地名から		7~10
2007	10	49	10	555	佐藤貢	「ウトウ」アイヌ語説の誤り : 虚説を広めた『広辞苑』		44~52

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

れ

<b>歴史地震</b>				<b>歴史地震研究会</b>			
2005	3		20	高清水康博	北海道における津波に関するアイヌの口碑伝説と記録	183～199	
2006	4		21	新里忠史、重野聖之、高清水康博	北海道における地震に関するアイヌの口碑伝説と歴史記録	121～136	
<b>歴史書通信</b>				<b>歴史書懇話会</b>			
2007	12		169	松本建速	蝦夷とは誰か	2～4	
<b>歴史地理学</b>				<b>歴史地理学会</b>			
2002	1	44	1	207	遠藤匡俊	根室場所におけるアイヌの命名規則と幕府の同化政策	48～59
2007	12	49	5	236	松浦武四郎の地誌・地図作成とアイヌ民族「手塩日記」を素材として― 山田志万布	95～96	
<b>歴史地理教育</b>				<b>歴史教育者学会(発売)</b>			
2000	4		607	田港朝昭	『北海道の百年』 永井秀夫・大庭幸生編	96～97	
2000	10		615	小牧薫	第7分科会 人権と国際連帯	54～56	
2000	12		618	栗原啓子、小林茂	サケの学習・総合学習・そのヒント【小学校の実践/5年】	40～48	
2001	3		621	大脇徳芳、伊藤健次(撮影) 大脇徳芳	今もたかウアイヌの人々 日本から世界から(72) アイヌ文化振興法とアイヌ民族共有財産裁判 ―その本質と経過―	5 84～89	
2001	6		625	浅見隆	『アイヌ民族の歴史と文化―教育指導の手引―』 田端宏・桑原真人監修	96～97	
2001	10		630	田所顕平	第7分科会 人権と国際連帯	52～54	
2002	10		645	千葉誠治	第7分科会 人権と国際連帯	54～56	
2004	6		670	伊東循	[歴史研究最前線]6 蝦夷と隼人と天皇	64～69	
2005	1		679	千葉誠治	小学校の授業 4年 アイヌの人たちの生活	48～51	
2006	10		705	宮田汎	[読書室]『旭川・アイヌ民族の近現代史』金倉義慧著	92～93	
2006	11		706	菊池勇夫	[歴史研究最前線]近世のアイヌ蜂起(戦い)をめぐる	70～75	
2006	11		707	田所顕平	第8分科会 人権と国際連帯	49～50	
特集:歴教協第58回埼玉大会報告集。第8分科会報告ページ中に「先住少数民族アイヌをめぐる提起」あり。							
2007	8		718	岡野成利	日本の中の異文化世界 : 琉球・アイヌモシリ	48～53	
2007	9		719	千葉誠治	アイヌ民族理解のために	64～69	
2008	3		726	佐藤明彦	「国連先住民族宣言」採択、それから	84～89	
2008	3		726	佐藤明彦	日本から世界から(154) 「国連先住民族宣言」採択、それから	84～89	
2008	9		734	鬼頭明成	『アイヌ民族の歴史』榎森進著	94～95	
2008	9		734	鬼頭明成	『アイヌ民族の歴史』榎森進著	94～95	
2008	11		737	萩森繁樹	第7分科会 現代の課題と教育	46～47	
2009	2		740	平井敦子	歴教協第61回北海道大会 北海道でお待ちしています! 2	8	
2009	3		742	佐藤広也(写真提供)	アイヌ文化にふれる子どもたち	1	
特集:まるごと学ぶ北海道 : アイヌ・歴史・暮らし							
				上村英明	「植民地北海道」をめぐる世界と日本の動き	10～15	
				滝沢正	近現代のアイヌ民族の歴史をどう学び教えるか	24～29	
				太田満	旭川のアイヌ語教育の現代と課題	36～41	
				佐藤広也	小学校・総合/学習発表会 ピリカコタンで"サザエさん"を踊ろう	48～55	
				松本成美	アイヌ通送人・吉良平治郎	62～64	
				近藤健一郎	遠星北斗に出会った伊波普猷	84～85	
				松本成美	沖縄の「南北之塔」を知っていますか	132～134	

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ	
雑誌目次・文献目次							
<b>れ</b>							
2009	5		744	北海道歴史教育者協議会	歴教協第61回北海道大会 現地見学 見どころ	ここが	76~81
				榎森進	歴史研究最前線[49]北東アジアの中のアイヌ民族	-サンタン貿易・蝦夷錦・間宮林蔵	84~89
2009	6		745	猪熊樹人	史跡を歩く(142) クナシリ・メナシの戦い関係の史跡(北海道根室市)		5
2009	7		746	満川尚美	3月増刊号「まるごと学ぶ北海道」を読んで北海道大会に参加しましょう		101
2009	11		751	歴史教育者協議会常任委員会	歴教協第六一回北海道大会総括		64~67
2009	11		752	阿部一司	連帯挨拶		11
				北海道歴史教育者協議会	映像と語りで贈る北海道のメッセージ		16~21
				君島東彦	パネルディスカッション 子どもを真ん中に、日本国憲法と未来をつなぐ		22~29
				山内英正	第1分科会 地域の掘りおこし		32~33
				小松克己	第3分科会 日本近現代		36~37
				狐塚健一	第6分科会 思想・文化・文化活動		42~43
				萩原繁樹	第7分科会 現代の課題と教育		44~45
				櫻本豊己	第10分科会 幼年・小学校低学年		51~52
				平井美津子	第18分科会 中学校公民		66~67
				魚山秀介	特別分科会 日韓歴史教育交流		80~81
				首藤さやか	石井ポンペ「アイヌの昔語り」 ムックリ・トンコリの音とともに		82
				清水裕二、千葉誠治	アイヌの歴史を子どもたちにどう伝えるか -副読本をもとに		82~83
				桜井千恵美	全体討議のまとめ		90~91
				小出伸	現地見学北海道		92~98
				林正敏	プレコース 道都札幌を歩く		92
				小山宥一	Aコース 二風谷を訪ねて シャクシャインから現代へ		92~93
				宮崎令子	Bコース アイヌ民族の今と昔 -知里幸恵と若きアイヌの願い		93~94
				手代崎彰雄	石狩川を遡る -囚人・炭鉱・軍都旭川		95~96
				中妻雅彦	Eコース アイヌ文化まるごと体験		96
				姥谷広昭	先住民族アイヌの歴史をどう教えるか -東アジアの視点で		107~114
				仙石裕子	二・三年でとりくんだはじめてのアイヌ学習		123~130
2009	12		753	千葉誠治	松本成美先生の突然の訃報に接して		101
				<b>歴史読本</b>	<b>新人物往来社</b>		
2007	1	52	1	809	高野澄	知里真志保	228
2007	5	52	5		西股総生、木戸雅寿	北海道のチャシ・戦国城館	222~225
				<b>歴史と地理</b>	<b>山川出版社</b>		
2001	6		545	三上善孝	古代「辺境」の民衆把握 -秋田城跡出土漆紙文書の意味するもの-		1~18
2003	6		565	武廣亮平	日本古代エミシ「移配」政策		1~13
2004	12		580	中村和之	中世における北方からの人の流れとその変動 白土土城をめぐる		1~14
2007	6		605	三上善孝	「境界世界」の特産物と古代国家 北方・南方世界との支流		1~16
				<b>歴史評論</b>	<b>校倉書房</b>		
2004	4		648	児島恭子	アイヌ史研究とオーラル・ヒストリー		43~52
2005	1		657	宇田川洋	チャシ跡遺跡研究の動向		47~55
2006	10		678	斎藤利男	北方世界のなかの平泉・衣川 : 日本史における「北」の可能性		2~16

雑誌等の編者名		雑誌等の誌名		発行者		
発行年	発行月	巻 号	通巻(号)	文献の編著者名	文献タイトル	掲載ページ

雑誌目次・文献目次

れ

				鈴木琢也	北日本における古代末期の北方交易	： 北方 60～69 交易からみた平泉前史
				<b>歴史民俗学</b>	<b>批評社</b>	
2002	6		21	青木茂雄	八切原住民史観と太田竜の「日本原住民」	59～72
				<b>歴博</b>	<b>国立歴史民俗博物館</b>	
2000	3		99	遠藤匡俊	アイヌ社会における個と集団	6～10
				阿部義平	移動する北方古代史の群像	9
2008	1		146	阿部義平	古代蝦夷(えみし)文化の成立を探る	26～27
				<b>LERA・風</b>	<b>「LERA・風」事務局</b>	
2005	10		3	とよむらいっし	(創作)カムイ親子	64～68
				上井澤ひろし	(創作)風の橋(三)	68～107
2006	4		4	とよむらいっし	アイヌ創作民話4 ススコナム(柳の葉)	66～69
				上伊澤ひろし	風の橋 4(創作)	70～106
2006	10		5	とよむらいっし	アイヌ創作民話5 カムイノミ(神に祈る)	55～59
				上伊澤ひろし	風の橋 5(創作)	68～105
2008	4		8	とよむらいっし	[創作]アイヌ創作民話7 カムイチェブ(鮭)	2～9
				上伊澤ひろし	[創作]風の橋(最終回)	36～91
				上伊澤ひろし	[創作]風の橋(四)	241～276
				<b>れら(rera)東北</b>	<b>東北アイヌ語地名研究会</b>	
2007	7		10	西成辰雄	秋田県南地方のアイヌ語地名と街道	1
				角田賀津三	群馬の古地名(アイヌ語系)探索	2
				村崎恭子	東北に色濃く残るアイヌ語地名：enrumとota由来の地名を探る	3～4

る

				<b>労働文化</b>	<b>北海道労働文化協会</b>	
2006	1		196	工藤正廣	ニコライ・ネフスキーの北海道	3～11
2006	3		197	森山軍治郎	追悼 藤本英夫さんのこと	2～3
				山内栄治	アイヌ神謡世界からアンデス-済州島へ 道半ばに藤本英夫さん逝く	19
2006	11		201		豊かなアイヌ文化にふれて	3～4
第28回労文協文学散歩。5～7ページに参加者の感想文あり。						
				神谷忠孝	アイヌ民族の文学	8～10
				小坂博宣	室蘭のアイヌ語地名とカムイユーカラ	11～16
現地講演の記録。						
				富樫利一	知里幸恵の日記から	16～23
2007	5		204		[本の紹介]東京アイヌ史研究会編集・発行『(東京・イチャルパ)への道 明治初期における開拓使のアイヌ教育をめぐる』	30
2008	1		17	工藤正廣	-建部綾足の長編奇譚-『本朝水滸伝』のヴィジョン	3～8
				<b>ろびい</b>	<b>北海道立近代美術館</b>	
2000	3		64	五十嵐聡美	小玉貞良筆「蝦夷国魚場風俗図巻」の鮭、海を渡る	7
				<b>論集 きんせい</b>	<b>近世史研究会</b>	
2005	5		27	寺崎仁樹	第一次幕領期の蝦夷地政策と箱館：場所経営方法の変化への対応を中心に	1～17

雑誌等の編者名			雑誌等の誌名			発行者		
発行年	発行月	巻号	通巻(号)	文献の編者名	文献タイトル	掲載ページ		

雑誌目次・文献目次

わ

			<b>ワールド・ウオッチ 日本語版</b>			<b>ワールド・ウオッチ・ジャパン</b>		
2008	12	21	6	117	スカイ・ホーマン	アイヌ民族の苦闘 : 復権をめざして、先住民族サミット	41~45	
			<b>早稲田大学大学院教育学研究科紀要別冊</b>			<b>早稲田大学大学院教育学研究科</b>		
2005	9	13	1		上野昌之	アイヌ民族と教育権の保障についての考察	293~303	
2006	9	14	1		上野昌之	1920-30年代のアイヌ民族の言論活動についての考察 : 自立と協同の視点から	55~66	
			<b>早稲田大学大学院文学研究科紀要</b>			<b>早稲田大学大学院文学研究科</b>		
2003	2			48-4	檜皮瑞樹	幕末外交における実務官吏の動態 - 箱館奉行を事例として -	151~153 (縦書)	
					高瀬光永	千島列島の鉤鉾について - 鉤部の製作方法を中心として -	53~64 (横組)	
2009	2			48-4	檜皮瑞樹	十九世紀樺太をめぐる「国境」の発見 - 久春内幕吏捕囚事件と小出秀実の検討から -	17~31 (縦書)	
			<b>早稲田文学(第9次)</b>			<b>早稲田文学館</b>		
2000	3	25	2	114	向井豊昭	(創作)あゝうつくしや	60~96	
2001	3	26	2	162	向井豊昭	(創作)怪道をゆく	130~160	
			<b>わたすげ</b>			<b>わたすげ同人会</b>		
2000	5			9	川上淳	「投下」アイヌのイチャンケムシ	58~59	
			<b>和洋女子大学紀要 家政系編</b>			<b>和洋女子大学</b>		
2006	3			46	諏訪原貴子、鷹司綾子	北海道アイヌを中心としたかぶりものについての研究	59~77	